

---

# 男女共同参画に関する 市民意識調査

---

## 報告書

令和3年3月  
鹿児島市



---

---

## 目 次

---

---

1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象	1
	(3) 調査方法	1
	(4) 調査期間	1
	(5) 回収結果	1
	(6) 集計上の留意点	1
2	調査結果の概要	2
	(1) 回答者の属性について	2
	(2) 男女共同参画に関する意識について	2
	(3) 仕事・家庭生活・地域生活について	3
	(4) 暴力等について	4
	(5) 男女共同参画の推進について	4
3	調査結果	5
	I あなた自身のことについて	5
	II 男女平等意識について	12
	III 家庭生活について	28
	IV 社会活動、地域活動への参加・参画について	42
	V 就労について	46
	VI 教育について	59
	VII 女性の政策参画について	65

Ⅷ 人権・暴力について	74
Ⅸ 男女共同参画に関する用語について	106
X 行政について	120
自由意見	122
4 調査票	143

# 1 調査の概要

## (1) 調査目的

平成 27 年度の意識調査以降、男女共同参画社会に向けた取組が進む中、市民の意識と実態がどのように変化してきているかを把握するとともに、令和 3 年度に行う「第 3 次鹿児島市男女共同参画計画」策定作業の基礎資料とする。

## (2) 調査対象

18 歳以上の市民 3,000 人（無作為抽出）

## (3) 調査方法

郵送による配布・回収及びインターネット上での回収

## (4) 調査期間

令和 2 年 8 月 7 日（金）～ 8 月 28 日（金）

## (5) 回収結果

配布件数	有効回答数	有効回収率
3,000 件	1,178 件 (郵送：1,000 件 インターネット：178 件)	39.3%

## (6) 集計上の留意点

- ① グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- ② 集計結果は百分率で算出し、四捨五入（小数点第 2 位）の関係上、百分率の合計が 100%にならない場合がある。
- ③ 前回調査や内閣府調査においては、今回調査とは単数回答／複数回答の違いや、選択肢の違いにより比較できていない場合がある。また、一部については比較できるように、類似の選択肢において比較を行う等の調整を行っている。

《参考》 本報告書で結果を引用した過去の調査

名称等	本報告書中における記載
平成 27 年度「男女共同参画に関する市民意識調査」（鹿児島市） (20 歳以上の男女 3,000 人、有効回答数 1,452 人)	前回調査
令和元年度「男女共同参画社会に関する世論調査」（内閣府） (18 歳以上の男女 5,000 人、有効回答数 2,645 人)	内閣府世論調査
平成 29 年度「男女間における暴力に関する調査」（内閣府） (20 歳以上の男女 5,000 人、有効回答数 3,376 人)	内閣府 DV 調査

## 2 調査結果の概要

### (1) 回答者の属性について

(報告書 P5～11)

回答者の性別は、「女性」が 57.0%、「男性」が 40.8%となっています。年代別にみると、「60代」が 23.9%、就労・子育てに多くかかわっていると想定される「30～50代」が 46.9%となっており、回答者の性別比、年代比ともに、平成 27 年度市民意識調査（以下、「前回調査」とする）とほぼ変化がない構成となっています。

職業については、「正規雇用」が 34.5%、「非正規雇用」が 23.6%となっており、自営業等を含めると 65.5%が就業しています。前回調査では就業している人の割合が 57.3%となっており、就業率がわずかに増加しています。

「結婚している（事実婚含む）」と回答した中で、共働きをしていると回答した人は 49.6%となっており、前回調査（46.4%）から大きな変化はありません。

子どもの有無については「いる」が 72.8%となっており、前回調査（67.1%）から大きな変化はありません。

### (2) 男女共同参画に関する意識について

#### ① 男女の平等感について

(報告書 P12～25、問 1～4)

平等感が最も高いのは「家庭で」（36.4%）で、次いで「学校（学校教育）の中で」（28.1%）、「職場で」（23.0%）、「法律や制度の上で」（19.0%）、「地域社会の中で」（16.6%）、「政治の場で」（11.1%）、「社会通念や慣習、しきたりの中で」（6.3%）の順となっています。

前回調査と比較すると、「家庭で」、「職場で」では平等感が増加しているものの、前回調査同様、「学校（学校教育）の中で」以外は、「不平等な点がある」が「平等になっている」を上回っています。

性別で見ると、すべての項目において「平等になっている」の割合は男性が女性より高くなっています。

男女の地位の平等意識については、『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）が 74.2%となっており、前回調査（70.9%）から大きな変化はありません。不平等となっている原因については、「男女の役割に対する考え方」（64.8%）が最も高く、次いで「社会的な慣行・しきたり」（61.4%）となっています。また、平等になるために重要なことについては、「女性／男性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念やしきたり、慣習の見直し」（62.6%）が最も高く、次いで「男性の理解や協力」（29.1%）となっています。この点についても、前回調査とほぼ同様の結果となっています。

#### ② 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について

(報告書 P28～29、問 6)

「男性は仕事、女性は家庭」という考え方（固定的性別役割分担意識）については、『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）と回答した割合が 65.7%となっています。性別で比較すると『反対』の割合は、女性が 71.5%、男性が 58.4%で、女性の方が 10 ポイント以上高くなっていることから、女性の方が役割を固定する考え方に否定的なことがわかります。

この本市の『反対』の 65.7%は、内閣府世論調査の 59.8%よりも高くなっています。

### ③職場における性別の差について

(報告書 P46～56、問 14～18)

職場における男女格差については、「特に男女格差はない」との回答が多い中、約2割は「お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い」と感じています。しかしながらいずれの項目においても、前回調査よりも低くなっており、特に「お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い」、「女性は昇進・昇給が遅い、または望めない」は10ポイント以上減少しています。職場における男女平等の意識が拡大していることがうかがえます。

女性の職業継続の考えについては、「結婚や出産後も、ずっと仕事は続ける」という「継続型」が、理想は31.2%、現実では19.5%となっており、11.7ポイントの差異がみられ、「子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事を続ける」と考える「一時中断型」についても、理想は23.6%であるのに対し、現実では12.5%となっています。この点に前回調査との差異はみられません。女性が結婚・出産前後と同様の仕事を持ち続けられない理由については、「仕事と家事・育児の両立は大変だ(だった)から」(48.3%)が最も高くなっています。

また、結婚出産に関わらず社会全体として女性が『働きにくい』(「あまり働きやすいとはいえない」+「働きにくい」とする回答が35.9%となっており、その理由としては「女性が働きやすい労働条件・環境が整っていない」(60.9%)が最も高く、次いで「育児施設・サービスが十分でない」(46.4%)となっています。

### ④教育の場における男女共同参画について

(報告書 P59～64、問 20～22)

男女共同参画社会を実現するために、学校教育の場で大切なことについては、「性別にかかわらず生徒個人の希望や能力にもとづいて、進路指導や職業教育を行う」(62.1%)が最も高く、次いで「互いのよさを理解し、異性を思いやる心を育てる教育を充実する」(61.5%)、「心身の発育について正しく理解し、生命や性を尊重する教育を充実する」(52.3%)となっています。特に「性別にかかわらず能力にもとづいて」といった点では、子どもの育て方においても、「性別にかかわらず子どもの個性を重視して育てる方がよい」が約9割を占めています。一方で、子どもの学歴に関しては、「大学まで」において、「女の子」が「男の子」を11.0ポイント下回っており、性別により学歴期待に差がみられます。

## (3) 仕事・家庭生活・地域生活について

(報告書 P32～41、問 8～11)

男性による家事・育児については、「男性も積極的にする方がよい」(55.0%)が最も高く、次いで「男性もできるだけする方がよい」(41.7%)となっています。なかでも「男性も積極的にする方がよい」については、前回調査よりも16.8ポイント増加しており、男性の家事・育児参加への機運が増していることが感じられます。

また、家庭での高齢者介護については、「夫や息子など男性も分担すべきである」(65.9%)が最も高く、前回調査より13.1ポイント増加しています。

男女がともに家事や子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(53.9%)が最も高く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(50.1%)、「子どもに対して、性別に関わらず家事などを積極的に行うようしつけや育て方をすること」(44.5%)の順となっています。

生活の中での優先度について、希望としては「仕事と家庭生活をともに優先したい」との意見が多く、女性では32.0%、男性では39.1%となっています。一方、「仕事を優先したい」と回答した人は、女性では1.9%、男性では8.3%と僅かで、現状については、「仕事を優先している」とする割合は、女性が19.0%、男性が28.3%と高くなっています。前回調査でも同様の傾向が出ており、希望と現実のギャップを改善することは容易ではないことがわかります。

## (4) 暴力等について

(報告書 P81～87、99～105、問 27、30～32)

配偶者やパートナー間での暴力(DV)については、『あった』(「何度もあった」+「1・2度あった」)の割合は「身体的暴力(なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた)」(17.7%)が最も高く、次いで「精神的暴力(人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた)」(15.8%)となっています。いずれの項目においても、女性の回答が多くなっていますが、特に「性的暴力(避妊に協力しなかったり、いやがっているのに性的な行為を強要された)」については、女性が10ポイント以上高い結果となっています。

DVを受けた際の相談については、「どこ(だれ)にも相談しなかった」(25.7%)が、前回調査(36.6%)と比べて減ってはいるものの、最も高くなっています。相談先としては「友人・知人に相談した」(23.0%)、「家族に相談した」(17.0%)が高くなっています。性別でみると、女性では「友人・知人に相談した」が最も高くなっているのに対し、男性では、「どこ(だれ)にも相談しなかった」が最も高く、男性の方が相談しづらいという現状がうかがえます。

どこ(だれ)にも相談しなかった理由については、「個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから」(37.2%)が最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思ったから」(33.7%)、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」(23.3%)となっています。自分だけで悩まずに、気軽に相談できる環境づくりが必要であると考えられます。さらに、相談しなかった・できなかったことでDVがエスカレートする可能性もあり、相談施設等の充実・周知が必要と考えられます。なお、DVをなくすために必要なことについても「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」(67.4%)との意見が最も多く、DVに関する効果的な周知・啓発の在り方について検討する必要があります。

## (5) 男女共同参画の推進について

(報告書 P57～58、65～73、120～142、問 19、23～25、34～35)

政治・経済・地域などの各分野へ女性が参画・躍進をした場合の影響としては、「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」(61.7%)、「多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」(53.0%)、「女性の声が反映されやすくなる」(49.9%)といった回答が多くなっています。しかしながら女性の意見がどの程度反映されていると思うかについては、職場では5割以上、地域社会においては4割以上が『反映されている』(「十分に反映されている」+「ある程度反映されている」)と回答しているのに対し、市政・県政あるいは国政においては『反映されている』が3割未満となっています。政治や行政に女性の意見を反映させるための方策としては、「女性の意見や考え方を聞く機会を増やし、行政もその意見を取り上げるよう努力すること」(39.6%)が最も高く、次いで「官公庁での管理職や審議会等の委員など公職に就く女性が増えること」(33.9%)、「女性議員が多くなること」(29.1%)となっています。また、国の政策や方針決定過程への女性の参画状況が低い理由については、「男性中心の組織運営」(69.2%)が最も高く、次いで「家庭・地域・職場における固定的な性別役割分担、性差別意識」(56.5%)となっています。女性の参画により期待される影響は大いにあると考えられており、女性のさらなる社会進出が望まれているものの、現在の男性中心組織を前に、固定的な性別役割分担等によって阻まれていることが示唆されています。

鹿児島市に対して、男女共同参画社会づくりを進めていく上での要望については「男女が共に家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行う」(69.2%)が最も高く、次いで「保育所や児童クラブなどの施設や育児サービス、制度の充実を図る」(49.7%)となっています。

その他、自由記述における市への要望については、育休制度や保育施設の整備など子育て支援体制の充実を望むものが多く、女性が社会進出する際に必要な行政の受け皿の整備が求められています。

### 3 調査結果

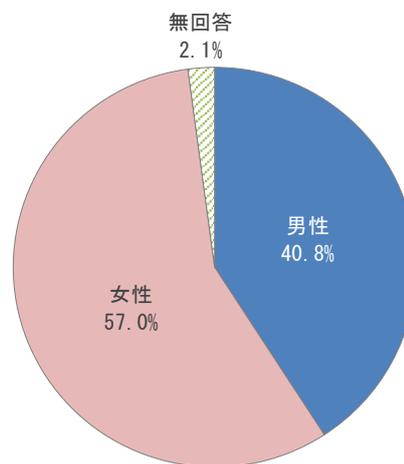
#### I あなた自身のことについて

F 1 あなたの戸籍上の性別はどちらですか。

性別については、「女性」が 57.0%、「男性」が 40.8%となっている。

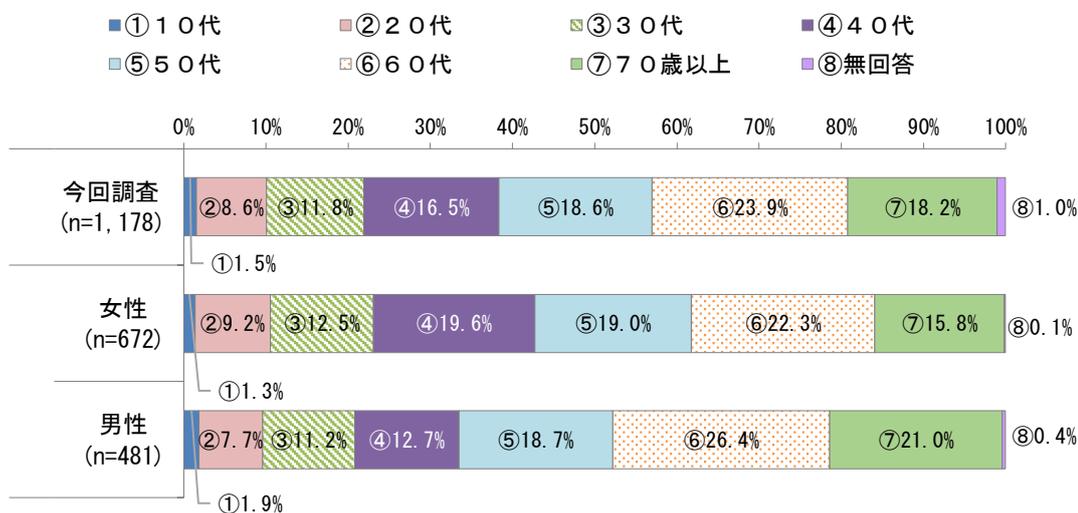
	回答者	割合
全体	1,178	100.0%
女性	672	57.0%
男性	481	40.8%
無回答	25	2.1%

(n=1,178)



## F 2 あなたの年齢（満年齢）を教えてください。

年齢については、「60代」（23.9%）の割合が最も高く、次いで「50代」（18.6%）、「70歳以上」（18.2%）となっている。



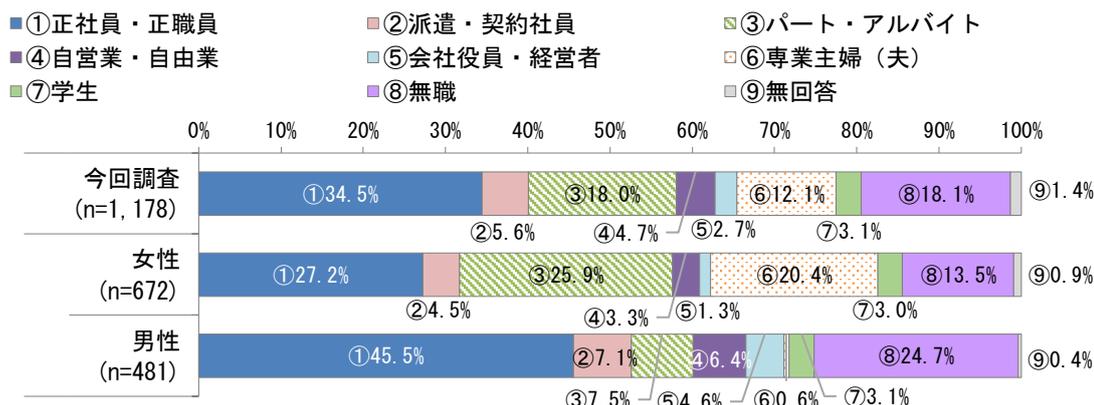
		サンプル数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
今回調査		1,178	18	101	139	194	219	281	214	12
		100.0%	1.5%	8.6%	11.8%	16.5%	18.6%	23.9%	18.2%	1.0%
性別	女性	672	9	62	84	132	128	150	106	1
		100.0%	1.3%	9.2%	12.5%	19.6%	19.0%	22.3%	15.8%	0.1%
	男性	481	9	37	54	61	90	127	101	2
		100.0%	1.9%	7.7%	11.2%	12.7%	18.7%	26.4%	21.0%	0.4%
	無回答	25	0	2	1	1	1	4	7	9
		100.0%	0.0%	8.0%	4.0%	4.0%	4.0%	16.0%	28.0%	36.0%

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  
 上段: 回答者数  
 下段: 構成比  
 ■ 上位1項目

小数点第2位を 四捨五入している ため、合計は100% と一致しない場合 がある  上段：回答者数 下段：構成比  ■ 上位1項目	サ ン プ ル 数	1	2	2	3	3	4	4	5	5	6	6	7	無 回 答	
		8 5 1 9 歳	0 5 2 4 歳	5 5 2 9 歳	0 5 3 4 歳	5 5 3 9 歳	0 5 4 4 歳	0 5 4 9 歳	0 5 4 9 歳	0 5 4 歳	0 5 9 歳	0 5 6 4 歳	0 5 6 9 歳		0 歳 以 上
今回調査	1,178	18	44	57	66	73	99	95	106	113	138	143	214	12	
	100.0%	1.5%	3.7%	4.8%	5.6%	6.2%	8.4%	8.1%	9.0%	9.6%	11.7%	12.1%	18.2%	1.0%	
女性	672	9	29	33	38	46	68	64	60	68	75	75	106	1	
	100.0%	1.3%	4.3%	4.9%	5.7%	6.8%	10.1%	9.5%	8.9%	10.1%	11.2%	11.2%	15.8%	0.1%	
10代	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20代	62	0	29	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	46.8%	53.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30代	84	0	0	0	38	46	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45.2%	54.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40代	132	0	0	0	0	0	68	64	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	51.5%	48.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50代	128	0	0	0	0	0	0	0	60	68	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	46.9%	53.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60代	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	75	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
70歳以上	106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	106	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
男性	481	9	14	23	27	27	31	30	46	44	61	66	101	2	
	100.0%	1.9%	2.9%	4.8%	5.6%	5.6%	6.4%	6.2%	9.6%	9.1%	12.7%	13.7%	21.0%	0.4%	
10代	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20代	37	0	14	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	37.8%	62.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30代	54	0	0	0	27	27	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40代	61	0	0	0	0	0	31	30	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.8%	49.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50代	90	0	0	0	0	0	0	0	46	44	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	51.1%	48.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60代	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	66	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	48.0%	52.0%	0.0%	0.0%	
70歳以上	101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
雇用形態別	正社員・正職員	406	0	14	35	39	41	68	51	56	51	30	18	2	1
	100.0%	0.0%	3.4%	8.6%	9.6%	10.1%	16.7%	12.6%	13.8%	12.6%	7.4%	4.4%	0.5%	0.2%	
	派遣・契約社員	66	0	2	4	3	1	3	2	5	10	16	13	7	0
	100.0%	0.0%	3.0%	6.1%	4.5%	1.5%	4.5%	3.0%	7.6%	15.2%	24.2%	19.7%	10.6%	0.0%	
	パート・アルバイト	212	1	5	9	9	19	19	25	19	21	32	32	20	1
	100.0%	0.5%	2.4%	4.2%	4.2%	9.0%	9.0%	11.8%	9.0%	9.9%	15.1%	15.1%	9.4%	0.5%	
	自営業・自由業	55	0	1	0	2	2	4	3	12	4	11	8	8	0
	100.0%	0.0%	1.8%	0.0%	3.6%	3.6%	7.3%	5.5%	21.8%	7.3%	20.0%	14.5%	14.5%	0.0%	
	会社役員・経営者	32	0	0	0	0	0	1	2	1	3	7	5	13	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	6.3%	3.1%	9.4%	21.9%	15.6%	40.6%	0.0%	
	専業主婦(夫)	142	0	2	6	9	10	3	9	9	13	20	26	35	0
	100.0%	0.0%	1.4%	4.2%	6.3%	7.0%	2.1%	6.3%	6.3%	9.2%	14.1%	18.3%	24.6%	0.0%	
	学生	36	15	20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	41.7%	55.6%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	無職	213	1	0	2	4	0	1	3	4	10	21	39	127	1
	100.0%	0.5%	0.0%	0.9%	1.9%	0.0%	0.5%	1.4%	1.9%	4.7%	9.9%	18.3%	59.6%	0.5%	
配偶関係別	結婚している	823	0	2	27	44	56	69	71	79	84	108	112	169	2
	100.0%	0.0%	0.2%	3.3%	5.3%	6.8%	8.4%	8.6%	9.6%	10.2%	13.1%	13.6%	20.5%	0.2%	
	離別	71	0	0	0	3	8	7	4	6	13	8	14	8	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	11.3%	9.9%	5.6%	8.5%	18.3%	11.3%	19.7%	11.3%	0.0%	
	死別	47	0	0	0	0	0	0	1	1	3	7	8	27	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	6.4%	14.9%	17.0%	57.4%	0.0%	
	結婚していない	225	18	42	30	19	9	23	19	20	13	15	7	9	1
	100.0%	8.0%	18.7%	13.3%	8.4%	4.0%	10.2%	8.4%	8.9%	5.8%	6.7%	3.1%	4.0%	0.4%	
子供有無別	いる	858	0	2	19	34	54	68	70	77	88	117	126	201	2
	100.0%	0.0%	0.2%	2.2%	4.0%	6.3%	7.9%	8.2%	9.0%	10.3%	13.6%	14.7%	23.4%	0.2%	
	いない	285	13	38	33	30	19	29	23	28	23	19	17	12	1
	100.0%	4.6%	13.3%	11.6%	10.5%	6.7%	10.2%	8.1%	9.8%	8.1%	6.7%	6.0%	4.2%	0.4%	

### F 3 あなたのお仕事はどれにあたりますか。(〇は1つ)

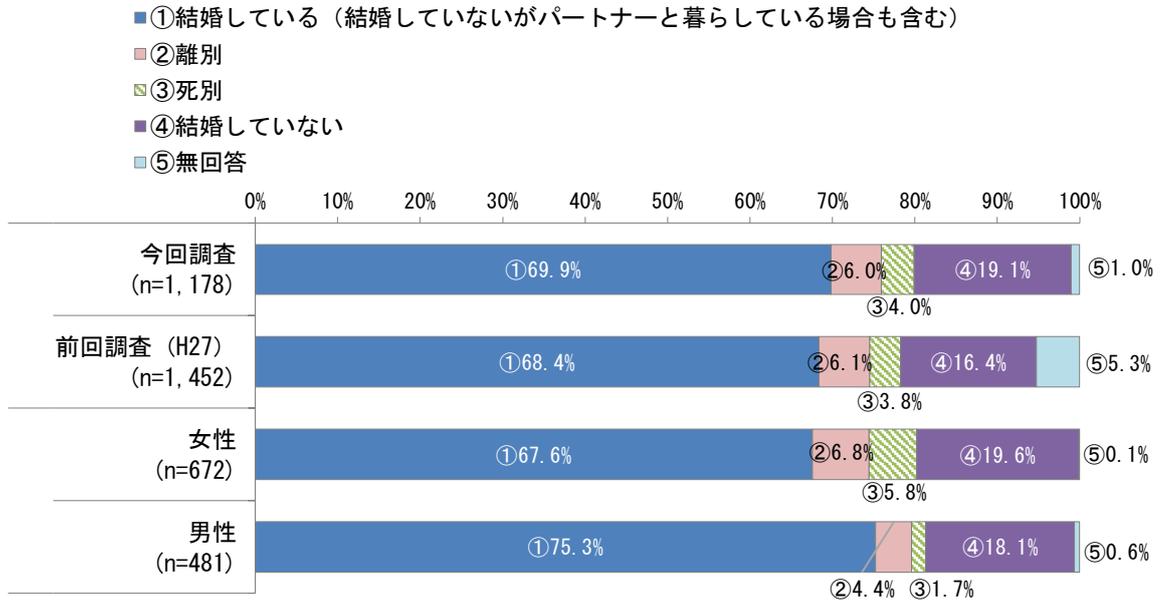
雇用形態について、「正社員・正職員」(34.5%)の割合が最も高く、次いで「無職」(18.1%)、「パート・アルバイト」(18.0%)となっている。



小点数第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	正社員・正職員	派遣・契約社員	パート・アルバイト	自営業・自由業	会社役員・経営者	専業主婦(夫)	学生	無職	無回答	
今回調査	1,178	406 34.5%	66 5.6%	212 18.0%	55 4.7%	32 2.7%	142 12.1%	36 3.1%	213 18.1%	16 1.4%	
女性	672	183 27.2%	30 4.5%	174 25.9%	22 3.3%	9 1.3%	137 20.4%	20 3.0%	91 13.5%	6 0.9%	
10代	9	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 77.8%	0 0.0%	1 11.1%	
20代	62	26 41.9%	4 6.5%	11 17.7%	0 0.0%	0 0.0%	8 12.9%	13 21.0%	0 0.0%	0 0.0%	
30代	84	35 41.7%	1 1.2%	26 31.0%	2 2.4%	0 0.0%	18 21.4%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	
40代	132	69 52.3%	5 3.8%	43 32.6%	2 1.5%	0 0.0%	12 9.1%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	
50代	128	43 33.6%	9 7.0%	37 28.9%	8 6.3%	1 0.8%	22 17.2%	0 0.0%	7 5.5%	1 0.8%	
60代	150	9 6.0%	9 6.0%	43 28.7%	7 4.7%	4 2.7%	45 30.0%	0 0.0%	31 20.7%	2 1.3%	
70歳以上	106	1 0.9%	2 1.9%	12 11.3%	3 2.8%	4 3.8%	32 30.2%	0 0.0%	50 47.2%	2 1.9%	
男性	481	219 45.5%	34 7.1%	36 7.5%	31 6.4%	22 4.6%	3 0.6%	15 3.1%	119 24.7%	2 0.4%	
10代	9	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	
20代	37	22 59.5%	2 5.4%	3 8.1%	1 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	7 18.9%	2 5.4%	0 0.0%	
30代	54	44 81.5%	3 5.6%	2 3.7%	2 3.7%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	2 3.7%	0 0.0%	
40代	61	50 82.0%	0 0.0%	1 1.6%	4 6.6%	3 4.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.9%	0 0.0%	
50代	90	64 71.1%	5 5.6%	3 3.3%	8 8.9%	3 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	7 7.8%	0 0.0%	
60代	127	37 29.1%	20 15.7%	19 15.0%	12 9.4%	8 6.3%	1 0.8%	0 0.0%	29 22.8%	1 0.8%	
70歳以上	101	1 1.0%	4 4.0%	8 7.9%	4 4.0%	8 7.9%	1 1.0%	0 0.0%	75 74.3%	0 0.0%	
配偶関係別	結婚している	823	273 33.2%	41 5.0%	163 19.8%	41 5.0%	28 3.4%	138 16.8%	0 0.0%	134 16.3%	5 0.6%
離別	71	24 33.8%	9 12.7%	15 21.1%	5 7.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	17 23.9%	0 0.0%	
死別	47	2 4.3%	4 8.5%	11 23.4%	1 2.1%	2 4.3%	1 2.1%	0 0.0%	25 53.2%	1 2.1%	
結婚していない	225	107 47.6%	12 5.3%	23 10.2%	8 3.6%	2 0.9%	1 0.4%	36 16.0%	35 15.6%	1 0.4%	
子供有無別	いる	858	260 30.3%	47 5.5%	179 20.9%	38 4.4%	28 3.3%	132 15.4%	0 0.0%	169 19.7%	5 0.6%
いない	285	136 47.7%	18 6.3%	31 10.9%	17 6.0%	4 1.4%	10 3.5%	29 10.2%	40 14.0%	0 0.0%	

## F 4 あなたは結婚していらっしゃいますか。(〇は1つ)

結婚については、「結婚している（結婚していないがパートナーと暮らしている場合も含む）」(69.9%)の割合が最も高く、次いで「結婚していない」(19.1%)、「離別」(6.0%)となっている。



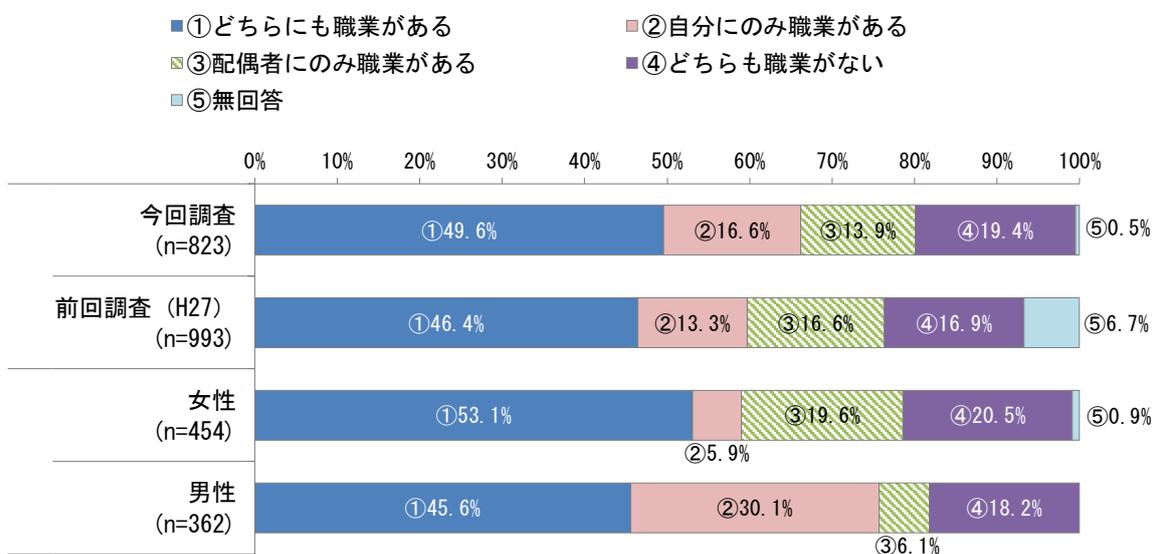
調査項目	サンプル数	結婚している (結婚していないがパートナーと暮らしている場合も含む)	離別	死別	結婚していない	無回答	注	
							小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある	上段: 回答者数 下段: 構成比
今回調査	1,178	823	71	47	225	12	■ 上位1項目	
	100.0%	69.9%	6.0%	4.0%	19.1%	1.0%		
前回調査(H27)	1,452	993	89	55	238	77		
	100.0%	68.4%	6.1%	3.8%	16.4%	5.3%		
女性	672	454	46	39	132	1		
	100.0%	67.6%	6.8%	5.8%	19.6%	0.1%		
10代	9	0	0	0	9	0		
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
20代	62	21	0	0	41	0		
	100.0%	33.9%	0.0%	0.0%	66.1%	0.0%		
30代	84	60	9	0	15	0		
	100.0%	71.4%	10.7%	0.0%	17.9%	0.0%		
40代	132	93	9	1	29	0		
	100.0%	70.5%	6.8%	0.8%	22.0%	0.0%		
50代	128	90	13	2	23	0		
	100.0%	70.3%	10.2%	1.6%	18.0%	0.0%		
60代	150	113	12	13	11	1		
	100.0%	75.3%	8.0%	8.7%	7.3%	0.7%		
70歳以上	106	76	3	23	4	0		
	100.0%	71.7%	2.8%	21.7%	3.8%	0.0%		
男性	481	362	21	8	87	3		
	100.0%	75.3%	4.4%	1.7%	18.1%	0.6%		
10代	9	0	0	0	9	0		
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
20代	37	8	0	0	29	0		
	100.0%	21.6%	0.0%	0.0%	78.4%	0.0%		
30代	54	40	2	0	12	0		
	100.0%	74.1%	3.7%	0.0%	22.2%	0.0%		
40代	61	47	1	0	13	0		
	100.0%	77.0%	1.6%	0.0%	21.3%	0.0%		
50代	90	72	6	2	10	0		
	100.0%	80.0%	6.7%	2.2%	11.1%	0.0%		
60代	127	105	9	2	10	1		
	100.0%	82.7%	7.1%	1.6%	7.9%	0.8%		
70歳以上	101	89	3	4	4	1		
	100.0%	88.1%	3.0%	4.0%	4.0%	1.0%		

調査項目	サンプル数	結婚している (結婚していないがパートナーと暮らしている場合も含む)	離別	死別	結婚していない	無回答	注	
							小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある	上段: 回答者数 下段: 構成比
正社員・正職員	406	273	24	2	107	0	■ 上位1項目	
	100.0%	67.2%	5.9%	0.5%	26.4%	0.0%		
派遣・契約社員	66	41	9	4	12	0		
	100.0%	62.1%	13.6%	6.1%	18.2%	0.0%		
パート・アルバイト	212	163	15	11	23	0		
	100.0%	76.9%	7.1%	5.2%	10.8%	0.0%		
自営業・自由業	55	41	5	1	8	0		
	100.0%	74.5%	9.1%	1.8%	14.5%	0.0%		
会社役員・経営者	32	28	0	2	2	0		
	100.0%	87.5%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%		
専業主婦(夫)	142	138	1	1	1	1		
	100.0%	97.2%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%		
学生	36	0	0	0	36	0		
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
無職	213	134	17	25	35	2		
	100.0%	62.9%	8.0%	11.7%	16.4%	0.9%		
子供有無別	858	747	60	45	4	2		
いる	100.0%	87.1%	7.0%	5.2%	0.5%	0.2%		
いない	285	75	11	2	197	0		
	100.0%	26.3%	3.9%	0.7%	69.1%	0.0%		

F5 F4で「1」と答えた方へおたずねします。

ご夫婦の職業についてどれにあたりますか。

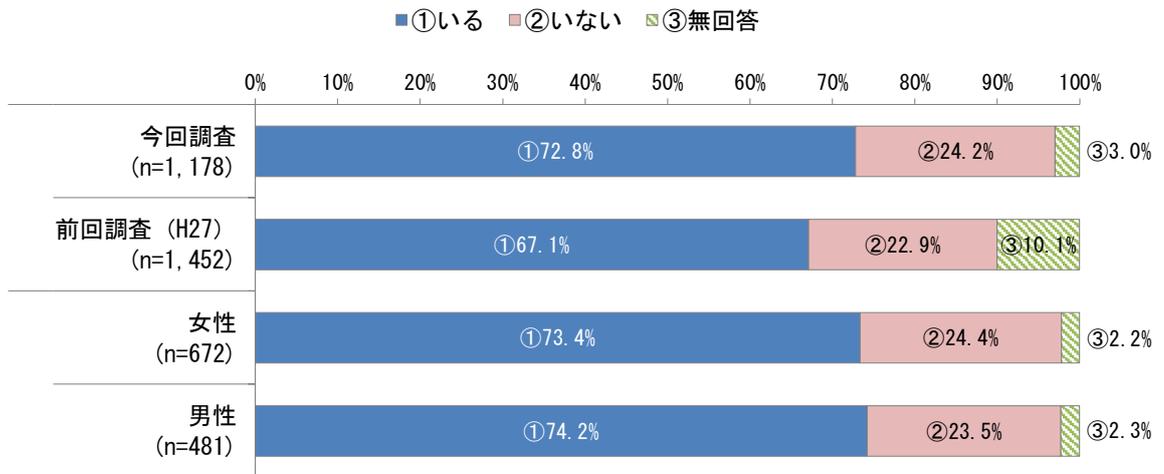
夫婦の就業状況については、「どちらにも職業がある」(49.6%)の割合が最も高く、次いで「どちらにも職業がない」(19.4%)、「自分だけに職業がある」(16.6%)となっている。



調査対象	サンプル数	就業状況					無回答	雇用形態別	サンプル数	就業状況					無回答
		どちらにも職業がある	自分だけに職業がある	配偶者だけに職業がある	どちらにも職業がない	無回答				どちらにも職業がある	自分だけに職業がある	配偶者だけに職業がある	どちらにも職業がない	無回答	
今回調査	823	408	137	114	160	4		273	206	64	2	0	1		
前回調査 (H27)	993	461	132	165	168	67		41	24	16	1	0	0		
女性	454	241	27	89	93	4	雇用形態別	163	128	33	1	0	1		
10代	0	0	0	0	0	0		41	28	13	0	0	0		
20代	21	12	0	9	0	0		28	18	10	0	0	0		
30代	60	41	0	18	0	1		28	18	10	0	0	0		
40代	93	79	1	13	0	0		138	3	0	85	49	1		
50代	90	62	3	20	2	3		0	0	0	0	0	0		
60代	113	41	15	21	36	0		0	0	0	24	110	0		
70歳以上	76	5	8	8	55	0		134	0	0	24	110	0		
男性	362	165	109	22	66	0		子供有無別	747	357	129	107	151	3	
10代	0	0	0	0	0	0	75		51	8	7	9	0		
20代	8	7	1	0	0	0	100.0%		47.8%	17.3%	14.3%	20.2%	0.4%		
30代	40	26	13	1	0	0	100.0%		68.0%	10.7%	9.3%	12.0%	0.0%		
40代	47	37	8	1	1	0									
50代	72	48	21	3	0	0									
60代	105	40	47	8	10	0									
70歳以上	89	6	19	9	55	0									

## F6 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。

子どもの有無については、「いる」が72.8%、「いない」が24.2%となっている。



調査対象	サンプル数	小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		
		いる	いない	無回答
今回調査	1,178	858	285	35
前回調査 (H27)	1,452	974	332	146
女性	672	493	164	15
10代	9	0	7	2
20代	62	16	42	4
30代	84	55	27	2
40代	132	97	32	3
50代	128	95	30	3
60代	150	129	20	1
70歳以上	106	100	6	0
男性	481	357	113	11
10代	9	0	6	3
20代	37	5	28	4
30代	54	33	21	0
40代	61	41	19	1
50代	90	70	20	0
60代	127	111	15	1
70歳以上	101	96	4	1

調査対象	サンプル数	小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		
		いる	いない	無回答
正社員・正職員	406	260	136	10
派遣・契約社員	66	47	18	1
パート・アルバイト	212	179	31	2
自営業・自由業	55	38	17	0
会社役員・経営者	32	28	4	0
専業主婦(夫)	142	132	10	0
学生	36	0	29	7
無職	213	169	40	4
結婚している	823	747	75	1
離別	71	60	11	0
死別	47	45	2	0
結婚していない	225	4	197	24

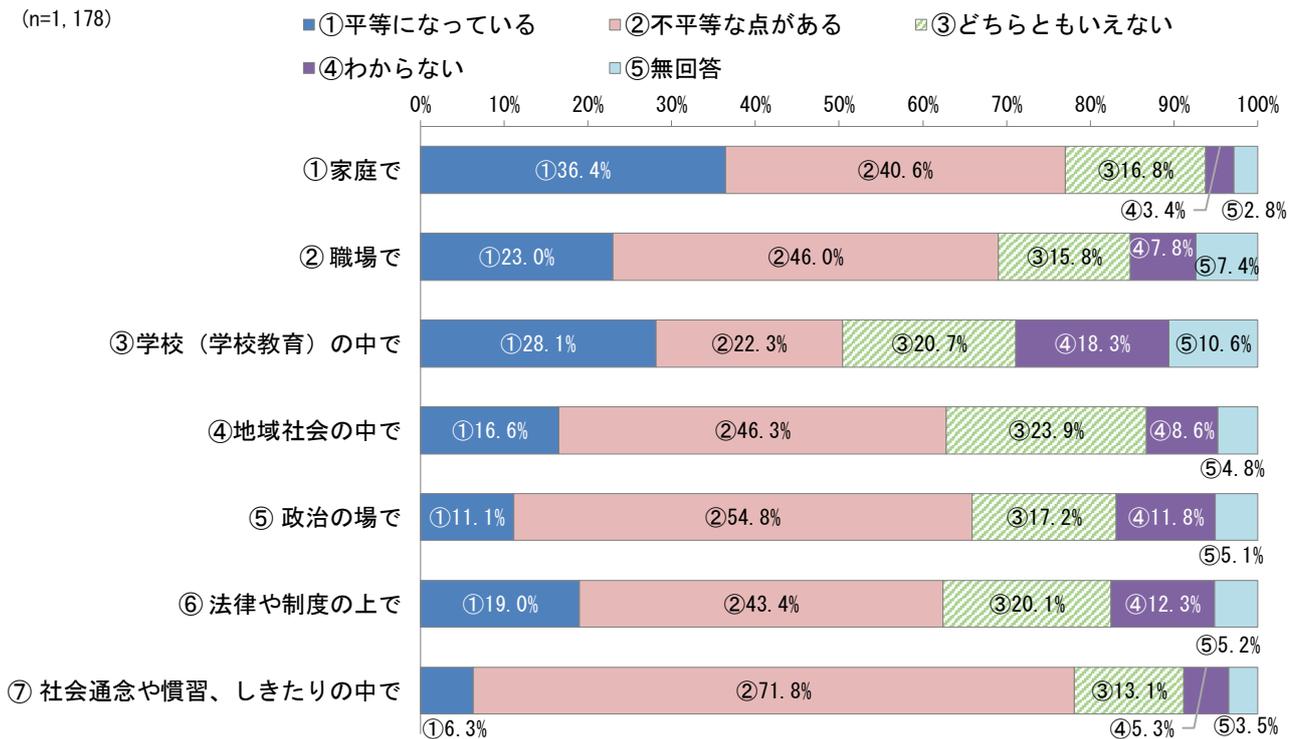
## Ⅱ 男女平等意識について

問1 男性と女性は憲法上では平等となっていますが、次にあげる①～⑦の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

男女の地位の平等感について、平等感が最も高いのは「①家庭で」(36.4%)、次いで「③学校(学校教育)の中で」(28.1%)、「②職場で」(23.0%)となっている。また、不平等感が最も高いのは「⑦社会通念や慣習、しきたりの中で」(71.8%)、次いで「⑤政治の場で」(54.8%)、「④地域社会の中で」(46.3%)となっている。

「③学校(学校教育)の中で」においては平等感が不平等感を上回っているが、その他の分野では平等感に対し不平等感が上回っている。また、「⑦社会通念や慣習、しきたりの中で」では、「平等になっている」(6.3%)と「不平等な点がある」(71.8%)に60ポイント以上の差がある。

(n=1,178)

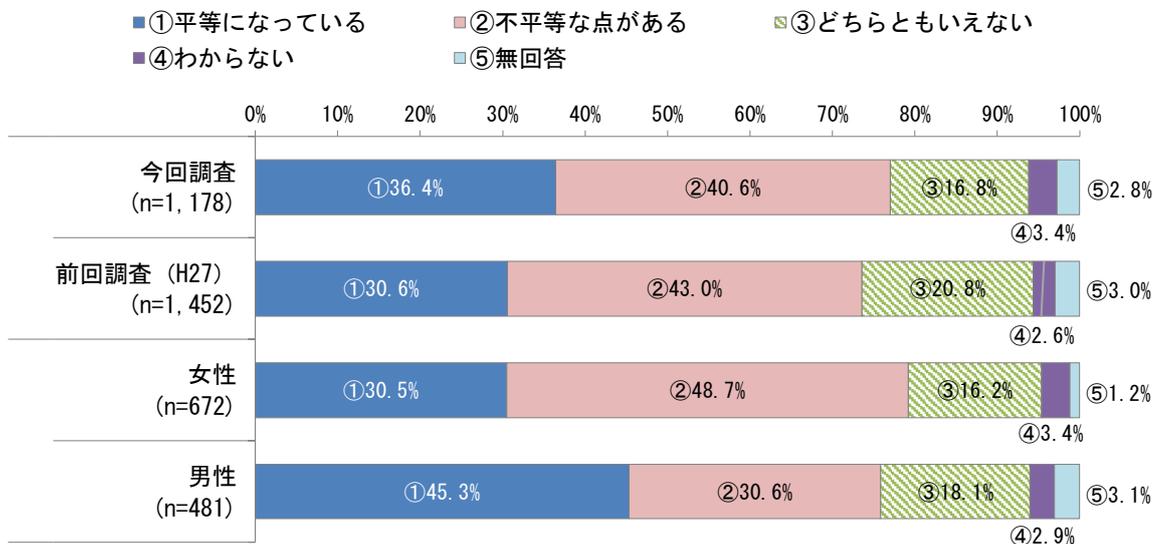


小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	平等になっている	不平等な点がある	どちらともいえない	わからない	無回答
①家庭で	1,178	429	478	198	40	33
②職場で	1,178	271	542	186	92	87
③学校(学校教育)の中で	1,178	331	263	244	215	125
④地域社会の中で	1,178	195	545	281	101	56
⑤政治の場で	1,178	131	645	203	139	60
⑥法律や制度の上で	1,178	224	511	237	145	61
⑦社会通念や慣習、しきたりの中で	1,178	74	846	154	63	41

# ①家庭で

今回調査では、「不平等な点がある」(40.6%)が最も高く、次いで「平等になっている」(36.4%)、「どちらともいえない」(16.8%)となっている。

性別でみると、女性では「不平等な点がある」が48.7%、男性では「平等になっている」が45.3%と最も高く、その差はそれぞれ10ポイント以上となっている。



	サンプル数	平等 になっている	不 平等 な 点 が あ る	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答
今回調査	1,178	429	478	198	40	33
前回調査(H27)	1,452	444	624	302	38	44
女性	672	205	327	109	23	8
10代	9	6	1	2	0	0
20代	62	24	27	9	1	1
30代	84	26	44	14	0	0
40代	132	33	66	27	5	1
50代	128	39	70	15	3	1
60代	150	39	83	19	7	2
70歳以上	106	38	36	22	7	3
男性	481	218	147	87	14	15
10代	9	5	0	4	0	0
20代	37	20	5	10	2	0
30代	54	25	19	10	0	0
40代	61	27	20	12	2	0
50代	90	30	37	17	3	3
60代	127	66	38	14	5	4
70歳以上	101	44	27	20	2	8

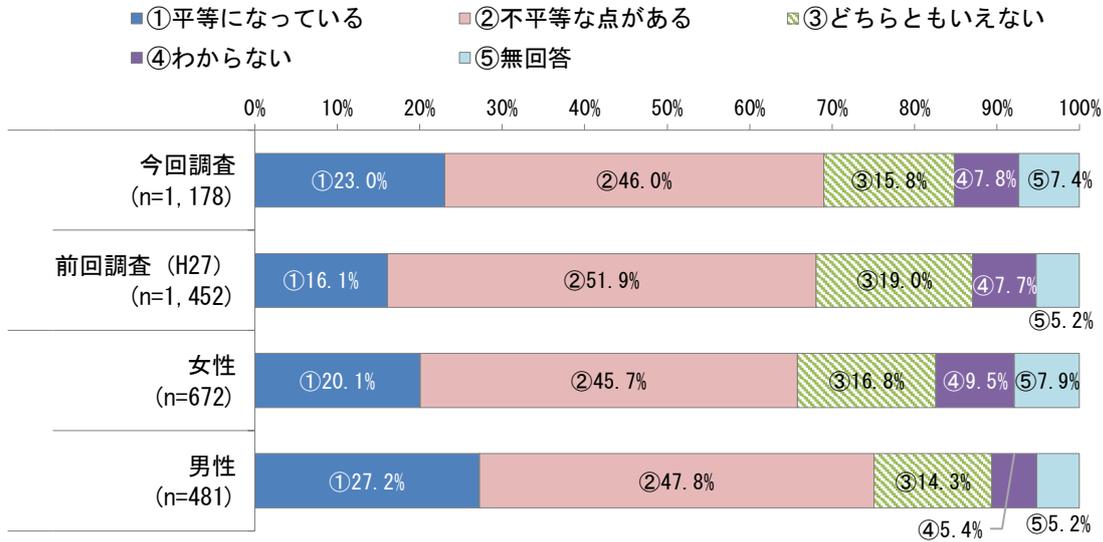
	サンプル数	平等 になっている	不 平等 な 点 が あ る	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答
正社員・正職員	406	151	171	70	12	2
派遣・契約社員	66	24	25	10	4	3
パート・アルバイト	212	71	109	27	3	2
自営業・自由業	55	24	19	9	3	0
会社役員・経営者	32	18	9	4	0	1
専業主婦(夫)	142	47	65	27	1	2
学生	36	17	8	11	0	0
無職	213	73	70	38	17	15
結婚している	823	343	340	125	5	10
離別	71	12	42	8	5	4
死別	47	10	16	11	4	6
結婚していない	225	62	79	54	26	4
子供有無別	858	326	375	127	11	19
いる	285	95	63	27	4	4
いない	285	95	63	27	4	4

## ②職場で

今回調査では、「不平等な点がある」(46.0%)が最も高く、次いで「平等になっている」(23.0%)、「どちらともいえない」(15.8%)となっている。

性別で見ると、女性・男性ともに「不平等な点がある」がそれぞれ45.7%・47.8%と最も高く、「平等になっている」に対し、その差は20ポイント以上となっている。

雇用形態別で見ると、「会社役員・経営者」では「平等になっている」が46.9%と他の分類に比べ高くなっているが、ほとんどの雇用形態では「不平等な点がある」が4～5割を占めている。



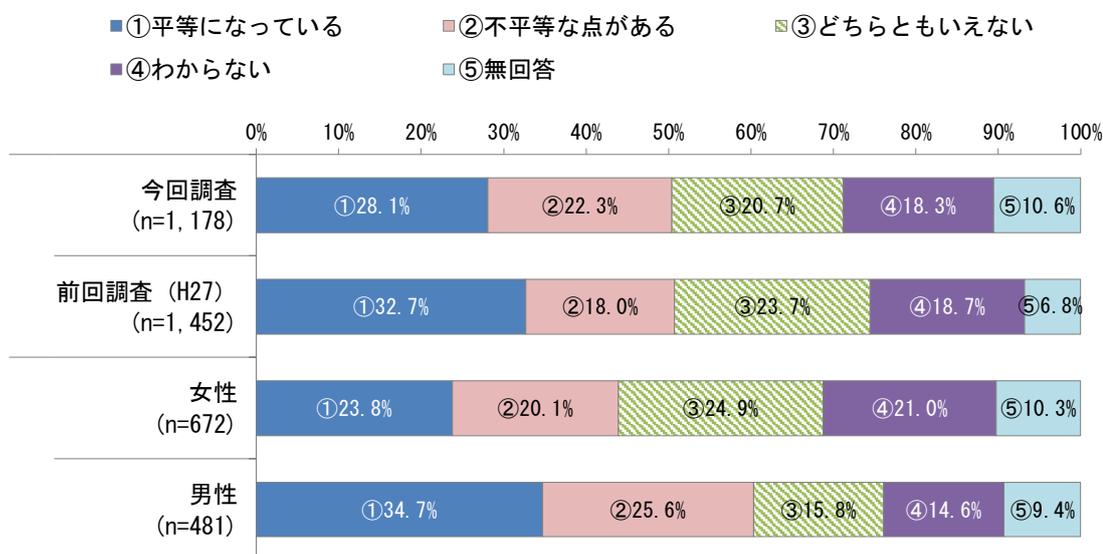
調査対象	サンプル数	平等 になっている	不平等 な点がある	どちらとも いえない	わから ない	無回 答	上位1項目	
							割合	人数
今回調査	1,178	23.0%	46.0%	15.8%	7.8%	7.4%	271	542
前回調査(H27)	1,452	16.1%	51.9%	19.0%	7.7%	5.2%	234	754
女性	672	20.1%	45.7%	16.8%	9.5%	7.9%	135	307
10代	9	11.1%	44.4%	11.1%	22.2%	11.1%	1	4
20代	62	30.6%	45.2%	14.5%	8.1%	1.6%	19	28
30代	84	31.0%	44.0%	19.0%	3.6%	2.4%	26	37
40代	132	22.7%	50.0%	23.5%	3.0%	0.8%	30	66
50代	128	18.0%	54.7%	18.0%	7.0%	2.3%	23	70
60代	150	16.7%	53.3%	13.3%	8.7%	8.0%	25	80
70歳以上	106	10.4%	20.8%	11.3%	26.4%	31.1%	11	22
男性	481	27.2%	47.8%	14.3%	5.4%	5.2%	131	230
10代	9	0.0%	44.4%	11.1%	44.4%	0.0%	0	4
20代	37	24.3%	45.9%	13.5%	13.5%	2.7%	9	17
30代	54	24.1%	50.0%	20.4%	3.7%	1.9%	13	27
40代	61	26.2%	50.8%	19.7%	3.3%	0.0%	16	31
50代	90	32.2%	47.8%	17.8%	2.2%	0.0%	29	43
60代	127	33.9%	44.9%	14.2%	3.9%	3.1%	43	57
70歳以上	101	19.8%	49.5%	5.9%	5.9%	18.8%	20	50

調査対象	サンプル数	平等 になっている	不平等 な点がある	どちらとも いえない	わから ない	無回 答	上位1項目	
							割合	人数
正社員・正職員	406	28.8%	52.7%	17.2%	1.2%	0.0%	117	214
派遣・契約社員	66	33.3%	39.4%	22.7%	4.5%	0.0%	22	26
パート・アルバイト	212	32.5%	42.0%	23.6%	1.4%	0.5%	69	89
自営業・自由業	55	32.7%	29.1%	16.4%	16.4%	5.5%	18	16
会社役員・経営者	32	46.9%	31.3%	15.6%	0.0%	6.3%	15	10
専業主婦(夫)	142	5.8%	45.1%	11.3%	20.4%	17.6%	8	64
学生	36	8.3%	52.8%	5.6%	27.8%	5.6%	3	19
無職	213	8.5%	46.5%	8.0%	15.5%	21.6%	18	99
結婚している	823	26.4%	43.6%	15.1%	7.3%	7.7%	217	359
離別	71	19.7%	47.9%	21.1%	7.0%	4.2%	14	34
死別	47	14.9%	46.8%	14.9%	12.8%	10.6%	7	22
結婚していない	225	14.2%	55.6%	17.8%	9.3%	3.1%	32	125
子供有無別	858	24.8%	44.1%	15.3%	7.6%	8.3%	213	378
いない	285	18.2%	52.6%	18.2%	8.4%	2.5%	52	150

### ③学校（学校教育）の中で

今回調査では、「平等になっている」(28.1%)が最も高く、次いで「不平等な点がある」(22.3%)、「どちらともいえない」(20.7%)となっている。

性別でみると、女性では「どちらともいえない」が24.9%、男性では「平等になっている」が34.7%と最も高く、「平等になっている」においては女性が男性より10.9ポイント下回っている。



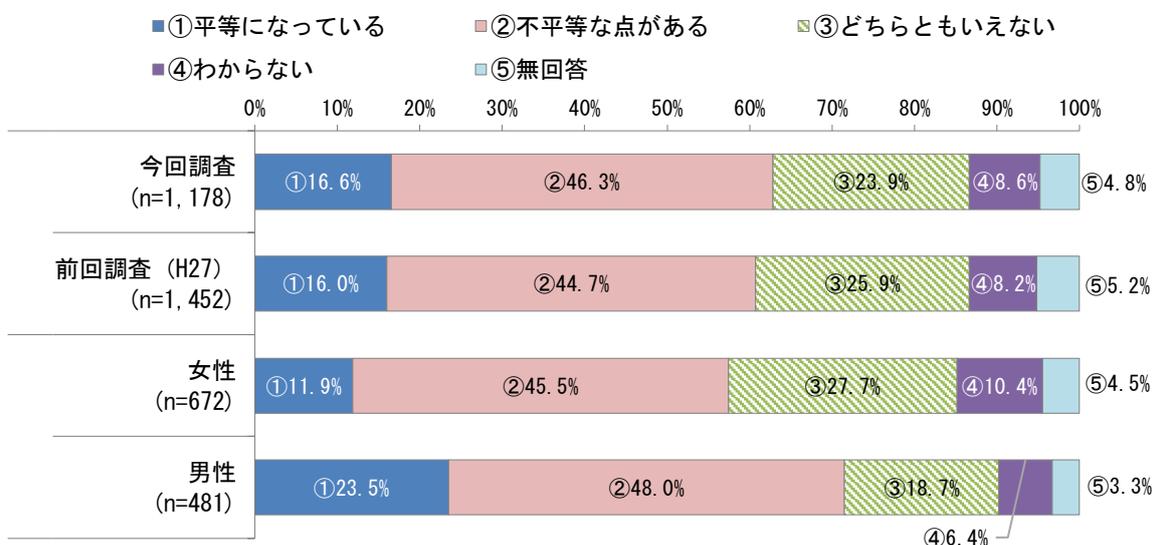
調査対象	サンプル数	平等になっている	不平等な点がある	どちらともいえない	わからない	無回答
今回調査	1,178	331 (28.1%)	263 (22.3%)	244 (20.7%)	215 (18.3%)	125 (10.6%)
前回調査 (H27)	1,452	475 (32.7%)	262 (18.0%)	344 (23.7%)	272 (18.7%)	99 (6.8%)
女性	672	160 (23.8%)	135 (20.1%)	167 (24.9%)	141 (21.0%)	69 (10.3%)
10代	9	4 (44.4%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20代	62	27 (43.5%)	8 (12.9%)	15 (24.2%)	11 (17.7%)	1 (1.6%)
30代	84	25 (29.8%)	20 (23.8%)	20 (23.8%)	17 (20.2%)	2 (2.4%)
40代	132	37 (28.0%)	28 (21.2%)	48 (36.4%)	17 (12.9%)	2 (1.5%)
50代	128	26 (20.3%)	27 (21.1%)	43 (33.6%)	27 (21.1%)	5 (3.9%)
60代	150	21 (14.0%)	39 (26.0%)	29 (19.3%)	37 (24.7%)	24 (16.0%)
70歳以上	106	20 (18.9%)	11 (10.4%)	8 (7.5%)	32 (30.2%)	35 (33.0%)
男性	481	167 (34.7%)	123 (25.6%)	76 (15.8%)	70 (14.6%)	45 (9.4%)
10代	9	2 (22.2%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)
20代	37	10 (27.0%)	13 (35.1%)	4 (10.8%)	9 (24.3%)	1 (2.7%)
30代	54	17 (31.5%)	12 (22.2%)	11 (20.4%)	12 (22.2%)	2 (3.7%)
40代	61	22 (36.1%)	20 (32.8%)	10 (16.4%)	8 (13.1%)	1 (1.6%)
50代	90	32 (35.6%)	18 (20.0%)	25 (27.8%)	13 (14.4%)	2 (2.2%)
60代	127	52 (40.9%)	32 (25.2%)	12 (9.4%)	15 (11.8%)	16 (12.6%)
70歳以上	101	31 (30.7%)	22 (21.8%)	13 (12.9%)	12 (11.9%)	23 (22.8%)

調査対象	サンプル数	平等になっている	不平等な点がある	どちらともいえない	わからない	無回答
正社員・正職員	406	144 (35.5%)	94 (23.2%)	85 (20.9%)	70 (17.2%)	13 (3.2%)
派遣・契約社員	66	17 (25.8%)	11 (16.7%)	13 (19.7%)	18 (27.3%)	7 (10.6%)
パート・アルバイト	212	52 (24.5%)	49 (23.1%)	53 (25.0%)	41 (19.3%)	17 (8.0%)
自営業・自由業	55	21 (38.2%)	12 (21.8%)	10 (18.2%)	7 (12.7%)	5 (9.1%)
会社役員・経営者	32	14 (43.8%)	5 (15.6%)	3 (9.4%)	4 (12.5%)	6 (18.8%)
専業主婦(夫)	142	21 (14.8%)	30 (21.1%)	37 (26.1%)	32 (22.5%)	22 (15.5%)
学生	36	13 (36.1%)	14 (38.9%)	7 (19.4%)	2 (5.6%)	0 (0.0%)
無職	213	48 (22.5%)	46 (21.6%)	34 (16.0%)	39 (18.3%)	46 (21.6%)
結婚している	823	249 (30.3%)	171 (20.8%)	163 (19.8%)	149 (18.1%)	91 (11.1%)
離別	71	14 (19.7%)	24 (33.8%)	17 (23.9%)	11 (15.5%)	5 (7.0%)
死別	47	15 (31.9%)	8 (17.0%)	6 (12.8%)	10 (21.3%)	8 (17.0%)
結婚していない	225	52 (23.1%)	58 (25.8%)	58 (25.8%)	45 (20.0%)	12 (5.3%)
子供有無別	858	257 (30.0%)	187 (21.8%)	172 (20.0%)	142 (16.6%)	100 (11.7%)
いない	285	69 (24.2%)	68 (23.9%)	66 (23.2%)	67 (23.5%)	15 (5.3%)

#### ④地域社会の中で

今回調査では、「不平等な点がある」(46.3%)が最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.9%)、「平等になっている」(16.6%)となっている。

性別で見ると、女性・男性ともに「不平等な点がある」がそれぞれ45.5%・48.0%と最も高く、「平等になっている」においては女性が男性より11.6ポイント下回っている。



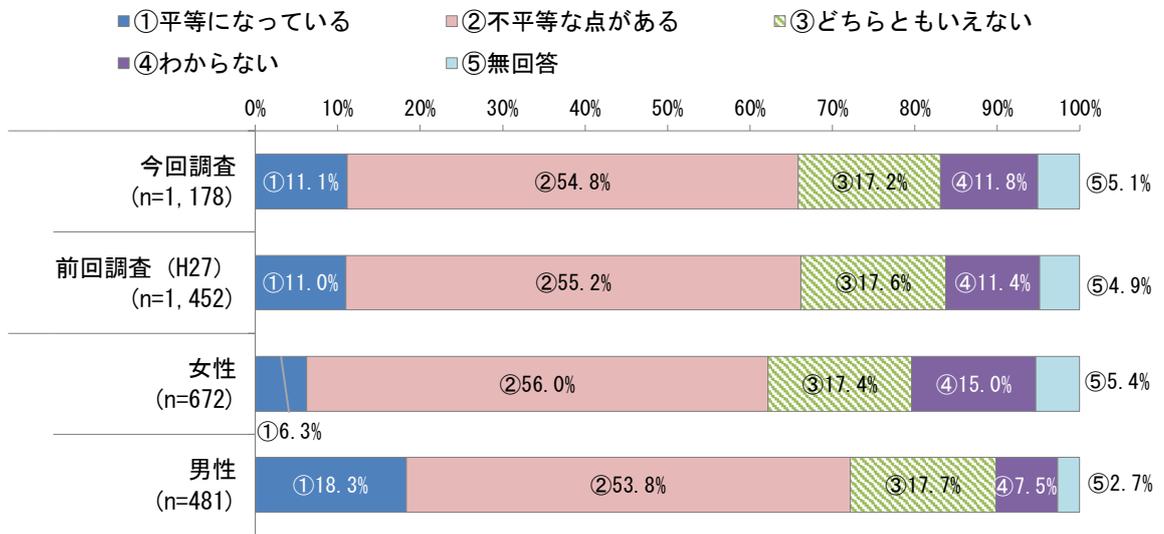
	サンプル数	平等 になっている	不 平等 な 点 が あ る	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答
今回調査	1,178	195	545	281	101	56
前回調査 (H27)	1,452	233	649	376	119	75
女性	672	80	306	186	70	30
10代	9	2	3	3	1	0
20代	62	12	27	14	8	1
30代	84	11	49	12	11	1
40代	132	13	68	40	9	2
50代	128	8	65	41	10	4
60代	150	16	65	46	16	7
70歳以上	106	18	29	29	15	15
男性	481	113	231	90	31	16
10代	9	2	2	3	2	0
20代	37	10	14	5	6	2
30代	54	10	29	9	5	1
40代	61	14	32	12	3	0
50代	90	18	49	17	4	2
60代	127	37	60	22	5	3
70歳以上	101	21	44	22	6	8

	サンプル数	平等 になっている	不 平等 な 点 が あ る	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答
正社員・正職員	406	78	207	86	28	7
派遣・契約社員	66	10	31	18	6	1
パート・アルバイト	212	30	97	56	23	6
自営業・自由業	55	13	28	10	2	2
会社役員・経営者	32	9	13	6	2	2
専業主婦(夫)	142	16	59	45	12	10
学生	36	8	16	7	5	0
無職	213	29	89	52	23	20
結婚している	823	142	380	197	67	37
離別	71	9	39	17	5	1
死別	47	7	19	16	2	3
結婚していない	225	36	105	51	27	6
子供有無別	858	147	399	211	62	39
いる	285	46	131	67	35	6
いない	858	147	399	211	62	39

## ⑤政治の場で

今回調査では、「不平等な点がある」(54.8%)が最も高く、次いで「どちらともいえない」(17.2%)となっている。

性別でみると、女性・男性ともに「不平等な点がある」がそれぞれ56.0%・53.8%と最も高く、「平等になっている」においては女性が男性より12.0ポイント下回っている。



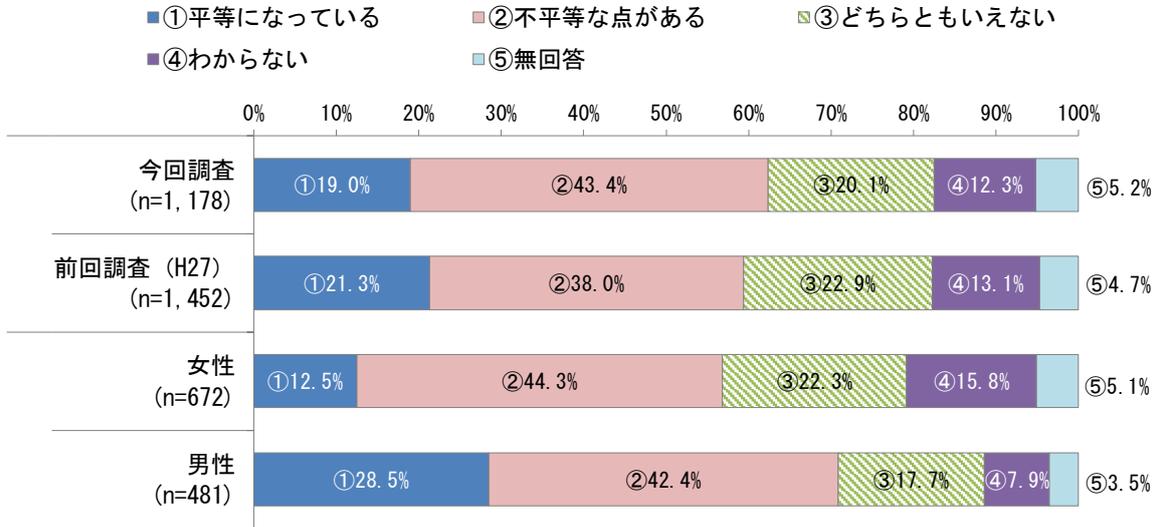
	サンプル数	平等になっている	不平等な点がある	どちらともいえない	わからない	無回答
今回調査	1,178	131	645	203	139	60
前回調査(H27)	1,452	160	801	255	165	71
女性	672	42	376	117	101	36
10代	9	0	5	2	2	0
20代	62	5	38	9	9	1
30代	84	8	52	17	7	0
40代	132	6	82	24	16	4
50代	128	5	82	25	13	3
60代	150	10	82	22	28	8
70歳以上	106	8	35	17	26	20
男性	481	88	259	85	36	13
10代	9	1	5	3	0	0
20代	37	5	17	7	8	0
30代	54	8	35	9	2	0
40代	61	11	31	14	5	0
50代	90	18	51	14	6	1
60代	127	29	65	23	5	5
70歳以上	101	15	54	15	10	7

	サンプル数	平等になっている	不平等な点がある	どちらともいえない	わからない	無回答
正社員・正職員	406	57	234	72	39	4
派遣・契約社員	66	5	36	15	9	1
パート・アルバイト	212	15	119	37	34	7
自営業・自由業	55	7	33	11	2	2
会社役員・経営者	32	10	14	4	3	1
専業主婦(夫)	142	9	81	23	16	13
学生	36	2	24	6	4	0
無職	213	25	99	34	32	23
結婚している	823	100	450	137	96	40
離別	71	5	41	19	5	1
死別	47	5	19	8	10	5
結婚していない	225	20	133	39	28	5
子供有無別	858	101	457	150	105	45
いる	285	29	168	49	33	6
いない	285	29	168	49	33	6

## ⑥法律や制度の上で

今回調査では、「不平等な点がある」(43.4%)が最も高く、次いで「どちらともいえない」(20.1%)、「平等になっている」(19.0%)となっている。

性別で見ると、女性・男性ともに「不平等な点がある」がそれぞれ44.3%・42.4%と最も高く、「平等になっている」においては女性が男性より16.0ポイント下回っている。



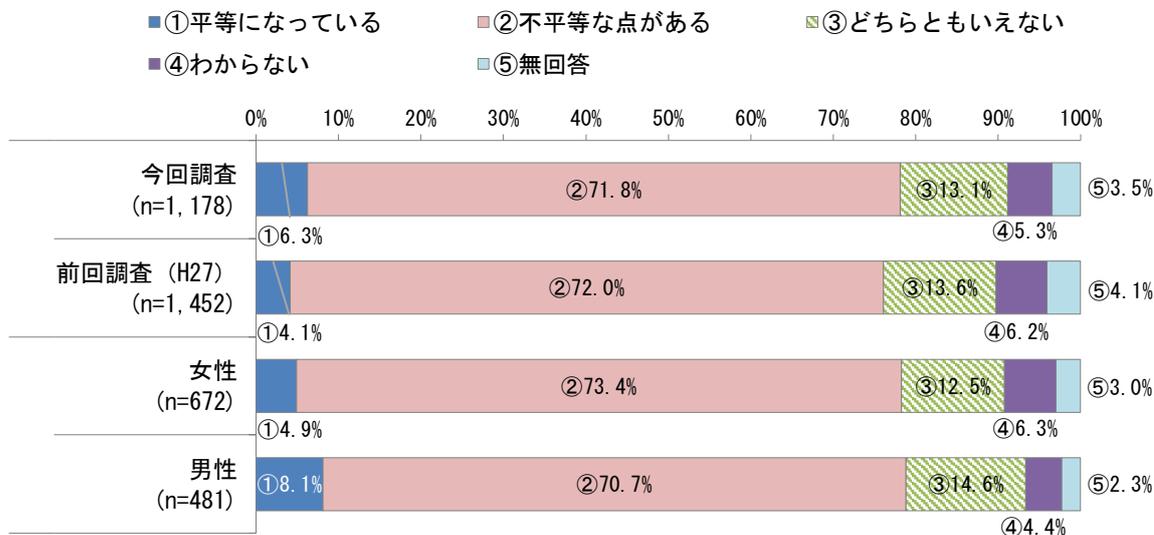
	サンプル数	平等 になっている	不 平等 な 点 が あ る	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答
今回調査	1,178	224	511	237	145	61
前回調査(H27)	1,452	310	552	332	190	68
女性	672	84	298	150	106	34
10代	9	3	2	2	2	0
20代	62	13	24	12	12	1
30代	84	14	43	17	10	0
40代	132	13	70	32	15	2
50代	128	8	67	33	15	5
60代	150	14	65	31	30	10
70歳以上	106	19	27	22	22	16
男性	481	137	204	85	38	17
10代	9	5	2	1	1	0
20代	37	7	16	5	8	1
30代	54	19	30	4	1	0
40代	61	17	27	13	4	0
50代	90	22	40	17	10	1
60代	127	40	51	26	4	6
70歳以上	101	26	37	19	10	9

	サンプル数	平等 になっている	不 平等 な 点 が あ る	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答
今回調査	1,178	224	511	237	145	61
前回調査(H27)	1,452	310	552	332	190	68
女性	672	84	298	150	106	34
10代	9	3	2	2	2	0
20代	62	13	24	12	12	1
30代	84	14	43	17	10	0
40代	132	13	70	32	15	2
50代	128	8	67	33	15	5
60代	150	14	65	31	30	10
70歳以上	106	19	27	22	22	16
男性	481	137	204	85	38	17
10代	9	5	2	1	1	0
20代	37	7	16	5	8	1
30代	54	19	30	4	1	0
40代	61	17	27	13	4	0
50代	90	22	40	17	10	1
60代	127	40	51	26	4	6
70歳以上	101	26	37	19	10	9

## ⑦社会通念や慣習、しきたりの中で

今回調査では、「不平等な点がある」(71.8%)が最も高く、次いで「どちらともいえない」(13.1%)、「平等になっている」(6.3%)となっている。

性別でみると、女性・男性ともに「不平等な点がある」がそれぞれ73.4%・70.7%と最も高くなっている。



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	平等になっている	不平等な点がある	どちらともいえない	わからない	無回答
今回調査	1,178	74 6.3%	846 71.8%	154 13.1%	63 5.3%	41 3.5%
前回調査(H27)	1,452	60 4.1%	1,045 72.0%	198 13.6%	90 6.2%	59 4.1%
女性	672	33 4.9%	493 73.4%	84 12.5%	42 6.3%	20 3.0%
10代	9	0 0.0%	5 55.6%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%
20代	62	5 8.1%	44 71.0%	8 12.9%	4 6.5%	1 1.6%
30代	84	5 6.0%	73 86.9%	4 4.8%	2 2.4%	0 0.0%
40代	132	5 3.8%	100 75.8%	20 15.2%	5 3.8%	2 1.5%
50代	128	2 1.6%	105 82.0%	16 12.5%	3 2.3%	2 1.6%
60代	150	7 4.7%	107 71.3%	15 10.0%	14 9.3%	7 4.7%
70歳以上	106	9 8.5%	59 55.7%	18 17.0%	12 11.3%	8 7.5%
男性	481	39 8.1%	340 70.7%	70 14.6%	21 4.4%	11 2.3%
10代	9	2 22.2%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
20代	37	3 8.1%	26 70.3%	4 10.8%	3 8.1%	1 2.7%
30代	54	5 9.3%	43 79.6%	4 7.4%	2 3.7%	0 0.0%
40代	61	2 3.3%	45 73.8%	10 16.4%	4 6.6%	0 0.0%
50代	90	4 4.4%	66 73.3%	15 16.7%	4 4.4%	1 1.1%
60代	127	13 10.2%	90 70.9%	19 15.0%	2 1.6%	3 2.4%
70歳以上	101	9 8.9%	64 63.4%	16 15.8%	6 5.9%	6 5.9%

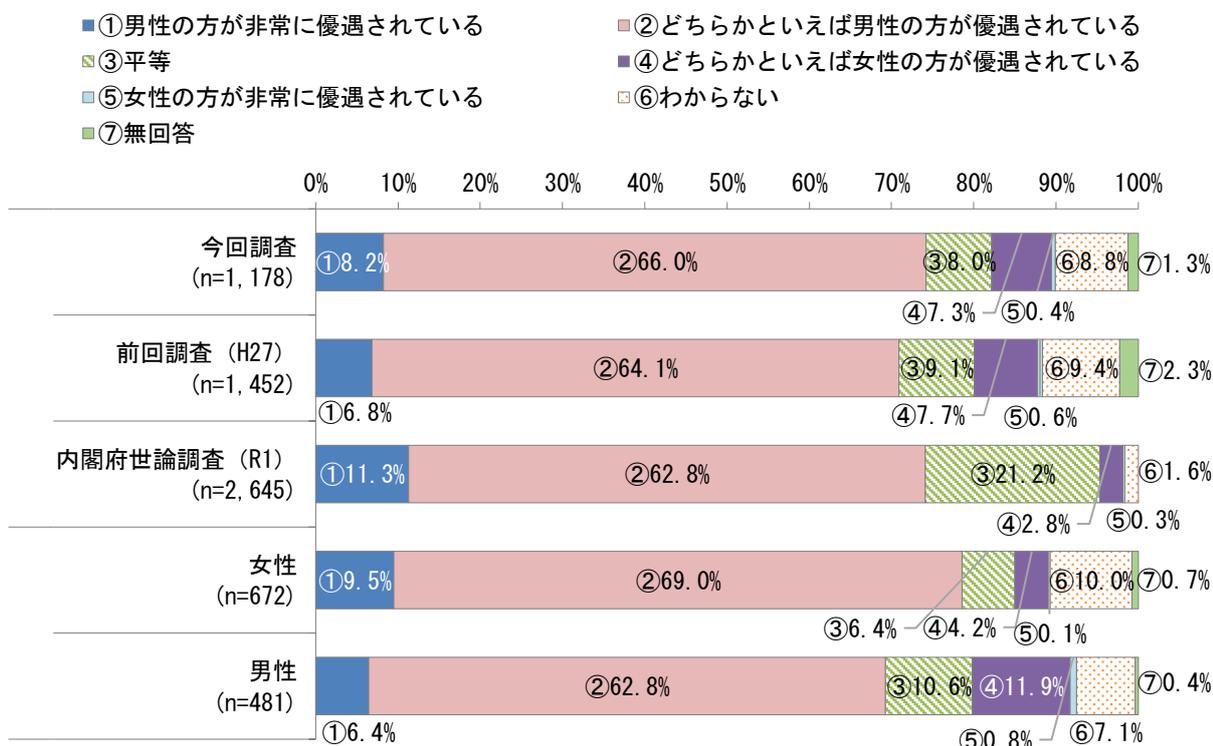
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	平等になっている	不平等な点がある	どちらともいえない	わからない	無回答
正社員・正職員	406	24 5.9%	319 78.6%	48 11.8%	12 3.0%	3 0.7%
派遣・契約社員	66	3 4.5%	46 69.7%	11 16.7%	4 6.1%	2 3.0%
パート・アルバイト	212	11 5.2%	162 76.4%	21 9.9%	15 7.1%	3 1.4%
自営業・自由業	55	4 7.3%	41 74.5%	6 10.9%	3 5.5%	1 1.8%
会社役員・経営者	32	8 25.0%	17 53.1%	5 15.6%	1 3.1%	1 3.1%
専業主婦(夫)	142	7 4.9%	103 72.5%	21 14.8%	3 2.1%	8 5.6%
学生	36	3 8.3%	25 69.4%	6 16.7%	2 5.6%	0 0.0%
無職	213	13 6.1%	128 60.1%	35 16.4%	23 10.8%	14 6.6%
配偶関係別	823	54 6.6%	594 72.2%	104 12.6%	45 5.5%	26 3.2%
結婚している	71	4 5.6%	51 71.8%	11 15.5%	4 5.6%	1 1.4%
離別	47	2 4.3%	31 66.0%	10 21.3%	2 4.3%	2 4.3%
死別	225	14 6.2%	167 74.2%	29 12.9%	12 5.3%	3 1.3%
結婚していない	858	54 6.3%	614 71.6%	115 13.4%	48 5.6%	27 3.1%
いる	285	19 6.7%	211 74.0%	36 12.6%	14 4.9%	5 1.8%
いない						

## 問2 社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(〇は1つ)

今回調査では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(66.0%)が最も高く、次いで「わからない」(8.8%)、「男性の方が非常に優遇されている」(8.2%)となっている。また、『男性優遇』(「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」)が74.2%、『女性優遇』(「女性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」)が7.7%となっており、『男性優遇』が『女性優遇』を大きく上回っている。

『男性優遇』とする割合は、今回調査では74.2%、前回調査では70.9%、内閣府世論調査では74.1%となっている。『男性優遇』の割合は未だ高く、前回調査と比較すると、3.3ポイント上回っている。また、内閣府世論調査と比較すると、「平等」とする割合は、13.2ポイント下回っている。

性別で見ると、『男性優遇』(女性：78.5%、男性：69.2%)の割合は、女性が男性より9.3ポイント上回っている。

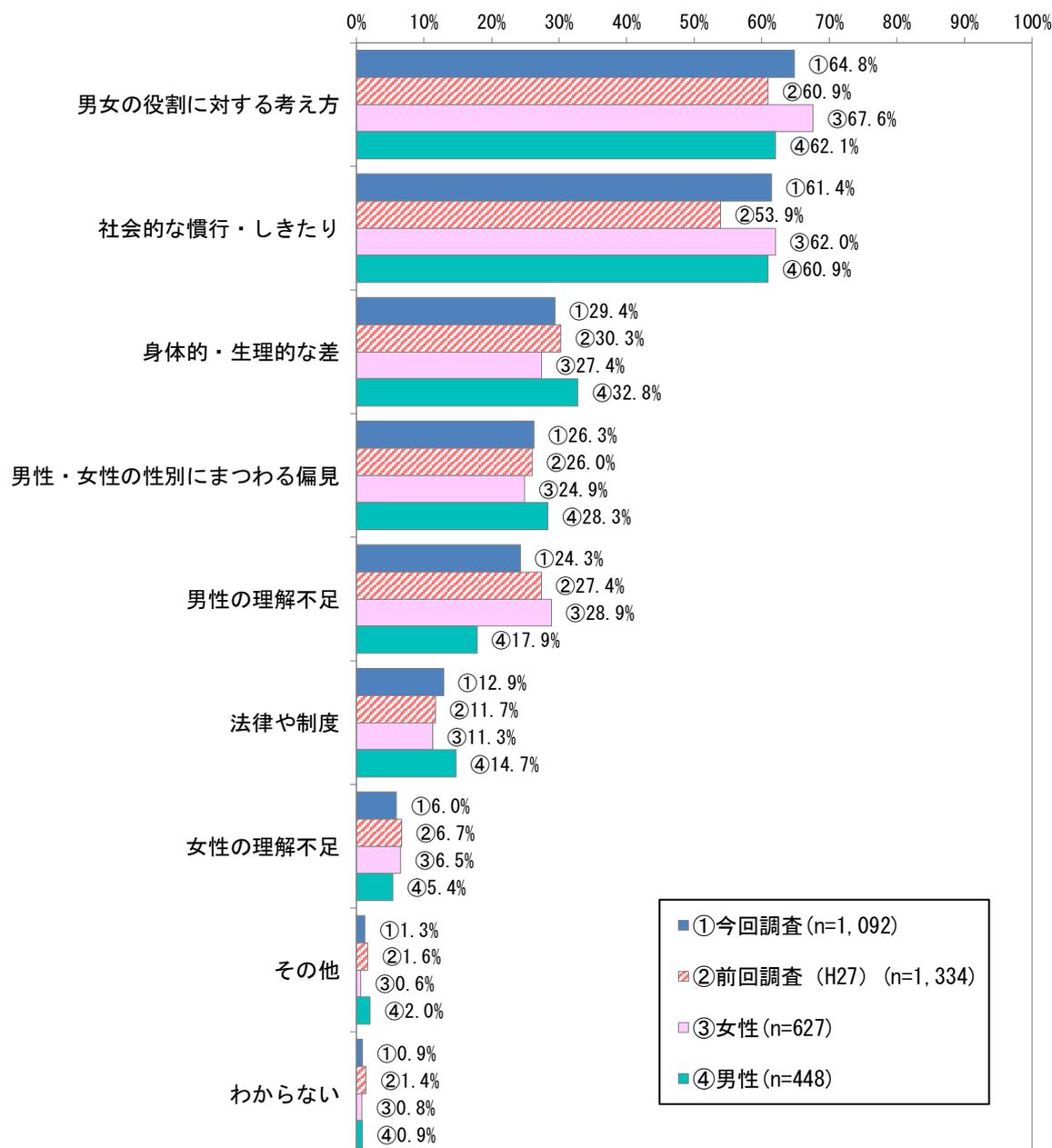


<p>小数点第2位を 四捨五入している ため、合計は100% と一致しない場合 がある</p> <p>上段：回答者数 下段：構成比</p> <p>■ 上位1項目</p>	サンプル数	男性の方が非常に優遇されている	どちらの方が優遇されればよい	平等	どちらの方が優遇されればよい	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
今回調査	1,178 100.0%	97 8.2%	777 66.0%	94 8.0%	86 7.3%	5 0.4%	104 8.8%	15 1.3%
前回調査(H27)	1,452 100.0%	99 6.8%	931 64.1%	132 9.1%	112 7.7%	9 0.6%	136 9.4%	33 2.3%
内閣府世論調査(R1)	2,645	11.3%	62.8%	21.2%	2.8%	0.3%	1.6%	-
女性	672 100.0%	64 9.5%	464 69.0%	43 6.4%	28 4.2%	1 0.1%	67 10.0%	5 0.7%
10代	9 100.0%	0 0.0%	7 77.8%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
20代	62 100.0%	2 3.2%	45 72.6%	5 8.1%	1 1.6%	0 0.0%	8 12.9%	1 1.6%
30代	84 100.0%	11 13.1%	56 66.7%	4 4.8%	4 4.8%	0 0.0%	9 10.7%	0 0.0%
40代	132 100.0%	10 7.6%	92 69.7%	6 4.5%	9 6.8%	1 0.8%	12 9.1%	2 1.5%
50代	128 100.0%	15 11.7%	99 77.3%	4 3.1%	2 1.6%	0 0.0%	8 6.3%	0 0.0%
60代	150 100.0%	15 10.0%	98 65.3%	9 6.0%	9 6.0%	0 0.0%	18 12.0%	1 0.7%
70歳以上	106 100.0%	11 10.4%	66 62.3%	15 14.2%	2 1.9%	0 0.0%	11 10.4%	1 0.9%
男性	481 100.0%	31 6.4%	302 62.8%	51 10.6%	57 11.9%	4 0.8%	34 7.1%	2 0.4%
10代	9 100.0%	0 0.0%	4 44.4%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
20代	37 100.0%	3 8.1%	19 51.4%	4 10.8%	7 18.9%	1 2.7%	3 8.1%	0 0.0%
30代	54 100.0%	2 3.7%	29 53.7%	3 5.6%	14 25.9%	1 1.9%	5 9.3%	0 0.0%
40代	61 100.0%	2 3.3%	37 60.7%	4 6.6%	13 21.3%	0 0.0%	5 8.2%	0 0.0%
50代	90 100.0%	4 4.4%	64 71.1%	7 7.8%	7 7.8%	1 1.1%	7 7.8%	0 0.0%
60代	127 100.0%	12 9.4%	81 63.8%	19 15.0%	8 6.3%	1 0.8%	6 4.7%	0 0.0%
70歳以上	101 100.0%	8 7.9%	66 65.3%	13 12.9%	5 5.0%	0 0.0%	7 6.9%	2 2.0%
雇用形態別	406 100.0%	26 6.4%	269 66.3%	29 7.1%	43 10.6%	4 1.0%	34 8.4%	1 0.2%
派遣・契約社員	66 100.0%	7 10.6%	43 65.2%	5 7.6%	4 6.1%	0 0.0%	7 10.6%	0 0.0%
パート・アルバイト	212 100.0%	15 7.1%	150 70.8%	16 7.5%	12 5.7%	1 0.5%	17 8.0%	1 0.5%
自営業・自由業	55 100.0%	6 10.9%	40 72.7%	2 3.6%	3 5.5%	0 0.0%	4 7.3%	0 0.0%
会社役員・経営者	32 100.0%	2 6.3%	19 59.4%	7 21.9%	2 6.3%	0 0.0%	2 6.3%	0 0.0%
専業主婦(夫)	142 100.0%	14 9.9%	99 69.7%	10 7.0%	6 4.2%	0 0.0%	12 8.5%	1 0.7%
学生	36 100.0%	1 2.8%	23 63.9%	3 8.3%	5 13.9%	0 0.0%	4 11.1%	0 0.0%
無職	213 100.0%	24 11.3%	129 60.6%	21 9.9%	11 5.2%	0 0.0%	24 11.3%	4 1.9%
配偶関係別	823 100.0%	66 8.0%	563 68.4%	69 8.4%	52 6.3%	2 0.2%	67 8.1%	4 0.5%
離別	71 100.0%	9 12.7%	44 62.0%	4 5.6%	6 8.5%	2 2.8%	5 7.0%	1 1.4%
死別	47 100.0%	3 6.4%	30 63.8%	6 12.8%	2 4.3%	1 2.1%	5 10.6%	0 0.0%
結婚していない	225 100.0%	19 8.4%	138 61.3%	14 6.2%	26 11.6%	0 0.0%	27 12.0%	1 0.4%
子供有無別	858 100.0%	70 8.2%	587 68.4%	71 8.3%	52 6.1%	3 0.3%	70 8.2%	5 0.6%
いない	285 100.0%	23 8.1%	171 60.0%	22 7.7%	33 11.6%	2 0.7%	33 11.6%	1 0.4%
性別役割分担別	242 100.0%	15 6.2%	162 66.9%	23 9.5%	24 9.9%	0 0.0%	12 5.0%	6 2.5%
反対	774 100.0%	70 9.0%	534 69.0%	56 7.2%	46 5.9%	5 0.6%	58 7.5%	5 0.6%
わからない	149 100.0%	10 6.7%	76 51.0%	14 9.4%	16 10.7%	0 0.0%	33 22.1%	0 0.0%

問3 問1で「2.」、問2で「1.」「2.」「4.」「5.」のいずれかを選んだ方におたずねします。その主な原因はどこにあると思いますか。(〇は3つまで)

男女における不平等感の原因について、今回調査では、「男女の役割に対する考え方」(64.8%)が最も高く、次いで「社会的な慣行・しきたり」(61.4%)、「身体的・生理的な差」(29.4%)となっている。

性別で見ると、「男性の理解不足」(女性：28.9%、男性：17.9%)では、女性が男性を11.0ポイント上回っている。



(主なその他の回答)

- ・政治家の考え方
- ・職場における男女平等に関する意識の低さ
- ・女性の社会進出と過保護のバランスがとれていない
- ・教育

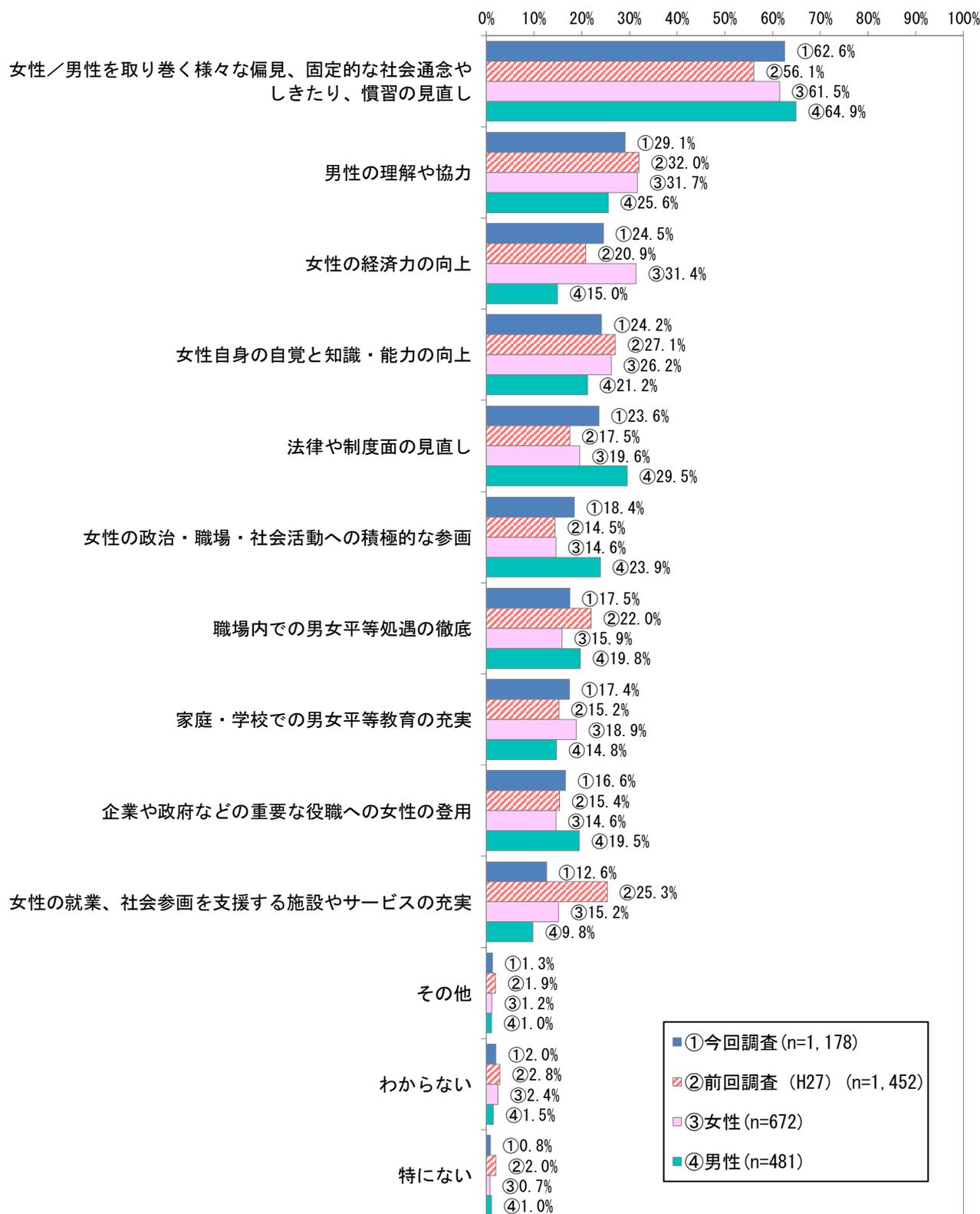
複数回答のため 合計は100%に ならない  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	男女の 考え方	身体的・ 生理的な 差	男性・ 女性の 性別に まつわる 偏見	社会的な 慣行・し き	女性 の理解 不足	男性 の理解 不足	法律 や制度	その他	わから ない
		に対する								
今回調査	1,092 -	708 64.8%	321 29.4%	287 26.3%	671 61.4%	65 6.0%	265 24.3%	141 12.9%	14 1.3%	10 0.9%
前回調査(H27)	1,334 -	813 60.9%	404 30.3%	347 26.0%	719 53.9%	89 6.7%	365 27.4%	156 11.7%	22 1.6%	19 1.4%
女性	627 -	424 67.6%	172 27.4%	156 24.9%	389 62.0%	41 6.5%	181 28.9%	71 11.3%	4 0.6%	5 0.8%
10代	9 -	7 77.8%	1 11.1%	4 44.4%	3 33.3%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%
20代	55 -	32 58.2%	20 36.4%	14 25.5%	31 56.4%	4 7.3%	19 34.5%	6 10.9%	0 0.0%	0 0.0%
30代	81 -	55 67.9%	32 39.5%	20 24.7%	53 65.4%	7 8.6%	19 23.5%	9 11.1%	1 1.2%	0 0.0%
40代	126 -	86 68.3%	39 31.0%	27 21.4%	80 63.5%	5 4.0%	33 26.2%	18 14.3%	1 0.8%	1 0.8%
50代	126 -	88 69.8%	32 25.4%	38 30.2%	82 65.1%	8 6.3%	36 28.6%	16 12.7%	0 0.0%	0 0.0%
60代	137 -	102 74.5%	29 21.2%	32 23.4%	86 62.8%	8 5.8%	51 37.2%	11 8.0%	2 1.5%	0 0.0%
70歳以上	92 -	53 57.6%	19 20.7%	21 22.8%	53 57.6%	9 9.8%	21 22.8%	10 10.9%	0 0.0%	2 2.2%
男性	448 -	278 62.1%	147 32.8%	127 28.3%	273 60.9%	24 5.4%	80 17.9%	66 14.7%	9 2.0%	4 0.9%
10代	8 -	4 50.0%	2 25.0%	4 50.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20代	36 -	26 72.2%	13 36.1%	11 30.6%	19 52.8%	1 2.8%	4 11.1%	5 13.9%	0 0.0%	0 0.0%
30代	54 -	30 55.6%	16 29.6%	16 29.6%	35 64.8%	8 14.8%	9 16.7%	8 14.8%	2 3.7%	0 0.0%
40代	58 -	34 58.6%	15 25.9%	13 22.4%	40 69.0%	5 8.6%	7 12.1%	15 25.9%	2 3.4%	2 3.4%
50代	85 -	57 67.1%	36 42.4%	22 25.9%	51 60.0%	4 4.7%	19 22.4%	14 16.5%	1 1.2%	1 1.2%
60代	116 -	75 64.7%	34 29.3%	38 32.8%	75 64.7%	2 1.7%	21 18.1%	18 15.5%	1 0.9%	0 0.0%
70歳以上	89 -	50 56.2%	31 34.8%	23 25.8%	50 56.2%	3 3.4%	19 21.3%	6 6.7%	3 3.4%	1 1.1%
雇用形態別	392 -	253 64.5%	122 31.1%	105 26.8%	250 63.8%	22 5.6%	77 19.6%	60 15.3%	5 1.3%	4 1.0%
派遣・契約社員	62 -	41 66.1%	21 33.9%	18 29.0%	39 62.9%	4 6.5%	15 24.2%	11 17.7%	0 0.0%	1 1.6%
パート・アルバイト	200 -	140 70.0%	57 28.5%	42 21.0%	125 62.5%	13 6.5%	66 33.0%	27 13.5%	2 1.0%	1 0.5%
自営業・自由業	53 -	32 60.4%	15 28.3%	15 28.3%	33 62.3%	1 1.9%	15 28.3%	7 13.2%	2 3.8%	0 0.0%
会社役員・経営者	26 -	19 73.1%	10 38.5%	3 11.5%	16 61.5%	1 3.8%	6 23.1%	2 7.7%	1 3.8%	0 0.0%
専業主婦(夫)	130 -	88 67.7%	41 31.5%	36 27.7%	77 59.2%	5 3.8%	41 31.5%	12 9.2%	1 0.8%	0 0.0%
学生	35 -	27 77.1%	9 25.7%	16 45.7%	19 54.3%	1 2.9%	6 17.1%	3 8.6%	0 0.0%	0 0.0%
無職	187 -	102 54.5%	46 24.6%	50 26.7%	107 57.2%	17 9.1%	39 20.9%	19 10.2%	3 1.6%	3 1.6%
配偶関係別	772 -	498 64.5%	229 29.7%	197 25.5%	480 62.2%	40 5.2%	193 25.0%	89 11.5%	12 1.6%	6 0.8%
離別	67 -	46 68.7%	21 31.3%	19 28.4%	39 58.2%	4 6.0%	16 23.9%	14 20.9%	1 1.5%	0 0.0%
死別	40 -	26 65.0%	8 20.0%	10 25.0%	25 62.5%	1 2.5%	10 25.0%	4 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
結婚していない	210 -	137 65.2%	62 29.5%	61 29.0%	124 59.0%	20 9.5%	46 21.9%	33 15.7%	1 0.5%	4 1.9%
子供有無別	803 -	523 65.1%	237 29.5%	206 25.7%	493 61.4%	38 4.7%	208 25.9%	103 12.8%	10 1.2%	6 0.7%
いない	263 -	167 63.5%	79 30.0%	71 27.0%	164 62.4%	24 9.1%	52 19.8%	35 13.3%	4 1.5%	3 1.1%
性別役割分担別	221 -	146 66.1%	80 36.2%	47 21.3%	126 57.0%	15 6.8%	42 19.0%	20 9.0%	3 1.4%	2 0.9%
反対	736 -	483 65.6%	199 27.0%	202 27.4%	473 64.3%	46 6.3%	198 26.9%	105 14.3%	8 1.1%	4 0.5%
わからない	126 -	73 57.9%	41 32.5%	34 27.0%	67 53.2%	4 3.2%	24 19.0%	16 12.7%	2 1.6%	3 2.4%

問4 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、どのようなことが重要であると思いますか。(〇は3つまで)

今回調査では、「女性／男性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念やしきたり、慣習の見直し」(62.6%)が最も高く、次いで「男性の理解や協力」(29.1%)、「女性の経済力の向上」(24.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「女性の就業、社会参画を支援する施設やサービスの充実」では、今回調査(12.6%)が前回調査(25.3%)を12.7ポイント下回っている。

性別で見ると、「女性の経済力の向上」(女性：31.4%、男性：15.0%)では女性が男性を16.4ポイント上回り、「法律や制度面の見直し」(女性：19.6%、男性：29.5%)では9.9ポイント、「女性の政治・職場・社会活動への積極的な参画」(女性：14.6%、男性：23.9%)では9.3ポイント、女性が男性を下回っている。



(主なその他の回答)

- ・ 過酷な労働文化の見直し(心身のゆとり)
- ・ 一人間として自立を一人一人がしていくこと
- ・ 性別にかかわらず、実力で選ぶべき
- ・ 教員の勉強不足
- ・ 育児・産前・産後の休暇を全ての企業で平等にして欲しい
- ・ 男女等しく生活の質や自分の思い描く生涯設計の実現を大切にする
- ・ 男女にとらわれず、経験と能力を重視する

複数回答のため 合計は100%に ならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	法律や 制度面の 見直し	女性／ 男性を取り 巻く様々 な見直し きたり、慣 習の見直し	女性 の経済力 の向上	女性 自身の自 覚と知識 ・ 能力の向 上	女性 の政治・ 職場・社 会活動へ の積極的 な参画	企業や政 府などの 重要な 役職への 女性の登 用	家庭・学 校での男 女平等 教育の充 実	職場内 での男女 平等処遇 の徹底	男性の理 解や協力	女性の就 業、社会 参画の支 援する施 設やサー ビスを の充実	その他	わから ない	特 に ない
今回調査	1,178	23.6%	62.6%	24.5%	24.2%	18.4%	16.6%	17.4%	17.5%	29.1%	12.6%	1.3%	2.0%	0.8%
前回調査(H27)	1,452	17.5%	56.1%	20.9%	27.1%	14.5%	15.4%	15.2%	22.0%	32.0%	25.3%	1.9%	2.8%	2.0%
女性	672	132	413	211	176	98	98	127	107	213	102	8	16	5
10代	9	2	6	1	0	2	3	2	3	3	1	0	0	0
20代	62	10	43	22	4	7	13	17	11	18	10	0	1	0
30代	84	27	55	31	13	6	12	17	11	25	14	4	1	0
40代	132	24	85	48	30	22	20	26	20	45	21	1	1	0
50代	128	26	88	36	47	16	13	22	20	43	16	2	3	0
60代	150	28	94	45	44	25	20	29	27	49	22	1	3	4
70歳以上	106	14	41	28	38	20	17	14	15	29	18	0	7	1
男性	481	142	312	72	102	115	94	71	95	123	47	5	7	5
10代	9	1	8	2	0	5	1	1	1	1	0	0	0	0
20代	37	13	24	7	5	4	6	6	10	10	1	0	0	0
30代	54	16	37	8	14	10	3	11	12	13	8	2	1	0
40代	61	27	39	9	7	6	13	8	10	16	10	1	2	1
50代	90	27	59	8	21	16	22	14	17	26	10	2	2	1
60代	127	32	84	22	22	43	33	20	20	33	9	0	0	2
70歳以上	101	26	60	15	33	31	16	10	25	23	9	0	2	1
雇用形態別	406	105	269	96	90	71	61	72	81	111	56	7	4	3
正社員・正職員	66	17	44	16	17	16	11	7	9	25	2	1	1	0
派遣・契約社員	212	43	135	66	53	33	34	55	26	69	31	2	2	1
パート・アルバイト	55	15	36	8	10	7	11	8	8	15	8	2	2	0
自営業・自由業	32	10	18	6	12	9	7	2	2	3	2	0	0	2
会社役員・経営者	142	34	88	45	39	19	14	20	24	57	28	2	3	2
専業主婦(夫)	36	7	26	7	1	8	12	9	9	7	3	0	0	0
学生	213	46	113	37	59	51	44	30	43	53	18	1	12	2
無職	823	199	520	204	201	159	132	140	141	254	113	8	12	9
配偶関係別	71	15	38	21	25	10	13	15	13	21	9	1	2	0
結婚している	47	4	23	10	11	13	8	9	8	6	5	2	3	0
離別	225	60	151	51	44	34	40	39	41	58	21	4	7	1
死別	285	67	191	72	61	43	47	41	59	68	32	6	8	1
結婚していない	858	203	524	211	216	172	140	155	140	267	114	9	16	9
子供有無別	285	67	191	72	61	43	47	41	59	68	32	6	8	1
いる	285	23.5%	67.0%	25.3%	21.4%	15.1%	16.5%	14.4%	20.7%	23.9%	11.2%	2.1%	2.8%	0.4%
いない	858	23.7%	61.1%	24.6%	25.2%	20.0%	16.3%	18.1%	16.3%	31.1%	13.3%	1.0%	1.9%	1.0%

問5 現在の法律では、夫婦は同じ姓を名乗るようになっていますが、「同姓」か「別姓」かを選択できるようにすることについてどう思いますか。(〇は1つ)

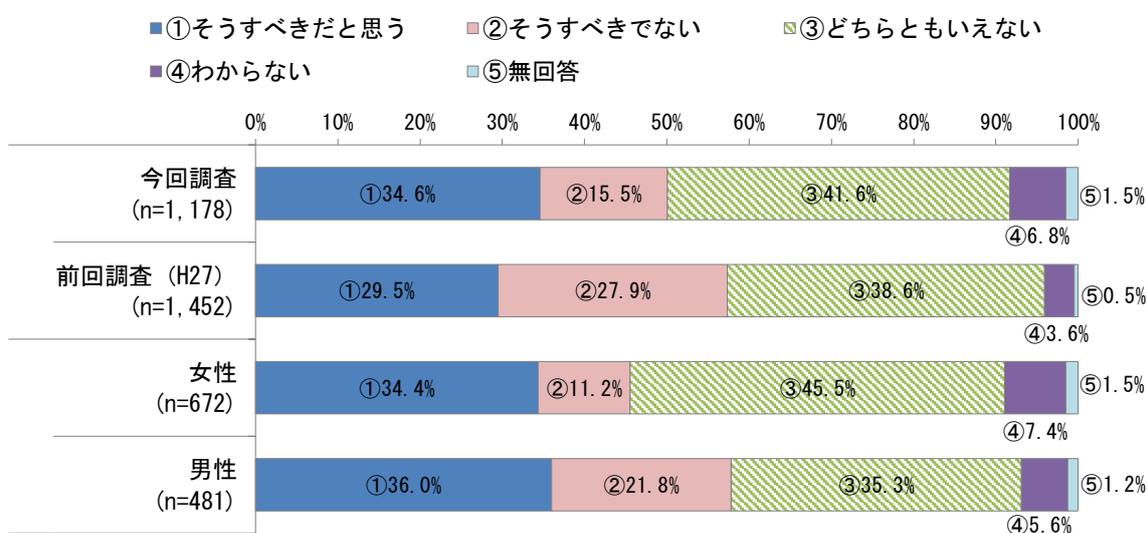
夫婦同姓・別姓の選択に対する考えについて、今回調査では、「どちらともいえない」(41.6%)が最も高く、次いで「そうすべきだと思う」(34.6%)、「そうすべきでない」(15.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「そうすべきでない」では、今回調査(15.5%)が前回調査(27.9%)を12.4ポイント下回っている。

性別で見ると、「そうすべきでない」(女性:11.2%、男性:21.8%)では女性が男性を10.6ポイント下回り、「どちらともいえない」(女性:45.5%、男性:35.3%)では女性が男性を10.2ポイント上回っている。

年代別で見ると、女性の10代・20代、男性の10代・30代・50代では「そうすべきだと思う」が5割以上となっている。「そうすべきでない」の割合は、ほとんどの年代が2割以下であるのに対し、男性の70歳以上では約4割と高くなっている。

雇用形態別で見ると、「学生」では「そうすべきだと思う」が約7割と高くなっている。



小数点第2位を 四捨五入している ため、合計は100% と一致しない場合 がある  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サ ン プ ル 数	そ う す べ き だ と 思 う	そ う す べ き で な い	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答	
今回調査	1,178 100.0%	407 34.6%	183 15.5%	490 41.6%	80 6.8%	18 1.5%	
前回調査(H27)	1,452 100.0%	428 29.5%	405 27.9%	560 38.6%	52 3.6%	7 0.5%	
女性	672 100.0%	231 34.4%	75 11.2%	306 45.5%	50 7.4%	10 1.5%	
10代	9 100.0%	7 77.8%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	
20代	62 100.0%	34 54.8%	2 3.2%	20 32.3%	6 9.7%	0 0.0%	
30代	84 100.0%	35 41.7%	4 4.8%	38 45.2%	6 7.1%	1 1.2%	
40代	132 100.0%	56 42.4%	12 9.1%	54 40.9%	9 6.8%	1 0.8%	
50代	128 100.0%	45 35.2%	13 10.2%	63 49.2%	6 4.7%	1 0.8%	
60代	150 100.0%	37 24.7%	23 15.3%	75 50.0%	13 8.7%	2 1.3%	
70歳以上	106 100.0%	17 16.0%	20 18.9%	55 51.9%	10 9.4%	4 3.8%	
男性	481 100.0%	173 36.0%	105 21.8%	170 35.3%	27 5.6%	6 1.2%	
10代	9 100.0%	5 55.6%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	
20代	37 100.0%	16 43.2%	5 13.5%	12 32.4%	4 10.8%	0 0.0%	
30代	54 100.0%	29 53.7%	7 13.0%	16 29.6%	2 3.7%	0 0.0%	
40代	61 100.0%	15 24.6%	12 19.7%	29 47.5%	5 8.2%	0 0.0%	
50代	90 100.0%	45 50.0%	11 12.2%	27 30.0%	6 6.7%	1 1.1%	
60代	127 100.0%	41 32.3%	29 22.8%	52 40.9%	4 3.1%	1 0.8%	
70歳以上	101 100.0%	22 21.8%	41 40.6%	29 28.7%	5 5.0%	4 4.0%	
雇用形態別	正社員・正職員	406 100.0%	164 40.4%	50 12.3%	159 39.2%	27 6.7%	6 1.5%
	派遣・契約社員	66 100.0%	22 33.3%	8 12.1%	29 43.9%	5 7.6%	2 3.0%
	パート・アルバイト	212 100.0%	70 33.0%	24 11.3%	99 46.7%	18 8.5%	1 0.5%
	自営業・自由業	55 100.0%	19 34.5%	7 12.7%	24 43.6%	4 7.3%	1 1.8%
	会社役員・経営者	32 100.0%	9 28.1%	11 34.4%	10 31.3%	1 3.1%	1 3.1%
	専業主婦(夫)	142 100.0%	48 33.8%	22 15.5%	62 43.7%	9 6.3%	1 0.7%
	学生	36 100.0%	25 69.4%	2 5.6%	8 22.2%	1 2.8%	0 0.0%
	無職	213 100.0%	47 22.1%	59 27.7%	88 41.3%	14 6.6%	5 2.3%
配偶関係別	結婚している	823 100.0%	268 32.6%	147 17.9%	349 42.4%	49 6.0%	10 1.2%
	離別	71 100.0%	25 35.2%	11 15.5%	25 35.2%	8 11.3%	2 2.8%
	死別	47 100.0%	9 19.1%	6 12.8%	25 53.2%	6 12.8%	1 2.1%
	結婚していない	225 100.0%	102 45.3%	18 8.0%	84 37.3%	17 7.6%	4 1.8%
子供有無別	いる	858 100.0%	262 30.5%	155 18.1%	376 43.8%	53 6.2%	12 1.4%
	いない	285 100.0%	134 47.0%	26 9.1%	96 33.7%	25 8.8%	4 1.4%

### Ⅲ 家庭生活について

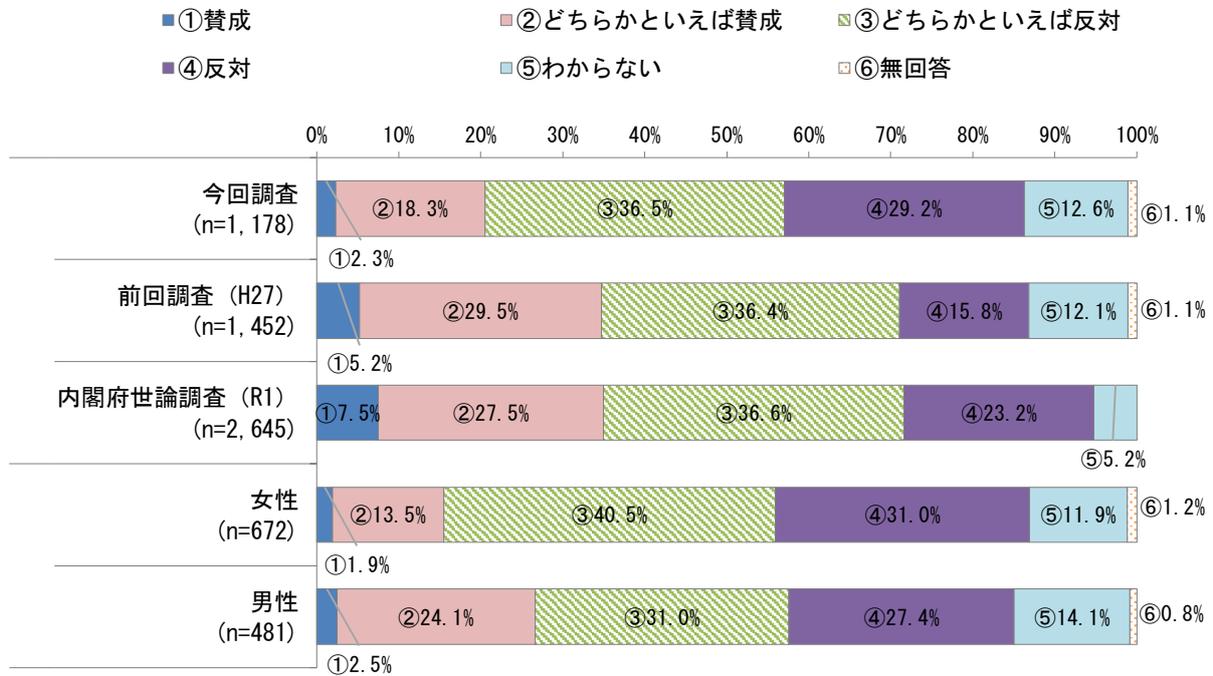
#### 問6 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

今回調査では、『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）が20.6%、『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）が65.7%となっている。

前回調査と比較すると、『賛成』が14.1ポイント下回り、『反対』が13.5ポイント上回っている。

性別で見ると、『賛成』（女性：15.4%、男性：26.6%）では女性が男性を11.2ポイント下回り、『反対』（女性：71.5%、男性：58.4%）では女性が男性を13.1ポイント上回っている。

内閣府世論調査と比較すると、『賛成』の割合は低く、『反対』の割合が高くなっており、本市においては性別による固定的な役割を否定する市民が多い。



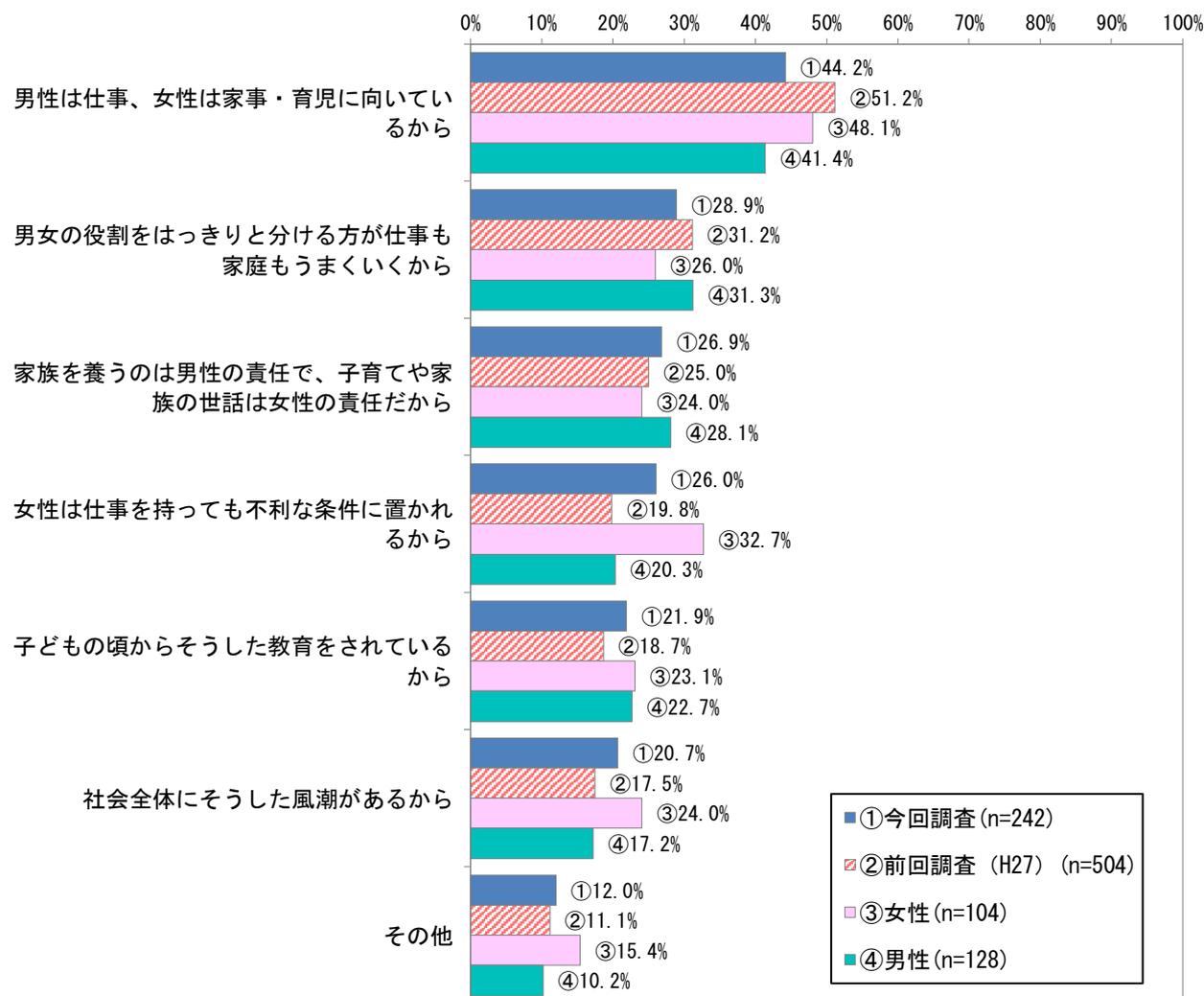
	サンプル数	賛成		反対		わからない	無回答
		賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対		
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段:回答者数 下段:構成比 ■ 上位1項目							
今回調査	1,178 100.0%	27 2.3%	215 18.3%	430 36.5%	344 29.2%	149 12.6%	13 1.1%
前回調査(H27)	1,452 100.0%	76 5.2%	428 29.5%	528 36.4%	229 15.8%	175 12.1%	16 1.1%
内閣府世論調査(R1)	2,645	7.5%	27.5%	36.6%	23.2%	5.2%	-
女性	672 100.0%	13 1.9%	91 13.5%	272 40.5%	208 31.0%	80 11.9%	8 1.2%
10代	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	7 77.8%	1 11.1%	0 0.0%
20代	62 100.0%	0 0.0%	6 9.7%	24 38.7%	25 40.3%	7 11.3%	0 0.0%
30代	84 100.0%	4 4.8%	13 15.5%	30 35.7%	29 34.5%	8 9.5%	0 0.0%
40代	132 100.0%	2 1.5%	14 10.6%	47 35.6%	53 40.2%	14 10.6%	2 1.5%
50代	128 100.0%	3 2.3%	15 11.7%	53 41.4%	37 28.9%	19 14.8%	1 0.8%
60代	150 100.0%	2 1.3%	16 10.7%	75 50.0%	38 25.3%	17 11.3%	2 1.3%
70歳以上	106 100.0%	2 1.9%	27 25.5%	41 38.7%	19 17.9%	14 13.2%	3 2.8%
男性	481 100.0%	12 2.5%	116 24.1%	149 31.0%	132 27.4%	68 14.1%	4 0.8%
10代	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%	0 0.0%
20代	37 100.0%	2 5.4%	4 10.8%	9 24.3%	13 35.1%	9 24.3%	0 0.0%
30代	54 100.0%	4 7.4%	8 14.8%	14 25.9%	19 35.2%	9 16.7%	0 0.0%
40代	61 100.0%	0 0.0%	14 23.0%	17 27.9%	21 34.4%	9 14.8%	0 0.0%
50代	90 100.0%	4 4.4%	14 15.6%	29 32.2%	24 26.7%	19 21.1%	0 0.0%
60代	127 100.0%	0 0.0%	43 33.9%	41 32.3%	31 24.4%	10 7.9%	2 1.6%
70歳以上	101 100.0%	2 2.0%	32 31.7%	37 36.6%	18 17.8%	10 9.9%	2 2.0%
雇用形態別							
正社員・正職員	406 100.0%	9 2.2%	57 14.0%	142 35.0%	140 34.5%	57 14.0%	1 0.2%
派遣・契約社員	66 100.0%	0 0.0%	11 16.7%	26 39.4%	17 25.8%	10 15.2%	2 3.0%
パート・アルバイト	212 100.0%	4 1.9%	33 15.6%	89 42.0%	56 26.4%	28 13.2%	2 0.9%
自営業・自由業	55 100.0%	1 1.8%	14 25.5%	17 30.9%	17 30.9%	4 7.3%	2 3.6%
会社役員・経営者	32 100.0%	0 0.0%	12 37.5%	6 18.8%	8 25.0%	6 18.8%	0 0.0%
専業主婦(夫)	142 100.0%	4 2.8%	32 22.5%	61 43.0%	32 22.5%	13 9.2%	0 0.0%
学生	36 100.0%	1 2.8%	3 8.3%	6 16.7%	23 63.9%	3 8.3%	0 0.0%
無職	213 100.0%	8 3.8%	46 21.6%	78 36.6%	49 23.0%	26 12.2%	6 2.8%
配偶関係別							
結婚している	823 100.0%	21 2.6%	171 20.8%	299 36.3%	232 28.2%	94 11.4%	6 0.7%
離別	71 100.0%	1 1.4%	10 14.1%	31 43.7%	18 25.4%	9 12.7%	2 2.8%
死別	47 100.0%	1 2.1%	6 12.8%	24 51.1%	10 21.3%	5 10.6%	1 2.1%
結婚していない	225 100.0%	4 1.8%	21 9.3%	73 32.4%	83 36.9%	41 18.2%	3 1.3%
子供有無別							
いる	858 100.0%	20 2.3%	176 20.5%	335 39.0%	222 25.9%	96 11.2%	9 1.0%
いない	285 100.0%	6 2.1%	33 11.6%	84 29.5%	109 38.2%	50 17.5%	3 1.1%

問7 問6で「1」「2」と答えた方におたずねします。

その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

性別役割分担に対する考え方に賛成する理由について、今回調査では、「男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから」(44.2%)が最も高く、次いで「男女の役割をはっきりと分ける方が仕事も家庭もうまくいくから」(28.9%)、「家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから」(26.9%)となっている。

性別でみると、「女性は仕事を持ってても不利な条件に置かれるから」(女性:32.7%、男性:20.3%)では女性が男性を12.4ポイント上回っている。



(主なその他の回答)

- ・生物学的に考えても男女の役割分担は妥当なものだと思う
- ・子どもが小さい間は、やはり子どもには母親の愛が必要だと思うから
- ・女性には母性本能が備わっているから
- ・余裕があるなら働かず、子育てや自分の趣味に時間を使いたい

複数回答のため 合計は100%に ならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	ら	男	話	任	家	教	子	利	女	う	男	分	が	社	そ	
		事・育	性	は	で、	族を	育を	を	の	性	は	ま	女	け	あ	会	他
		性・育児に向い	は仕事、女性	は女性の責任だから	で、子育てや家族の世	族を養うのは男性の	育をされているから	子どもの頃からそうした	性は仕事を持って不	性は仕事を持って不	うまくいくから	女の役割をはっきりと	ける方が仕事も家庭も	があるから	社会全体にそうした風	潮	
今回調査	242	107	65	53	63	70	50	29	-	44.2%	26.9%	21.9%	26.0%	28.9%	20.7%	12.0%	
前回調査(H27)	504	258	126	94	100	157	88	56	-	51.2%	25.0%	18.7%	19.8%	31.2%	17.5%	11.1%	
女性	104	50	25	24	34	27	25	16	-	48.1%	24.0%	23.1%	32.7%	26.0%	24.0%	15.4%	
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
20代	6	3	1	0	3	2	2	1	-	50.0%	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%	33.3%	16.7%	
30代	17	5	3	2	5	7	6	3	-	29.4%	17.6%	11.8%	29.4%	41.2%	35.3%	17.6%	
40代	16	10	2	2	5	4	4	4	-	62.5%	12.5%	12.5%	31.3%	25.0%	6.3%	25.0%	
50代	18	7	3	4	9	3	8	4	-	38.9%	16.7%	22.2%	50.0%	16.7%	44.4%	22.2%	
60代	18	11	3	6	6	2	4	2	-	61.1%	16.7%	33.3%	33.3%	11.1%	22.2%	11.1%	
70歳以上	29	14	13	10	6	9	4	2	-	48.3%	44.8%	34.5%	20.7%	31.0%	13.8%	6.9%	
男性	128	53	36	29	26	40	22	13	-	41.4%	28.1%	22.7%	20.3%	31.3%	17.2%	10.2%	
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
20代	6	4	2	1	0	2	1	1	-	66.7%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	
30代	12	6	1	1	2	7	3	1	-	50.0%	8.3%	8.3%	16.7%	58.3%	25.0%	8.3%	
40代	14	4	3	1	7	7	2	0	-	28.6%	21.4%	7.1%	50.0%	50.0%	14.3%	0.0%	
50代	18	10	4	3	4	5	3	3	-	55.6%	22.2%	16.7%	22.2%	27.8%	16.7%	16.7%	
60代	43	18	13	8	10	8	5	5	-	41.9%	30.2%	18.6%	23.3%	18.6%	16.3%	11.6%	
70歳以上	34	10	13	15	3	11	6	3	-	29.4%	38.2%	44.1%	8.8%	32.4%	17.6%	8.8%	
雇用形態別																	
正社員・正職員	66	29	12	10	24	20	16	5	-	43.9%	18.2%	15.2%	36.4%	30.3%	24.2%	7.6%	
派遣・契約社員	11	6	3	3	2	2	3	2	-	54.5%	27.3%	27.3%	18.2%	18.2%	27.3%	18.2%	
パート・アルバイト	37	14	10	6	13	12	9	4	-	37.8%	27.0%	16.2%	35.1%	32.4%	16.2%	24.3%	
自営業・自由業	15	6	3	2	3	4	4	4	-	40.0%	20.0%	13.3%	20.0%	26.7%	6.7%	26.7%	
会社役員・経営者	12	8	1	4	1	4	0	0	-	66.7%	8.3%	33.3%	8.3%	33.3%	8.3%	0.0%	
専業主婦(夫)	36	16	9	10	7	8	5	5	-	44.4%	25.0%	27.8%	19.4%	22.2%	22.2%	13.9%	
学生	4	1	1	1	0	2	1	1	-	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	
無職	54	24	23	17	9	16	12	3	-	44.4%	42.6%	31.5%	16.7%	29.6%	22.2%	5.6%	
配偶関係別																	
結婚している	192	82	54	45	47	53	37	24	-	42.7%	28.1%	23.4%	24.5%	27.6%	19.3%	12.5%	
離別	11	5	4	1	4	3	3	2	-	45.5%	36.4%	9.1%	36.4%	27.3%	27.3%	18.2%	
死別	7	4	0	4	2	1	0	0	-	57.1%	0.0%	57.1%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	
結婚していない	25	12	4	3	7	10	7	3	-	48.0%	16.0%	12.0%	28.0%	40.0%	28.0%	12.0%	
子供有無別																	
いる	196	87	54	48	50	51	36	24	-	44.4%	27.6%	24.5%	25.5%	26.0%	18.4%	12.2%	
いない	39	16	7	5	10	17	12	5	-	41.0%	17.9%	12.8%	25.6%	43.6%	30.8%	12.8%	

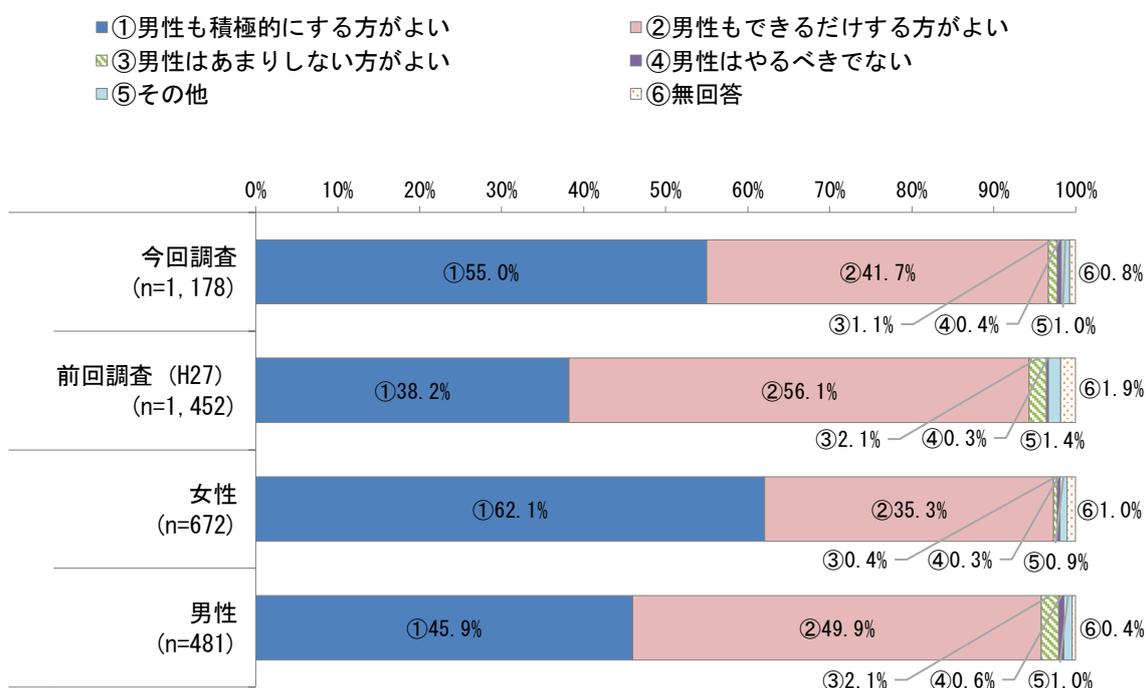
## 問8 男性が家事、育児などをする事についてどう思いますか。(〇は1つ)

今回調査では、「男性も積極的にする方がよい」(55.0%)が最も高く、次いで「男性もできるだけする方がよい」(41.7%)となっている。

前回調査では「男性もできるだけする方がよい」(56.1%)が最も高く、次いで「男性も積極的にする方がよい」(38.2%)と順位が逆になっており、その差はそれぞれ10ポイント以上となっている。

性別で見ると、「男性も積極的にする方がよい」(女性：62.1%、男性：45.9%)では女性が男性を16.2ポイント上回っており、「男性もできるだけする方がよい」(女性：35.3%、男性：49.9%)を合わせると女性は97.4%、男性は95.8%となっている。

性別役割分担に対する考え方(問6「男性は仕事、女性は家庭」という考え方)別にみると、性別役割分担に『賛成』(「賛成」+「どちらかといえば賛成」)の人では「男性もできるだけする方がよい」、『反対』(「反対」+「どちらかといえば反対」)の人では「男性も積極的にする方がよい」が最も高くなっており、それぞれ6割を超えている。



### (主なその他の回答)

- ・各家庭で夫婦のあり方に応じて柔軟に対応していけばよい
- ・好きならば良いと思うが、無理にさせるべきではない
- ・2人で協力するもので、どちらか一方がという考え方がよくない

小数点第2位を 四捨五入している ため、合計は100% と一致しない場合 がある  上段：回答者数 下段：構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	男性がよい	男性も積極的にする	男性がよい	男性はあまりしない	男性はやるべきでない	その他	無回答
		男性がよい	男性も積極的にする	男性がよい	男性はあまりしない	男性はやるべきでない	その他	無回答
今回調査	1,178 100.0%	648 55.0%	491 41.7%	13 1.1%	5 0.4%	12 1.0%	9 0.8%	
前回調査(H27)	1,452 100.0%	555 38.2%	815 56.1%	30 2.1%	4 0.3%	21 1.4%	27 1.9%	
女性	672 100.0%	417 62.1%	237 35.3%	3 0.4%	2 0.3%	6 0.9%	7 1.0%	
10代	9 100.0%	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20代	62 100.0%	45 72.6%	15 24.2%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%	
30代	84 100.0%	69 82.1%	15 17.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
40代	132 100.0%	101 76.5%	27 20.5%	0 0.0%	1 0.8%	2 1.5%	1 0.8%	
50代	128 100.0%	76 59.4%	50 39.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	1 0.8%	
60代	150 100.0%	85 56.7%	61 40.7%	1 0.7%	1 0.7%	1 0.7%	1 0.7%	
70歳以上	106 100.0%	32 30.2%	68 64.2%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	4 3.8%	
男性	481 100.0%	221 45.9%	240 49.9%	10 2.1%	3 0.6%	5 1.0%	2 0.4%	
10代	9 100.0%	5 55.6%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20代	37 100.0%	24 64.9%	12 32.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	0 0.0%	
30代	54 100.0%	33 61.1%	21 38.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
40代	61 100.0%	32 52.5%	26 42.6%	1 1.6%	0 0.0%	2 3.3%	0 0.0%	
50代	90 100.0%	51 56.7%	35 38.9%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%	
60代	127 100.0%	46 36.2%	77 60.6%	3 2.4%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	
70歳以上	101 100.0%	30 29.7%	63 62.4%	5 5.0%	2 2.0%	0 0.0%	1 1.0%	
雇用形態別	正社員・正職員	406 100.0%	254 62.6%	144 35.5%	2 0.5%	0 0.0%	6 1.5%	0 0.0%
	派遣・契約社員	66 100.0%	33 50.0%	29 43.9%	1 1.5%	0 0.0%	1 1.5%	2 3.0%
	パート・アルバイト	212 100.0%	123 58.0%	81 38.2%	5 2.4%	1 0.5%	0 0.0%	2 0.9%
	自営業・自由業	55 100.0%	31 56.4%	23 41.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%
	会社役員・経営者	32 100.0%	12 37.5%	19 59.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%
	専業主婦(夫)	142 100.0%	82 57.7%	59 41.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%
	学生	36 100.0%	27 75.0%	9 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無職	213 100.0%	79 37.1%	118 55.4%	5 2.3%	4 1.9%	3 1.4%	4 1.9%
配偶関係別	結婚している	823 100.0%	444 53.9%	355 43.1%	11 1.3%	3 0.4%	7 0.9%	3 0.4%
	離別	71 100.0%	46 64.8%	23 32.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%
	死別	47 100.0%	19 40.4%	26 55.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.3%
	結婚していない	225 100.0%	135 60.0%	80 35.6%	2 0.9%	2 0.9%	4 1.8%	2 0.9%
子供有無別	いる	858 100.0%	455 53.0%	378 44.1%	10 1.2%	3 0.3%	6 0.7%	6 0.7%
	いない	285 100.0%	174 61.1%	99 34.7%	3 1.1%	2 0.7%	5 1.8%	2 0.7%
性別役割分担別	賛成	242 100.0%	74 30.6%	154 63.6%	7 2.9%	3 1.2%	4 1.7%	0 0.0%
	反対	774 100.0%	510 65.9%	258 33.3%	3 0.4%	0 0.0%	3 0.4%	0 0.0%
	わからない	149 100.0%	64 43.0%	74 49.7%	3 2.0%	2 1.3%	4 2.7%	2 1.3%

問9 現在、家庭での高齢者介護は、多くの場合女性が担っていますが、これについてどう思いますか。(〇は1つ)

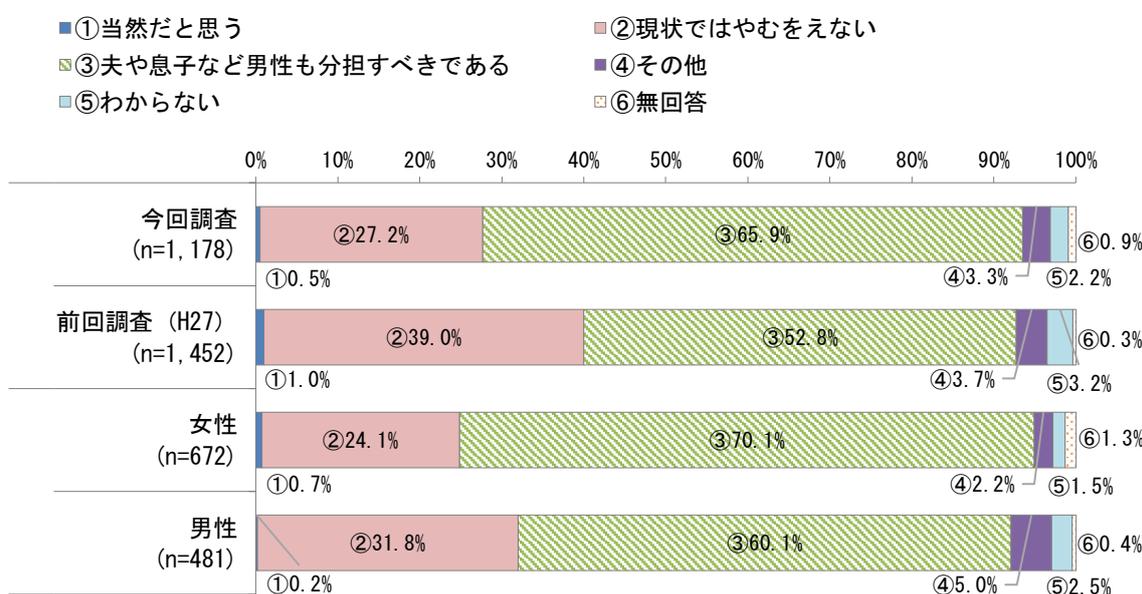
今回調査では、「夫や息子など男性も分担すべきである」(65.9%)が最も高く、次いで「現状ではやむをえない」(27.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「夫や息子など男性も分担すべきである」が13.1ポイント増加している。

性別で見ると、「夫や息子など男性も分担すべきである」(女性：70.1%、男性：60.1%)では女性が男性を10.0ポイント上回っている。

年代別で見ると、女性の20代において「夫や息子など男性も分担すべきである」は約9割を占めている。

雇用形態別で見ると、「会社役員・経営者」「無職」においては「現状ではやむをえない」が約4～5割と他の雇用形態に比べ高くなっている。



(主なその他の回答)

- ・家族みんなで、一人に押し付けないでやりたい人、やれる人がやればよいと思う
- ・家庭だけでなく福祉サービスや制度を利用していくようにする
- ・社会保障制度を充実させるべき
- ・各家庭の状況に合わせて協力し合えるよう決めていけばよい
- ・介護される側として女性は入浴排泄介助を男性にしてもらいたくないのではないかな
- ・男性、女性で論じる設問がおかしい

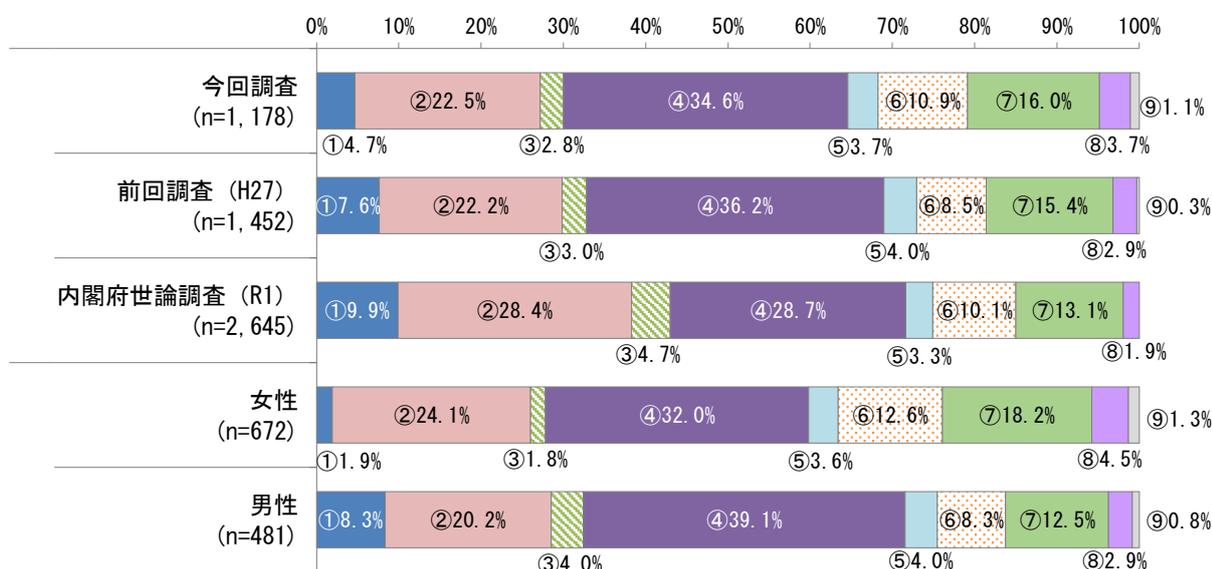
<small>小数点第2位を 四捨五入している ため、合計は100% と一致しない場合 がある</small>  <small>上段:回答者数 下段:構成比</small>  <small>■ 上位1項目</small>	サンプル数	当然 だと思う	い 現状 では はや むを えな	夫 や 息 子 な ど 男 性 も 分 担 す べ き で あ る	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
今回調査	1,178 100.0%	6 0.5%	320 27.2%	776 65.9%	39 3.3%	26 2.2%	11 0.9%	
前回調査(H27)	1,452 100.0%	15 1.0%	566 39.0%	766 52.8%	54 3.7%	46 3.2%	5 0.3%	
女性	672 100.0%	5 0.7%	162 24.1%	471 70.1%	15 2.2%	10 1.5%	9 1.3%	
10代	9 100.0%	0 0.0%	4 44.4%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20代	62 100.0%	1 1.6%	6 9.7%	55 88.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
30代	84 100.0%	0 0.0%	20 23.8%	58 69.0%	4 4.8%	2 2.4%	0 0.0%	
40代	132 100.0%	0 0.0%	20 15.2%	108 81.8%	1 0.8%	2 1.5%	1 0.8%	
50代	128 100.0%	1 0.8%	30 23.4%	93 72.7%	3 2.3%	0 0.0%	1 0.8%	
60代	150 100.0%	2 1.3%	36 24.0%	103 68.7%	3 2.0%	3 2.0%	3 2.0%	
70歳以上	106 100.0%	1 0.9%	46 43.4%	48 45.3%	4 3.8%	3 2.8%	4 3.8%	
男性	481 100.0%	1 0.2%	153 31.8%	289 60.1%	24 5.0%	12 2.5%	2 0.4%	
10代	9 100.0%	0 0.0%	3 33.3%	4 44.4%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	
20代	37 100.0%	0 0.0%	6 16.2%	27 73.0%	3 8.1%	1 2.7%	0 0.0%	
30代	54 100.0%	0 0.0%	17 31.5%	32 59.3%	4 7.4%	1 1.9%	0 0.0%	
40代	61 100.0%	1 1.6%	24 39.3%	31 50.8%	5 8.2%	0 0.0%	0 0.0%	
50代	90 100.0%	0 0.0%	22 24.4%	61 67.8%	4 4.4%	2 2.2%	1 1.1%	
60代	127 100.0%	0 0.0%	33 26.0%	85 66.9%	4 3.1%	5 3.9%	0 0.0%	
70歳以上	101 100.0%	0 0.0%	47 46.5%	48 47.5%	3 3.0%	2 2.0%	1 1.0%	
雇用 形態 別	正社員・正職員	406 100.0%	0 0.0%	97 23.9%	286 70.4%	16 3.9%	7 1.7%	0 0.0%
	派遣・契約社員	66 100.0%	1 1.5%	11 16.7%	48 72.7%	2 3.0%	2 3.0%	
	パート・アルバイト	212 100.0%	0 0.0%	56 26.4%	145 68.4%	5 2.4%	4 1.9%	2 0.9%
	自営業・自由業	55 100.0%	0 0.0%	9 16.4%	39 70.9%	4 7.3%	2 3.6%	1 1.8%
	会社役員・経営者	32 100.0%	0 0.0%	15 46.9%	16 50.0%	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%
	専業主婦(夫)	142 100.0%	4 2.8%	38 26.8%	92 64.8%	5 3.5%	1 0.7%	2 1.4%
	学生	36 100.0%	0 0.0%	5 13.9%	27 75.0%	2 5.6%	2 5.6%	0 0.0%
	無職	213 100.0%	1 0.5%	83 39.0%	113 53.1%	5 2.3%	7 3.3%	4 1.9%
配 偶 関 係 別	結婚している	823 100.0%	4 0.5%	233 28.3%	536 65.1%	30 3.6%	14 1.7%	6 0.7%
	離別	71 100.0%	0 0.0%	21 29.6%	48 67.6%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%
	死別	47 100.0%	0 0.0%	19 40.4%	22 46.8%	2 4.3%	3 6.4%	1 2.1%
	結婚していない	225 100.0%	2 0.9%	43 19.1%	163 72.4%	7 3.1%	8 3.6%	2 0.9%
子 供 有 無 別	いる	858 100.0%	4 0.5%	253 29.5%	550 64.1%	28 3.3%	15 1.7%	8 0.9%
	いない	285 100.0%	2 0.7%	62 21.8%	201 70.5%	8 2.8%	10 3.5%	2 0.7%

問 10 生活の中で「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度についておたずねします。

(1) あなたの希望に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の希望について、今回調査では、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい(34.6%)が最も高く、次いで「家庭生活」を優先したい(22.5%)、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい(16.0%)となっている。

- ①「仕事」を優先したい
- ②「家庭生活」を優先したい
- ③「地域・個人の生活」を優先したい
- ④「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- ⑤「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- ⑥「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- ⑦「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- ⑧わからない
- ⑨無回答



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  上段：回答者数 下段：構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	「仕事」を優先したい									無回答
		「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「地域・個人の生活を優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活を優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活を優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活を優先したい	わからない	
今回調査	1,178 100.0%	55 4.7%	265 22.5%	33 2.8%	408 34.6%	43 3.7%	128 10.9%	189 16.0%	44 3.7%	13 1.1%	
前回調査(H27)	1,452 100.0%	111 7.6%	322 22.2%	43 3.0%	525 36.2%	58 4.0%	123 8.5%	224 15.4%	42 2.9%	4 0.3%	
内閣府世論調査(R1)	2,645	9.9%	28.4%	4.7%	28.7%	3.3%	10.1%	13.1%	1.9%	-	
女性	672 100.0%	13 1.9%	162 24.1%	12 1.8%	215 32.0%	24 3.6%	85 12.6%	122 18.2%	30 4.5%	9 1.3%	
10代	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	
20代	62 100.0%	1 1.6%	15 24.2%	2 3.2%	19 30.6%	7 11.3%	5 8.1%	11 17.7%	2 3.2%	0 0.0%	
30代	84 100.0%	4 4.8%	23 27.4%	2 2.4%	22 26.2%	5 6.0%	11 13.1%	16 19.0%	1 1.2%	0 0.0%	
40代	132 100.0%	2 1.5%	32 24.2%	4 3.0%	51 38.6%	5 3.8%	12 9.1%	22 16.7%	3 2.3%	1 0.8%	
50代	128 100.0%	3 2.3%	28 21.9%	1 0.8%	50 39.1%	1 0.8%	9 7.0%	29 22.7%	6 4.7%	1 0.8%	
60代	150 100.0%	2 1.3%	32 21.3%	1 0.7%	47 31.3%	3 2.0%	29 19.3%	26 17.3%	8 5.3%	2 1.3%	
70歳以上	106 100.0%	1 0.9%	32 30.2%	1 0.9%	22 20.8%	2 1.9%	19 17.9%	15 14.2%	9 8.5%	5 4.7%	
男性	481 100.0%	40 8.3%	97 20.2%	19 4.0%	188 39.1%	19 4.0%	40 8.3%	60 12.5%	14 2.9%	4 0.8%	
10代	9 100.0%	0 0.0%	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20代	37 100.0%	4 10.8%	10 27.0%	4 10.8%	10 27.0%	3 8.1%	0 0.0%	4 10.8%	2 5.4%	0 0.0%	
30代	54 100.0%	4 7.4%	13 24.1%	2 3.7%	20 37.0%	1 1.9%	5 9.3%	8 14.8%	1 1.9%	0 0.0%	
40代	61 100.0%	6 9.8%	14 23.0%	2 3.3%	27 44.3%	0 0.0%	2 3.3%	6 9.8%	4 6.6%	0 0.0%	
50代	90 100.0%	9 10.0%	18 20.0%	3 3.3%	38 42.2%	3 3.3%	2 2.2%	14 15.6%	2 2.2%	1 1.1%	
60代	127 100.0%	9 7.1%	21 16.5%	1 0.8%	61 48.0%	9 7.1%	9 7.1%	15 11.8%	2 1.6%	0 0.0%	
70歳以上	101 100.0%	8 7.9%	18 17.8%	4 4.0%	29 28.7%	2 2.0%	21 20.8%	13 12.9%	3 3.0%	3 3.0%	
雇用形態別	406 100.0%	25 6.2%	79 19.5%	11 2.7%	176 43.3%	18 4.4%	21 5.2%	67 16.5%	9 2.2%	0 0.0%	
正社員・正職員	66 100.0%	1 1.5%	10 15.2%	0 0.0%	28 42.4%	3 4.5%	3 4.5%	16 24.2%	3 4.5%	2 3.0%	
派遣・契約社員	212 100.0%	7 3.3%	54 25.5%	4 1.9%	77 36.3%	8 3.8%	16 7.5%	39 18.4%	6 2.8%	1 0.5%	
パート・アルバイト	55 100.0%	6 10.9%	9 16.4%	1 1.8%	17 30.9%	1 1.8%	3 5.5%	14 25.5%	3 5.5%	1 1.8%	
自営業・自由業	32 100.0%	6 18.8%	5 15.6%	0 0.0%	16 50.0%	2 6.3%	0 0.0%	2 6.3%	1 3.1%	0 0.0%	
会社役員・経営者	142 100.0%	0 0.0%	47 33.1%	0 0.0%	31 21.8%	1 0.7%	41 28.9%	17 12.0%	5 3.5%	0 0.0%	
専業主婦(夫)	36 100.0%	0 0.0%	5 13.9%	6 16.7%	14 38.9%	4 11.1%	1 2.8%	6 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	
学生	213 100.0%	7 3.3%	52 24.4%	11 5.2%	44 20.7%	6 2.8%	43 20.2%	25 11.7%	16 7.5%	9 4.2%	
無職	823 100.0%	39 4.7%	213 25.9%	8 1.0%	295 35.8%	10 1.2%	97 11.8%	135 16.4%	19 2.3%	7 0.9%	
結婚している	71 100.0%	4 5.6%	6 8.5%	1 1.4%	28 39.4%	6 8.5%	4 5.6%	15 21.1%	6 8.5%	1 1.4%	
離別	47 100.0%	1 2.1%	9 19.1%	2 4.3%	14 29.8%	2 4.3%	7 14.9%	6 12.8%	5 10.6%	1 2.1%	
死別	225 100.0%	10 4.4%	35 15.6%	22 9.8%	66 29.3%	25 11.1%	20 8.9%	30 13.3%	14 6.2%	3 1.3%	
結婚していない	858 100.0%	38 4.4%	205 23.9%	10 1.2%	320 37.3%	16 1.9%	98 11.4%	134 15.6%	28 3.3%	9 1.0%	
いる	285 100.0%	14 4.9%	56 19.6%	21 7.4%	80 28.1%	21 7.4%	28 9.8%	48 16.8%	14 4.9%	3 1.1%	
いない	242 100.0%	22 9.1%	73 30.2%	5 2.1%	74 30.6%	4 1.7%	28 11.6%	28 11.6%	7 2.9%	1 0.4%	
賛成	774 100.0%	29 3.7%	158 20.4%	23 3.0%	281 36.3%	37 4.8%	86 11.1%	137 17.7%	20 2.6%	3 0.4%	
反対	149 100.0%	4 2.7%	32 21.5%	5 3.4%	52 34.9%	2 1.3%	13 8.7%	23 15.4%	17 11.4%	1 0.7%	
わからない											

(2) それでは、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。（○は1つ）

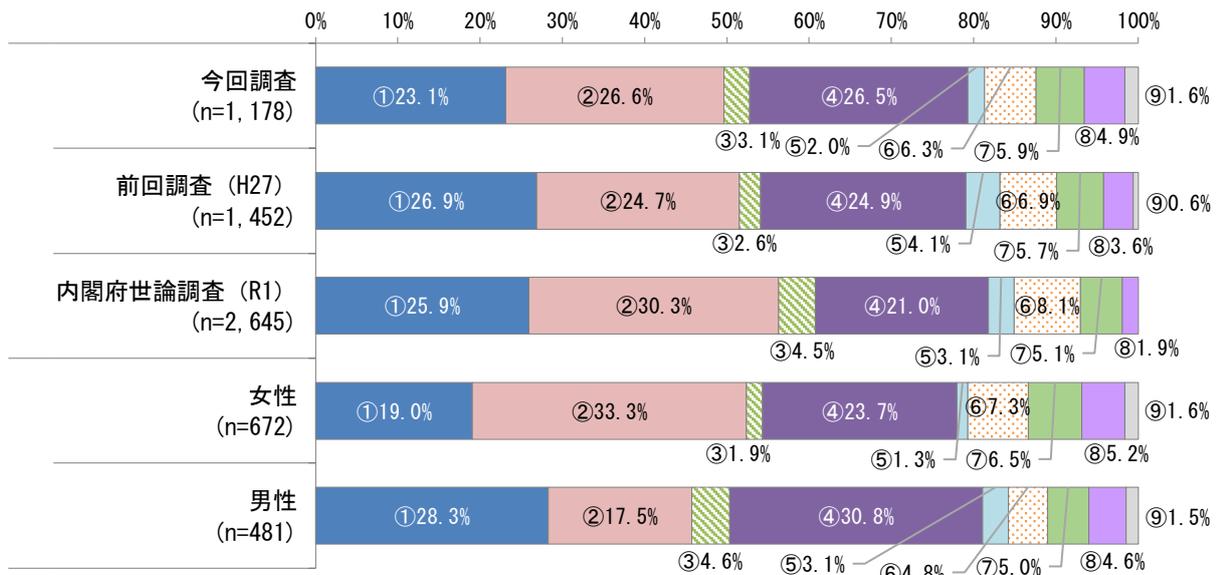
「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の現実について、今回調査では、「家庭生活」を優先している」（26.6%）が最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（26.5%）、「仕事」を優先している」（23.1%）となっている。

性別で見ると、「家庭生活」を優先している」（女性：33.3%、男性：17.5%）では女性が男性を15ポイント以上上回っている。

「仕事」を優先している」においては、今回調査（23.1%）が、内閣府世論調査（25.9%）を2.8ポイント下回っている。

雇用形態別で見ると、「正社員・正職員」・「会社役員・経営者」において、希望では「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」がそれぞれ43.3%・50.0%と最も高くなっているが、現実では「仕事」を優先している」がそれぞれ46.1%・40.6%と最も高くなっており、希望と現実に相違がある。

- ①「仕事」を優先している
- ②「家庭生活」を優先している
- ③「地域・個人の生活」を優先している
- ④「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- ⑤「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- ⑥「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- ⑦「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- ⑧わからない
- ⑨無回答



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  上段：回答者数 下段：構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「地域・個人の生活を優先している	「仕事」と「地域・個人の生活を優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活を優先している	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活を優先している	わからない	無回答
		272	313	37	312	24	74	69	58	19	
今回調査	1,178 100.0%	23.1%	26.6%	3.1%	26.5%	2.0%	6.3%	5.9%	4.9%	1.6%	
前回調査(H27)	1,452 100.0%	26.9%	24.7%	2.6%	24.9%	4.1%	6.9%	5.7%	3.6%	0.6%	
内閣府世論調査(R1)	2,645	25.9%	30.3%	4.5%	21.0%	3.1%	8.1%	5.1%	1.9%	-	
女性	672 100.0%	128 19.0%	224 33.3%	13 1.9%	159 23.7%	9 1.3%	49 7.3%	44 6.5%	35 5.2%	11 1.6%	
10代	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	
20代	62 100.0%	14 22.6%	15 24.2%	3 4.8%	13 21.0%	3 4.8%	4 6.5%	1 1.6%	9 14.5%	0 0.0%	
30代	84 100.0%	24 28.6%	27 32.1%	2 2.4%	20 23.8%	0 0.0%	3 3.6%	6 7.1%	2 2.4%	0 0.0%	
40代	132 100.0%	39 29.5%	32 24.2%	0 0.0%	44 33.3%	1 0.8%	3 2.3%	10 7.6%	2 1.5%	1 0.8%	
50代	128 100.0%	30 23.4%	43 33.6%	0 0.0%	32 25.0%	1 0.8%	4 3.1%	9 7.0%	7 5.5%	2 1.6%	
60代	150 100.0%	15 10.0%	52 34.7%	3 2.0%	38 25.3%	3 2.0%	23 15.3%	11 7.3%	2 1.3%	3 2.0%	
70歳以上	106 100.0%	5 4.7%	54 50.9%	2 1.9%	11 10.4%	1 0.9%	12 11.3%	6 5.7%	11 10.4%	4 3.8%	
男性	481 100.0%	136 28.3%	84 17.5%	22 4.6%	148 30.8%	15 3.1%	23 4.8%	24 5.0%	22 4.6%	7 1.5%	
10代	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	
20代	37 100.0%	12 32.4%	6 16.2%	3 8.1%	4 10.8%	5 13.5%	0 0.0%	3 8.1%	4 10.8%	0 0.0%	
30代	54 100.0%	26 48.1%	1 1.9%	2 3.7%	21 38.9%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	
40代	61 100.0%	31 50.8%	6 9.8%	1 1.6%	17 27.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.3%	3 4.9%	1 1.6%	
50代	90 100.0%	32 35.6%	11 12.2%	4 4.4%	30 33.3%	2 2.2%	0 0.0%	7 7.8%	3 3.3%	1 1.1%	
60代	127 100.0%	24 18.9%	22 17.3%	4 3.1%	57 44.9%	5 3.9%	5 3.9%	6 4.7%	3 2.4%	1 0.8%	
70歳以上	101 100.0%	10 9.9%	36 35.6%	5 5.0%	17 16.8%	2 2.0%	16 15.8%	5 5.0%	6 5.9%	4 4.0%	
雇用形態別	406 100.0%	187 46.1%	27 6.7%	6 1.5%	144 35.5%	9 2.2%	4 1.0%	20 4.9%	8 2.0%	1 0.2%	
派遣・契約社員	66 100.0%	13 19.7%	6 9.1%	1 1.5%	33 50.0%	2 3.0%	3 4.5%	5 7.6%	1 1.5%	2 3.0%	
パート・アルバイト	212 100.0%	30 14.2%	67 31.6%	7 3.3%	72 34.0%	4 1.9%	6 2.8%	19 9.0%	6 2.8%	1 0.5%	
自営業・自由業	55 100.0%	10 18.2%	9 16.4%	1 1.8%	20 36.4%	3 5.5%	1 1.8%	8 14.5%	2 3.6%	1 1.8%	
会社役員・経営者	32 100.0%	13 40.6%	3 9.4%	0 0.0%	11 34.4%	1 3.1%	0 0.0%	3 9.4%	1 3.1%	0 0.0%	
専業主婦(夫)	142 100.0%	1 0.7%	93 65.5%	3 2.1%	9 6.3%	0 0.0%	26 18.3%	7 4.9%	3 2.1%	0 0.0%	
学生	36 100.0%	5 13.9%	7 19.4%	7 19.4%	3 8.3%	1 2.8%	1 2.8%	0 0.0%	12 33.3%	0 0.0%	
無職	213 100.0%	9 4.2%	95 44.6%	11 5.2%	17 8.0%	4 1.9%	33 15.5%	6 2.8%	25 11.7%	13 6.1%	
配偶関係別	823 100.0%	148 18.0%	259 31.5%	8 1.0%	254 30.9%	9 1.1%	63 7.7%	54 6.6%	18 2.2%	10 1.2%	
結婚している	71 100.0%	27 38.0%	10 14.1%	2 2.8%	17 23.9%	1 1.4%	1 1.4%	5 7.0%	6 8.5%	2 2.8%	
離別	47 100.0%	3 6.4%	15 31.9%	2 4.3%	14 29.8%	1 2.1%	3 6.4%	3 6.4%	5 10.6%	1 2.1%	
死別	225 100.0%	91 40.4%	25 11.1%	24 10.7%	24 10.7%	13 5.8%	7 3.1%	7 3.1%	29 12.9%	5 2.2%	
結婚していない	858 100.0%	151 17.6%	264 30.8%	12 1.4%	260 30.3%	12 1.4%	65 7.6%	55 6.4%	26 3.0%	13 1.5%	
子供有無別	285 100.0%	107 37.5%	44 15.4%	23 8.1%	48 16.8%	11 3.9%	8 2.8%	14 4.9%	26 9.1%	4 1.4%	
いない	242 100.0%	61 25.2%	65 26.9%	8 3.3%	68 28.1%	1 0.4%	17 7.0%	12 5.0%	9 3.7%	1 0.4%	
賛成	774 100.0%	174 22.5%	213 27.5%	23 3.0%	205 26.5%	19 2.5%	51 6.6%	46 5.9%	36 4.7%	7 0.9%	
反対	149 100.0%	37 24.8%	32 21.5%	6 4.0%	37 24.8%	4 2.7%	6 4.0%	11 7.4%	13 8.7%	3 2.0%	
わからない											

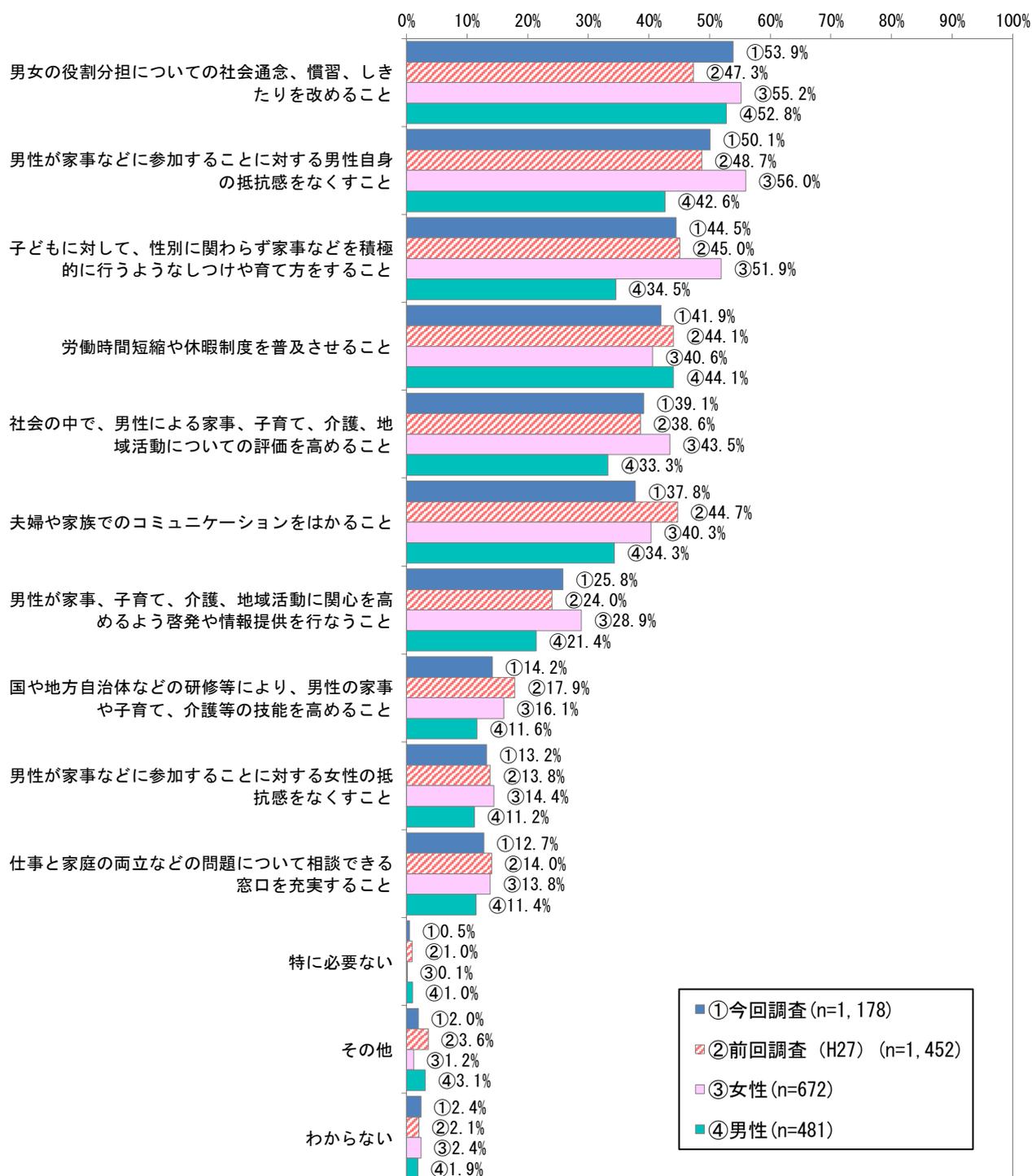
問 11 今後、男女がともに家事や子育て、介護、地域活動に積極的に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

今回調査では、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(53.9%)が最も高く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(50.1%)、「子どもに対して、性別に関わらず家事などを積極的に行うようなしつけや育て方をすること」(44.5%)となっている。

性別で見ると、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(女性：56.0%、男性：42.6%)、「子どもに対して、性別に関わらず家事などを積極的に行うようなしつけや育て方をすること」(女性：51.9%、男性：34.5%)、「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についての評価を高めること」(女性：43.5%、男性：33.3%)では、女性が男性を10ポイント以上上回っている。

年代別で見ると、男女ともに20代・30代、男性では加えて40代・50代で「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」が5割以上を占めている。

性別役割分担に対する考え方(問6「男性は仕事、女性は家庭」という考え方)別にみると、性別役割分担に『反対』(「反対」+「どちらかといえば反対’)の人では「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が最も高くなっており6割を超えている。



(主なその他の回答)

- ・就労中の男性が地域活動できる場を増やして欲しい
- ・教育の方針転換のため政治が動く事が大切 ・男子トイレにもおむつかえシートを設置
- ・休業中の金銭的不安の解消と、復帰への道筋、有給休暇の取得率の向上
- ・介護に関しては各家庭に委ねず、基本、行政が受け持つよう制度化した方が良い
- ・男女共に生活力アップ（コミュニケーション、家事、子育て、介護、お金の使い方等）
- ・男女の収入差がない社会を作らないと家庭での男女差は縮まらないと思う
- ・制度はあっても会社の職種や規模により、無理な現実がある。補助するシステムを確実につくる

複数回答のため 合計は100%に ならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	抗感をなくすこと	男性が家事などに参加すること	男性が家事などに参加することを拒否すること	男女の役割分担について社会通念、慣習、しきたりを改めること	社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についての評価を高めること	仕事を家庭の両立などの窓口に充実すること	労働時間短縮や休暇制度を普及させること	夫や妻や家族でのコミュニケーションをはかること	子どもに対して、性別に関わらず家事などを積極的に行うようなすつけや育て方をすること	地域活動に関心を高めること	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めること	より、男性の家事や子育て、等により、地方自治体などの研修等の技能を高めること	特に必要ない	その他	わからない																						
																	今回調査	前回調査(H27)	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	男性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	雇用形態別	正社員・正職員	派遣・契約社員	パート・アルバイト
	1,178	590	156	635	461	150	494	445	524	304	167	6	23	28																								
	-	50.1%	13.2%	53.9%	39.1%	12.7%	41.9%	37.8%	44.5%	25.8%	14.2%	0.5%	2.0%	2.4%																								
	1,452	707	201	687	560	204	640	649	654	349	260	14	52	30																								
	-	48.7%	13.8%	47.3%	38.6%	14.0%	44.1%	44.7%	45.0%	24.0%	17.9%	1.0%	3.6%	2.1%																								
女性	672	376	97	371	292	93	273	271	349	194	108	1	8	16																								
	-	56.0%	14.4%	55.2%	43.5%	13.8%	40.6%	40.3%	51.9%	28.9%	16.1%	0.1%	1.2%	2.4%																								
10代	9	5	0	8	3	2	3	4	4	1	0	0	0	0																								
	-	55.6%	0.0%	88.9%	33.3%	22.2%	33.3%	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																								
20代	62	33	9	31	23	14	38	25	30	15	12	1	2	1																								
	-	53.2%	14.5%	50.0%	37.1%	22.6%	61.3%	40.3%	48.4%	24.2%	19.4%	1.6%	3.2%	1.6%																								
30代	84	53	14	50	37	16	53	42	44	29	18	0	2	1																								
	-	63.1%	16.7%	59.5%	44.0%	19.0%	63.1%	50.0%	52.4%	34.5%	21.4%	0.0%	2.4%	1.2%																								
40代	132	73	17	83	64	14	58	44	70	37	21	0	2	1																								
	-	55.3%	12.9%	62.9%	48.5%	10.6%	43.9%	33.3%	53.0%	28.0%	15.9%	0.0%	1.5%	0.8%																								
50代	128	74	24	72	63	19	50	48	57	35	16	0	2	4																								
	-	57.8%	18.8%	56.3%	49.2%	14.8%	39.1%	37.5%	44.5%	27.3%	12.5%	0.0%	1.6%	3.1%																								
60代	150	86	19	82	64	12	41	62	81	48	22	0	0	3																								
	-	57.3%	12.7%	54.7%	42.7%	8.0%	27.3%	41.3%	54.0%	32.0%	14.7%	0.0%	0.0%	2.0%																								
70歳以上	106	51	13	44	37	15	29	45	62	28	18	0	0	6																								
	-	48.1%	12.3%	41.5%	34.9%	14.2%	27.4%	42.5%	58.5%	26.4%	17.0%	0.0%	0.0%	5.7%																								
男性	481	205	54	254	160	55	212	165	166	103	56	5	15	9																								
	-	42.6%	11.2%	52.8%	33.3%	11.4%	44.1%	34.3%	34.5%	21.4%	11.6%	1.0%	3.1%	1.9%																								
10代	9	4	2	5	1	3	4	3	2	0	0	0	1	0																								
	-	44.4%	22.2%	55.6%	11.1%	33.3%	44.4%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%																								
20代	37	15	3	17	14	2	19	13	6	5	4	0	0	1																								
	-	40.5%	8.1%	45.9%	37.8%	5.4%	51.4%	35.1%	16.2%	13.5%	10.8%	0.0%	0.0%	2.7%																								
30代	54	21	10	28	19	7	33	20	22	8	5	0	0	0																								
	-	38.9%	18.5%	51.9%	35.2%	13.0%	61.1%	37.0%	40.7%	14.8%	9.3%	0.0%	0.0%	0.0%																								
40代	61	19	2	26	20	8	31	14	16	6	10	2	7	2																								
	-	31.1%	3.3%	42.6%	32.8%	13.1%	50.8%	23.0%	26.2%	9.8%	16.4%	3.3%	11.5%	3.3%																								
50代	90	42	10	45	34	13	45	34	28	22	13	1	2	2																								
	-	46.7%	11.1%	50.0%	37.8%	14.4%	50.0%	37.8%	31.1%	24.4%	14.4%	1.1%	2.2%	2.2%																								
60代	127	56	13	76	48	12	50	44	49	31	14	1	4	2																								
	-	44.1%	10.2%	59.8%	37.8%	9.4%	39.4%	34.6%	38.6%	24.4%	11.0%	0.8%	3.1%	1.6%																								
70歳以上	101	47	14	55	22	10	30	37	43	31	10	1	1	2																								
	-	46.5%	13.9%	54.5%	21.8%	9.9%	29.7%	36.6%	42.6%	30.7%	9.9%	1.0%	1.0%	2.0%																								
雇用形態別	406	193	52	228	181	57	207	141	165	103	59	4	10	4																								
	-	47.5%	12.8%	56.2%	44.6%	14.0%	51.0%	34.7%	40.6%	25.4%	14.5%	1.0%	2.5%	1.0%																								
派遣・契約社員	66	25	8	34	23	6	24	31	32	13	9	1	2	1																								
	-	37.9%	12.1%	51.5%	34.8%	9.1%	36.4%	47.0%	48.5%	19.7%	13.6%	1.5%	3.0%	1.5%																								
パート・アルバイト	212	122	34	124	88	27	85	79	99	57	33	1	1	4																								
	-	57.5%	16.0%	58.5%	41.5%	12.7%	40.1%	37.3%	46.7%	26.9%	15.6%	0.5%	0.5%	1.9%																								
自営業・自由業	55	27	8	30	23	5	19	16	24	17	9	0	5	3																								
	-	49.1%	14.5%	54.5%	41.8%	9.1%	34.5%	29.1%	43.6%	30.9%	16.4%	0.0%	9.1%	5.5%																								
会社役員・経営者	32	17	4	14	7	2	7	14	9	6	1	0	1	2																								
	-	53.1%	12.5%	43.8%	21.9%	6.3%	21.9%	43.8%	28.1%	18.8%	3.1%	0.0%	3.1%	6.3%																								
専業主婦(夫)	142	78	22	72	51	16	63	65	80	43	23	0	2	1																								
	-	54.9%	15.5%	50.7%	35.9%	11.3%	44.4%	45.8%	56.3%	30.3%	16.2%	0.0%	1.4%	0.7%																								
学生	36	20	4	24	14	9	17	13	14	5	6	0	1	0																								
	-	55.6%	11.1%	66.7%	38.9%	25.0%	47.2%	36.1%	38.9%	13.9%	16.7%	0.0%	2.8%	0.0%																								
無職	213	100	23	102	68	26	65	82	96	56	24	0	1	12																								
	-	46.9%	10.8%	47.9%	31.9%	12.2%	30.5%	38.5%	45.1%	26.3%	11.3%	0.0%	0.5%	5.6%																								
配偶関係別	823	414	102	445	322	86	346	316	372	224	112	4	18	14																								
	-	50.3%	12.4%	54.1%	39.1%	10.4%	42.0%	38.4%	45.2%	27.2%	13.6%	0.5%	2.2%	1.7%																								
離別	71	40	5	41	33	10	30	28	37	23	12	0	0	2																								
	-	56.3%	7.0%	57.7%	46.5%	14.1%	42.3%	39.4%	52.1%	32.4%	16.9%	0.0%	0.0%	2.8%																								
死別	47	19	4	22	17	6	11	16	23	10	8	0	0	4																								
	-	40.4%	8.5%	46.8%	36.2%	12.8%	23.4%	34.0%	48.9%	21.3%	17.0%	0.0%	0.0%	8.5%																								
結婚していない	225	112	42	123	84	48	102	82	87	45	33	2	5	7																								
	-	49.8%	18.7%	54.7%	37.3%	21.3%	45.3%	36.4%	38.7%	20.0%	14.7%	0.9%	2.2%	3.1%																								
子供有無別	858	439	103	462	335	87	351	325	399	240	124	4	14	16																								
	-	51.2%	12.0%	53.8%	39.0%	10.1%	40.9%	37.9%	46.5%	28.0%	14.5%	0.5%	1.6%	1.9%																								
いない	285	134	50	157	112	54	131	110	115	56	36	2	9	10																								
	-	47.0%	17.5%	55.1%	39.3%	18.9%	46.0%	38.6%	40.4%	19.6%	12.6%	0.7%	3.2%	3.5%																								
性別役割分担別	242	108	33	96	85	22	102	94	88	53	23	2	7	6																								
	-	44.6%	13.6%	39.7%	35.1%	9.1%	42.1%	38.8%	36.4%	21.9%	9.5%	0.8%	2.9%	2.5%																								
反対	774	420	109	466	330	104	337	289	383	215	130	4	13	9																								
	-	54.3%	14.1%	60.2%	42.6%	13.4%	43.5%	37.3%	49.5%	27.8%	16.8%	0.5%	1.7%	1.2%																								
わからない	149	58	13	69	42	23	51	59	46	33	14	0	3	12																								
	-	38.9%	8.7%	46.3%	28.2%	15.4%	34.2%	39.6%	30.9%	22.1%	9.4%	0.0%	2.0%	8.1%																								

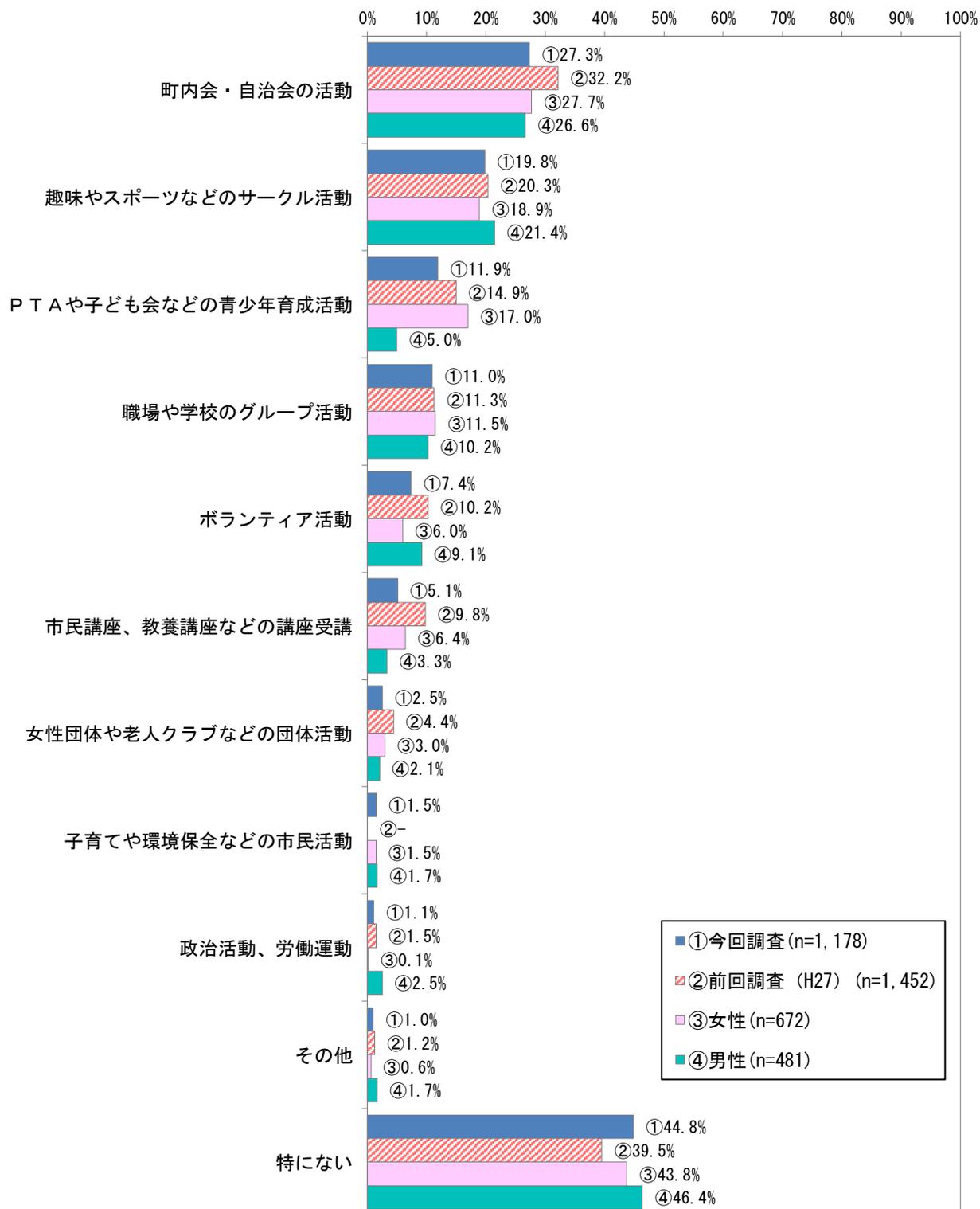
## IV 社会活動、地域活動への参加・参画について

問 12 あなたは現在、次のような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

社会活動・地域活動への参加状況について、今回調査では、「特にない」(44.8%)が最も高く、次いで「町内会・自治会の活動」(27.3%)、「趣味やスポーツなどのサークル活動」(19.8%)となっている。

性別で見ると、「PTAや子ども会などの青少年育成活動」(女性：17.0%、男性：5.0%)で差が最も大きく、女性が男性を12.0ポイント上回っている。

年代別で見ると、女性の40代では「PTAや子ども会などの青少年育成活動」が48.5%と他の年代に比べ高くなっている。



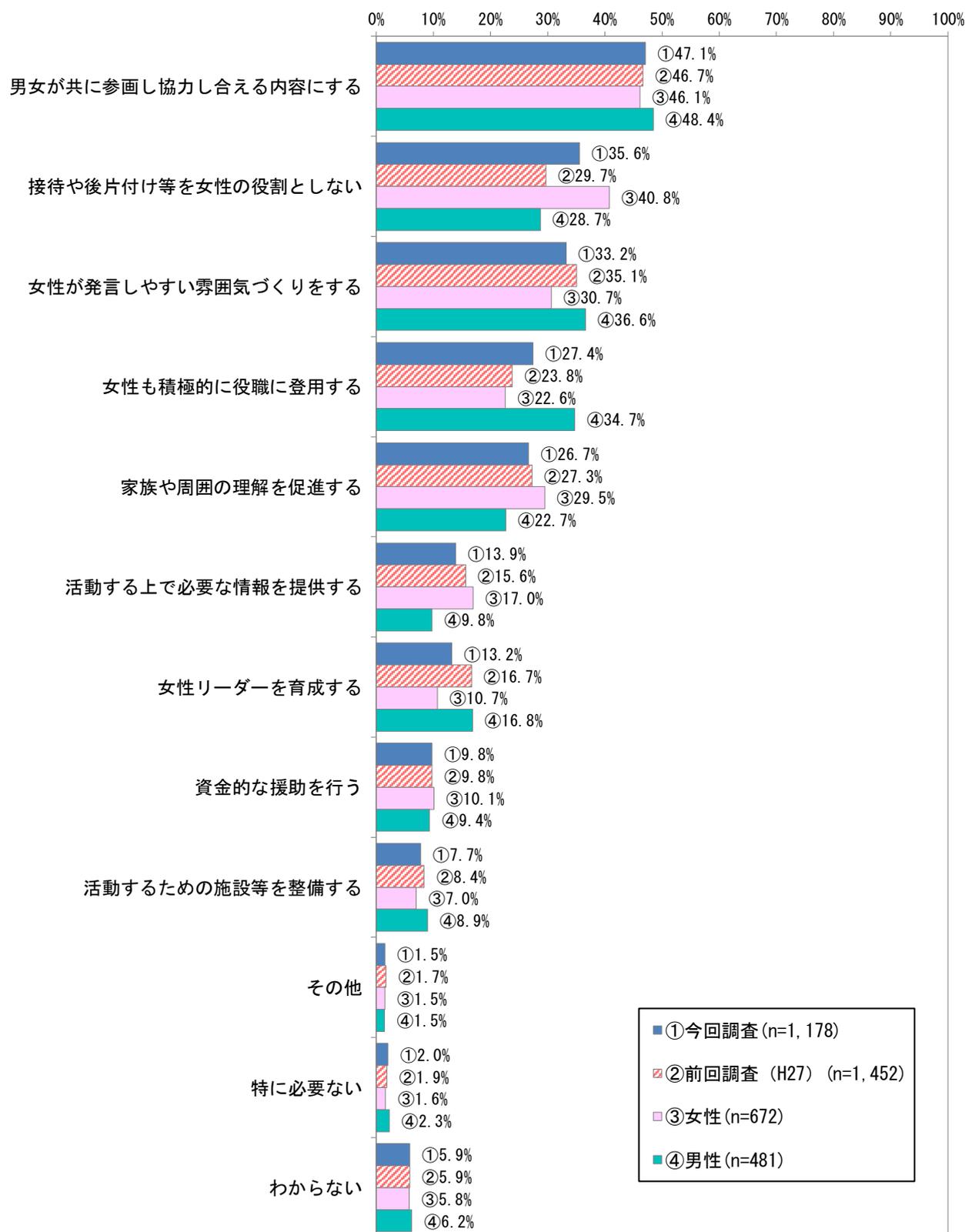
複数回答のため 合計は100%に ならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	町内会・自治会の活動	女性団体や老人クラブなどの団体活動	PTAや子ども会などの青少年育成活動	趣味やスポーツなどのサークル活動	市民講座、教養講座などの講座受講	ボランティア活動	子育てや環境保全などの市民活動	政治活動、労働運動	職場や学校のグループ活動	その他	特にない
	1,178	322	30	140	233	60	87	18	13	129	12	528
	-	27.3%	2.5%	11.9%	19.8%	5.1%	7.4%	1.5%	1.1%	11.0%	1.0%	44.8%
	1,452	467	64	217	295	142	148	-	22	164	18	574
	-	32.2%	4.4%	14.9%	20.3%	9.8%	10.2%	-	1.5%	11.3%	1.2%	39.5%
女性	672	186	20	114	127	43	40	10	1	77	4	294
	-	27.7%	3.0%	17.0%	18.9%	6.4%	6.0%	1.5%	0.1%	11.5%	0.6%	43.8%
10代	9	0	0	0	2	0	2	0	0	4	0	4
	-	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	44.4%
20代	62	3	0	2	10	1	3	2	0	12	0	34
	-	4.8%	0.0%	3.2%	16.1%	1.6%	4.8%	3.2%	0.0%	19.4%	0.0%	54.8%
30代	84	22	1	31	9	1	2	1	0	14	0	36
	-	26.2%	1.2%	36.9%	10.7%	1.2%	2.4%	1.2%	0.0%	16.7%	0.0%	42.9%
40代	132	45	1	64	15	6	5	3	0	25	2	45
	-	34.1%	0.8%	48.5%	11.4%	4.5%	3.8%	2.3%	0.0%	18.9%	1.5%	34.1%
50代	128	33	1	15	19	8	6	2	0	15	1	66
	-	25.8%	0.8%	11.7%	14.8%	6.3%	4.7%	1.6%	0.0%	11.7%	0.8%	51.6%
60代	150	52	4	1	39	16	11	1	0	4	1	63
	-	34.7%	2.7%	0.7%	26.0%	10.7%	7.3%	0.7%	0.0%	2.7%	0.7%	42.0%
70歳以上	106	30	13	0	33	11	11	1	1	2	0	46
	-	28.3%	12.3%	0.0%	31.1%	10.4%	10.4%	0.9%	0.9%	1.9%	0.0%	43.4%
男性	481	128	10	24	103	16	44	8	12	49	8	223
	-	26.6%	2.1%	5.0%	21.4%	3.3%	9.1%	1.7%	2.5%	10.2%	1.7%	46.4%
10代	9	2	0	0	2	0	2	0	0	1	0	5
	-	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	55.6%
20代	37	1	0	0	14	1	4	1	1	6	0	18
	-	2.7%	0.0%	0.0%	37.8%	2.7%	10.8%	2.7%	2.7%	16.2%	0.0%	48.6%
30代	54	12	1	3	13	1	4	0	3	8	1	25
	-	22.2%	1.9%	5.6%	24.1%	1.9%	7.4%	0.0%	5.6%	14.8%	1.9%	46.3%
40代	61	17	1	7	13	1	2	1	2	12	0	28
	-	27.9%	1.6%	11.5%	21.3%	1.6%	3.3%	1.6%	3.3%	19.7%	0.0%	45.9%
50代	90	25	1	5	10	1	5	3	2	11	1	47
	-	27.8%	1.1%	5.6%	11.1%	1.1%	5.6%	3.3%	2.2%	12.2%	1.1%	52.2%
60代	127	37	2	4	28	8	13	2	4	9	1	61
	-	29.1%	1.6%	3.1%	22.0%	6.3%	10.2%	1.6%	3.1%	7.1%	0.8%	48.0%
70歳以上	101	32	5	3	23	4	14	1	0	2	5	39
	-	31.7%	5.0%	3.0%	22.8%	4.0%	13.9%	1.0%	0.0%	2.0%	5.0%	38.6%
雇用形態別	406	92	5	52	80	12	22	7	8	71	3	195
	-	22.7%	1.2%	12.8%	19.7%	3.0%	5.4%	1.7%	2.0%	17.5%	0.7%	48.0%
派遣・契約社員	66	16	1	5	11	1	2	2	1	3	1	29
	-	24.2%	1.5%	7.6%	16.7%	1.5%	3.0%	3.0%	1.5%	4.5%	1.5%	43.9%
パート・アルバイト	212	71	1	50	39	12	16	0	0	26	0	84
	-	33.5%	0.5%	23.6%	18.4%	5.7%	7.5%	0.0%	0.0%	12.3%	0.0%	39.6%
自営業・自由業	55	18	2	7	11	4	5	2	1	8	2	22
	-	32.7%	3.6%	12.7%	20.0%	7.3%	9.1%	3.6%	1.8%	14.5%	3.6%	40.0%
会社役員・経営者	32	8	1	2	6	3	4	2	0	4	1	15
	-	25.0%	3.1%	6.3%	18.8%	9.4%	12.5%	6.3%	0.0%	12.5%	3.1%	46.9%
専業主婦(夫)	142	45	4	18	33	13	9	5	1	3	1	57
	-	31.7%	2.8%	12.7%	23.2%	9.2%	6.3%	3.5%	0.7%	2.1%	0.7%	40.1%
学生	36	2	0	0	9	0	6	0	1	10	0	16
	-	5.6%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	16.7%	0.0%	2.8%	27.8%	0.0%	44.4%
無職	213	65	16	3	42	15	22	0	1	2	4	103
	-	30.5%	7.5%	1.4%	19.7%	7.0%	10.3%	0.0%	0.5%	0.9%	1.9%	48.4%
配偶関係別	823	274	24	123	176	48	62	15	10	89	10	322
	-	33.3%	2.9%	14.9%	21.4%	5.8%	7.5%	1.8%	1.2%	10.8%	1.2%	39.1%
離別	71	16	0	10	4	0	2	1	0	2	0	43
	-	22.5%	0.0%	14.1%	5.6%	0.0%	2.8%	1.4%	0.0%	2.8%	0.0%	60.6%
死別	47	15	5	1	8	3	3	1	1	4	0	23
	-	31.9%	10.6%	2.1%	17.0%	6.4%	6.4%	2.1%	2.1%	8.5%	0.0%	48.9%
結婚していない	225	13	1	3	44	9	19	1	2	32	2	136
	-	5.8%	0.4%	1.3%	19.6%	4.0%	8.4%	0.4%	0.9%	14.2%	0.9%	60.4%
子供有無別	858	290	26	136	172	44	58	16	9	89	9	341
	-	33.8%	3.0%	15.9%	20.0%	5.1%	6.8%	1.9%	1.0%	10.4%	1.0%	39.7%
いない	285	26	4	1	54	16	24	2	4	35	2	170
	-	9.1%	1.4%	0.4%	18.9%	5.6%	8.4%	0.7%	1.4%	12.3%	0.7%	59.6%
性別役割分担別	242	66	9	25	44	13	14	4	5	22	1	110
	-	27.3%	3.7%	10.3%	18.2%	5.4%	5.8%	1.7%	2.1%	9.1%	0.4%	45.5%
賛成	774	219	20	95	163	42	65	12	7	88	9	331
	-	28.3%	2.6%	12.3%	21.1%	5.4%	8.4%	1.6%	0.9%	11.4%	1.2%	42.8%
反対	149	37	1	19	25	5	8	2	1	19	2	80
	-	24.8%	0.7%	12.8%	16.8%	3.4%	5.4%	1.3%	0.7%	12.8%	1.3%	53.7%

問 13 特に、女性が社会活動・地域活動に参加していく上ではどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

今回調査では、「男女が共に参画し協力し合える内容にする」(47.1%)が最も高く、次いで「接待や後片付け等を女性の役割としない」(35.6%)、「女性が発言しやすい雰囲気づくりをする」(33.2%)となっている。

性別でみると、「接待や後片付け等を女性の役割としない」(女性：40.8%、男性：28.7%)では女性が男性を、「女性も積極的に役職に登用する」(女性：22.6%、男性：34.7%)では男性が女性をそれぞれ10ポイント以上上回っている。

雇用形態別でみると、「派遣・契約社員」における「女性が発言しやすい雰囲気づくりをする」は48.5%、「学生」における「女性も積極的に役職に登用する」は44.4%と他の雇用形態に比べ高くなっている。



(主なその他の回答)

- ・女性自身の積極性
- ・女性の活動に参加する時間を増やす為の支援
- ・活動できる時間を選べる多様性
- ・職場の理解

複数回答のため 合計は100%に ならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	に女性も積極的に 登用する	女性が発言しやす い	男女が共に参画に 力合える内容にす る	活動するための施 設を整備する	家族や周囲の理 解を促進する	接待や後片付け等 を女性の役割とし ない	女性リーダーを 育成する	活動する上で必 要な情報を提供す る	資金的な援助を行 う	その他	特に必要ない	わからない
		323 27.4%	391 33.2%	555 47.1%	91 7.7%	314 26.7%	419 35.6%	156 13.2%	164 13.9%	115 9.8%	18 1.5%	24 2.0%	69 5.9%
今回調査	1,178	323	391	555	91	314	419	156	164	115	18	24	69
前回調査(H27)	1,452	346	509	678	122	396	431	242	227	142	25	27	85
女性	672	152	206	310	47	198	274	72	114	68	10	11	39
10代	9	4	3	4	0	1	4	2	0	0	0	0	1
20代	62	20	16	21	0	19	24	9	4	13	1	1	3
30代	84	25	33	37	7	24	33	7	12	10	5	2	4
40代	132	32	42	48	6	41	57	22	18	14	2	2	6
50代	128	29	37	67	7	42	64	13	25	16	0	0	7
60代	150	21	48	81	17	41	61	11	36	9	1	1	7
70歳以上	106	21	26	52	10	30	31	7	19	5	1	5	11
男性	481	167	176	233	43	109	138	81	47	45	7	11	30
10代	9	1	4	4	0	1	2	2	0	0	1	0	2
20代	37	11	12	21	4	7	8	4	5	6	0	0	3
30代	54	22	19	23	4	9	15	9	6	4	2	2	2
40代	61	19	19	30	10	14	20	11	4	4	3	1	5
50代	90	33	30	39	7	22	28	21	8	8	0	3	6
60代	127	47	57	65	16	29	35	17	17	14	0	4	4
70歳以上	101	34	34	49	2	26	29	17	7	9	1	1	8
雇用形態別	406	127	138	189	34	106	153	63	45	42	7	9	22
正社員・正職員	66	18	32	30	4	17	23	8	9	8	0	2	4
派遣・契約社員	212	49	63	90	17	70	82	26	35	27	2	2	9
パート・アルバイト	55	21	18	24	4	17	15	7	10	5	2	2	1
自営業・自由業	32	9	8	17	4	8	9	6	4	0	0	1	1
会社役員・経営者	142	27	42	83	12	40	58	12	28	10	3	4	7
専業主婦(夫)	36	16	12	15	1	4	15	8	2	5	1	0	2
学生	213	54	74	100	15	49	59	25	29	17	3	4	20
無職	823	217	277	398	65	234	292	105	114	74	14	21	46
配偶関係別	71	23	28	34	7	22	19	10	12	12	0	1	3
結婚している	47	6	14	14	5	8	15	7	10	1	1	1	7
離別	225	75	68	103	13	47	88	33	28	26	3	1	13
死別	225	75	68	103	13	47	88	33	28	26	3	1	13
結婚していない	858	225	287	412	71	244	300	108	128	80	11	19	50
子供有無別	285	90	93	126	19	64	108	44	33	32	7	5	14
いる	285	90	93	126	19	64	108	44	33	32	7	5	14
いない	858	225	287	412	71	244	300	108	128	80	11	19	50

## V 就労について

問 14 女性の仕事について、あなたの理想と現実が一番近いものはどれですか。男性の場合はあなたのパートナーについて（いない場合はいると仮定して）お答えください。

女性の仕事に対する考えについて、理想は、「結婚や出産後も、ずっと仕事は続ける」(31.2%)が最も高く、次いで「子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事は続ける」(25.4%)、「子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事は続ける」(23.6%)となっている。一方、現実には、「子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事は続ける」(32.2%)が最も高く、次いで「結婚や出産後も、ずっと仕事は続ける」(19.5%)、「子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事は続ける」(12.5%)となっている。

(n=997)

- ①結婚や出産後も、ずっと仕事は続ける
- ②子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事は続ける
- ③子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事は続ける
- ④子どもができたら仕事はやめる
- ⑤結婚したら仕事はやめる
- ⑥仕事はもたない
- ⑦わからない



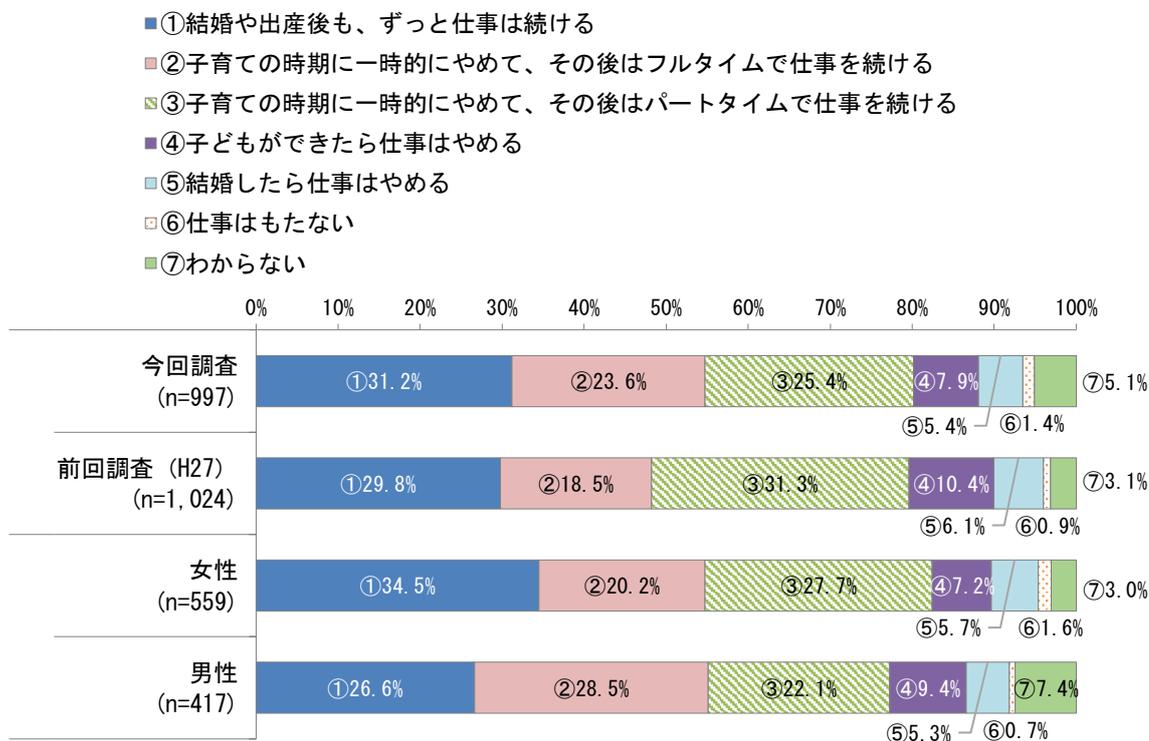
理想	現実	サンプル数	結婚や出産後も、ずっと	子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事は続ける	子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事は続ける	子どもができたら仕事はやめる	結婚したら仕事はやめる	仕事はもたない	わからない
			と仕事は続ける	で、その後はフルタイムにや	めて、その後はパートタイムにや	は子どもができたら仕事	る結婚したら仕事はやめ	仕事はもたない	わからない
997	997	997	311	125	235	79	54	14	51
100.0%	100.0%	100.0%	31.2%	12.5%	23.6%	7.9%	5.4%	1.4%	5.1%
			19.5%	32.2%	10.5%	9.9%	3.2%	12.1%	

※本設問では、「理想」と「現実」の両方について回答のあった997人を対象に集計している。

## ①理想

女性の仕事に対する考えについて、理想は、前回調査と比較すると、「子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事を続ける」が5.9ポイント減少している。

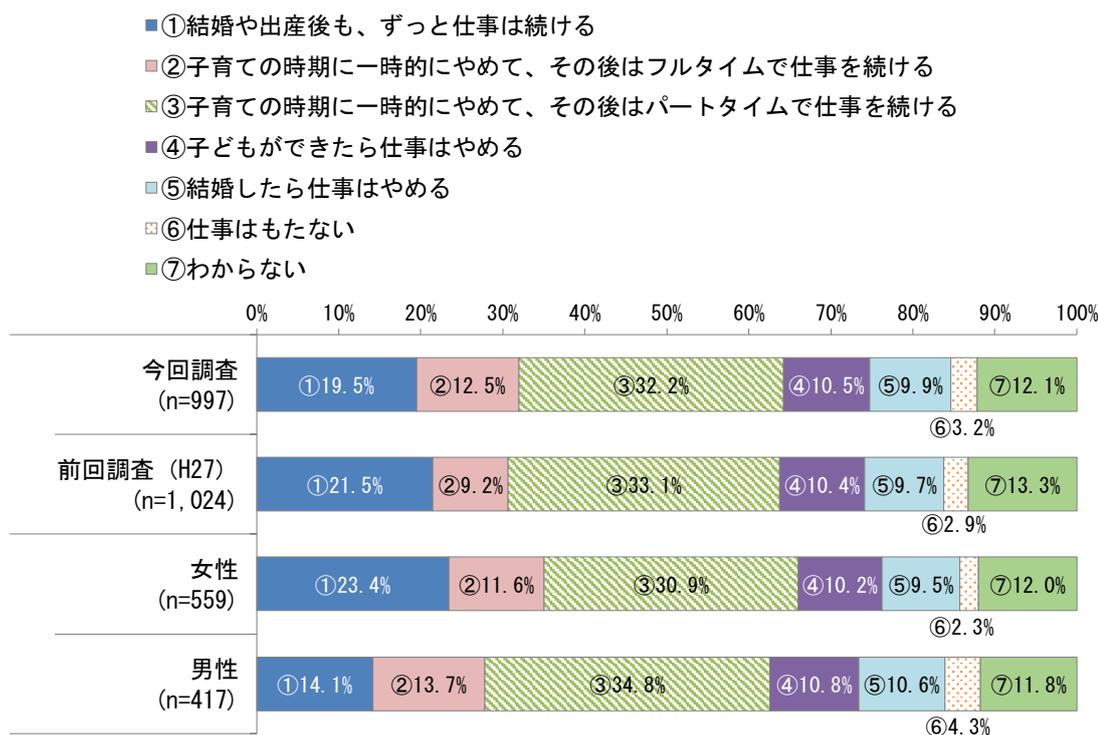
雇用形態別でみると、「学生」では「結婚や出産後も、ずっと仕事は続ける」が5割を超えている。



## ②現実

性別でみると、「結婚や出産後も、ずっと仕事は続ける」(女性：23.4%、男性：14.1%)では女性が男性を9.3ポイント上回っている。

雇用形態別でみると、「パート・アルバイト」においては、「子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事を続ける」が、理想(34.9%)と現実(58.1%)で大きな解離がある。



①理想

小数点第2位を 四捨五入している ため、合計は100% と一致しない場合 がある  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	結婚や出産後も、ずっと仕事を続ける	子育ての時期にフルタイムで仕事を続ける	子育ての時期にパートタイムで仕事を続ける	子どもができたらず仕事はやめる	結婚したら仕事はやめる	仕事はもたない	わからない
今回調査	997 100.0%	311 31.2%	235 23.6%	253 25.4%	79 7.9%	54 5.4%	14 1.4%	51 5.1%
前回調査(H27)	1,024 100.0%	305 29.8%	189 18.5%	321 31.3%	106 10.4%	62 6.1%	9 0.9%	32 3.1%
女性	559 100.0%	193 34.5%	113 20.2%	155 27.7%	40 7.2%	32 5.7%	9 1.6%	17 3.0%
10代	7 100.0%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
20代	53 100.0%	20 37.7%	4 7.5%	19 35.8%	4 7.5%	2 3.8%	2 3.8%	2 3.8%
30代	80 100.0%	27 33.8%	18 22.5%	23 28.8%	6 7.5%	5 6.3%	0 0.0%	1 1.3%
40代	122 100.0%	50 41.0%	21 17.2%	32 26.2%	12 9.8%	5 4.1%	0 0.0%	2 1.6%
50代	117 100.0%	39 33.3%	29 24.8%	32 27.4%	4 3.4%	8 6.8%	2 1.7%	3 2.6%
60代	114 100.0%	36 31.6%	26 22.8%	33 28.9%	8 7.0%	6 5.3%	2 1.8%	3 2.6%
70歳以上	65 100.0%	15 23.1%	15 23.1%	16 24.6%	5 7.7%	5 7.7%	3 4.6%	6 9.2%
男性	417 100.0%	111 26.6%	119 28.5%	92 22.1%	39 9.4%	22 5.3%	3 0.7%	31 7.4%
10代	8 100.0%	3 37.5%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%
20代	34 100.0%	8 23.5%	6 17.6%	14 41.2%	2 5.9%	1 2.9%	0 0.0%	3 8.8%
30代	54 100.0%	21 38.9%	18 33.3%	8 14.8%	2 3.7%	1 1.9%	0 0.0%	4 7.4%
40代	54 100.0%	17 31.5%	15 27.8%	12 22.2%	3 5.6%	2 3.7%	0 0.0%	5 9.3%
50代	78 100.0%	20 25.6%	25 32.1%	15 19.2%	6 7.7%	5 6.4%	0 0.0%	7 9.0%
60代	109 100.0%	30 27.5%	28 25.7%	24 22.0%	16 14.7%	5 4.6%	0 0.0%	6 5.5%
70歳以上	78 100.0%	12 15.4%	23 29.5%	19 24.4%	10 12.8%	7 9.0%	3 3.8%	4 5.1%
雇用形態別								
正社員・正職員	365 100.0%	139 38.1%	92 25.2%	78 21.4%	22 6.0%	16 4.4%	1 0.3%	17 4.7%
派遣・契約社員	58 100.0%	17 29.3%	14 24.1%	19 32.8%	4 6.9%	1 1.7%	0 0.0%	3 5.2%
パート・アルバイト	186 100.0%	52 28.0%	37 19.9%	65 34.9%	13 7.0%	12 6.5%	3 1.6%	4 2.2%
自営業・自由業	47 100.0%	14 29.8%	7 14.9%	8 17.0%	9 19.1%	2 4.3%	1 2.1%	6 12.8%
会社役員・経営者	27 100.0%	5 18.5%	5 18.5%	8 29.6%	3 11.1%	1 3.7%	3 11.1%	2 7.4%
専業主婦(夫)	124 100.0%	38 30.6%	25 20.2%	30 24.2%	13 10.5%	12 9.7%	1 0.8%	5 4.0%
学生	31 100.0%	16 51.6%	7 22.6%	2 6.5%	3 9.7%	1 3.2%	0 0.0%	2 6.5%
無職	147 100.0%	28 19.0%	47 32.0%	35 23.8%	12 8.2%	8 5.4%	5 3.4%	12 8.2%
配偶関係別								
結婚している	713 100.0%	213 29.9%	174 24.4%	183 25.7%	62 8.7%	44 6.2%	10 1.4%	27 3.8%
離別	60 100.0%	21 35.0%	15 25.0%	15 25.0%	6 10.0%	1 1.7%	0 0.0%	2 3.3%
死別	32 100.0%	5 15.6%	9 28.1%	11 34.4%	2 6.3%	1 3.1%	2 6.3%	2 6.3%
結婚していない	183 100.0%	71 38.8%	35 19.1%	39 21.3%	9 4.9%	7 3.8%	2 1.1%	20 10.9%
子供有無別								
いる	738 100.0%	214 29.0%	182 24.7%	194 26.3%	67 9.1%	43 5.8%	12 1.6%	26 3.5%
いない	232 100.0%	89 38.4%	49 21.1%	50 21.6%	11 4.7%	10 4.3%	2 0.9%	21 9.1%

②現実

小数点第2位を 四捨五入している ため、合計は100% と一致しない場合 がある  上段：回答者数 下段：構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	結婚や出産後も、ずっと仕事は続ける	子育ての時期にフルタイムで仕事を続ける	子育ての時期にパートタイムで仕事を続ける	子どもができたらずい	結婚したら仕事はやめる	仕事はもたない	わからない	
									今回調査
	997	194	125	321	105	99	32	121	
	100.0%	19.5%	12.5%	32.2%	10.5%	9.9%	3.2%	12.1%	
	1,024	220	94	339	106	99	30	136	
	100.0%	21.5%	9.2%	33.1%	10.4%	9.7%	2.9%	13.3%	
女性	559	131	65	173	57	53	13	67	
	100.0%	23.4%	11.6%	30.9%	10.2%	9.5%	2.3%	12.0%	
10代	7	0	0	4	1	0	0	2	
	100.0%	0.0%	0.0%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	
20代	53	10	7	10	6	2	0	18	
	100.0%	18.9%	13.2%	18.9%	11.3%	3.8%	0.0%	34.0%	
30代	80	22	13	19	10	7	1	8	
	100.0%	27.5%	16.3%	23.8%	12.5%	8.8%	1.3%	10.0%	
40代	122	46	11	38	5	6	1	15	
	100.0%	37.7%	9.0%	31.1%	4.1%	4.9%	0.8%	12.3%	
50代	117	24	13	36	16	13	3	12	
	100.0%	20.5%	11.1%	30.8%	13.7%	11.1%	2.6%	10.3%	
60代	114	17	12	49	14	17	3	2	
	100.0%	14.9%	10.5%	43.0%	12.3%	14.9%	2.6%	1.8%	
70歳以上	65	12	8	17	5	8	5	10	
	100.0%	18.5%	12.3%	26.2%	7.7%	12.3%	7.7%	15.4%	
男性	417	59	57	145	45	44	18	49	
	100.0%	14.1%	13.7%	34.8%	10.8%	10.6%	4.3%	11.8%	
10代	8	0	0	1	3	0	0	4	
	100.0%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	50.0%	
20代	34	7	4	7	4	3	0	9	
	100.0%	20.6%	11.8%	20.6%	11.8%	8.8%	0.0%	26.5%	
30代	54	14	11	17	4	3	2	3	
	100.0%	25.9%	20.4%	31.5%	7.4%	5.6%	3.7%	5.6%	
40代	54	10	3	21	4	4	3	9	
	100.0%	18.5%	5.6%	38.9%	7.4%	7.4%	5.6%	16.7%	
50代	78	10	14	33	4	5	5	7	
	100.0%	12.8%	17.9%	42.3%	5.1%	6.4%	6.4%	9.0%	
60代	109	10	17	46	11	13	2	10	
	100.0%	9.2%	15.6%	42.2%	10.1%	11.9%	1.8%	9.2%	
70歳以上	78	7	8	19	15	16	6	7	
	100.0%	9.0%	10.3%	24.4%	19.2%	20.5%	7.7%	9.0%	
雇用形態別	正社員・正職員	365	117	61	96	16	11	48	
		100.0%	32.1%	16.7%	26.3%	4.4%	3.0%	13.2%	
	派遣・契約社員	58	12	12	13	9	6	5	
		100.0%	20.7%	20.7%	22.4%	15.5%	10.3%	1.7%	8.6%
	パート・アルバイト	186	22	16	108	13	18	1	8
		100.0%	11.8%	8.6%	58.1%	7.0%	9.7%	0.5%	4.3%
	自営業・自由業	47	6	7	17	3	4	0	10
		100.0%	12.8%	14.9%	36.2%	6.4%	8.5%	0.0%	21.3%
会社役員・経営者	27	7	3	6	5	2	1	3	
	100.0%	25.9%	11.1%	22.2%	18.5%	7.4%	3.7%	11.1%	
専業主婦(夫)	124	7	8	30	29	32	8	10	
	100.0%	5.6%	6.5%	24.2%	23.4%	25.8%	6.5%	8.1%	
学生	31	1	1	8	6	0	0	15	
	100.0%	3.2%	3.2%	25.8%	19.4%	0.0%	0.0%	48.4%	
無職	147	19	14	40	23	20	9	22	
	100.0%	12.9%	9.5%	27.2%	15.6%	13.6%	6.1%	15.0%	
配偶関係別	結婚している	713	140	91	261	76	28	33	
		100.0%	19.6%	12.8%	36.6%	10.7%	11.8%	3.9%	4.6%
	離別	60	23	8	10	7	3	3	6
		100.0%	38.3%	13.3%	16.7%	11.7%	5.0%	5.0%	10.0%
死別	32	3	5	12	4	4	0	4	
	100.0%	9.4%	15.6%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	
結婚していない	183	26	19	34	18	7	1	78	
	100.0%	14.2%	10.4%	18.6%	9.8%	3.8%	0.5%	42.6%	
子供有無別	いる	738	150	93	270	85	27	30	
		100.0%	20.3%	12.6%	36.6%	11.5%	11.2%	3.7%	4.1%
いない	232	41	27	47	16	14	5	82	
	100.0%	17.7%	11.6%	20.3%	6.9%	6.0%	2.2%	35.3%	

問 15 問 14 の「②現実」で、「2」～「6」を選んだ方におたずねします。

その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

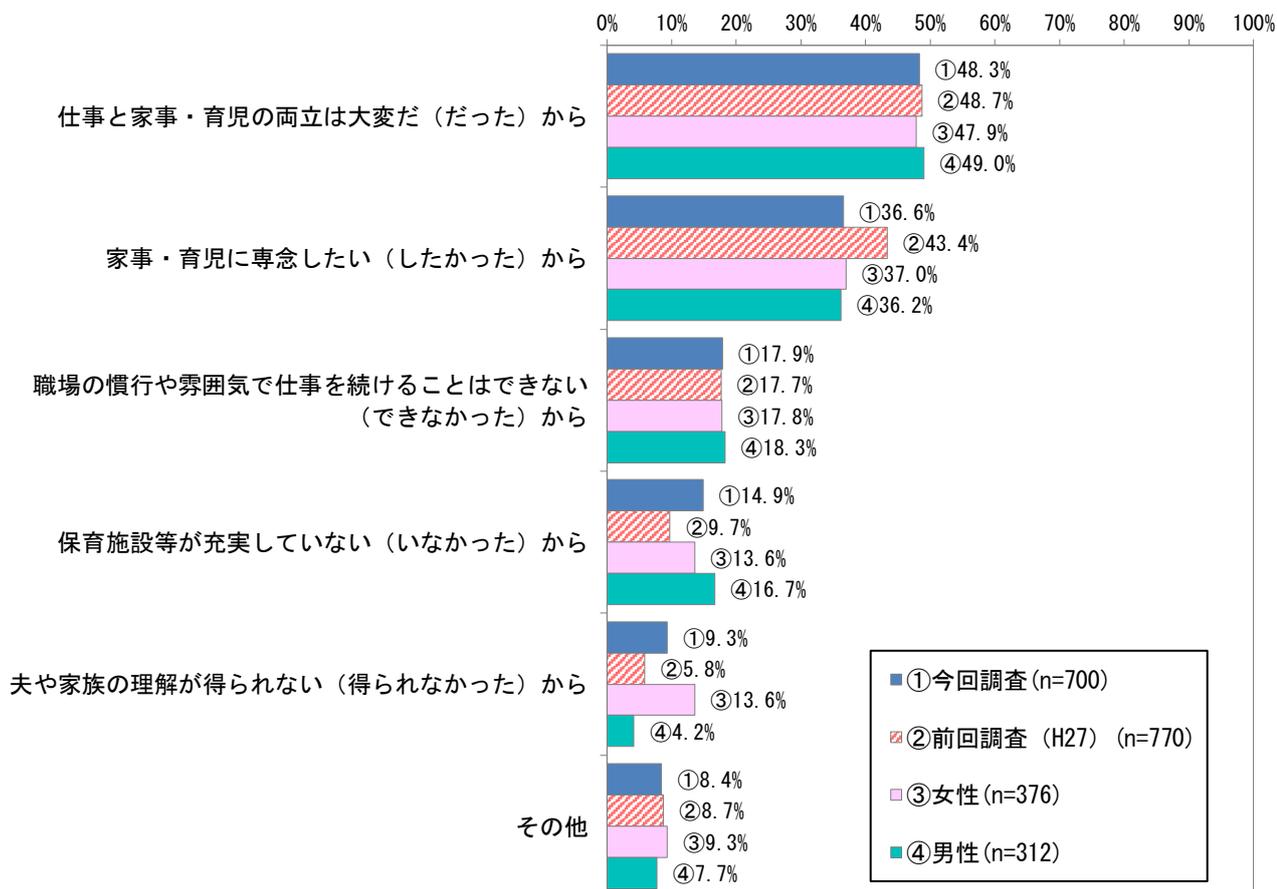
※問 14 の選択肢

- 2 子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 3 子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事を続ける
- 4 子どもができたら仕事はやめる
- 5 結婚したら仕事はやめる
- 6 仕事はもたない

現実の女性の働き方として上記を選択した理由について、今回調査では、「仕事と家事・育児の両立は大変だ(だった)から」(48.3%)が最も高く、次いで「家事・育児に専念したい(したかった)から」(36.6%)、「職場の慣行や雰囲気仕事を続けることはできない(できなかった)から」(17.9%)となっている。

前回調査と比較すると、「家事・育児に専念したい(したかった)から」が 6.8 ポイント減少し、「保育施設等が充実していない(いなかった)から」が 5.2 ポイント増加している。

性別役割分担に対する考え方(問 6 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方)別にみると、「家事・育児に専念したい(したかった)から」において、性別役割分担に『賛成』(「賛成」+「どちらかといえば賛成」)の人が 48.2%となっており、『反対』(「反対」+「どちらかといえば反対」)の人を 16.0 ポイント上回っている。



(主なその他の回答)

- ・病気の為
- ・収入面で大変になるため
- ・老後の生活のため
- ・親の介護
- ・子供の成長により時間が作れるようになったから
- ・学校や幼稚園などの役員があるから

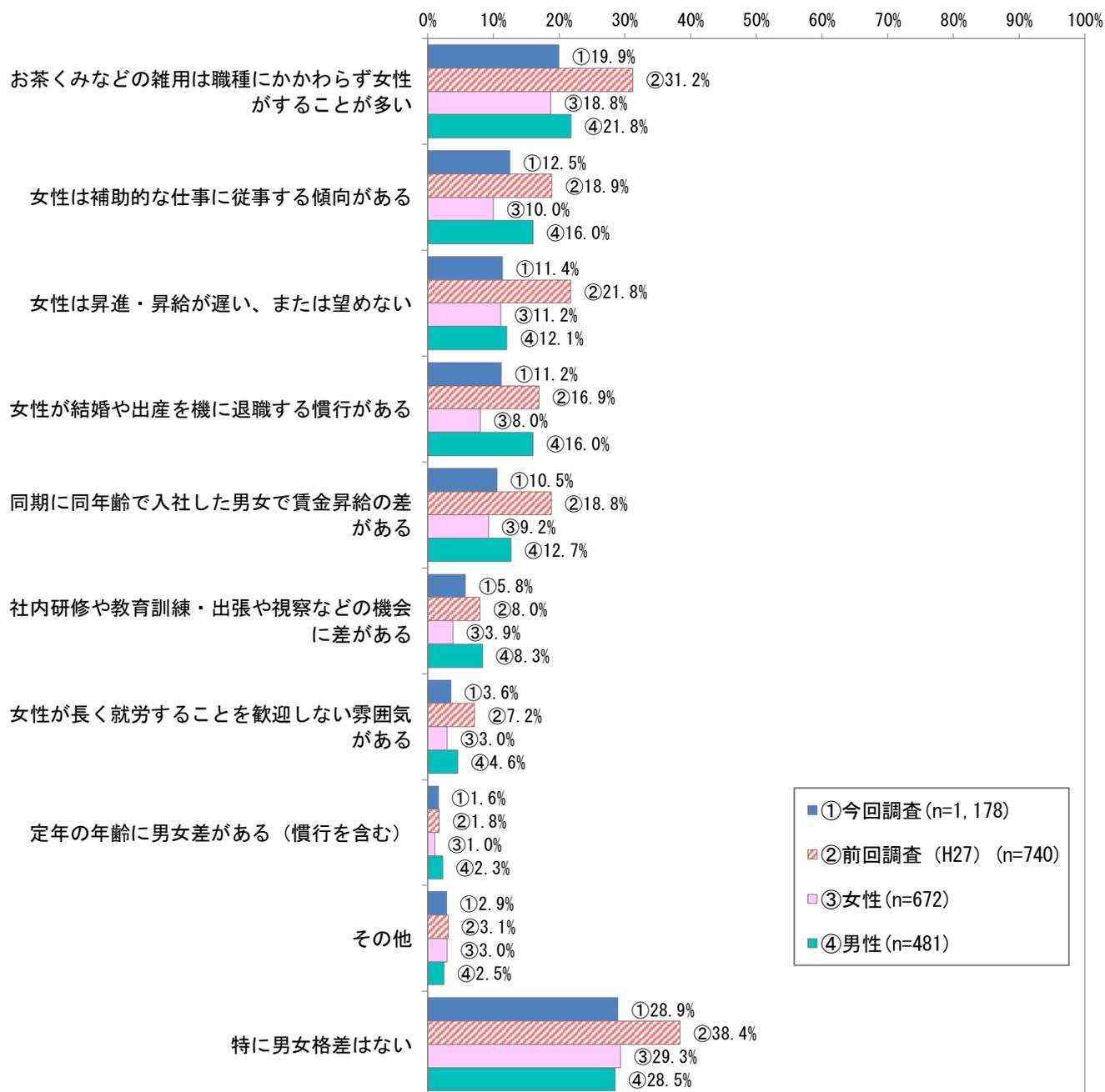
複数回答のため 合計は100%に ならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	家事・育児に専念したい (しなかった)から	保育施設等が充実していない (いなかった)から	夫や家族の理解が得られない (得られなかった)から	職場の慣行や雰囲気です仕事を 続けることはできない(でき なかつた)から	仕事と家事・育児の両立 は大変だ(だった)から	その他
今回調査	700 -	256 36.6%	104 14.9%	65 9.3%	125 17.9%	338 48.3%	59 8.4%
前回調査(H27)	770 -	334 43.4%	75 9.7%	45 5.8%	136 17.7%	375 48.7%	67 8.7%
女性	376 -	139 37.0%	51 13.6%	51 13.6%	67 17.8%	180 47.9%	35 9.3%
10代	5 -	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%
20代	25 -	5 20.0%	6 24.0%	2 8.0%	7 28.0%	14 56.0%	3 12.0%
30代	50 -	27 54.0%	8 16.0%	4 8.0%	14 28.0%	25 50.0%	3 6.0%
40代	62 -	19 30.6%	9 14.5%	10 16.1%	14 22.6%	32 51.6%	5 8.1%
50代	86 -	34 39.5%	11 12.8%	13 15.1%	11 12.8%	36 41.9%	10 11.6%
60代	100 -	33 33.0%	9 9.0%	17 17.0%	14 14.0%	53 53.0%	12 12.0%
70歳以上	47 -	19 40.4%	6 12.8%	5 10.6%	6 12.8%	17 36.2%	2 4.3%
男性	312 -	113 36.2%	52 16.7%	13 4.2%	57 18.3%	153 49.0%	24 7.7%
10代	4 -	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%
20代	18 -	8 44.4%	2 11.1%	0 0.0%	2 11.1%	9 50.0%	3 16.7%
30代	37 -	15 40.5%	7 18.9%	2 5.4%	5 13.5%	19 51.4%	5 13.5%
40代	35 -	9 25.7%	9 25.7%	2 5.7%	9 25.7%	14 40.0%	1 2.9%
50代	62 -	21 33.9%	8 12.9%	3 4.8%	8 12.9%	32 51.6%	7 11.3%
60代	90 -	35 38.9%	13 14.4%	1 1.1%	15 16.7%	41 45.6%	8 8.9%
70歳以上	65 -	24 36.9%	12 18.5%	5 7.7%	17 26.2%	35 53.8%	0 0.0%
雇用形態別							
正社員・正職員	205 -	80 39.0%	33 16.1%	12 5.9%	32 15.6%	101 49.3%	20 9.8%
派遣・契約社員	41 -	9 22.0%	5 12.2%	5 12.2%	8 19.5%	17 41.5%	2 4.9%
パート・アルバイト	159 -	62 39.0%	18 11.3%	17 10.7%	28 17.6%	83 52.2%	16 10.1%
自営業・自由業	33 -	9 27.3%	6 18.2%	5 15.2%	3 9.1%	12 36.4%	4 12.1%
会社役員・経営者	17 -	8 47.1%	2 11.8%	2 11.8%	2 11.8%	7 41.2%	0 0.0%
専業主婦(夫)	110 -	43 39.1%	14 12.7%	12 10.9%	18 16.4%	46 41.8%	14 12.7%
学生	15 -	3 20.0%	4 26.7%	0 0.0%	3 20.0%	8 53.3%	0 0.0%
無職	110 -	40 36.4%	20 18.2%	12 10.9%	30 27.3%	58 52.7%	3 2.7%
配偶関係別							
結婚している	554 -	219 39.5%	72 13.0%	50 9.0%	93 16.8%	263 47.5%	52 9.4%
離別	33 -	10 30.3%	8 24.2%	4 12.1%	7 21.2%	18 54.5%	0 0.0%
死別	26 -	8 30.8%	1 3.8%	3 11.5%	5 19.2%	10 38.5%	2 7.7%
結婚していない	80 -	16 20.0%	23 28.8%	8 10.0%	20 25.0%	41 51.3%	5 6.3%
子供有無別							
いる	575 -	225 39.1%	75 13.0%	55 9.6%	100 17.4%	273 47.5%	50 8.7%
いない	110 -	29 26.4%	25 22.7%	8 7.3%	23 20.9%	55 50.0%	9 8.2%
性別役割分担別							
賛成	166 -	80 48.2%	19 11.4%	11 6.6%	18 10.8%	81 48.8%	12 7.2%
反対	450 -	145 32.2%	77 17.1%	50 11.1%	92 20.4%	220 48.9%	39 8.7%
わからない	80 -	31 38.8%	8 10.0%	4 5.0%	15 18.8%	37 46.3%	7 8.8%

問 16 働いている方（パートタイマー、派遣、アルバイトをしている学生も含む）におたずねします。あなたの職場で現在次のような男女格差がありますか。（○はいくつでも）

今回調査では、「特に男女格差はない」（28.9%）が最も高く、次いで「お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い」（19.9%）、「女性は補助的な仕事に従事する傾向がある」（12.5%）となっている。

前回調査と比較すると、「お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い」、「女性は昇進・昇給が遅い、または望めない」がそれぞれ10ポイント以上減少している。

年代別でみると、女性の40代、男性の30代で「お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い」がそれぞれ35.6%、38.9%と他の年代に比べ高くなっている。



（主なその他の回答）

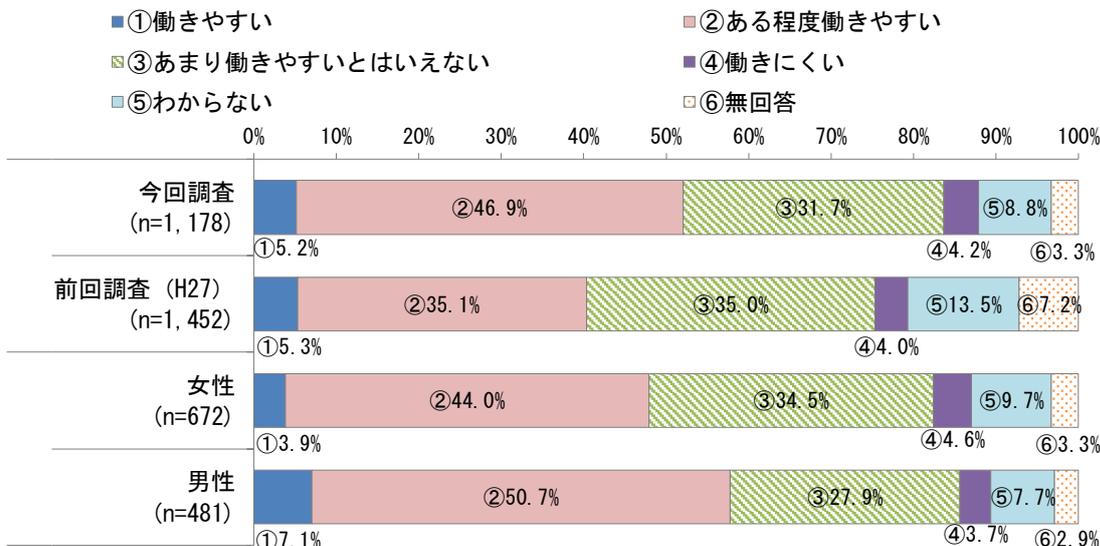
- ・ 男性は外見採用より能力採用なのに、女性は見た目だけで採用されることがある
- ・ 上司の男女に対する扱いが違う
- ・ 同じ正社員でも女性の方が仕事量や残業等優遇されている

複数回答のため 合計は100%に ならない  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	がた同期に ある男女で 賃金昇給の 差がある	社内研修や 出張や視察 などの機会 がある	ある(慣行を 含む) 定 年の年齢に 男女差が	女性 は昇進・昇 給が遅い、 または望め ない	女性 が結婚や出 産を機に退 職する慣行 がある	女性 が長く就労 することを 歓迎しない 雰囲気	女性 は補助的な 仕事に就く 傾向がある	お茶 くみなどの 雑用は職種 にかかわらず 女性が多い	その他	特に 男女格差は ない
今回調査	1,178	124 10.5%	68 5.8%	19 1.6%	134 11.4%	132 11.2%	42 3.6%	147 12.5%	235 19.9%	34 2.9%	341 28.9%
前回調査(H27)	740	139 18.8%	59 8.0%	13 1.8%	161 21.8%	125 16.9%	53 7.2%	140 18.9%	231 31.2%	23 3.1%	284 38.4%
女性	672	62 9.2%	26 3.9%	7 1.0%	75 11.2%	54 8.0%	20 3.0%	67 10.0%	126 18.8%	20 3.0%	197 29.3%
10代	9	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%
20代	62	6 9.7%	1 1.6%	2 3.2%	6 9.7%	12 19.4%	3 4.8%	6 9.7%	14 22.6%	1 1.6%	27 43.5%
30代	84	9 10.7%	3 3.6%	0 0.0%	11 13.1%	11 13.1%	4 4.8%	5 6.0%	16 19.0%	3 3.6%	32 38.1%
40代	132	17 12.9%	8 6.1%	2 1.5%	21 15.9%	10 7.6%	4 3.0%	21 15.9%	47 35.6%	3 2.3%	48 36.4%
50代	128	15 11.7%	8 6.3%	3 2.3%	20 15.6%	10 7.8%	4 3.1%	17 13.3%	29 22.7%	6 4.7%	42 32.8%
60代	150	12 8.0%	5 3.3%	0 0.0%	12 8.0%	8 5.3%	4 2.7%	14 9.3%	15 10.0%	6 4.0%	34 22.7%
70歳以上	106	3 2.8%	1 0.9%	0 0.0%	5 4.7%	2 1.9%	1 0.9%	3 2.8%	4 3.8%	1 0.9%	11 10.4%
男性	481	61 12.7%	40 8.3%	11 2.3%	58 12.1%	77 16.0%	22 4.6%	77 16.0%	105 21.8%	12 2.5%	137 28.5%
10代	9	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%
20代	37	4 10.8%	3 8.1%	0 0.0%	4 10.8%	7 18.9%	2 5.4%	7 18.9%	10 27.0%	1 2.7%	20 54.1%
30代	54	4 7.4%	8 14.8%	2 3.7%	6 11.1%	12 22.2%	2 3.7%	17 31.5%	21 38.9%	1 1.9%	20 37.0%
40代	61	8 13.1%	6 9.8%	1 1.6%	7 11.5%	12 19.7%	3 4.9%	15 24.6%	15 24.6%	2 3.3%	19 31.1%
50代	90	12 13.3%	9 10.0%	2 2.2%	9 10.0%	12 13.3%	4 4.4%	13 14.4%	20 22.2%	3 3.3%	34 37.8%
60代	127	23 18.1%	9 7.1%	4 3.1%	24 18.9%	25 19.7%	7 5.5%	16 12.6%	24 18.9%	4 3.1%	34 26.8%
70歳以上	101	10 9.9%	5 5.0%	2 2.0%	8 7.9%	8 7.9%	4 4.0%	8 7.9%	15 14.9%	0 0.0%	7 6.9%
雇用形態別											
正社員・正職員	406	64 15.8%	40 9.9%	7 1.7%	68 16.7%	64 15.8%	18 4.4%	74 18.2%	130 32.0%	15 3.7%	152 37.4%
派遣・契約社員	66	9 13.6%	4 6.1%	2 3.0%	10 15.2%	9 13.6%	4 6.1%	15 22.7%	18 27.3%	0 0.0%	25 37.9%
パート・アルバイト	212	28 13.2%	16 7.5%	4 1.9%	26 12.3%	27 12.7%	10 4.7%	33 15.6%	46 21.7%	10 4.7%	97 45.8%
自営業・自由業	55	6 10.9%	1 1.8%	2 3.6%	7 12.7%	9 16.4%	1 1.8%	8 14.5%	8 14.5%	4 7.3%	22 40.0%
会社役員・経営者	32	4 12.5%	1 3.1%	1 3.1%	4 12.5%	5 15.6%	0 0.0%	2 6.3%	7 21.9%	0 0.0%	12 37.5%
専業主婦(夫)	142	4 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.8%	4 2.8%	1 0.7%	2 1.4%	5 3.5%	3 2.1%	3 2.1%
学生	36	1 2.8%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.8%	2 5.6%	1 2.8%	2 5.6%	2 5.6%	1 2.8%	19 52.8%
無職	213	7 3.3%	5 2.3%	2 0.9%	13 6.1%	10 4.7%	7 3.3%	10 4.7%	18 8.5%	1 0.5%	7 3.3%
配偶関係別											
結婚している	823	93 11.3%	51 6.2%	10 1.2%	89 10.8%	92 11.2%	27 3.3%	106 12.9%	164 19.9%	21 2.6%	221 26.9%
離別	71	5 7.0%	6 8.5%	2 2.8%	13 18.3%	8 11.3%	3 4.2%	8 11.3%	9 12.7%	1 1.4%	25 35.2%
死別	47	3 6.4%	1 2.1%	0 0.0%	3 6.4%	3 6.4%	0 0.0%	5 10.6%	4 8.5%	3 6.4%	11 23.4%
結婚していない	225	23 10.2%	9 4.0%	7 3.1%	28 12.4%	26 11.6%	12 5.3%	27 12.0%	56 24.9%	9 4.0%	81 36.0%
子供有無別											
いる	858	91 10.6%	53 6.2%	12 1.4%	95 11.1%	90 10.5%	26 3.0%	108 12.6%	154 17.9%	23 2.7%	232 27.0%
いない	285	29 10.2%	13 4.6%	5 1.8%	34 11.9%	38 13.3%	14 4.9%	35 12.3%	73 25.6%	10 3.5%	99 34.7%

問17 社会全体として女性が働きやすい状況にあると思いますか。(〇は1つ)

今回調査では、「ある程度働きやすい」(46.9%)が最も高く、次いで「あまり働きやすいとはいえない」(31.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「ある程度働きやすい」が11.8ポイント増加している。



調査対象	サンプル数	働きやすい	ある程度働きやすい		あまり働きやすいとはいえない		働きにくい	わからない	無回答			
			人数	割合	人数	割合						
今回調査	1,178	61	552	46.9%	373	31.7%	49	4.2%	104	8.8%	39	3.3%
前回調査 (H27)	1,452	77	509	35.1%	508	35.0%	58	4.0%	196	13.5%	104	7.2%
女性	672	26	296	44.0%	232	34.5%	31	4.6%	65	9.7%	22	3.3%
10代	9	1	3	33.3%	5	55.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	62	2	32	51.6%	20	32.3%	3	4.8%	5	8.1%	0	0.0%
30代	84	5	28	33.3%	37	44.0%	8	9.5%	5	6.0%	1	1.2%
40代	132	7	69	52.3%	43	32.6%	5	3.8%	4	3.0%	4	3.0%
50代	128	1	54	42.2%	56	43.8%	5	3.9%	12	9.4%	0	0.0%
60代	150	9	65	43.3%	52	34.7%	7	4.7%	13	8.7%	4	2.7%
70歳以上	106	1	44	41.5%	19	17.9%	3	2.8%	26	24.5%	13	12.3%
男性	481	34	244	50.7%	134	27.9%	18	3.7%	37	7.7%	14	2.9%
10代	9	0	4	44.4%	3	33.3%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%
20代	37	3	21	56.8%	10	27.0%	1	2.7%	2	5.4%	0	0.0%
30代	54	5	27	50.0%	19	35.2%	0	0.0%	3	5.6%	0	0.0%
40代	61	3	35	57.4%	13	21.3%	5	8.2%	4	6.6%	1	1.6%
50代	90	7	40	44.4%	30	33.3%	1	1.1%	8	8.9%	4	4.4%
60代	127	10	68	53.5%	33	26.0%	9	7.1%	5	3.9%	2	1.6%
70歳以上	101	6	47	46.5%	26	25.7%	1	1.0%	14	13.9%	7	6.9%

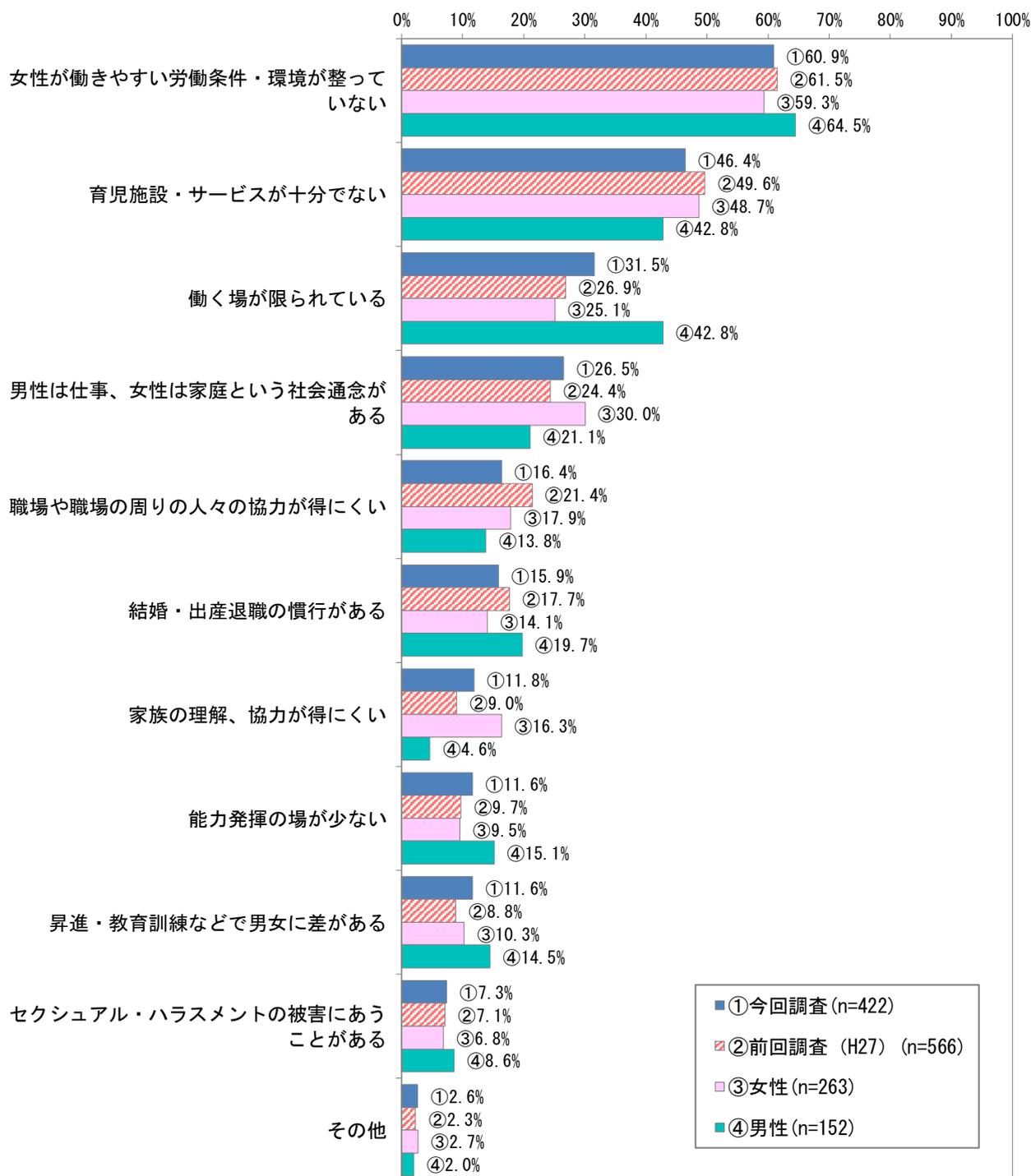
調査対象	サンプル数	働きやすい	ある程度働きやすい		あまり働きやすいとはいえない		働きにくい	わからない	無回答			
			人数	割合	人数	割合						
今回調査	1,178	61	552	46.9%	373	31.7%	49	4.2%	104	8.8%	39	3.3%
前回調査 (H27)	1,452	77	509	35.1%	508	35.0%	58	4.0%	196	13.5%	104	7.2%
女性	672	26	296	44.0%	232	34.5%	31	4.6%	65	9.7%	22	3.3%
10代	9	1	3	33.3%	5	55.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	62	2	32	51.6%	20	32.3%	3	4.8%	5	8.1%	0	0.0%
30代	84	5	28	33.3%	37	44.0%	8	9.5%	5	6.0%	1	1.2%
40代	132	7	69	52.3%	43	32.6%	5	3.8%	4	3.0%	4	3.0%
50代	128	1	54	42.2%	56	43.8%	5	3.9%	12	9.4%	0	0.0%
60代	150	9	65	43.3%	52	34.7%	7	4.7%	13	8.7%	4	2.7%
70歳以上	106	1	44	41.5%	19	17.9%	3	2.8%	26	24.5%	13	12.3%
男性	481	34	244	50.7%	134	27.9%	18	3.7%	37	7.7%	14	2.9%
10代	9	0	4	44.4%	3	33.3%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%
20代	37	3	21	56.8%	10	27.0%	1	2.7%	2	5.4%	0	0.0%
30代	54	5	27	50.0%	19	35.2%	0	0.0%	3	5.6%	0	0.0%
40代	61	3	35	57.4%	13	21.3%	5	8.2%	4	6.6%	1	1.6%
50代	90	7	40	44.4%	30	33.3%	1	1.1%	8	8.9%	4	4.4%
60代	127	10	68	53.5%	33	26.0%	9	7.1%	5	3.9%	2	1.6%
70歳以上	101	6	47	46.5%	26	25.7%	1	1.0%	14	13.9%	7	6.9%

問18 問17で「3」「4」と答えた方におたずねします。

そう思う理由はなんですか。(〇は3つまで)

女性が働きにくいと思う理由について、今回調査では、「女性が働きやすい労働条件・環境が整っていない」(60.9%)が最も高く、次いで「育児施設・サービスが十分でない」(46.4%)、「働く場が限られている」(31.5%)となっている。

性別で見ると、「働く場が限られている」(女性：25.1%、男性：42.8%)では女性が男性を17.7ポイント下回り、「家族の理解、協力が得にくい」(女性：16.3%、男性：4.6%)では女性が男性を11.7ポイント上回っている。



(主なその他の回答)

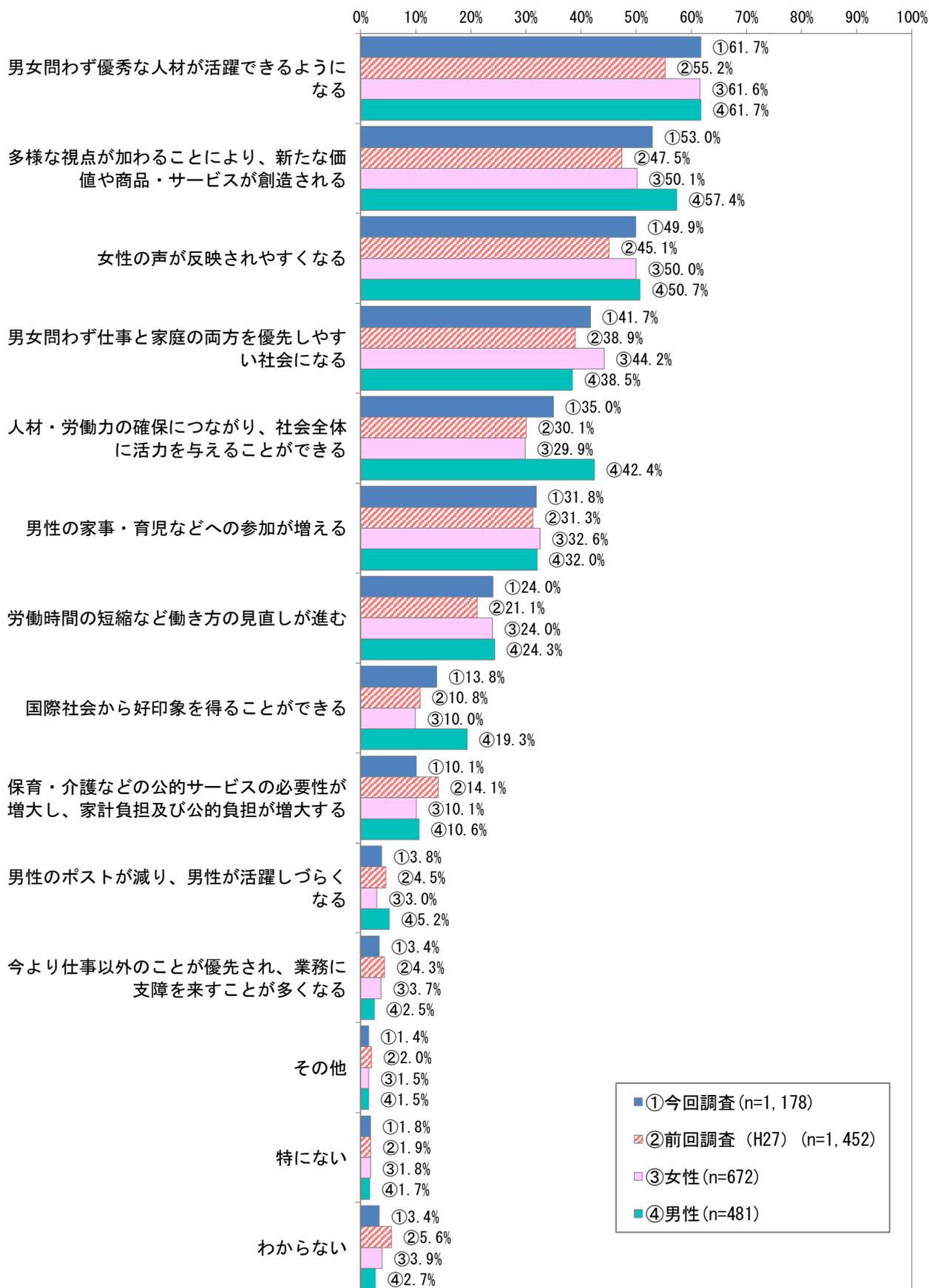
- ・介護をする場合、必然的にフルタイムは続けられない状況がある
- ・学校行事が平日で通常、母親の参加が多い
- ・パワーハラスメント
- ・男尊女卑の慣習が特に男性に多くみられる

複数回答のため 合計は100%に ならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	その他										
		て働女性 い条件が ない働き 環境が やす 整いつ 労	い能力 発揮の 場が少 な	る働く 場が限 られて い	が育児 施設・ サービ ス	で昇進・ 教育訓 練など で男女 に差が ある	行結婚・ 出産退 職の慣 がある	が家庭と いう社 会通念 は	得に族 の理 解、協 力が	い人々 の協 力の 得に りく の	うスセ クメン トの被 害・ハ アラ	その 他
今回調査	422	257 60.9%	49 11.6%	133 31.5%	196 46.4%	49 11.6%	67 15.9%	112 26.5%	50 11.8%	69 16.4%	31 7.3%	11 2.6%
前回調査(H27)	566	348 61.5%	55 9.7%	152 26.9%	281 49.6%	50 8.8%	100 17.7%	138 24.4%	51 9.0%	121 21.4%	40 7.1%	13 2.3%
女性	263	156 59.3%	25 9.5%	66 25.1%	128 48.7%	27 10.3%	37 14.1%	79 30.0%	43 16.3%	47 17.9%	18 6.8%	7 2.7%
10代	5	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20代	23	14 60.9%	2 8.7%	7 30.4%	11 47.8%	4 17.4%	7 30.4%	5 21.7%	0 0.0%	2 8.7%	4 17.4%	0 0.0%
30代	45	26 57.8%	4 8.9%	9 20.0%	26 57.8%	1 2.2%	6 13.3%	16 35.6%	7 15.6%	14 31.1%	1 2.2%	2 4.4%
40代	48	33 68.8%	3 6.3%	8 16.7%	20 41.7%	6 12.5%	5 10.4%	19 39.6%	10 20.8%	9 18.8%	2 4.2%	3 6.3%
50代	61	32 52.5%	10 16.4%	17 27.9%	30 49.2%	7 11.5%	6 9.8%	19 31.1%	13 21.3%	12 19.7%	5 8.2%	1 1.6%
60代	59	38 64.4%	5 8.5%	16 27.1%	30 50.8%	3 5.1%	7 11.9%	13 22.0%	11 18.6%	7 11.9%	5 8.5%	1 1.7%
70歳以上	22	11 50.0%	1 4.5%	9 40.9%	9 40.9%	5 22.7%	3 13.6%	5 22.7%	2 9.1%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%
男性	152	98 64.5%	23 15.1%	65 42.8%	65 42.8%	22 14.5%	30 19.7%	32 21.1%	7 4.6%	21 13.8%	13 8.6%	3 2.0%
10代	4	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%
20代	11	6 54.5%	3 27.3%	5 45.5%	5 45.5%	2 18.2%	3 27.3%	5 45.5%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
30代	19	13 68.4%	3 15.8%	6 31.6%	5 26.3%	1 5.3%	6 31.6%	5 26.3%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	2 10.5%
40代	18	12 66.7%	1 5.6%	8 44.4%	12 66.7%	4 22.2%	4 22.2%	3 16.7%	0 0.0%	1 5.6%	3 16.7%	0 0.0%
50代	31	20 64.5%	3 9.7%	10 32.3%	14 45.2%	5 16.1%	3 9.7%	5 16.1%	3 9.7%	6 19.4%	4 12.9%	0 0.0%
60代	42	28 66.7%	9 21.4%	20 47.6%	20 47.6%	7 16.7%	7 16.7%	3 7.1%	2 4.8%	6 14.3%	3 7.1%	0 0.0%
70歳以上	27	18 66.7%	4 14.8%	14 51.9%	7 25.9%	3 11.1%	6 22.2%	11 40.7%	2 7.4%	5 18.5%	2 7.4%	0 0.0%
雇用形態別	148	96 64.9%	17 11.5%	40 27.0%	73 49.3%	22 14.9%	24 16.2%	36 24.3%	10 6.8%	27 18.2%	9 6.1%	5 3.4%
派遣・契約社員	24	11 45.8%	5 20.8%	10 41.7%	12 50.0%	2 8.3%	6 25.0%	8 33.3%	3 12.5%	1 4.2%	5 20.8%	0 0.0%
パート・アルバイト	76	48 63.2%	8 10.5%	29 38.2%	36 47.4%	4 5.3%	8 10.5%	22 28.9%	14 18.4%	14 18.4%	3 3.9%	1 1.3%
自営業・自由業	20	10 50.0%	0 0.0%	4 20.0%	12 60.0%	1 5.0%	5 25.0%	6 30.0%	5 25.0%	2 10.0%	3 15.0%	1 5.0%
会社役員・経営者	9	4 44.4%	3 33.3%	5 55.6%	2 22.2%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
専業主婦(夫)	60	39 65.0%	7 11.7%	13 21.7%	32 53.3%	5 8.3%	3 5.0%	15 25.0%	11 18.3%	8 13.3%	2 3.3%	2 3.3%
学生	14	6 42.9%	0 0.0%	4 28.6%	8 57.1%	3 21.4%	6 42.9%	4 28.6%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%
無職	66	40 60.6%	9 13.6%	28 42.4%	19 28.8%	9 13.6%	13 19.7%	20 30.3%	6 9.1%	14 21.2%	8 12.1%	0 0.0%
配偶関係別	285	174 61.1%	37 13.0%	93 32.6%	135 47.4%	33 11.6%	42 14.7%	74 26.0%	41 14.4%	47 16.5%	17 6.0%	7 2.5%
離別	36	26 72.2%	3 8.3%	13 36.1%	19 52.8%	5 13.9%	7 19.4%	11 30.6%	1 2.8%	3 8.3%	3 8.3%	1 2.8%
死別	11	3 27.3%	0 0.0%	4 36.4%	3 27.3%	1 9.1%	2 18.2%	5 45.5%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%
結婚していない	87	51 58.6%	8 9.2%	23 26.4%	38 43.7%	10 11.5%	16 18.4%	22 25.3%	6 6.9%	15 17.2%	11 12.6%	2 2.3%
子供有無別	298	186 62.4%	34 11.4%	98 32.9%	138 46.3%	33 11.1%	43 14.4%	81 27.2%	43 14.4%	49 16.4%	18 6.0%	6 2.0%
いない	109	62 56.9%	13 11.9%	30 27.5%	54 49.5%	13 11.9%	24 22.0%	30 27.5%	6 5.5%	18 16.5%	11 10.1%	4 3.7%

問19 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思いますか。(〇はいくつでも)

今回調査では、「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」(61.7%)が最も高く、次いで「多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」(53.0%)、「女性の声が反映されやすくなる」(49.9%)となっている。

性別でみると、「人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる」(女性:29.9%、男性:42.4%)、「国際社会から好印象を得ることができる」(女性:10.0%、男性:19.3%)では女性が男性をそれぞれ約10ポイント下回っている。



(主なその他の回答)

- ・男女の差別がひどくなると思う
- ・女性の仕事が増えすぎる
- ・世の中が面白くなると思う
- ・女の社会参加を推し進めると、子供や高齢者の生活が悪いほうへ大きく変化する
- ・良い意味でも悪い意味でも、女性の声が反映される為、些事なことに行政のエネルギーが分散され、大局の転換に対応できない恐れを感じる
- ・発言力のある女性が増えると、男女平等参画社会が加速すると思う
- ・仕事のやり方が今と違う誰も見たことのない違う形になる
- ・女性の経済力向上により、税収アップ、公的負担が減少する
- ・少子化がますます進行する

複数回答のため 合計は100%にならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	回答内容														
		多様な視点 が加わる 商品・サー ビスが創 造される	人材・労働 力の確保 に力を与 えること ができる	女性の声 が反映さ れやす くなる	国際社会 から好印 象を得 ることが できる	男女問わ ず優秀な 人材が 活躍でき るよう になる	男女問わ ず仕事と 家庭の 両方を 優先し やすい 社会 になる	労働時間 の短縮 など働 き方 の見直 しが進 む	男性の家 事・育 児など への参 加が増 える	男性の 仕事 以外 の優 先 が 多 く な る	男性の ポスト が 減 り 、 男 性 が 活 躍 し づ ら く な る	保育・介 護など の公的 負担 が 増 大 す る	その他	特 に な い	わ か ら な い	
今回調査	1,178	624	412	588	163	727	491	283	375	40	45	119	17	21	40	
	-	53.0%	35.0%	49.9%	13.8%	61.7%	41.7%	24.0%	31.8%	3.4%	3.8%	10.1%	1.4%	1.8%	3.4%	
前回調査(H27)	1,452	689	437	655	157	802	565	307	454	63	66	205	29	27	81	
	-	47.5%	30.1%	45.1%	10.8%	55.2%	38.9%	21.1%	31.3%	4.3%	4.5%	14.1%	2.0%	1.9%	5.6%	
女性	672	337	201	336	67	414	297	161	219	25	20	68	10	12	26	
	-	50.1%	29.9%	50.0%	10.0%	61.6%	44.2%	24.0%	32.6%	3.7%	3.0%	10.1%	1.5%	1.8%	3.9%	
10代	9	6	4	4	1	5	3	1	3	0	0	0	0	0	1	
	-	66.7%	44.4%	44.4%	11.1%	55.6%	33.3%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	
20代	62	31	14	32	7	34	32	20	23	2	2	6	1	1	1	
	-	50.0%	22.6%	51.6%	11.3%	54.8%	51.6%	32.3%	37.1%	3.2%	3.2%	9.7%	1.6%	1.6%	1.6%	
30代	84	43	22	45	11	50	44	30	26	4	6	13	3	1	3	
	-	51.2%	26.2%	53.6%	13.1%	59.5%	52.4%	35.7%	31.0%	4.8%	7.1%	15.5%	3.6%	1.2%	3.6%	
40代	132	65	38	68	12	85	72	36	47	8	6	9	2	0	1	
	-	49.2%	28.8%	51.5%	9.1%	64.4%	54.5%	27.3%	35.6%	6.1%	4.5%	6.8%	1.5%	0.0%	0.8%	
50代	128	71	43	60	12	83	57	24	45	4	0	16	4	1	4	
	-	55.5%	33.6%	46.9%	9.4%	64.8%	44.5%	18.8%	35.2%	3.1%	0.0%	12.5%	3.1%	0.8%	3.1%	
60代	150	75	49	78	10	102	56	29	45	3	2	12	0	6	5	
	-	50.0%	32.7%	52.0%	6.7%	68.0%	37.3%	19.3%	30.0%	2.0%	1.3%	8.0%	0.0%	4.0%	3.3%	
70歳以上	106	46	31	48	14	55	33	21	29	4	4	12	0	3	11	
	-	43.4%	29.2%	45.3%	13.2%	51.9%	31.1%	19.8%	27.4%	3.8%	3.8%	11.3%	0.0%	2.8%	10.4%	
男性	481	276	204	244	93	297	185	117	154	12	25	51	7	8	13	
	-	57.4%	42.4%	50.7%	19.3%	61.7%	38.5%	24.3%	32.0%	2.5%	5.2%	10.6%	1.5%	1.7%	2.7%	
10代	9	3	1	5	2	4	3	2	3	0	1	1	2	0	1	
	-	33.3%	11.1%	55.6%	22.2%	44.4%	33.3%	22.2%	33.3%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	
20代	37	17	6	22	3	21	15	10	11	1	1	3	0	2	1	
	-	45.9%	16.2%	59.5%	8.1%	56.8%	40.5%	27.0%	29.7%	2.7%	2.7%	8.1%	0.0%	5.4%	2.7%	
30代	54	37	20	30	10	33	18	16	14	2	3	6	0	1	0	
	-	68.5%	37.0%	55.6%	18.5%	61.1%	33.3%	29.6%	25.9%	3.7%	5.6%	11.1%	0.0%	1.9%	0.0%	
40代	61	31	19	37	9	34	22	17	20	2	4	2	2	2	2	
	-	50.8%	31.1%	60.7%	14.8%	55.7%	36.1%	27.9%	32.8%	3.3%	6.6%	3.3%	3.3%	3.3%	3.3%	
50代	90	56	45	36	19	57	37	25	33	3	6	9	2	0	4	
	-	62.2%	50.0%	40.0%	21.1%	63.3%	41.1%	27.8%	36.7%	3.3%	6.7%	10.0%	2.2%	0.0%	4.4%	
60代	127	76	62	60	26	88	57	23	40	2	7	16	1	1	1	
	-	59.8%	48.8%	47.2%	20.5%	69.3%	44.9%	18.1%	31.5%	1.6%	5.5%	12.6%	0.8%	0.8%	0.8%	
70歳以上	101	55	51	53	23	59	33	24	33	2	3	14	0	2	3	
	-	54.5%	50.5%	52.5%	22.8%	58.4%	32.7%	23.8%	32.7%	2.0%	3.0%	13.9%	0.0%	2.0%	3.0%	
雇用形態別	406	231	148	211	60	255	189	110	134	17	20	40	5	4	8	
	-	56.9%	36.5%	52.0%	14.8%	62.8%	46.6%	27.1%	33.0%	4.2%	4.9%	9.9%	1.2%	1.0%	2.0%	
正社員・正職員	66	35	25	33	10	39	33	15	23	2	1	11	2	1	4	
	-	53.0%	37.9%	50.0%	15.2%	59.1%	50.0%	22.7%	34.8%	3.0%	1.5%	16.7%	3.0%	1.5%	6.1%	
派遣・契約社員	212	109	60	110	18	129	98	46	73	4	11	23	1	5	2	
	-	51.4%	28.3%	51.9%	8.5%	60.8%	46.2%	21.7%	34.4%	1.9%	5.2%	10.8%	0.5%	2.4%	0.9%	
パート・アルバイト	55	38	22	22	10	35	29	13	22	0	1	10	4	1	5	
	-	69.1%	40.0%	40.0%	18.2%	63.6%	52.7%	23.6%	40.0%	0.0%	1.8%	18.2%	7.3%	1.8%	9.1%	
自営業・自由業	32	17	12	14	6	24	7	4	8	1	0	3	0	0	1	
	-	53.1%	37.5%	43.8%	18.8%	75.0%	21.9%	12.5%	25.0%	3.1%	0.0%	9.4%	0.0%	0.0%	3.1%	
会社役員・経営者	142	66	47	76	14	94	47	33	39	5	3	11	2	3	1	
	-	46.5%	33.1%	53.5%	9.9%	66.2%	33.1%	23.2%	27.5%	3.5%	2.1%	7.7%	1.4%	2.1%	0.7%	
専業主婦(夫)	36	17	9	24	7	21	13	8	10	1	1	1	2	0	3	
	-	47.2%	25.0%	66.7%	19.4%	58.3%	36.1%	22.2%	27.8%	2.8%	2.8%	2.8%	5.6%	0.0%	8.3%	
学生	213	106	87	94	35	122	69	51	63	9	8	20	1	5	15	
	-	49.8%	40.8%	44.1%	16.4%	57.3%	32.4%	23.9%	29.6%	4.2%	3.8%	9.4%	0.5%	2.3%	7.0%	
無職	823	455	299	417	120	520	345	206	271	24	32	90	9	15	24	
	-	55.3%	36.3%	50.7%	14.6%	63.2%	41.9%	25.0%	32.9%	2.9%	3.9%	10.9%	1.1%	1.8%	2.9%	
結婚している	71	34	30	33	12	43	34	14	21	2	2	8	0	0	4	
	-	47.9%	42.3%	46.5%	16.9%	60.6%	47.9%	19.7%	29.6%	2.8%	2.8%	11.3%	0.0%	0.0%	5.6%	
離別	47	20	15	24	3	22	15	11	12	2	0	6	1	2	5	
	-	42.6%	31.9%	51.1%	6.4%	46.8%	31.9%	23.4%	25.5%	4.3%	0.0%	12.8%	2.1%	4.3%	10.6%	
死別	225	110	65	110	25	135	93	49	68	11	11	15	7	4	7	
	-	48.9%	28.9%	48.9%	11.1%	60.0%	41.3%	21.8%	30.2%	4.9%	4.9%	6.7%	3.1%	1.8%	3.1%	
結婚していない	858	459	314	439	117	539	349	209	275	24	31	97	8	16	29	
	-	53.5%	36.6%	51.2%	13.6%	62.8%	40.7%	24.4%	32.1%	2.8%	3.6%	11.3%	0.9%	1.9%	3.4%	
子供有無別	285	151	88	135	42	170	128	67	93	14	14	22	8	5	7	
	-	53.0%	30.9%	47.4%	14.7%	59.6%	44.9%	23.5%	32.6%	4.9%	4.9%	7.7%	2.8%	1.8%	2.5%	

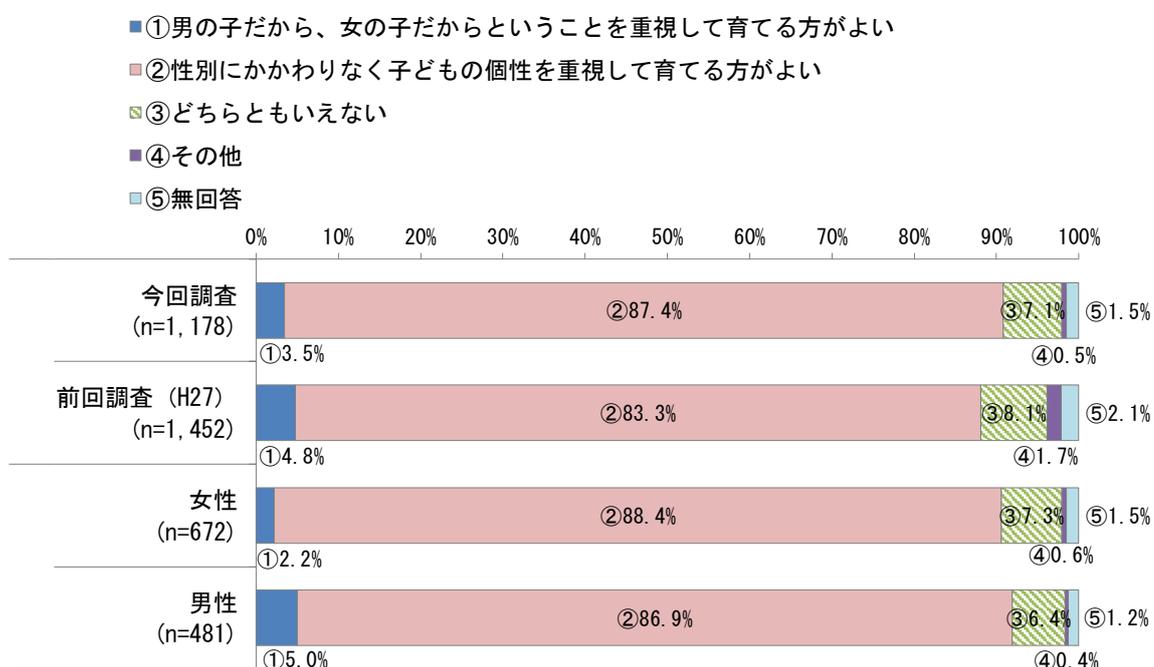
## VI 教育について

【子どもがいる、いないにかかわらずお答えください】

問 20 子どもの育て方についてあなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

今回調査、前回調査、女性、男性ともに「性別にかかわらず子どもの個性を重視して育てる方がよい」が8～9割を占めている。

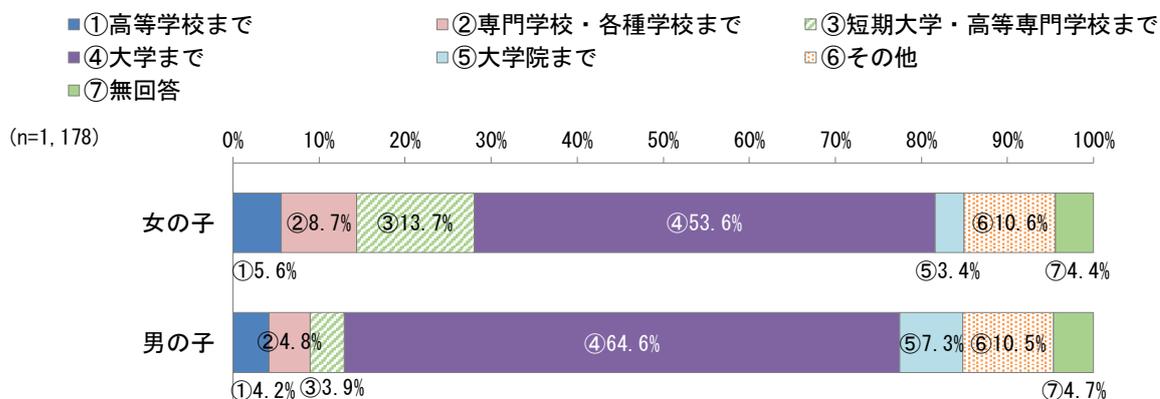
性別役割分担に対する考え方（問6「男性は仕事、女性は家庭」という考え方）別にみると、「性別にかかわらず子どもの個性を重視して育てる方がよい」において、性別役割分担に『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）の人が78.9%となっており、『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）の人を12.6ポイント下回っている。



<p>小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある</p> <p>上段：回答者数 下段：構成比</p> <p>■ 上位1項目</p>	サンプル数	男の子から育てる方がよい	女の子から育てる方がよい	性別にかかわらず子ども個性を重視	どちらともいえない	その他	無回答
今回調査	1,178 100.0%	41 3.5%	1,029 87.4%	84 7.1%	6 0.5%	18 1.5%	
前回調査(H27)	1,452 100.0%	69 4.8%	1,210 83.3%	117 8.1%	25 1.7%	31 2.1%	
女性	672 100.0%	15 2.2%	594 88.4%	49 7.3%	4 0.6%	10 1.5%	
10代	9 100.0%	0 0.0%	8 88.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	
20代	62 100.0%	0 0.0%	59 95.2%	2 3.2%	1 1.6%	0 0.0%	
30代	84 100.0%	2 2.4%	77 91.7%	4 4.8%	0 0.0%	1 1.2%	
40代	132 100.0%	3 2.3%	114 86.4%	12 9.1%	1 0.8%	2 1.5%	
50代	128 100.0%	2 1.6%	117 91.4%	8 6.3%	1 0.8%	0 0.0%	
60代	150 100.0%	3 2.0%	132 88.0%	11 7.3%	1 0.7%	3 2.0%	
70歳以上	106 100.0%	5 4.7%	86 81.1%	12 11.3%	0 0.0%	3 2.8%	
男性	481 100.0%	24 5.0%	418 86.9%	31 6.4%	2 0.4%	6 1.2%	
10代	9 100.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20代	37 100.0%	1 2.7%	34 91.9%	2 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	
30代	54 100.0%	4 7.4%	46 85.2%	4 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	
40代	61 100.0%	5 8.2%	52 85.2%	4 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	
50代	90 100.0%	3 3.3%	76 84.4%	8 8.9%	1 1.1%	2 2.2%	
60代	127 100.0%	5 3.9%	113 89.0%	7 5.5%	1 0.8%	1 0.8%	
70歳以上	101 100.0%	6 5.9%	87 86.1%	5 5.0%	0 0.0%	3 3.0%	
雇用形態別							
正社員・正職員	406 100.0%	11 2.7%	361 88.9%	26 6.4%	2 0.5%	6 1.5%	
派遣・契約社員	66 100.0%	4 6.1%	55 83.3%	5 7.6%	2 3.0%	0 0.0%	
パート・アルバイト	212 100.0%	8 3.8%	190 89.6%	12 5.7%	1 0.5%	1 0.5%	
自営業・自由業	55 100.0%	3 5.5%	47 85.5%	5 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	
会社役員・経営者	32 100.0%	2 6.3%	28 87.5%	2 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	
専業主婦(夫)	142 100.0%	2 1.4%	121 85.2%	18 12.7%	1 0.7%	0 0.0%	
学生	36 100.0%	2 5.6%	33 91.7%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	
無職	213 100.0%	9 4.2%	182 85.4%	13 6.1%	0 0.0%	9 4.2%	
配偶関係別							
結婚している	823 100.0%	32 3.9%	716 87.0%	61 7.4%	4 0.5%	10 1.2%	
離別	71 100.0%	1 1.4%	64 90.1%	5 7.0%	0 0.0%	1 1.4%	
死別	47 100.0%	2 4.3%	45 95.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
結婚していない	225 100.0%	6 2.7%	196 87.1%	16 7.1%	2 0.9%	5 2.2%	
子供有無別							
いる	858 100.0%	32 3.7%	755 88.0%	58 6.8%	3 0.3%	10 1.2%	
いない	285 100.0%	8 2.8%	246 86.3%	24 8.4%	2 0.7%	5 1.8%	
性別役割分担別							
賛成	242 100.0%	19 7.9%	191 78.9%	25 10.3%	3 1.2%	4 1.7%	
反対	774 100.0%	16 2.1%	708 91.5%	40 5.2%	3 0.4%	7 0.9%	
わからない	149 100.0%	6 4.0%	121 81.2%	18 12.1%	0 0.0%	4 2.7%	

問 21 子どもにはどこまで進学することを期待しますか。女の子と男の子の場合についてそれぞれお答えください。

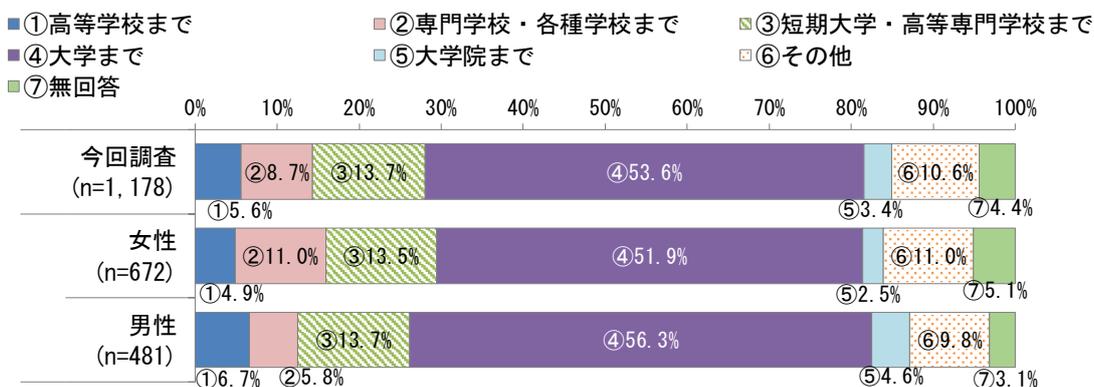
女の子・男の子ともに「大学まで」(女の子:53.6%、男の子:64.6%)が最も高くなっているが、「女の子」が「男の子」を11.0ポイント下回っている。また、「短期大学・高等専門学校まで」(女の子:13.7%、男の子:3.9%)では「女の子」が「男の子」を9.8ポイント上回っている。



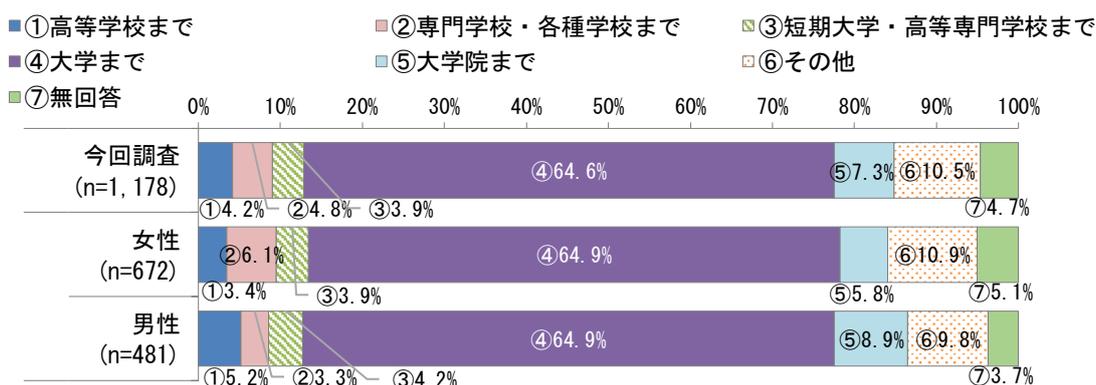
	サンプル数	高等学校まで	専門学校・各種学校まで	短期大学・高等専門学校まで	大学まで	大学院まで	その他	無回答
女の子	1,178	66	103	161	631	40	125	52
	100.0%	5.6%	8.7%	13.7%	53.6%	3.4%	10.6%	4.4%
男の子	1,178	49	57	46	761	86	124	55
	100.0%	4.2%	4.8%	3.9%	64.6%	7.3%	10.5%	4.7%

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合があります  
 上段: 回答者数  
 下段: 構成比  
 上段: 上位1項目

### ①女の子



### ②男の子



(主なその他の回答)

- ・本人の希望、意志を尊重する
- ・親に金銭的余裕があったら本人の意思次第
- ・子供の考えを第一に、親がサポートしてあげれば良い
- ・能力に応じて
- ・高卒以上、それ以降は本人の意思を尊重したい
- ・本人がやりたい仕事に必要な知識を得るまで

①女の子

②男の子

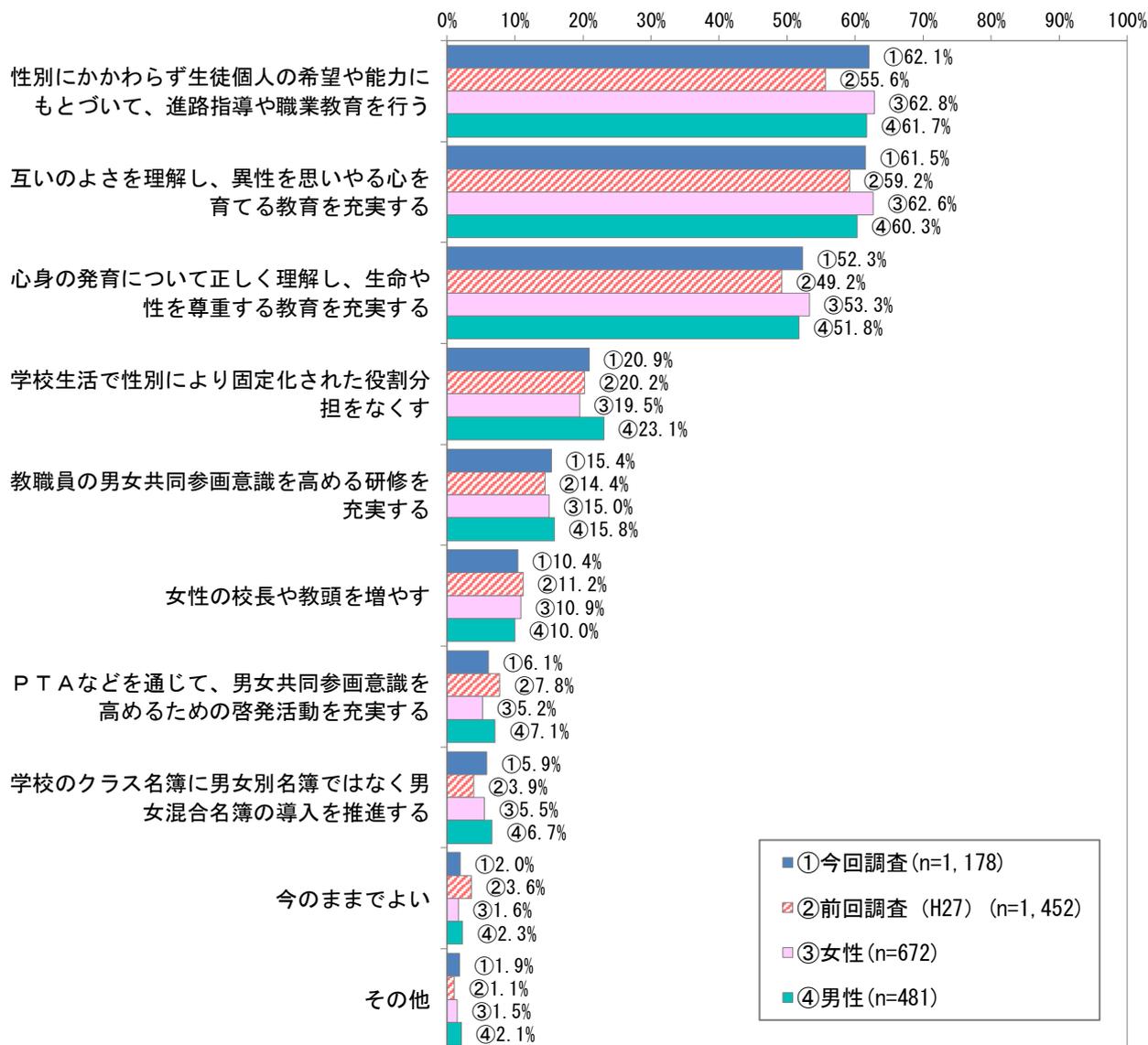
小点数第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	教育レベル							無回答
		高等学校まで	専門学校・各種学校	短期大学・高等専門学校	大学まで	大学院まで	その他	無回答	
今回調査	1,178 100.0%	66 5.6%	103 8.7%	161 13.7%	631 53.6%	40 3.4%	125 10.6%	52 4.4%	
女性	672 100.0%	33 4.9%	74 11.0%	91 13.5%	349 51.9%	17 2.5%	74 11.0%	34 5.1%	
10代	9 100.0%	1 11.1%	2 22.2%	3 33.3%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20代	62 100.0%	3 4.8%	5 8.1%	6 9.7%	33 53.2%	0 0.0%	14 22.6%	1 1.6%	
30代	84 100.0%	3 3.6%	10 11.9%	8 9.5%	52 61.9%	3 3.6%	7 8.3%	1 1.2%	
40代	132 100.0%	9 6.8%	10 7.6%	18 13.6%	64 48.5%	2 1.5%	22 16.7%	7 5.3%	
50代	128 100.0%	7 5.5%	11 8.6%	16 12.5%	75 58.6%	2 1.6%	12 9.4%	5 3.9%	
60代	150 100.0%	8 5.3%	23 15.3%	16 10.7%	77 51.3%	5 3.3%	9 6.0%	12 8.0%	
70歳以上	106 100.0%	2 1.9%	13 12.3%	23 21.7%	45 42.5%	5 4.7%	10 9.4%	8 7.5%	
男性	481 100.0%	32 6.7%	28 5.8%	66 13.7%	271 56.3%	22 4.6%	47 9.8%	15 3.1%	
10代	9 100.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 66.7%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	
20代	37 100.0%	4 10.8%	2 5.4%	0 0.0%	25 67.6%	1 2.7%	5 13.5%	0 0.0%	
30代	54 100.0%	2 3.7%	4 7.4%	5 9.3%	37 68.5%	4 7.4%	2 3.7%	0 0.0%	
40代	61 100.0%	11 18.0%	1 1.6%	9 14.8%	31 50.8%	3 4.9%	5 8.2%	1 1.6%	
50代	90 100.0%	8 8.9%	6 6.7%	15 16.7%	45 50.0%	3 3.3%	10 11.1%	3 3.3%	
60代	127 100.0%	1 0.8%	11 8.7%	18 14.2%	70 55.1%	6 4.7%	16 12.6%	5 3.9%	
70歳以上	101 100.0%	5 5.0%	4 4.0%	19 18.8%	55 54.5%	5 5.0%	7 6.9%	6 5.9%	
雇用形態別									
正社員・正職員	406 100.0%	25 6.2%	31 7.6%	50 12.3%	236 58.1%	10 2.5%	47 11.6%	7 1.7%	
派遣・契約社員	66 100.0%	2 3.0%	7 10.6%	10 15.2%	35 53.0%	2 3.0%	8 12.1%	2 3.0%	
パート・アルバイト	212 100.0%	10 4.7%	32 15.1%	28 13.2%	106 50.0%	6 2.8%	19 9.0%	11 5.2%	
自営業・自由業	55 100.0%	5 9.1%	5 9.1%	6 10.9%	26 47.3%	2 3.6%	9 16.4%	2 3.6%	
会社役員・経営者	32 100.0%	1 3.1%	1 3.1%	6 18.8%	18 56.3%	1 3.1%	5 15.6%	0 0.0%	
専業主婦(夫)	142 100.0%	7 4.9%	12 8.5%	19 13.4%	75 52.8%	6 4.2%	15 10.6%	8 5.6%	
学生	36 100.0%	2 5.6%	2 5.6%	3 8.3%	23 63.9%	0 0.0%	6 16.7%	0 0.0%	
無職	213 100.0%	14 6.6%	11 5.2%	36 16.9%	106 49.8%	12 5.6%	13 6.1%	21 9.9%	
配偶関係別									
結婚している	823 100.0%	40 4.9%	75 9.1%	118 14.3%	452 54.9%	29 3.5%	77 9.4%	32 3.9%	
離別	71 100.0%	6 8.5%	10 14.1%	12 16.9%	31 43.7%	2 2.8%	4 5.6%	6 8.5%	
死別	47 100.0%	2 4.3%	6 12.8%	7 14.9%	22 46.8%	3 6.4%	5 10.6%	2 4.3%	
結婚していない	225 100.0%	18 8.0%	10 4.4%	21 9.3%	124 55.1%	5 2.2%	37 16.4%	10 4.4%	
子供有無別									
いる	858 100.0%	43 5.0%	86 10.0%	128 14.9%	454 52.9%	32 3.7%	78 9.1%	37 4.3%	
いない	285 100.0%	21 7.4%	15 5.3%	28 9.8%	162 56.8%	8 2.8%	40 14.0%	11 3.9%	

小点数第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	教育レベル							無回答
		高等学校まで	専門学校・各種学校	短期大学・高等専門学校	大学まで	大学院まで	その他	無回答	
今回調査	49 100.0%	57 4.8%	46 3.9%	761 64.6%	86 7.3%	124 10.5%	55 4.7%		
女性	23 100.0%	41 6.1%	26 3.9%	436 64.9%	39 5.8%	73 10.9%	34 5.1%		
10代	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	6 66.7%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%		
20代	3 100.0%	5 4.8%	2 8.1%	37 59.7%	0 0.0%	14 22.6%	1 1.6%		
30代	3 100.0%	6 7.1%	6 7.1%	55 65.5%	5 6.0%	7 8.3%	2 2.4%		
40代	8 100.0%	7 5.3%	2 1.5%	87 65.9%	4 3.0%	20 15.2%	4 3.0%		
50代	4 100.0%	7 5.5%	7 5.5%	87 68.0%	7 5.5%	13 10.2%	3 2.3%		
60代	4 100.0%	12 8.0%	4 2.7%	95 63.3%	13 8.7%	9 6.0%	13 8.7%		
70歳以上	1 100.0%	3 2.8%	4 3.8%	69 65.1%	9 8.5%	10 9.4%	8 7.5%		
男性	25 100.0%	16 3.3%	20 4.2%	312 64.9%	43 8.9%	47 9.8%	18 3.7%		
10代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 66.7%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%		
20代	3 100.0%	1 2.7%	1 2.7%	26 70.3%	1 2.7%	5 13.5%	0 0.0%		
30代	2 100.0%	3 5.6%	3 5.6%	37 68.5%	6 11.1%	2 3.7%	1 1.9%		
40代	12 100.0%	0 0.0%	2 3.3%	36 59.0%	4 6.6%	5 8.2%	2 3.3%		
50代	6 100.0%	3 3.3%	4 4.4%	56 62.2%	6 6.7%	10 11.1%	5 5.6%		
60代	0 100.0%	9 7.1%	8 6.3%	81 63.8%	10 7.9%	16 12.6%	3 2.4%		
70歳以上	1 100.0%	0 0.0%	2 2.0%	68 67.3%	16 15.8%	7 6.9%	7 6.9%		
雇用形態別									
正社員・正職員	23 100.0%	20 4.9%	17 4.2%	269 66.3%	21 5.2%	46 11.3%	10 2.5%		
派遣・契約社員	2 100.0%	2 3.0%	3 4.5%	46 69.7%	4 6.1%	8 12.1%	1 1.5%		
パート・アルバイト	6 100.0%	16 7.5%	13 6.1%	137 64.6%	13 6.1%	17 8.0%	10 4.7%		
自営業・自由業	5 100.0%	2 3.6%	3 5.5%	28 50.9%	5 9.1%	9 16.4%	3 5.5%		
会社役員・経営者	2 100.0%	1 3.1%	0 0.0%	21 65.6%	3 9.4%	5 15.6%	0 0.0%		
専業主婦(夫)	3 100.0%	8 5.6%	5 3.5%	91 64.1%	12 8.5%	15 10.6%	8 5.6%		
学生	1 100.0%	1 2.8%	0 0.0%	27 75.0%	1 2.8%	6 16.7%	0 0.0%		
無職	7 100.0%	7 3.3%	5 2.3%	133 62.4%	25 11.7%	15 7.0%	21 9.9%		
配偶関係別									
結婚している	29 100.0%	38 4.6%	32 3.9%	548 66.6%	66 8.0%	74 9.0%	36 4.4%		
離別	5 100.0%	8 11.3%	1 1.4%	44 62.0%	5 7.0%	5 7.0%	3 4.2%		
死別	1 100.0%	2 4.3%	2 4.3%	31 60.0%	4 8.5%	6 12.8%	1 2.1%		
結婚していない	14 100.0%	8 3.6%	11 4.9%	133 59.1%	9 4.0%	37 16.4%	13 5.8%		
子供有無別									
いる	29 100.0%	46 5.4%	33 3.8%	566 66.0%	70 8.2%	77 9.0%	37 4.3%		
いない	19 100.0%	10 3.5%	12 4.2%	176 61.8%	15 5.3%	40 14.0%	13 4.6%		

問 22 男女共同参画社会を実現するために、学校教育の場でどのようなことが大切だと思いますか。(〇は3つまで)

今回調査では、「性別にかかわらず生徒個人の希望や能力にもとづいて、進路指導や職業教育を行う」(62.1%)が最も高く、次いで「互いのよさを理解し、異性を思いやる心を育てる教育を充実する」(61.5%)、「心身の発育について正しく理解し、生命や性を尊重する教育を充実する」(52.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「性別にかかわらず生徒個人の希望や能力にもとづいて、進路指導や職業教育を行う」が6.5ポイント増加している。



(主なその他の回答)

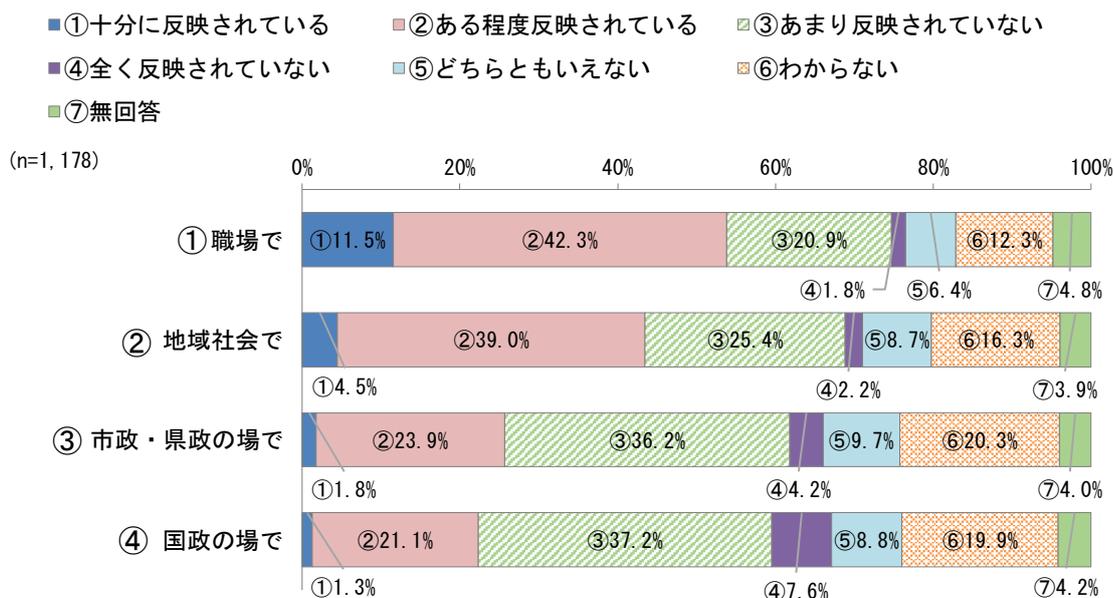
- ・男女の前に、宗教や肌の色の違い等個人を尊重して共生する教育
- ・学校の教育の場では、男女差は感じない。今は個に応じて指導している
- ・身体的な性差については勉強した方が良いが、行き過ぎるとかえって性意識について分離を生むため、あくまでも、身体的なところを学ぶのが大切
- ・ランドセルの色が赤と黒以外も選択できるようになったのと同様に、制服もズボンでもスカートでも選べるよう選択制に制度を変える
- ・学校教育では何をやっても駄目
- ・役職を増やすことについて、性別での過度な対応は、能力のない女性を役職にしてしまう危険性があるので、注意が必要
- ・地域だけでなく、全国や世界での標準を示した教育
- ・インターンシップの充実、社会との接点を増やす等、ダイバーシティを肌で感じられる教育
- ・各市町の女性参画関係部署が学校で講師を呼んだりして〇〇教室等を行うが、中身が練られず、担当者(課)の実績作りのための、思いのない講師任せのものが多々ある



## VII 女性の政策参画について

問 23 次の①～④の各分野でその方針や政策を決めるとき、女性の意見はどの程度反映されていると思いますか。

『反映されている』（「十分に反映されている」＋「ある程度反映されている」）の割合は、「①職場で」（53.8%）と「②地域社会で」（43.5%）、『反映されていない』（「あまり反映されていない」＋「全く反映されていない」）の割合は、「③市政・県政の場で」（40.4%）と「④国政の場で」（44.8%）が高くなっている。

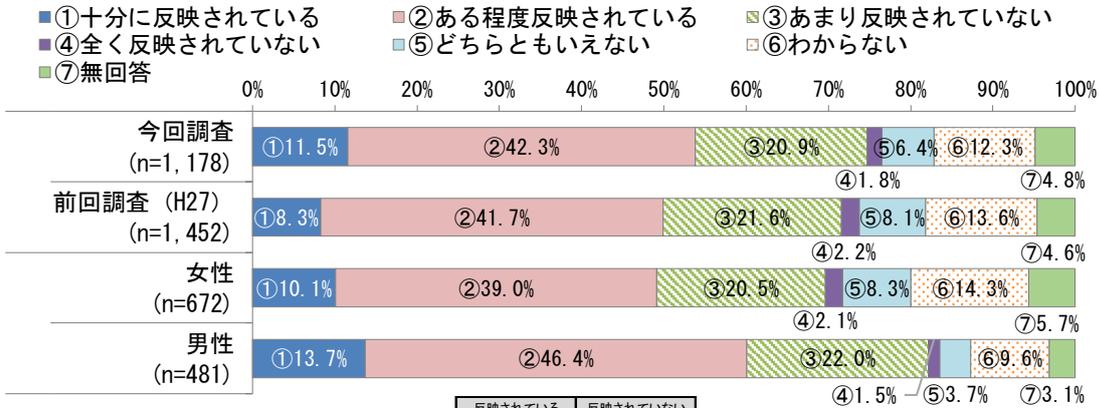


	サンプル数	反映されている		反映されていない			わからない	無回答
		十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されている	全く反映されていない	どちらともいえない		
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある								
上段: 回答者数 下段: 構成比								
■ 上位1項目								
① 職場で	1,178 100.0%	136 11.5%	498 42.3%	246 20.9%	21 1.8%	75 6.4%	145 12.3%	57 4.8%
② 地域社会で	1,178 100.0%	53 4.5%	459 39.0%	299 25.4%	26 2.2%	103 8.7%	192 16.3%	46 3.9%
③ 市政・県政の場で	1,178 100.0%	21 1.8%	281 23.9%	426 36.2%	50 4.2%	114 9.7%	239 20.3%	47 4.0%
④ 国政の場で	1,178 100.0%	15 1.3%	248 21.1%	438 37.2%	90 7.6%	104 8.8%	234 19.9%	49 4.2%

①職場で

今回調査では、「ある程度反映されている」(42.3%)が最も高く、次いで「あまり反映されていない」(20.9%)、「わからない」(12.3%)となっている。

性別で見ると、『反映されている』(女性：49.1%、男性：60.1%)では、女性が男性を11.0ポイント下回っている。『反映されていない』の割合は男女とも約2割を占めている。

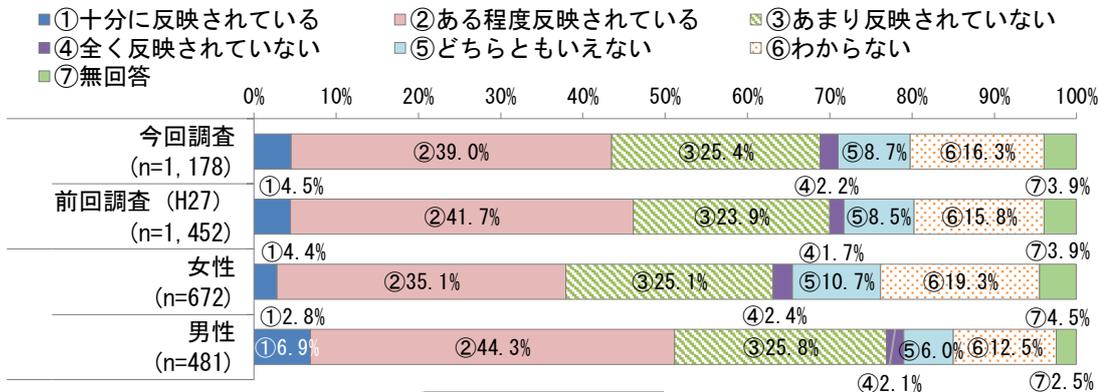


小点数第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	反映されている		反映されていない		どちらともいえない	わからない	無回答
		十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	全く反映されていない			
今回調査	1,178	136	498	246	21	75	145	57
前回調査(H27)	1,452	120	605	314	32	117	197	67
女性	672	68	262	138	14	56	96	38
10代	9	1	2	2	0	1	1	2
20代	62	12	24	13	1	5	7	0
30代	84	15	35	13	2	4	14	1
40代	132	15	64	26	4	7	14	2
50代	128	16	57	29	2	10	14	0
60代	150	6	52	35	1	18	23	15
70歳以上	106	3	28	20	4	10	23	18
男性	481	66	223	106	7	18	46	15
10代	9	0	3	1	0	0	5	0
20代	37	6	21	3	0	3	4	0
30代	54	11	25	16	0	0	1	1
40代	61	11	25	12	3	6	4	0
50代	90	12	44	20	2	3	7	2
60代	127	20	58	34	2	4	7	2
70歳以上	101	6	45	20	0	2	18	10
正社員・正職員	406	66	215	72	9	22	18	4
派遣・契約社員	66	12	30	15	1	2	4	2
パート・アルバイト	212	31	98	41	2	18	19	3
自営業・自由業	55	9	25	10	0	4	6	1
会社役員・経営者	32	3	17	5	0	0	5	2
専業主婦(夫)	142	3	27	46	2	13	40	11
学生	36	2	13	5	0	2	13	1
無職	213	10	65	50	7	13	38	30
結婚している	823	100	344	173	12	50	108	36
離別	71	8	30	21	2	4	3	3
死別	47	4	19	6	1	4	6	7
結婚していない	225	24	99	45	6	16	27	8
子供有無別	858	98	364	179	14	52	108	43
いる	285	37	117	63	5	22	30	11
いない	242	23	103	52	5	16	25	18
賛成	774	96	329	171	15	47	87	29
反対	149	16	62	21	1	12	31	6
わからない								

## ②地域社会で

今回調査では、「ある程度反映されている」(39.0%)が最も高く、次いで「あまり反映されていない」(25.4%)、「わからない」(16.3%)となっている。

性別でみると、『反映されている』(女性：37.9%、男性：51.2%)では、女性が男性を13.3ポイント下回っている。『反映されていない』の割合は男女とも約3割を占めている。



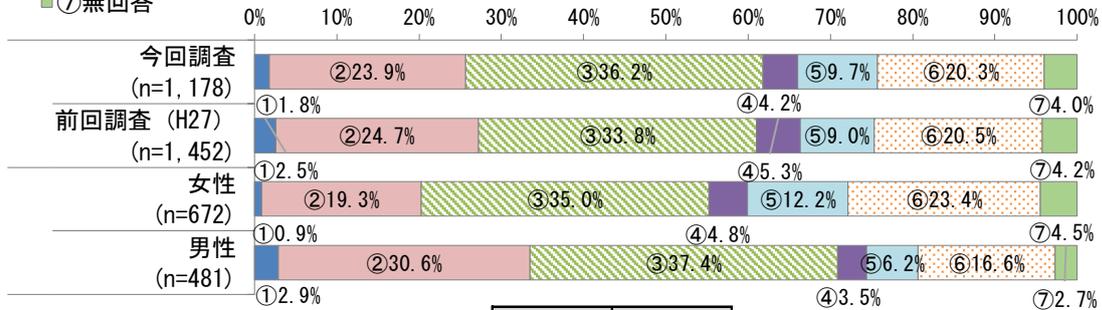
小点数第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	反映されている		反映されていない		どちらともいえない	わからない	無回答
		る十分に反映されている	ある程度反映されている	ないあまり反映されている	い全く反映されていない			
今回調査	1,178	53	459	299	26	103	192	46
	100.0%	4.5%	39.0%	25.4%	2.2%	8.7%	16.3%	3.9%
前回調査(H27)	1,452	64	606	347	24	124	230	57
	100.0%	4.4%	41.7%	23.9%	1.7%	8.5%	15.8%	3.9%
女性	672	19	236	169	16	72	130	30
	100.0%	2.8%	35.1%	25.1%	2.4%	10.7%	19.3%	4.5%
10代	9	2	2	0	0	0	4	1
	100.0%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	11.1%
20代	62	4	16	15	2	8	17	0
	100.0%	6.5%	25.8%	24.2%	3.2%	12.9%	27.4%	0.0%
30代	84	4	31	20	4	4	20	1
	100.0%	4.8%	36.9%	23.8%	4.8%	4.8%	23.8%	1.2%
40代	132	2	44	42	4	12	25	3
	100.0%	1.5%	33.3%	31.8%	3.0%	9.1%	18.9%	2.3%
50代	128	2	47	36	2	17	22	2
	100.0%	1.6%	36.7%	28.1%	1.6%	13.3%	17.2%	1.6%
60代	150	3	58	36	1	20	22	10
	100.0%	2.0%	38.7%	24.0%	0.7%	13.3%	14.7%	6.7%
70歳以上	106	2	38	20	3	10	20	13
	100.0%	1.9%	35.8%	18.9%	2.8%	9.4%	18.9%	12.3%
男性	481	33	213	124	10	29	60	12
	100.0%	6.9%	44.3%	25.8%	2.1%	6.0%	12.5%	2.5%
10代	9	2	4	1	0	0	2	0
	100.0%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%
20代	37	5	11	11	0	3	7	0
	100.0%	13.5%	29.7%	29.7%	0.0%	8.1%	18.9%	0.0%
30代	54	3	25	15	0	2	8	1
	100.0%	5.6%	46.3%	27.8%	0.0%	3.7%	14.8%	1.9%
40代	61	1	31	12	1	6	10	0
	100.0%	1.6%	50.8%	19.7%	1.6%	9.8%	16.4%	0.0%
50代	90	3	41	26	2	7	9	2
	100.0%	3.3%	45.6%	28.9%	2.2%	7.8%	10.0%	2.2%
60代	127	13	56	31	4	7	14	2
	100.0%	10.2%	44.1%	24.4%	3.1%	5.5%	11.0%	1.6%
70歳以上	101	6	43	28	3	4	10	7
	100.0%	5.9%	42.6%	27.7%	3.0%	4.0%	9.9%	6.9%
雇用形態別	406	17	174	115	7	33	54	6
	100.0%	4.2%	42.9%	28.3%	1.7%	8.1%	13.3%	1.5%
正社員・正職員	66	1	27	18	3	6	10	1
	100.0%	1.5%	40.9%	27.3%	4.5%	9.1%	15.2%	1.5%
派遣・契約社員	212	8	75	52	4	24	46	3
	100.0%	3.8%	35.4%	24.5%	1.9%	11.3%	21.7%	1.4%
パート・アルバイト	55	7	25	13	0	3	6	1
	100.0%	12.7%	45.5%	23.6%	0.0%	5.5%	10.9%	1.8%
自営業・自由業	32	0	16	10	0	1	4	1
	100.0%	0.0%	50.0%	31.3%	0.0%	3.1%	12.5%	3.1%
会社役員・経営者	142	4	47	35	5	15	28	8
	100.0%	2.8%	33.1%	24.6%	3.5%	10.6%	19.7%	5.6%
専業主婦(夫)	36	5	11	7	0	1	12	0
	100.0%	13.9%	30.6%	19.4%	0.0%	2.8%	33.3%	0.0%
学生	213	11	77	44	7	20	31	23
	100.0%	5.2%	36.2%	20.7%	3.3%	9.4%	14.6%	10.8%
無職	823	28	338	211	16	65	135	30
	100.0%	3.4%	41.1%	25.6%	1.9%	7.9%	16.4%	3.6%
配偶関係別	71	2	25	23	2	7	9	3
	100.0%	2.8%	35.2%	32.4%	2.8%	9.9%	12.7%	4.2%
離婚	47	4	17	7	1	8	7	3
	100.0%	8.5%	36.2%	14.9%	2.1%	17.0%	14.9%	6.4%
死別	225	19	74	55	7	22	41	7
	100.0%	8.4%	32.9%	24.4%	3.1%	9.8%	18.2%	3.1%
結婚していない	858	27	357	209	19	77	134	35
	100.0%	3.1%	41.6%	24.4%	2.2%	9.0%	15.6%	4.1%
子供有無別	285	24	91	79	5	26	52	8
	100.0%	8.4%	31.9%	27.7%	1.8%	9.1%	18.2%	2.8%
賛成	242	12	91	72	4	17	31	15
	100.0%	5.0%	37.6%	29.8%	1.7%	7.0%	12.8%	6.2%
反対	774	33	315	196	20	69	120	21
	100.0%	4.3%	40.7%	25.3%	2.6%	8.9%	15.5%	2.7%
わからない	149	7	53	29	1	15	38	6
	100.0%	4.7%	35.6%	19.5%	0.7%	10.1%	25.5%	4.0%

### ③市政・県政の場で

今回調査では、「あまり反映されていない」(36.2%)が最も高く、次いで「ある程度反映されている」(23.9%)、「わからない」(20.3%)となっている。

性別で見ると、『反映されている』(女性：20.2%、男性：33.5%)では、女性が男性を13.3ポイント下回っている。『反映されていない』の割合は男女ともに約4割を占めている。女性においては、「わからない」が2割を超えている。

- ①十分に反映されている
- ②ある程度反映されている
- ③あまり反映されていない
- ④全く反映されていない
- ⑤どちらともいえない
- ⑥わからない
- ⑦無回答

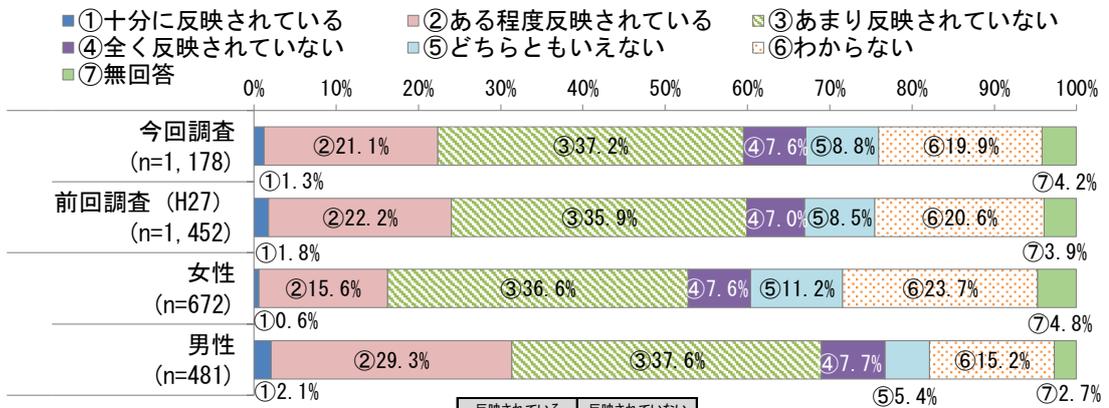


小点数第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	反映されている		反映されていない		どちらともいえない	わからない	無回答
		十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	全く反映されていない			
今回調査	1,178	21	281	426	50	114	239	47
前回調査 (H27)	1,452	37	358	491	77	131	297	61
女性	672	6	130	235	32	82	157	30
10代	9	1	2	2	0	0	3	1
20代	62	1	11	25	4	9	12	0
30代	84	2	15	32	8	1	25	1
40代	132	0	22	47	6	19	35	3
50代	128	0	29	53	5	13	26	2
60代	150	1	29	55	6	21	28	10
70歳以上	106	1	22	21	3	18	28	13
男性	481	14	147	180	17	30	80	13
10代	9	0	3	2	0	1	3	0
20代	37	0	11	15	0	2	9	0
30代	54	3	15	23	0	4	8	1
40代	61	0	22	21	3	3	12	0
50代	90	2	25	32	6	7	16	2
60代	127	6	44	47	6	5	17	2
70歳以上	101	3	26	39	2	8	15	8
雇用形態別								
正社員・正職員	406	5	107	167	15	31	75	6
派遣・契約社員	66	1	13	24	5	8	14	1
パート・アルバイト	212	5	51	72	9	27	45	3
自営業・自由業	55	3	11	23	2	3	12	1
会社役員・経営者	32	0	10	12	0	1	7	2
専業主婦(夫)	142	1	28	41	8	22	33	9
学生	36	0	10	15	2	1	8	0
無職	213	6	47	65	9	21	43	22
配偶関係別								
結婚している	823	14	205	291	33	81	168	31
離別	71	1	17	29	5	5	11	3
死別	47	1	7	18	0	8	10	3
結婚していない	225	5	51	82	12	19	49	7
子供有無別								
いる	858	14	213	305	33	89	168	36
いない	285	7	60	107	15	25	63	8
性別役割分担別								
賛成	242	4	77	71	9	19	45	17
反対	774	10	171	309	40	77	147	20
わからない	149	6	33	44	0	16	44	6

④ 国政の場で

今回調査では、「あまり反映されていない」(37.2%)が最も高く、次いで「ある程度反映されている」(21.1%)、「わからない」(19.9%)となっている。

性別でみると、『反映されている』(女性：16.2%、男性：31.4%)では、女性が男性を15.2ポイント下回っている。『反映されていない』では男女ともに4割以上を占めている。女性においては、「わからない」が2割を超え『反映されている』を5ポイント以上上回っている。



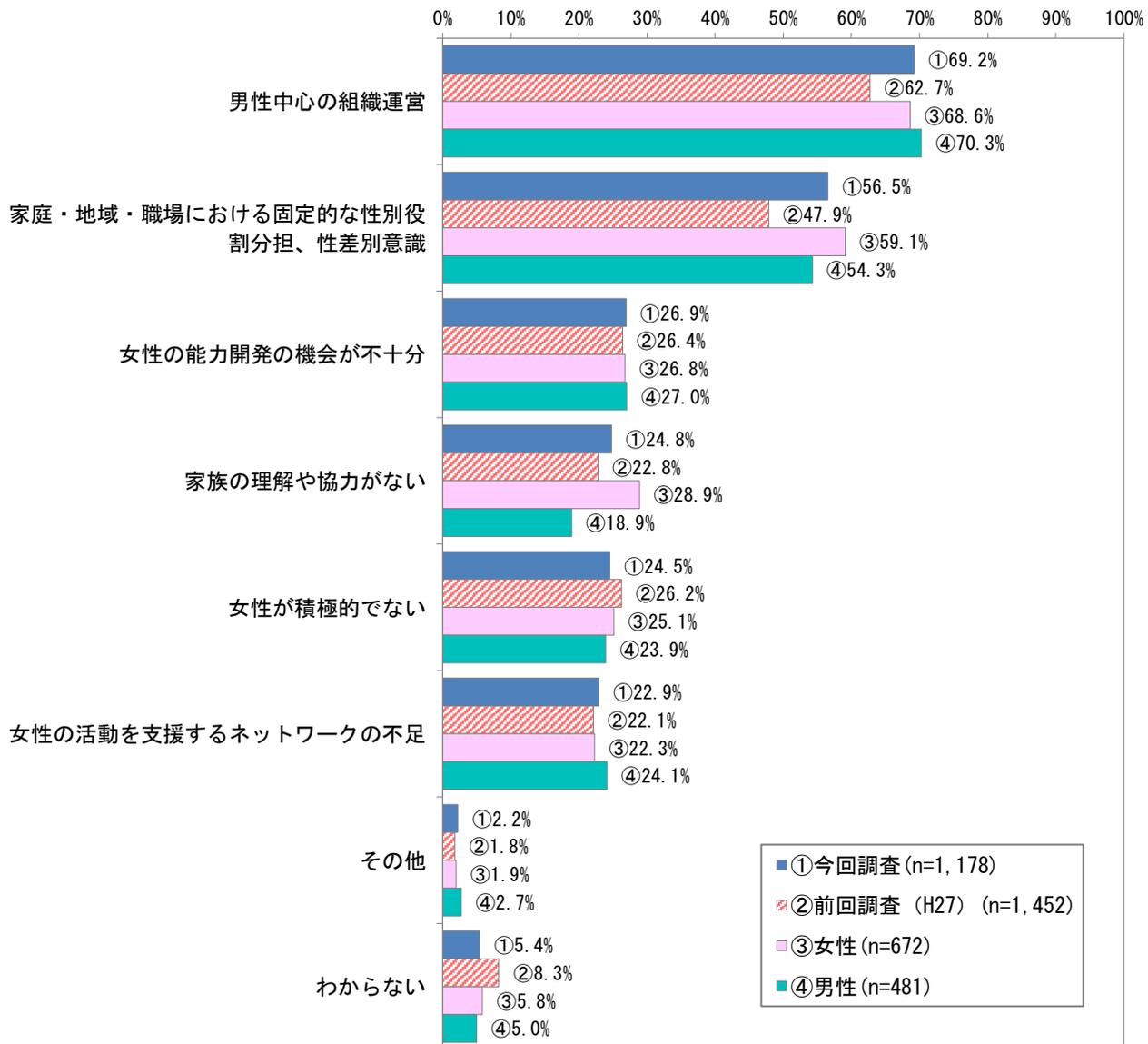
	サンプル数	反映されている					反映されていない		無回答
		十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	全く反映されていない	どちらともいえない	わからない		
今回調査	1,178	15 (1.3%)	248 (21.1%)	438 (37.2%)	90 (7.6%)	104 (8.8%)	234 (19.9%)	49 (4.2%)	
前回調査 (H27)	1,452	26 (1.8%)	323 (22.2%)	521 (35.9%)	102 (7.0%)	124 (8.5%)	299 (20.6%)	57 (3.9%)	
女性	672	4 (0.6%)	105 (15.6%)	246 (36.6%)	51 (7.6%)	75 (11.2%)	159 (23.7%)	32 (4.8%)	
男性	481	10 (2.1%)	141 (29.3%)	181 (37.6%)	37 (7.7%)	26 (5.4%)	73 (15.2%)	13 (2.7%)	
10代	9	0	3	1	1	0	3	1	
20代	62	1	10	25	5	9	12	0	
30代	84	2	11	31	11	2	26	1	
40代	132	0	17	52	7	19	34	3	
50代	128	0	24	58	6	12	26	2	
60代	150	1	24	58	10	17	29	11	
70歳以上	106	0	16	21	11	15	29	14	
10代	9	0	1	3	1	1	3	0	
20代	37	0	10	18	0	1	8	0	
30代	54	2	18	22	3	4	4	1	
40代	61	0	23	20	2	5	11	0	
50代	90	0	21	34	12	6	15	2	
60代	127	6	43	48	9	3	16	2	
70歳以上	101	2	24	35	10	6	16	8	
正社員・正職員	406	4	101	169	25	32	69	6	
派遣・契約社員	66	1	13	27	4	8	12	1	
パート・アルバイト	212	3	46	72	19	21	47	4	
自営業・自由業	55	2	5	27	4	3	13	1	
会社役員・経営者	32	0	9	12	1	1	7	2	
専業主婦(夫)	142	1	23	49	12	18	30	9	
学生	36	0	7	15	5	1	8	0	
無職	213	4	41	60	20	20	45	23	
結婚している	823	11	185	295	59	76	165	32	
離別	71	1	12	26	12	5	12	3	
死別	47	0	6	18	2	6	11	4	
結婚していない	225	3	44	93	17	16	45	7	
いる	858	10	192	307	63	81	168	37	
いない	285	5	51	116	22	23	59	9	
賛成	242	4	68	76	14	20	43	17	
反対	774	5	146	317	71	70	143	22	
わからない	149	5	34	43	4	12	45	6	

問 24 現在、わが国の政策や方針決定過程への女性の参画状況は先進国の中で特に低くなっています。その理由はなんだと思いますか。(〇はいくつでも)

今回調査では、「男性中心の組織運営」(69.2%)が最も高く、次いで「家庭・地域・職場における固定的な性別役割分担、性差別意識」(56.5%)、「女性の能力開発の機会が不十分」(26.9%)となっている。

前回調査と比較すると、「家庭・地域・職場における固定的な性別役割分担、性差別意識」では8.6ポイント増加している。

性別で見ると、「家族の理解や協力がない」(女性:28.9%、男性:18.9%)では女性が男性を10.0ポイント上回っている。



(主なその他の回答)

- ・この分野に関する限り、女性の能力不足
- ・日本独自の考えを基にして共同参画を模索したらよいのでは
- ・国民性、習慣や歴史的背景
- ・不況
- ・家庭での子育てや介護を支える行政サービスが不十分
- ・世代間での教育の違い
- ・男女問わず政治家の能力欠如

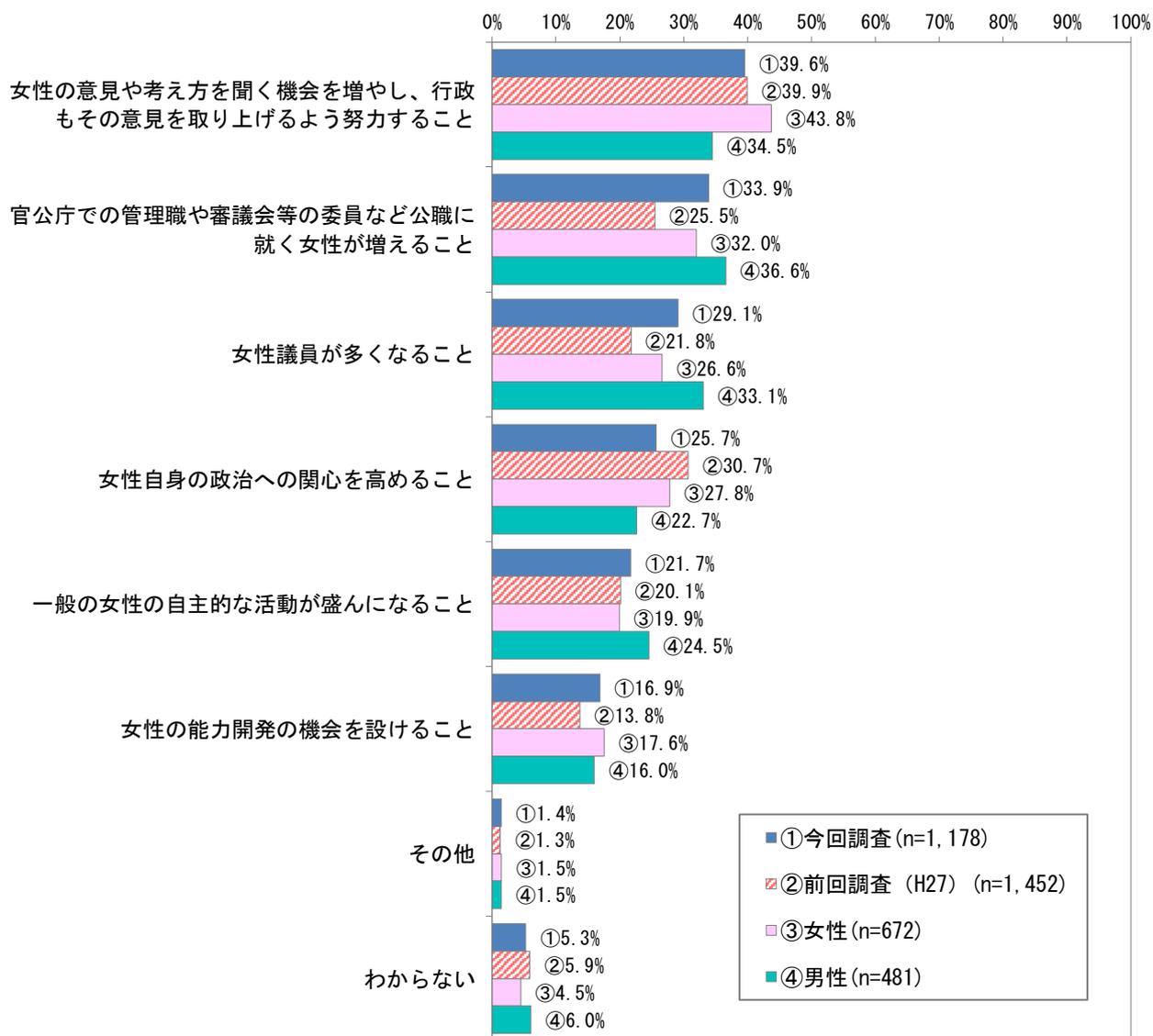
複数回答のため 合計は100%に ならない  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	家庭・地域・職場に おける固定的な性別役割 分担、意識	男性中心の組織運営	女性の能力開発の機会 が不十分	女性の活動を支援する ネットワークの不足	女性が積極的でない	家族の理解や協力がな い	その他	わからない
今回調査	1,178	666 56.5%	815 69.2%	317 26.9%	270 22.9%	289 24.5%	292 24.8%	26 2.2%	64 5.4%
前回調査(H27)	1,452	695 47.9%	911 62.7%	383 26.4%	321 22.1%	381 26.2%	331 22.8%	26 1.8%	120 8.3%
女性	672	397 59.1%	461 68.6%	180 26.8%	150 22.3%	169 25.1%	194 28.9%	13 1.9%	39 5.8%
10代	9	5 55.6%	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20代	62	46 74.2%	39 62.9%	9 14.5%	19 30.6%	10 16.1%	16 25.8%	1 1.6%	5 8.1%
30代	84	60 71.4%	58 69.0%	24 28.6%	22 26.2%	18 21.4%	32 38.1%	5 6.0%	4 4.8%
40代	132	88 66.7%	96 72.7%	25 18.9%	22 16.7%	31 23.5%	38 28.8%	3 2.3%	6 4.5%
50代	128	79 61.7%	91 71.1%	36 28.1%	26 20.3%	34 26.6%	45 35.2%	1 0.8%	4 3.1%
60代	150	82 54.7%	109 72.7%	46 30.7%	33 22.0%	45 30.0%	35 23.3%	3 2.0%	6 4.0%
70歳以上	106	36 34.0%	61 57.5%	38 35.8%	26 24.5%	29 27.4%	27 25.5%	0 0.0%	14 13.2%
男性	481	261 54.3%	338 70.3%	130 27.0%	116 24.1%	115 23.9%	91 18.9%	13 2.7%	24 5.0%
10代	9	6 66.7%	5 55.6%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%
20代	37	20 54.1%	23 62.2%	5 13.5%	5 13.5%	6 16.2%	4 10.8%	0 0.0%	2 5.4%
30代	54	36 66.7%	39 72.2%	10 18.5%	11 20.4%	18 33.3%	11 20.4%	2 3.7%	0 0.0%
40代	61	32 52.5%	42 68.9%	14 23.0%	13 21.3%	13 21.3%	14 23.0%	2 3.3%	1 1.6%
50代	90	50 55.6%	65 72.2%	26 28.9%	27 30.0%	15 16.7%	13 14.4%	3 3.3%	6 6.7%
60代	127	65 51.2%	88 69.3%	40 31.5%	29 22.8%	34 26.8%	24 18.9%	2 1.6%	6 4.7%
70歳以上	101	50 49.5%	74 73.3%	33 32.7%	29 28.7%	28 27.7%	24 23.8%	3 3.0%	7 6.9%
雇用形態別									
正社員・正職員	406	262 64.5%	302 74.4%	100 24.6%	94 23.2%	101 24.9%	102 25.1%	8 2.0%	15 3.7%
派遣・契約社員	66	36 54.5%	37 56.1%	18 27.3%	14 21.2%	17 25.8%	15 22.7%	1 1.5%	4 6.1%
パート・アルバイト	212	122 57.5%	140 66.0%	48 22.6%	53 25.0%	54 25.5%	62 29.2%	5 2.4%	13 6.1%
自営業・自由業	55	28 50.9%	40 72.7%	18 32.7%	17 30.9%	12 21.8%	14 25.5%	3 5.5%	2 3.6%
会社役員・経営者	32	16 50.0%	22 68.8%	9 28.1%	5 15.6%	6 18.8%	5 15.6%	1 3.1%	2 6.3%
専業主婦(夫)	142	84 59.2%	100 70.4%	37 26.1%	31 21.8%	31 21.8%	39 27.5%	3 2.1%	5 3.5%
学生	36	23 63.9%	27 75.0%	6 16.7%	8 22.2%	4 11.1%	5 13.9%	1 2.8%	3 8.3%
無職	213	88 41.3%	137 64.3%	78 36.6%	45 21.1%	60 28.2%	45 21.1%	4 1.9%	20 9.4%
配偶関係別									
結婚している	823	470 57.1%	579 70.4%	229 27.8%	193 23.5%	191 23.2%	201 24.4%	21 2.6%	37 4.5%
離別	71	38 53.5%	52 73.2%	21 29.6%	16 22.5%	21 29.6%	25 35.2%	0 0.0%	6 8.5%
死別	47	18 38.3%	26 55.3%	14 29.8%	11 23.4%	14 29.8%	11 23.4%	2 4.3%	5 10.6%
結婚していない	225	133 59.1%	151 67.1%	52 23.1%	48 21.3%	59 26.2%	52 23.1%	3 1.3%	16 7.1%
子供有無別									
いる	858	475 55.4%	598 69.7%	239 27.9%	200 23.3%	209 24.4%	219 25.5%	17 2.0%	45 5.2%
いない	285	170 59.6%	192 67.4%	73 25.6%	61 21.4%	71 24.9%	65 22.8%	9 3.2%	16 5.6%
性別役割分担別									
賛成	242	112 46.3%	151 62.4%	60 24.8%	52 21.5%	59 24.4%	50 20.7%	6 2.5%	14 5.8%
反対	774	477 61.6%	574 74.2%	226 29.2%	192 24.8%	188 24.3%	207 26.7%	17 2.2%	32 4.1%
わからない	149	73 49.0%	84 56.4%	29 19.5%	25 16.8%	40 26.8%	31 20.8%	3 2.0%	16 10.7%

問 25 女性の意見を政治や行政に十分反映させるためには、どのようなことが最も効果があると思いますか。(〇は2つまで)

今回調査では、「女性の意見や考え方を聞く機会を増やし、行政もその意見を取り上げるよう努力すること」(39.6%)が最も高く、次いで「官公庁での管理職や審議会等の委員など公職に就く女性が増えること」(33.9%)、「女性議員が多くなること」(29.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「女性議員が多くなること」、「官公庁での管理職や審議会等の委員など公職に就く女性が増えること」ではそれぞれ7.3ポイント、8.4ポイント増加している。

性別で見ると、「女性の意見や考え方を聞く機会を増やし、行政もその意見を取り上げるよう努力すること」(女性：43.8%、男性：34.5%)では女性が男性を9.3ポイント上回っている。



(主なその他の回答)

- ・古い考えを持った政治家を要職に置かない
- ・政治をきちんと教育の場で教えること
- ・自分の周りでは現状維持で良いと思う
- ・女だから男だからという考えを改める
- ・女性の育児や介護の負担を軽くして外に出やすい機会や精神的な余裕が持てるような行政サービスを増やす
- ・若い世代の政治参加
- ・女性だから、女性の割合を高めないといけないから任命ということではなく、資質を備えた女性の大起用
- ・女性を増やすのが目的でなく、国をどのようにいい方向に導いていける人材なのかが大切

複数回答のため 合計は100%に ならない  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	女性議員が多くなること 性が公の管理職や審議 官の委員など公職に就く が増えること が一般の女性の自主的な活動 が盛んになること り女性の意見や考え方を聞く機会 を増やし、行政もその意見を 取上げるよう努力すること けること 女性の能力開発の機会を設 けること 女性自身の政治への関心を 高めること その他 わからない							
		女性議員が多くなること	性が公の管理職や審議官の委員など公職に就くが増えること	が一般の女性の自主的な活動が盛んになること	り女性の意見や考え方を聞く機会を増やし、行政もその意見を取上げるよう努力すること	けること	女性の能力開発の機会を設けること	女性自身の政治への関心を高めること	その他
今回調査	1,178	343 29.1%	399 33.9%	256 21.7%	466 39.6%	199 16.9%	303 25.7%	17 1.4%	62 5.3%
前回調査(H27)	1,452	316 21.8%	370 25.5%	292 20.1%	580 39.9%	200 13.8%	446 30.7%	19 1.3%	86 5.9%
女性	672	179 26.6%	215 32.0%	134 19.9%	294 43.8%	118 17.6%	187 27.8%	10 1.5%	30 4.5%
10代	9	5 55.6%	4 44.4%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
20代	62	15 24.2%	20 32.3%	6 9.7%	37 59.7%	8 12.9%	17 27.4%	1 1.6%	3 4.8%
30代	84	27 32.1%	30 35.7%	16 19.0%	31 36.9%	14 16.7%	21 25.0%	4 4.8%	6 7.1%
40代	132	29 22.0%	52 39.4%	28 21.2%	56 42.4%	24 18.2%	30 22.7%	3 2.3%	4 3.0%
50代	128	31 24.2%	46 35.9%	30 23.4%	53 41.4%	28 21.9%	37 28.9%	0 0.0%	6 4.7%
60代	150	37 24.7%	43 28.7%	29 19.3%	64 42.7%	30 20.0%	45 30.0%	2 1.3%	6 4.0%
70歳以上	106	35 33.0%	20 18.9%	24 22.6%	49 46.2%	14 13.2%	35 33.0%	0 0.0%	5 4.7%
男性	481	159 33.1%	176 36.6%	118 24.5%	166 34.5%	77 16.0%	109 22.7%	7 1.5%	29 6.0%
10代	9	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%
20代	37	10 27.0%	9 24.3%	7 18.9%	16 43.2%	5 13.5%	12 32.4%	0 0.0%	3 8.1%
30代	54	16 29.6%	16 29.6%	14 25.9%	18 33.3%	14 25.9%	12 22.2%	2 3.7%	0 0.0%
40代	61	22 36.1%	21 34.4%	19 31.1%	20 32.8%	5 8.2%	7 11.5%	2 3.3%	6 9.8%
50代	90	35 38.9%	37 41.1%	21 23.3%	30 33.3%	12 13.3%	18 20.0%	1 1.1%	7 7.8%
60代	127	35 27.6%	52 40.9%	35 27.6%	46 36.2%	27 21.3%	29 22.8%	2 1.6%	2 1.6%
70歳以上	101	37 36.6%	39 38.6%	20 19.8%	31 30.7%	14 13.9%	31 30.7%	0 0.0%	8 7.9%
雇用形態別	406	128 31.5%	151 37.2%	95 23.4%	161 39.7%	68 16.7%	93 22.9%	10 2.5%	20 4.9%
正社員・正職員	66	16 24.2%	18 27.3%	19 28.8%	24 36.4%	13 19.7%	16 24.2%	1 1.5%	5 7.6%
派遣・契約社員	212	51 24.1%	67 31.6%	50 23.6%	97 45.8%	42 19.8%	52 24.5%	2 0.9%	8 3.8%
パート・アルバイト	55	13 23.6%	24 43.6%	14 25.5%	19 34.5%	8 14.5%	12 21.8%	0 0.0%	5 9.1%
自営業・自由業	32	8 25.0%	11 34.4%	8 25.0%	10 31.3%	3 9.4%	10 31.3%	0 0.0%	3 9.4%
会社役員・経営者	142	36 25.4%	43 30.3%	30 21.1%	53 37.3%	28 19.7%	49 34.5%	2 1.4%	2 1.4%
専業主婦(夫)	36	16 44.4%	15 41.7%	2 5.6%	17 47.2%	1 2.8%	6 16.7%	0 0.0%	4 11.1%
学生	213	71 33.3%	65 30.5%	36 16.9%	81 38.0%	35 16.4%	62 29.1%	2 0.9%	14 6.6%
無職	823	247 30.0%	285 34.6%	185 22.5%	314 38.2%	138 16.8%	216 26.2%	12 1.5%	39 4.7%
配偶関係別	71	22 31.0%	30 42.3%	10 14.1%	28 39.4%	13 18.3%	22 31.0%	0 0.0%	4 5.6%
結婚している	47	12 25.5%	9 19.1%	14 29.8%	22 46.8%	8 17.0%	10 21.3%	2 4.3%	2 4.3%
離別	225	60 26.7%	71 31.6%	46 20.4%	98 43.6%	38 16.9%	52 23.1%	3 1.3%	17 7.6%
死別	225	60 26.7%	71 31.6%	46 20.4%	98 43.6%	38 16.9%	52 23.1%	3 1.3%	17 7.6%
結婚していない	858	252 29.4%	297 34.6%	189 22.0%	337 39.3%	150 17.5%	225 26.2%	11 1.3%	42 4.9%
子供有無別	285	84 29.5%	92 32.3%	63 22.1%	113 39.6%	44 15.4%	70 24.6%	6 2.1%	16 5.6%
いない	242	59 24.4%	63 26.0%	55 22.7%	84 34.7%	40 16.5%	69 28.5%	5 2.1%	16 6.6%
賛成	774	248 32.0%	294 38.0%	168 21.7%	324 41.9%	133 17.2%	195 25.2%	11 1.4%	28 3.6%
反対	149	36 24.2%	41 27.5%	30 20.1%	53 35.6%	22 14.8%	36 24.2%	1 0.7%	17 11.4%
わからない									

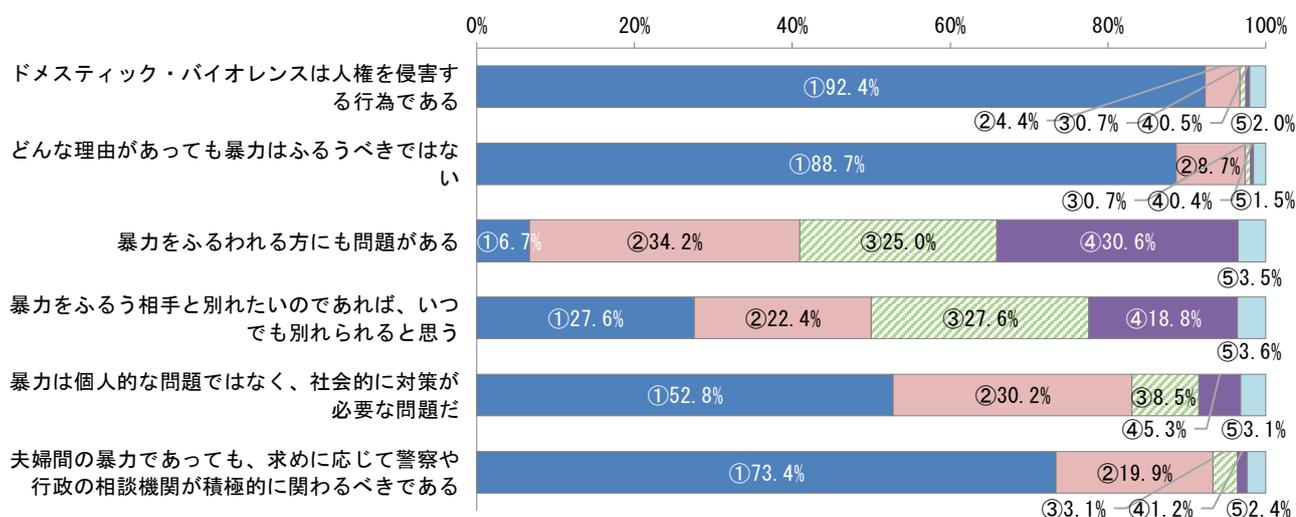
## VIII 人権・暴力について

問 26 配偶者等からの暴力は、多くの場合、女性が被害者となっています。このような配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、あなたはどのように思いますか。

『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）の割合は、「ドメスティック・バイオレンスは人権を侵害する行為である」（96.8%）、「どんな理由があっても暴力はふるうべきではない」（97.4%）、「暴力は個人的な問題ではなく、社会的に対策が必要な問題だ」（83.0%）、「夫婦間の暴力であっても、求めに応じて警察や行政の相談機関が積極的に関わるべきである」（93.3%）において高くなっている。『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）の割合は「暴力をふるわれる方にも問題がある」（55.6%）、「暴力をふるう相手と別れたいのであれば、いつでも別れられると思う」（46.4%）で約半数となっている。

(n=1,178)

■①そう思う ■②ややそう思う ■③あまりそう思わない ■④そう思わない ■⑤無回答



	サンプル数	思う		思わない		無回答
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
ドメスティック・バイオレンスは人権を侵害する行為である	1,178	1,088	52	8	6	24
どんな理由があっても暴力はふるうべきではない	1,178	1,045	102	8	5	18
暴力をふるわれる方にも問題がある	1,178	79	403	294	361	41
暴力をふるう相手と別れたいのであれば、いつでも別れられると思う	1,178	325	264	325	222	42
暴力は個人的な問題ではなく、社会的に対策が必要な問題だ	1,178	622	356	100	63	37
夫婦間の暴力であっても、求めに応じて警察や行政の相談機関が積極的に関わるべきである	1,178	865	234	37	14	28

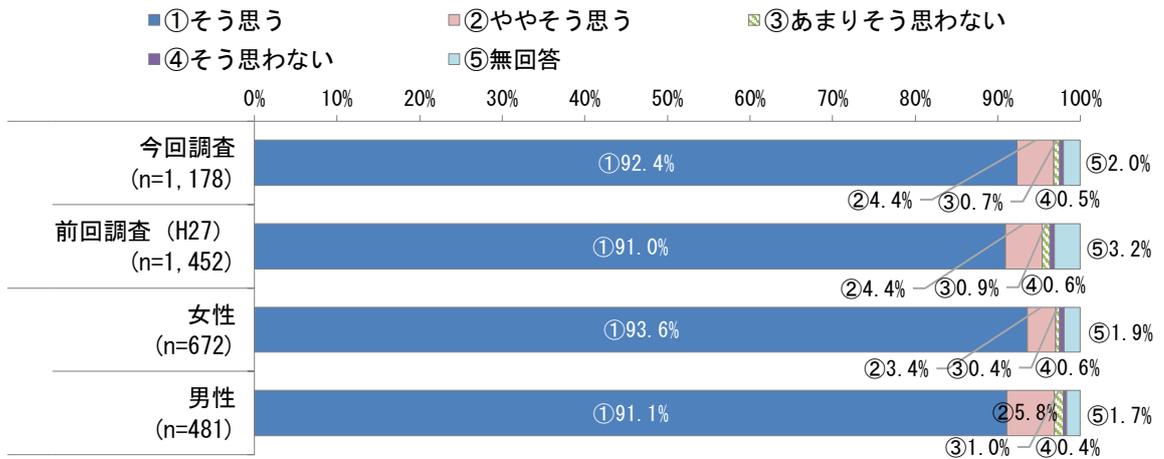
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合があります

上段: 回答者数  
下段: 構成比

■ 上位1項目

# ①ドメスティック・バイオレンスは人権を侵害する行為である

『思う』の割合は、今回調査（96.8%）、前回調査（95.4%）、女性（97.0%）、男性（96.9%）ともに高くなっている。

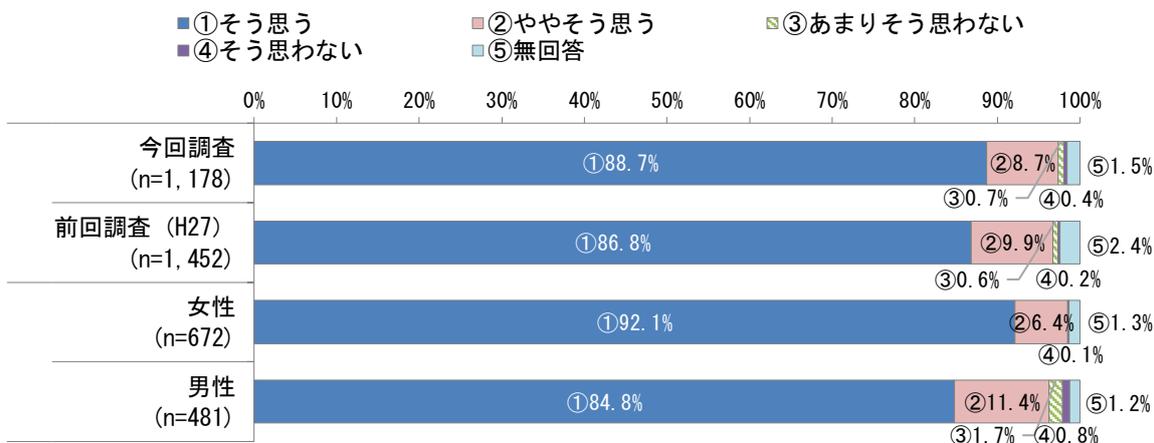


	サンプル数	思う			思わない		無回答
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		
今回調査	1,178	1,088 (92.4%)	52 (4.4%)	8 (0.7%)	6 (0.5%)	24 (2.0%)	
前回調査 (H27)	1,452	1,321 (91.0%)	64 (4.4%)	13 (0.9%)	8 (0.6%)	46 (3.2%)	
女性	672	629 (93.6%)	23 (3.4%)	3 (0.4%)	4 (0.6%)	13 (1.9%)	
10代	9	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
20代	62	61 (98.4%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
30代	84	84 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
40代	132	125 (94.7%)	6 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	
50代	128	120 (93.8%)	5 (3.9%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	
60代	150	141 (94.0%)	6 (4.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	2 (1.3%)	
70歳以上	106	89 (84.0%)	4 (3.8%)	2 (1.9%)	2 (1.9%)	9 (8.5%)	
男性	481	438 (91.1%)	28 (5.8%)	5 (1.0%)	2 (0.4%)	8 (1.7%)	
10代	9	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
20代	37	37 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
30代	54	46 (85.2%)	7 (13.0%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	
40代	61	55 (90.2%)	3 (4.9%)	3 (4.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
50代	90	87 (96.7%)	2 (2.2%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
60代	127	117 (92.1%)	7 (5.5%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)	
70歳以上	101	85 (84.2%)	9 (8.9%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	6 (5.9%)	

	サンプル数	思う			思わない		無回答
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		
正社員・正職員	406	388 (95.6%)	14 (3.4%)	3 (0.7%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	
派遣・契約社員	66	61 (92.4%)	4 (6.1%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
パート・アルバイト	212	199 (93.9%)	10 (4.7%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)	1 (0.5%)	
自営業・自由業	55	50 (90.9%)	3 (5.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.6%)	
会社役員・経営者	32	28 (87.5%)	2 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	
専業主婦(夫)	142	134 (94.4%)	3 (2.1%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)	
学生	36	35 (97.2%)	1 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
無職	213	179 (84.0%)	15 (7.0%)	2 (0.9%)	2 (0.9%)	15 (7.0%)	
結婚している	823	760 (92.3%)	39 (4.7%)	5 (0.6%)	5 (0.6%)	14 (1.7%)	
離別	71	65 (91.5%)	4 (5.6%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	
死別	47	41 (87.2%)	1 (2.1%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	4 (8.5%)	
結婚していない	225	212 (94.2%)	8 (3.6%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	3 (1.3%)	
子供有無別	858	789 (92.0%)	41 (4.8%)	6 (0.7%)	5 (0.6%)	17 (2.0%)	
いる	285	267 (93.7%)	10 (3.5%)	2 (0.7%)	1 (0.4%)	5 (1.8%)	
いない	242	213 (88.0%)	17 (7.0%)	2 (0.8%)	3 (1.2%)	7 (2.9%)	
性別役割分担別	774	731 (94.4%)	26 (3.4%)	6 (0.8%)	3 (0.4%)	8 (1.0%)	
賛成	149	136 (91.3%)	9 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (2.7%)	
反対	149	136 (91.3%)	9 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (2.7%)	
わからない	149	136 (91.3%)	9 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (2.7%)	

## ②どんな理由があっても暴力はふるうべきではない

『思う』の割合は、今回調査（97.4%）、前回調査（96.7%）、女性（98.5%）、男性（96.2%）ともに高くなっている。



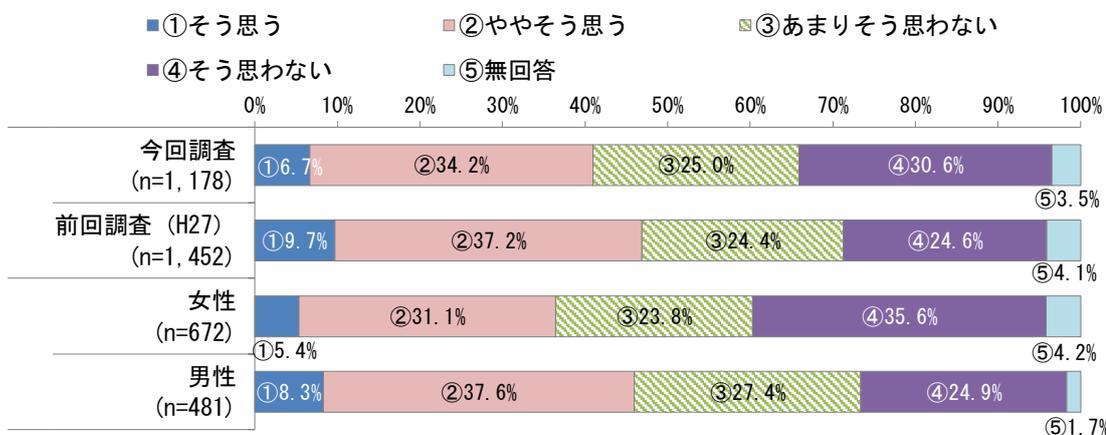
	サンプル数	思う			思わない		無回答
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	
今回調査	1,178	1,045	102	8	5	18	
前回調査(H27)	1,452	1,261	144	9	3	35	
女性	672	619	43	0	1	9	
10代	9	8	1	0	0	0	
20代	62	57	5	0	0	0	
30代	84	79	5	0	0	0	
40代	132	117	14	0	0	1	
50代	128	118	10	0	0	0	
60代	150	143	5	0	0	2	
70歳以上	106	96	3	0	1	6	
男性	481	408	55	8	4	6	
10代	9	6	3	0	0	0	
20代	37	33	4	0	0	0	
30代	54	45	7	1	1	0	
40代	61	45	12	2	2	0	
50代	90	81	8	1	0	0	
60代	127	112	11	2	0	2	
70歳以上	101	84	10	2	1	4	

	サンプル数	思う			思わない		無回答
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	
今回調査	1,178	1,045	102	8	5	18	
前回調査(H27)	1,452	1,261	144	9	3	35	
女性	672	619	43	0	1	9	
10代	9	8	1	0	0	0	
20代	62	57	5	0	0	0	
30代	84	79	5	0	0	0	
40代	132	117	14	0	0	1	
50代	128	118	10	0	0	0	
60代	150	143	5	0	0	2	
70歳以上	106	96	3	0	1	6	
男性	481	408	55	8	4	6	
10代	9	6	3	0	0	0	
20代	37	33	4	0	0	0	
30代	54	45	7	1	1	0	
40代	61	45	12	2	2	0	
50代	90	81	8	1	0	0	
60代	127	112	11	2	0	2	
70歳以上	101	84	10	2	1	4	

### ③暴力をふるわれる方にも問題がある

前回調査では、『思う』と『思わない』の割合はそれぞれ約半数となっているが、今回調査では『思わない』が半数を超えている。

性別でみると、『思う』(女性：36.5%、男性：45.9%)の割合は、女性が男性を9.4ポイント下回り、『思わない』(女性：59.4%、男性：52.3%)では女性が男性を7.1ポイント上回っている。



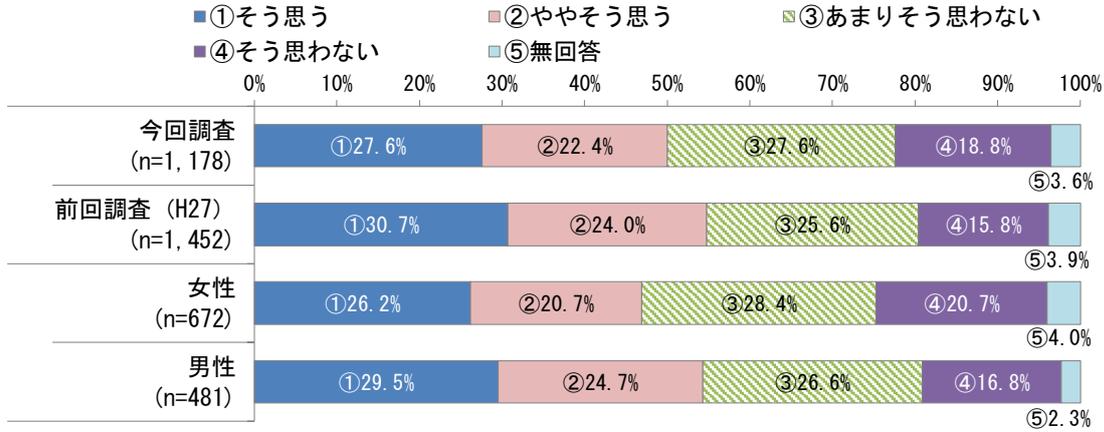
	サンプル数	思う		思わない		無回答
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
今回調査	1,178	79 (6.7%)	403 (34.2%)	294 (25.0%)	361 (30.6%)	41 (3.5%)
前回調査 (H27)	1,452	141 (9.7%)	540 (37.2%)	354 (24.4%)	357 (24.6%)	60 (4.1%)
女性	672	36 (5.4%)	209 (31.1%)	160 (23.8%)	239 (35.6%)	28 (4.2%)
10代	9	0 (0.0%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)
20代	62	1 (1.6%)	11 (17.7%)	17 (27.4%)	33 (53.2%)	0 (0.0%)
30代	84	5 (6.0%)	16 (19.0%)	20 (23.8%)	43 (51.2%)	0 (0.0%)
40代	132	4 (3.0%)	46 (34.8%)	36 (27.3%)	45 (34.1%)	1 (0.8%)
50代	128	4 (3.1%)	32 (25.0%)	38 (29.7%)	52 (40.6%)	2 (1.6%)
60代	150	8 (5.3%)	56 (37.3%)	35 (23.3%)	43 (28.7%)	8 (5.3%)
70歳以上	106	14 (13.2%)	44 (41.5%)	12 (11.3%)	20 (18.9%)	16 (15.1%)
男性	481	40 (8.3%)	181 (37.6%)	132 (27.4%)	120 (24.9%)	8 (1.7%)
10代	9	0 (0.0%)	4 (44.4%)	3 (33.3%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)
20代	37	0 (0.0%)	12 (32.4%)	12 (32.4%)	13 (35.1%)	0 (0.0%)
30代	54	6 (11.1%)	15 (27.8%)	17 (31.5%)	16 (29.6%)	0 (0.0%)
40代	61	11 (18.0%)	24 (39.3%)	15 (24.6%)	11 (18.0%)	0 (0.0%)
50代	90	12 (13.3%)	29 (32.2%)	24 (26.7%)	25 (27.8%)	0 (0.0%)
60代	127	6 (4.7%)	42 (33.1%)	39 (30.7%)	37 (29.1%)	3 (2.4%)
70歳以上	101	5 (5.0%)	54 (53.5%)	21 (20.8%)	16 (15.8%)	5 (5.0%)

	サンプル数	思う		思わない		無回答
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
正社員・正職員	406	27 (6.7%)	129 (31.8%)	114 (28.1%)	134 (33.0%)	2 (0.5%)
派遣・契約社員	66	6 (9.1%)	24 (36.4%)	13 (19.7%)	21 (31.8%)	2 (3.0%)
パート・アルバイト	212	13 (6.1%)	78 (36.8%)	49 (23.1%)	70 (33.0%)	2 (0.9%)
自営業・自由業	55	7 (12.7%)	11 (20.0%)	16 (29.1%)	19 (34.5%)	2 (3.6%)
会社役員・経営者	32	1 (3.1%)	14 (43.8%)	7 (21.9%)	8 (25.0%)	2 (6.3%)
専業主婦(夫)	142	7 (4.9%)	38 (26.8%)	42 (29.6%)	48 (33.8%)	7 (4.9%)
学生	36	0 (0.0%)	10 (27.8%)	10 (27.8%)	16 (44.4%)	0 (0.0%)
無職	213	17 (8.0%)	94 (44.1%)	40 (18.8%)	41 (19.2%)	21 (9.9%)
結婚している	823	53 (6.4%)	286 (34.8%)	211 (25.6%)	248 (30.1%)	25 (3.0%)
離別	71	5 (7.0%)	20 (28.2%)	16 (22.5%)	29 (40.8%)	1 (1.4%)
死別	47	5 (10.6%)	21 (44.7%)	8 (17.0%)	7 (14.9%)	6 (12.8%)
結婚していない	225	15 (6.7%)	72 (32.0%)	57 (25.3%)	74 (32.9%)	7 (3.1%)
子供有無別	858	56 (6.5%)	307 (35.8%)	212 (24.7%)	253 (29.5%)	30 (3.5%)
いない	285	17 (6.0%)	88 (30.9%)	76 (26.7%)	96 (33.7%)	8 (2.8%)
性別役割分担別	242	20 (8.3%)	99 (40.9%)	59 (24.4%)	55 (22.7%)	9 (3.7%)
賛成	774	44 (5.7%)	248 (32.0%)	198 (25.6%)	265 (34.2%)	19 (2.5%)
反対	149	15 (10.1%)	51 (34.2%)	36 (24.2%)	40 (26.8%)	7 (4.7%)

#### ④暴力をふるう相手と別れたいのであれば、いつでも別れられると思う

今回調査では、『思う』と『思わない』の割合はそれぞれ約半数となっている。

性別でみると、『思う』(女性：46.9%、男性：54.2%)、『思わない』(女性：49.1%、男性：43.4%)の割合は、男女差がそれぞれ7.3ポイント、5.7ポイントとなっている。

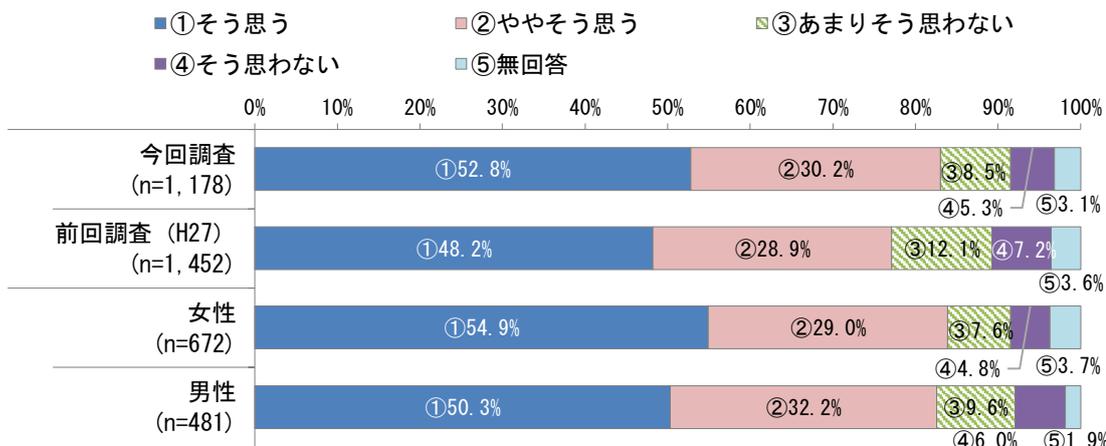


調査対象	サンプル数	思う			思わない		無回答
		そう思う	やや思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	
今回調査	1,178	325 (27.6%)	264 (22.4%)	325 (27.6%)	222 (18.8%)	42 (3.6%)	
前回調査 (H27)	1,452	446 (30.7%)	349 (24.0%)	372 (25.6%)	229 (15.8%)	56 (3.9%)	
女性	672	176 (26.2%)	139 (20.7%)	191 (28.4%)	139 (20.7%)	27 (4.0%)	
10代	9	2 (22.2%)	0 (0.0%)	4 (44.4%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	
20代	62	11 (17.7%)	7 (11.3%)	30 (48.4%)	13 (21.0%)	1 (1.6%)	
30代	84	17 (20.2%)	11 (13.1%)	26 (31.0%)	30 (35.7%)	0 (0.0%)	
40代	132	26 (19.7%)	31 (23.5%)	47 (35.6%)	26 (19.7%)	2 (1.5%)	
50代	128	26 (20.3%)	34 (26.6%)	40 (31.3%)	26 (20.3%)	2 (1.6%)	
60代	150	52 (34.7%)	34 (22.7%)	30 (20.0%)	27 (18.0%)	7 (4.7%)	
70歳以上	106	42 (39.6%)	22 (20.8%)	13 (12.3%)	15 (14.2%)	14 (13.2%)	
男性	481	142 (29.5%)	119 (24.7%)	128 (26.6%)	81 (16.8%)	11 (2.3%)	
10代	9	1 (11.1%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	6 (66.7%)	0 (0.0%)	
20代	37	9 (24.3%)	7 (18.9%)	14 (37.8%)	7 (18.9%)	0 (0.0%)	
30代	54	13 (24.1%)	13 (24.1%)	15 (27.8%)	13 (24.1%)	0 (0.0%)	
40代	61	20 (32.8%)	16 (26.2%)	13 (21.3%)	12 (19.7%)	0 (0.0%)	
50代	90	33 (36.7%)	23 (25.6%)	24 (26.7%)	10 (11.1%)	0 (0.0%)	
60代	127	35 (27.6%)	31 (24.4%)	33 (26.0%)	25 (19.7%)	3 (2.4%)	
70歳以上	101	31 (30.7%)	26 (25.7%)	28 (27.7%)	8 (7.9%)	8 (7.9%)	

調査対象	サンプル数	思う			思わない		無回答
		そう思う	やや思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	
正社員・正職員	406	94 (23.2%)	96 (23.6%)	126 (31.0%)	87 (21.4%)	3 (0.7%)	
派遣・契約社員	66	17 (25.8%)	16 (24.2%)	19 (28.8%)	13 (19.7%)	1 (1.5%)	
パート・アルバイト	212	56 (26.4%)	43 (20.3%)	68 (32.1%)	41 (19.3%)	4 (1.9%)	
自営業・自由業	55	19 (34.5%)	12 (21.8%)	6 (10.9%)	16 (29.1%)	2 (3.6%)	
会社役員・経営者	32	15 (46.9%)	6 (18.8%)	6 (18.8%)	3 (9.4%)	2 (6.3%)	
専業主婦(夫)	142	43 (30.3%)	32 (22.5%)	35 (24.6%)	26 (18.3%)	6 (4.2%)	
学生	36	6 (16.7%)	5 (13.9%)	15 (41.7%)	10 (27.8%)	0 (0.0%)	
無職	213	72 (33.8%)	50 (23.5%)	47 (22.1%)	23 (10.8%)	21 (9.9%)	
結婚している	823	237 (28.8%)	200 (24.3%)	213 (25.9%)	145 (17.6%)	28 (3.4%)	
離別	71	21 (29.6%)	10 (14.1%)	16 (22.5%)	23 (32.4%)	1 (1.4%)	
死別	47	17 (36.2%)	7 (14.9%)	13 (27.7%)	5 (10.6%)	5 (10.6%)	
結婚していない	225	49 (21.8%)	44 (19.6%)	79 (35.1%)	47 (20.9%)	6 (2.7%)	
子供有無別	858	256 (29.8%)	204 (23.8%)	219 (25.5%)	148 (17.2%)	31 (3.6%)	
いる	285	58 (20.4%)	53 (18.6%)	97 (34.0%)	69 (24.2%)	8 (2.8%)	
いない	242	73 (30.2%)	63 (26.0%)	61 (25.2%)	33 (13.6%)	12 (5.0%)	
性別役割分担別	774	211 (27.3%)	157 (20.3%)	223 (28.8%)	166 (21.4%)	17 (2.2%)	
賛成	149	38 (25.5%)	42 (28.2%)	41 (27.5%)	21 (14.1%)	7 (4.7%)	
反対	774	211 (27.3%)	157 (20.3%)	223 (28.8%)	166 (21.4%)	17 (2.2%)	
わからない	149	38 (25.5%)	42 (28.2%)	41 (27.5%)	21 (14.1%)	7 (4.7%)	

### ⑤暴力は個人的な問題ではなく、社会的に対策が必要な問題だ

『思う』の割合は、今回調査（83.0%）、前回調査（77.1%）、女性（83.9%）、男性（82.5%）とも  
に約8割となっている。

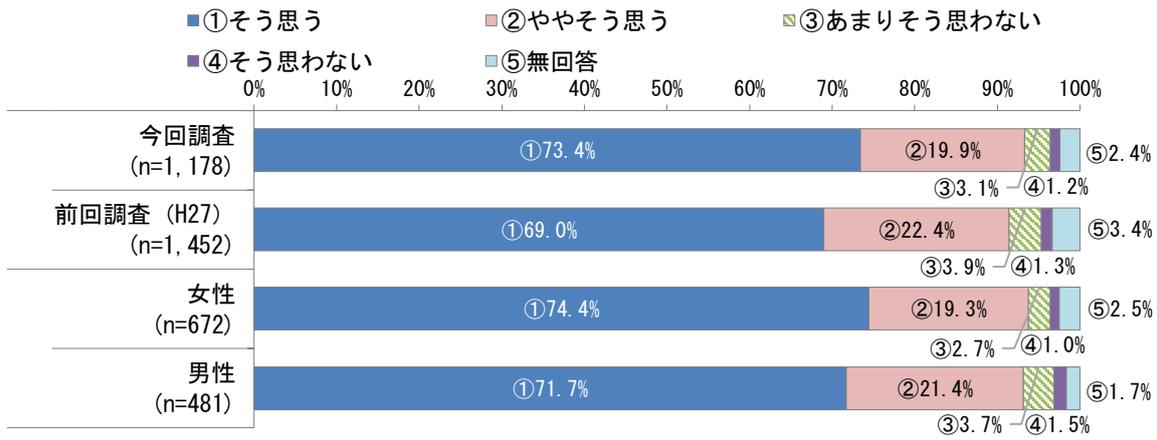


	サンプル数	思う			思わない		無回答
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	
今回調査	1,178	622	356	100	63	37	
前回調査(H27)	1,452	700	420	176	104	52	
女性	672	369	195	51	32	25	
10代	9	6	2	1	0	0	
20代	62	43	14	4	1	0	
30代	84	56	24	2	2	0	
40代	132	80	36	11	3	2	
50代	128	70	40	13	4	1	
60代	150	73	49	13	10	5	
70歳以上	106	40	30	7	12	17	
男性	481	242	155	46	29	9	
10代	9	7	2	0	0	0	
20代	37	21	12	3	1	0	
30代	54	31	17	4	2	0	
40代	61	41	12	6	2	0	
50代	90	41	32	8	9	0	
60代	127	66	41	11	6	3	
70歳以上	101	34	38	14	9	6	

	サンプル数	思う			思わない		無回答
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	
正社員・正職員	406	230	127	36	11	2	
派遣・契約社員	66	35	20	7	3	1	
パート・アルバイト	212	122	56	21	10	3	
自営業・自由業	55	36	10	3	5	1	
会社役員・経営者	32	15	10	2	3	2	
専業主婦(夫)	142	71	49	8	10	4	
学生	36	24	9	3	0	0	
無職	213	80	70	20	21	22	
結婚している	823	414	263	75	46	25	
離別	71	45	12	6	7	1	
死別	47	23	14	1	3	6	
結婚していない	225	134	63	18	7	3	
子供有無別	858	429	268	77	55	29	
いる	285	170	78	23	8	6	
いない	242	107	83	22	18	12	
性別役割分担別	774	432	221	69	38	14	
賛成	149	78	52	7	7	5	
反対	149	78	52	7	7	5	
わからない	149	78	52	7	7	5	

⑥夫婦間の暴力であっても、求めに応じて警察や行政の相談機関が積極的に関わるべきである

『思う』の割合は、今回調査（93.3%）、前回調査（91.4%）、女性（93.7%）、男性（93.1%）ともに9割を超えている。



	サンプル数	思う			無回答
		そう思う	やや思う	あまりそう思わない	
今回調査	1,178	865	234	37	14
前回調査(H27)	1,452	1,002	325	57	19
女性	672	500	130	18	7
10代	9	5	3	0	1
20代	62	50	8	4	0
30代	84	77	6	1	0
40代	132	106	21	2	2
50代	128	94	30	2	1
60代	150	106	41	0	2
70歳以上	106	61	21	9	4
男性	481	345	103	18	7
10代	9	4	5	0	0
20代	37	29	7	1	0
30代	54	42	8	3	1
40代	61	50	9	2	0
50代	90	74	14	2	0
60代	127	91	30	2	3
70歳以上	101	53	30	8	5

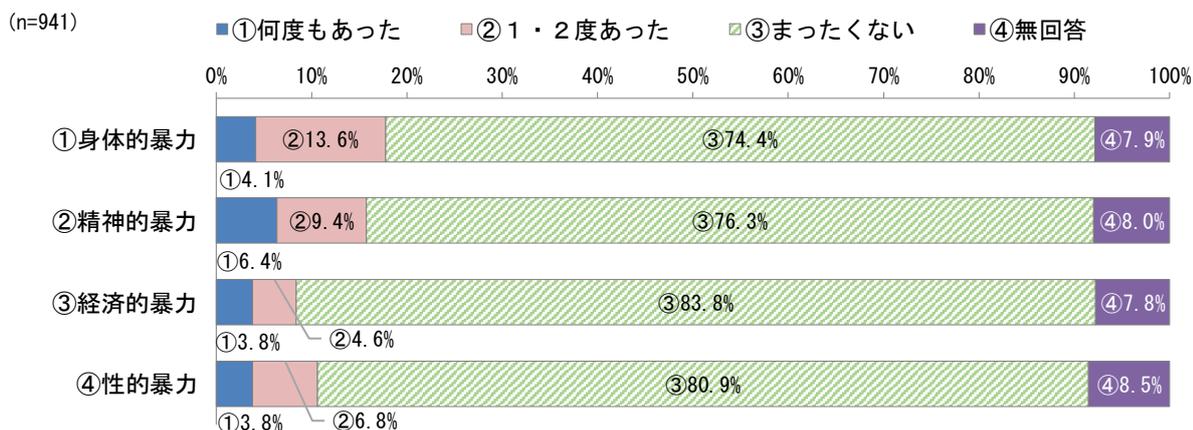
	サンプル数	思う				無回答
		そう思う	やや思う	あまりそう思わない	そう思わない	
正社員・正職員	406	321	71	12	1	
派遣・契約社員	66	48	16	1	1	
パート・アルバイト	212	165	38	7	2	
自営業・自由業	55	46	6	0	1	
会社役員・経営者	32	23	6	1	0	
専業主婦(夫)	142	103	29	5	2	
学生	36	23	12	1	0	
無職	213	125	54	10	7	
結婚している	823	601	168	28	10	
離別	71	55	12	1	2	
死別	47	34	8	1	1	
結婚していない	225	166	45	7	1	
子供有	858	623	177	28	13	
子供無	285	213	54	9	1	
賛成	242	155	63	13	4	
反対	774	596	142	21	6	
わからない	149	108	28	3	3	

問 27 現在または過去に配偶者（結婚していないが一緒に暮らしている場合も含む）がいる（いた）方におたずねします。

※該当しない方は問 28 へ

- (1) これまでに、あなたの配偶者から次の①～④のようなことをされたことがありますか。
- ①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた（身体的暴力）
  - ②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた（精神的暴力）
  - ③生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど経済的な圧迫を受けた（経済的暴力）
  - ④避妊に協力しなかったり、いやがっているのに性的な行為を強要された（性的暴力）

配偶者等からのドメスティック・バイオレンスの被害経験について、『あった』（「何度もあった」＋「1・2度あった」）の割合は、①身体的暴力（17.7%）が最も高く、次いで②精神的暴力（15.8%）、④性的暴力（10.6%）となっている。



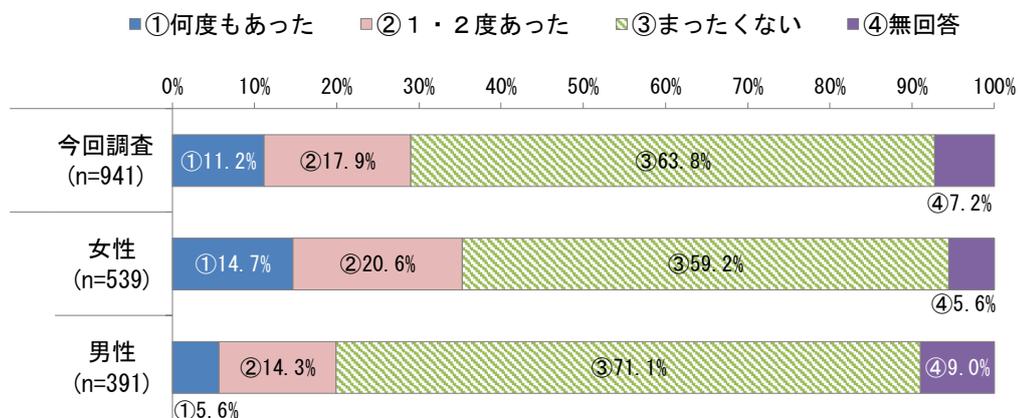
	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
①身体的暴力	941	39	128	700	74
	100.0%	4.1%	13.6%	74.4%	7.9%
②精神的暴力	941	60	88	718	75
	100.0%	6.4%	9.4%	76.3%	8.0%
③経済的暴力	941	36	43	789	73
	100.0%	3.8%	4.6%	83.8%	7.8%
④性的暴力	941	36	64	761	80
	100.0%	3.8%	6.8%	80.9%	8.5%

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある

上段: 回答者数  
下段: 構成比

■ 上位1項目

配偶者等から①～④のいずれかの暴力を受けた経験については、「何度もあった」が 11.2%、「1・2度あった」が 17.9%、「まったくくない」が 63.8%となっている。



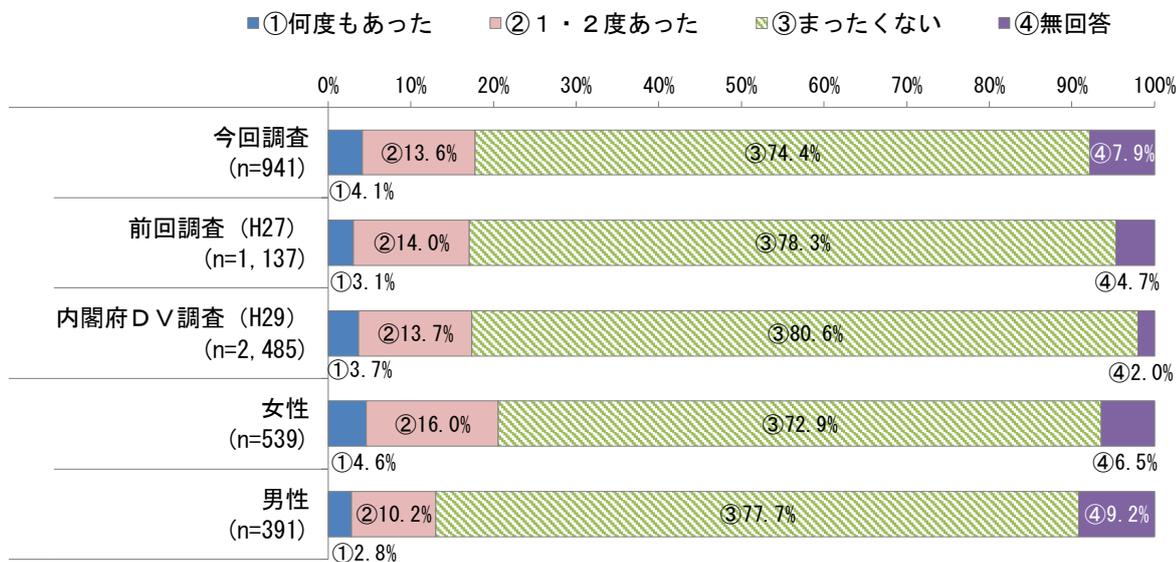
		サンプル数	何度もあった	1・2度あった	まったくくない	無回答
<small>小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある</small> <small>上段: 回答者数</small> <small>下段: 構成比</small> <small>■ 上位1項目</small>						
今回調査		941	105	168	600	68
		100.0%	11.2%	17.9%	63.8%	7.2%
性別	女性	539	79	111	319	30
		100.0%	14.7%	20.6%	59.2%	5.6%
	男性	391	22	56	278	35
	100.0%	5.6%	14.3%	71.1%	9.0%	
	無回答	11	4	1	3	3
		100.0%	36.4%	9.1%	27.3%	27.3%

配偶者等からのDVの被害経験がある人（129人）について、それぞれの行為の被害をみると重複した被害を受けている人は50.4%（女性：52.6%、男性：41.4%）となっている。

	①身体的暴力	②精神的暴力	③経済的暴力	④性的暴力	全体	女性	男性	性別無回答
					(129人)	(95人)	(29人)	(5人)
重複あり					65	50	12	3
					50.4%	52.6%	41.4%	60.0%
●	●				18	11	7	0
					14.0%	11.6%	24.1%	0.0%
●		●			0	0	0	0
					0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
●			●		3	3	0	0
					2.3%	3.2%	0.0%	0.0%
	●	●			2	2	0	0
					1.6%	2.1%	0.0%	0.0%
	●			●	5	5	0	0
					3.9%	5.3%	0.0%	0.0%
			●	●	3	2	1	0
					2.3%	2.1%	3.4%	0.0%
●	●	●			7	6	1	0
					5.4%	6.3%	3.4%	0.0%
●	●			●	7	6	0	1
					5.4%	6.3%	0.0%	20.0%
●		●	●	●	3	1	2	0
					2.3%	1.1%	6.9%	0.0%
	●	●	●	●	1	1	0	0
					0.8%	1.1%	0.0%	0.0%
●	●	●	●	●	16	13	1	2
					12.4%	13.7%	3.4%	40.0%
重複なし					64	45	17	2
					49.6%	47.4%	58.6%	40.0%
●					11	7	4	0
					8.5%	7.4%	13.8%	0.0%
	●				18	9	7	2
					14.0%	9.5%	24.1%	40.0%
		●			7	5	2	0
					5.4%	5.3%	6.9%	0.0%
				●	28	24	4	0
					21.7%	25.3%	13.8%	0.0%

①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた

『あった』の割合は、今回調査（17.7%）と内閣府DV調査（17.4%）では差はない。  
性別で見ると、『あった』（女性：20.6%、男性：13.0%）の割合は、女性が男性を7.6ポイント上回っている。

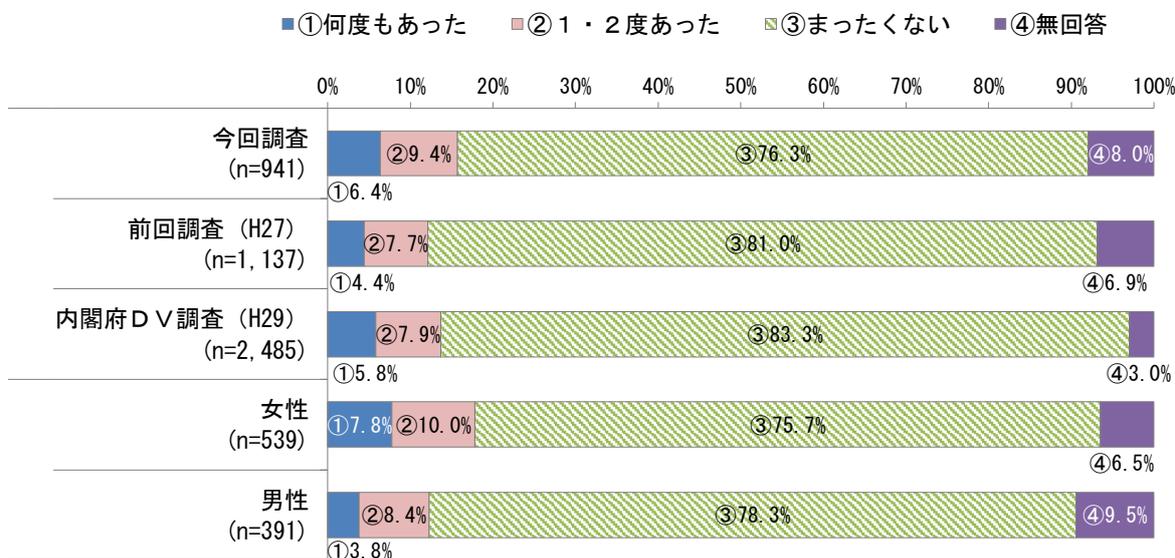


上位1項目	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくくない	無回答
今回調査	941	39 (4.1%)	128 (13.6%)	700 (74.4%)	74 (7.9%)
前回調査(H27)	1,137	35 (3.1%)	159 (14.0%)	890 (78.3%)	53 (4.7%)
内閣府DV調査(H29)	2,485	3.7%	13.7%	80.6%	2.0%
女性	539	25 (4.6%)	86 (16.0%)	393 (72.9%)	35 (6.5%)
10代	0	0	0	0	0
20代	21	0 (0.0%)	2 (9.5%)	18 (85.7%)	1 (4.8%)
30代	69	2 (2.9%)	7 (10.1%)	58 (84.1%)	2 (2.9%)
40代	103	5 (4.9%)	14 (13.6%)	80 (77.7%)	4 (3.9%)
50代	105	4 (3.8%)	19 (18.1%)	76 (72.4%)	6 (5.7%)
60代	138	8 (5.8%)	26 (18.8%)	97 (70.3%)	7 (5.1%)
70歳以上	102	6 (5.9%)	17 (16.7%)	64 (62.7%)	15 (14.7%)
男性	391	11 (2.8%)	40 (10.2%)	304 (77.7%)	36 (9.2%)
10代	0	0	0	0	0
20代	8	1 (12.5%)	0 (0.0%)	7 (87.5%)	0 (0.0%)
30代	42	1 (2.4%)	5 (11.9%)	35 (83.3%)	1 (2.4%)
40代	48	3 (6.3%)	3 (6.3%)	39 (81.3%)	3 (6.3%)
50代	80	2 (2.5%)	7 (8.8%)	66 (82.5%)	5 (6.3%)
60代	116	2 (1.7%)	10 (8.6%)	92 (79.3%)	12 (10.3%)
70歳以上	96	2 (2.1%)	15 (15.6%)	64 (66.7%)	15 (15.6%)

上位1項目	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくくない	無回答
正社員・正職員	299	10 (3.3%)	38 (12.7%)	240 (80.3%)	11 (3.7%)
派遣・契約社員	54	3 (5.6%)	4 (7.4%)	42 (77.8%)	5 (9.3%)
パート・アルバイト	189	10 (5.3%)	29 (15.3%)	139 (73.5%)	11 (5.8%)
自営業・自由業	47	4 (8.5%)	9 (19.1%)	27 (57.4%)	7 (14.9%)
会社役員・経営者	30	1 (3.3%)	1 (3.3%)	27 (90.0%)	1 (3.3%)
専業主婦(夫)	140	4 (2.9%)	18 (12.9%)	111 (79.3%)	7 (5.0%)
学生	0	0	0	0	0
無職	176	7 (4.0%)	29 (16.5%)	110 (62.5%)	30 (17.0%)
結婚している	823	25 (3.0%)	100 (12.2%)	635 (77.2%)	63 (7.7%)
離別	71	11 (15.5%)	16 (22.5%)	39 (54.9%)	5 (7.0%)
死別	47	3 (6.4%)	12 (25.5%)	26 (55.3%)	6 (12.8%)
結婚していない	0	0	0	0	0
子供有無別	852	32 (3.8%)	122 (14.3%)	631 (74.1%)	67 (7.9%)
いない	88	7 (8.0%)	6 (6.8%)	68 (77.3%)	7 (8.0%)

②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

『あった』の割合は、今回調査（15.8%）が前回調査（12.1%）より3.7ポイント増加している。性別でみると、『あった』（女性：17.8%、男性：12.2%）の割合は、女性が男性を5.6ポイント上回っている。

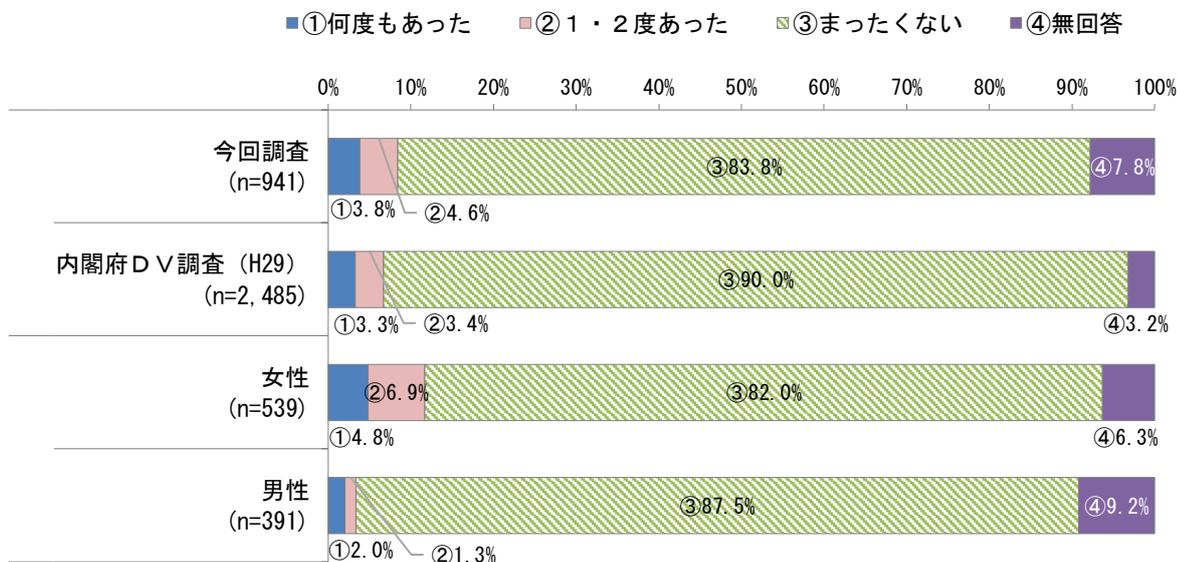


調査	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくくない	無回答
今回調査	941	60 (6.4%)	88 (9.4%)	718 (76.3%)	75 (8.0%)
前回調査 (H27)	1,137	50 (4.4%)	88 (7.7%)	921 (81.0%)	78 (6.9%)
内閣府DV調査 (H29)	2,485	145 (5.8%)	197 (7.9%)	2,143 (83.3%)	75 (3.0%)
女性	539	42 (7.8%)	54 (10.0%)	408 (75.7%)	35 (6.5%)
10代	0	0	0	0	0
20代	21	0 (0.0%)	1 (4.8%)	19 (90.5%)	1 (4.8%)
30代	69	6 (8.7%)	7 (10.1%)	54 (78.3%)	2 (2.9%)
40代	103	9 (8.7%)	11 (10.7%)	80 (77.7%)	3 (2.9%)
50代	105	10 (9.5%)	16 (15.2%)	73 (69.5%)	6 (5.7%)
60代	138	11 (8.0%)	11 (8.0%)	108 (78.3%)	8 (5.8%)
70歳以上	102	6 (5.9%)	7 (6.9%)	74 (72.5%)	15 (14.7%)
男性	391	15 (3.8%)	33 (8.4%)	306 (78.3%)	37 (9.5%)
10代	0	0	0	0	0
20代	8	1 (12.5%)	0 (0.0%)	7 (87.5%)	0 (0.0%)
30代	42	2 (4.8%)	4 (9.5%)	35 (83.3%)	1 (2.4%)
40代	48	1 (2.1%)	4 (8.3%)	41 (85.4%)	2 (4.2%)
50代	80	3 (3.8%)	5 (6.3%)	67 (83.8%)	5 (6.3%)
60代	116	6 (5.2%)	8 (6.9%)	88 (75.9%)	14 (12.1%)
70歳以上	96	2 (2.1%)	12 (12.5%)	67 (69.8%)	15 (15.6%)

調査	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくくない	無回答
正社員・正職員	299	17 (5.7%)	31 (10.4%)	240 (80.3%)	11 (3.7%)
派遣・契約社員	54	3 (5.6%)	4 (7.4%)	41 (75.9%)	6 (11.1%)
パート・アルバイト	189	16 (8.5%)	19 (10.1%)	144 (76.2%)	10 (5.3%)
自営業・自由業	47	9 (19.1%)	6 (12.8%)	24 (51.1%)	8 (17.0%)
会社役員・経営者	30	1 (3.3%)	4 (13.3%)	24 (80.0%)	1 (3.3%)
専業主婦(夫)	140	9 (6.4%)	8 (5.7%)	114 (81.4%)	9 (6.4%)
学生	0	0	0	0	0
無職	176	5 (2.8%)	16 (9.1%)	127 (72.2%)	28 (15.9%)
結婚している	823	39 (4.7%)	72 (8.7%)	647 (78.6%)	65 (7.9%)
離別	71	18 (25.4%)	12 (16.9%)	36 (50.7%)	5 (7.0%)
死別	47	3 (6.4%)	4 (8.5%)	35 (74.5%)	5 (10.6%)
結婚していない	0	0	0	0	0
子供有無別	852	53 (6.2%)	83 (9.7%)	650 (76.3%)	66 (7.7%)
いない	88	7 (8.0%)	5 (5.7%)	67 (76.1%)	9 (10.2%)

### ③生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど経済的な圧迫を受けた

『あった』の割合は、今回調査（8.4%）と内閣府DV調査（6.7%）では大きな差はない。  
性別で見ると、『あった』（女性：11.7%、男性：3.3%）の割合は、女性が男性を8.4ポイント上回っている。



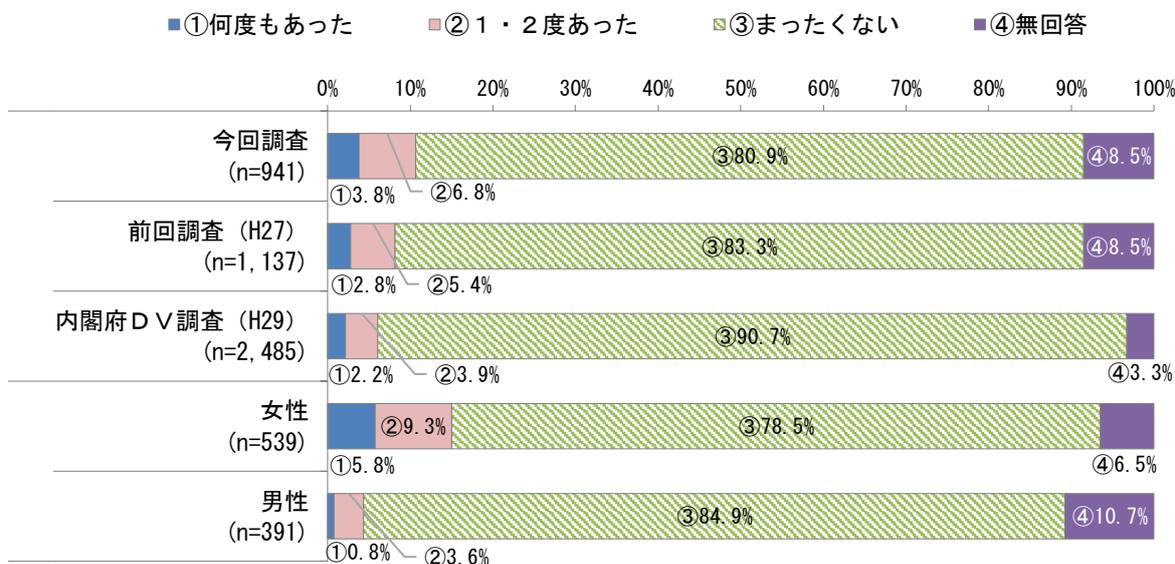
調査対象	サンプル数	あった				無回答
		何度もあった	1・2度あった	まったくない		
今回調査	941	36 (3.8%)	43 (4.6%)	789 (83.8%)	73 (7.8%)	
内閣府DV調査(H29)	2,485	3.3%	3.4%	90.0%	3.2%	
女性	539	26 (4.8%)	37 (6.9%)	442 (82.0%)	34 (6.3%)	
男性	391	8 (2.0%)	5 (1.3%)	342 (87.5%)	36 (9.2%)	
10代	0	0	0	0	0	
20代	21	0	2	18	1	
30代	69	5	5	57	2	
40代	103	6	4	90	3	
50代	105	6	9	85	5	
60代	138	7	14	111	6	
70歳以上	102	2	3	80	17	
10代	0	0	0	0	0	
20代	8	1	0	7	0	
30代	42	0	1	40	1	
40代	48	1	1	44	2	
50代	80	2	1	72	5	
60代	116	4	1	98	13	
70歳以上	96	0	1	80	15	

調査対象	サンプル数	あった				無回答
		何度もあった	1・2度あった	まったくない		
正社員・正職員	299	11 (3.7%)	14 (4.7%)	264 (88.3%)	10 (3.3%)	
派遣・契約社員	54	3 (5.6%)	1 (1.9%)	44 (81.5%)	6 (11.1%)	
パート・アルバイト	189	10 (5.3%)	12 (6.3%)	158 (83.6%)	9 (4.8%)	
自営業・自由業	47	3 (6.4%)	2 (4.3%)	34 (72.3%)	8 (17.0%)	
会社役員・経営者	30	0	0	28 (93.3%)	2 (6.7%)	
専業主婦(夫)	140	2 (1.4%)	6 (4.3%)	123 (87.9%)	9 (6.4%)	
学生	0	0	0	0	0	
無職	176	6 (3.4%)	8 (4.5%)	135 (76.7%)	27 (15.3%)	
結婚している	823	17 (2.1%)	29 (3.5%)	715 (86.9%)	62 (7.5%)	
離別	71	17 (23.9%)	10 (14.1%)	38 (53.5%)	6 (8.5%)	
死別	47	2 (4.3%)	4 (8.5%)	36 (76.6%)	5 (10.6%)	
結婚していない	0	0	0	0	0	
子供有無別	852	31 (3.6%)	40 (4.7%)	716 (84.0%)	65 (7.6%)	
いない	88	5 (5.7%)	3 (3.4%)	72 (81.8%)	8 (9.1%)	

#### ④避妊に協力しなかったり、いやがっているのに性的な行為を強要された

『あった』の割合は、今回調査（10.6%）は内閣府DV調査（6.1%）を4.5ポイント上回っている。

性別でみると、『あった』（女性：15.1%、男性：4.4%）の割合は、女性が男性を10.7ポイント上回っている。



	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目					
今回調査	941	36 100.0%	64 3.8%	761 80.9%	80 8.5%
前回調査(H27)	1,137	32 100.0%	61 2.8%	947 83.3%	97 8.5%
内閣府DV調査(H29)	2,485	2.2%	3.9%	90.7%	3.3%
女性	539	31 100.0%	50 5.8%	423 78.5%	35 6.5%
10代	0	0	0	0	0
20代	21	1 100.0%	2 4.8%	17 81.0%	1 4.8%
30代	69	3 100.0%	5 4.3%	59 85.5%	2 2.9%
40代	103	8 100.0%	6 7.8%	86 83.5%	3 2.9%
50代	105	3 100.0%	12 2.9%	85 81.0%	5 4.8%
60代	138	11 100.0%	15 8.0%	103 74.6%	9 6.5%
70歳以上	102	5 100.0%	10 4.9%	72 70.6%	15 14.7%
男性	391	3 100.0%	14 0.8%	332 84.9%	42 10.7%
10代	0	0	0	0	0
20代	8	0 100.0%	0 0.0%	8 100.0%	0 0.0%
30代	42	0 100.0%	0 0.0%	41 97.6%	1 2.4%
40代	48	1 100.0%	1 2.1%	44 91.7%	2 4.2%
50代	80	0 100.0%	3 0.0%	72 90.0%	5 6.3%
60代	116	2 100.0%	2 1.7%	98 84.5%	14 12.1%
70歳以上	96	0 100.0%	8 0.0%	68 70.8%	20 20.8%

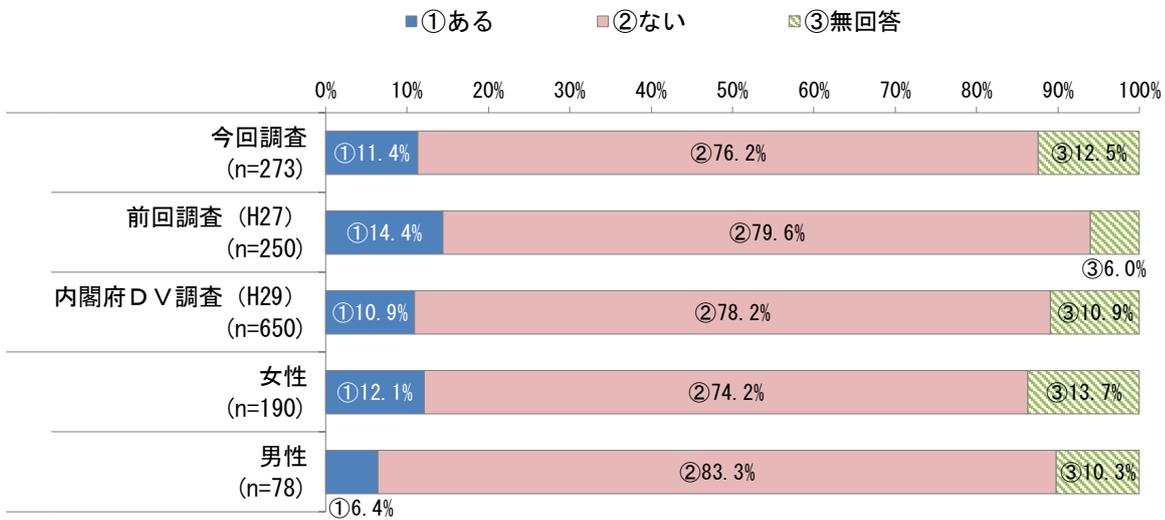
	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目					
正社員・正職員	299	5 100.0%	17 1.7%	267 89.3%	10 3.3%
派遣・契約社員	54	2 100.0%	2 3.7%	44 81.5%	6 11.1%
パート・アルバイト	189	12 100.0%	18 6.3%	149 78.8%	10 5.3%
自営業・自由業	47	3 100.0%	1 6.4%	36 76.6%	7 14.9%
会社役員・経営者	30	0 100.0%	1 0.0%	27 90.0%	2 6.7%
専業主婦(夫)	140	12 100.0%	10 8.6%	108 77.1%	10 7.1%
学生	0	0	0	0	0
無職	176	2 100.0%	15 1.1%	126 71.6%	33 18.8%
配偶関係別					
結婚している	823	27 100.0%	52 3.3%	675 82.0%	69 8.4%
離別	71	8 100.0%	6 11.3%	52 73.2%	5 7.0%
死別	47	1 100.0%	6 2.1%	34 72.3%	6 12.8%
結婚していない	0	0	0	0	0
子供有無別					
いる	852	34 100.0%	62 4.0%	684 80.3%	72 8.5%
いない	88	2 100.0%	2 2.3%	76 86.4%	8 9.1%

(2) 問27(1)で「2」「3」と答えた方におたずねします。

①その相手から受けた暴力によって、命の危険を感じたことがありますか。(〇は1つ)

配偶者等からのドメスティック・バイオレンスによって命の危険を感じたことの有無について、今回調査では、「ある」が11.4%、「ない」が76.2%となっている。

性別でみると、「ある」(女性：12.1%、男性：6.4%)では女性が男性を5.7ポイント上回っており、「ない」(女性：74.2%、男性：83.3%)では女性が男性を9.1ポイント下回っている。

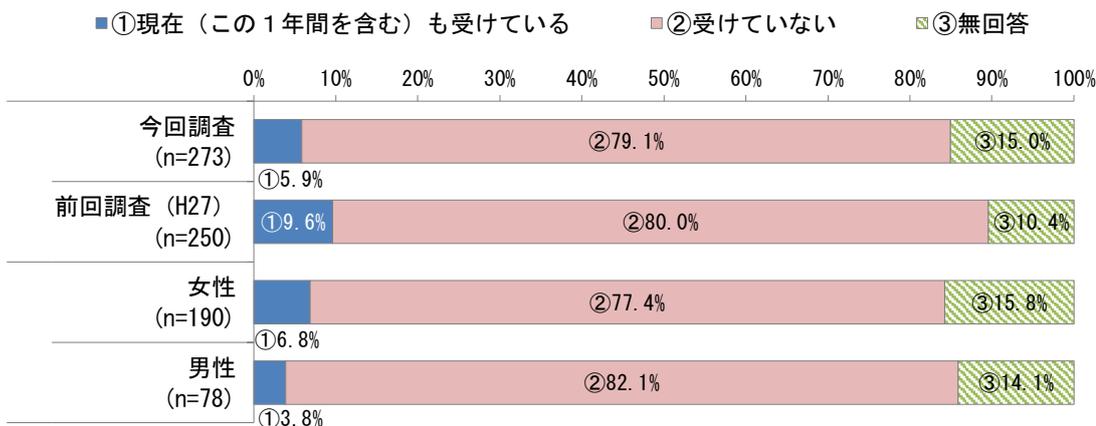


	サンプル数	上位1項目		
		ある	ない	無回答
今回調査	273	31 (11.4%)	208 (76.2%)	34 (12.5%)
前回調査(H27)	250	36 (14.4%)	199 (79.6%)	15 (6.0%)
内閣府DV調査(H29)	650	70 (10.9%)	508 (78.2%)	72 (10.9%)
女性	190	23 (12.1%)	141 (74.2%)	26 (13.7%)
10代	0	0	0	0
20代	6	0	5 (83.3%)	1 (16.7%)
30代	21	3 (14.3%)	15 (71.4%)	3 (14.3%)
40代	31	5 (16.1%)	22 (71.0%)	4 (12.9%)
50代	38	6 (15.8%)	27 (71.1%)	5 (13.2%)
60代	58	8 (13.8%)	41 (70.7%)	9 (15.5%)
70歳以上	35	1 (2.9%)	30 (85.7%)	4 (11.4%)
男性	78	5 (6.4%)	65 (83.3%)	8 (10.3%)
10代	0	0	0	0
20代	1	0	1 (100.0%)	0
30代	9	0	9 (100.0%)	0
40代	10	0	10 (100.0%)	0
50代	12	1 (8.3%)	11 (91.7%)	0
60代	19	3 (15.8%)	13 (68.4%)	3 (15.8%)
70歳以上	27	1 (3.7%)	21 (77.8%)	5 (18.5%)

	サンプル数	上位1項目		
		ある	ない	無回答
正社員・正職員	72	8 (11.1%)	61 (84.7%)	3 (4.2%)
派遣・契約社員	13	1 (7.7%)	7 (53.8%)	5 (38.5%)
パート・アルバイト	68	11 (16.2%)	49 (72.1%)	8 (11.8%)
自営業・自由業	18	5 (27.8%)	10 (55.6%)	3 (16.7%)
会社役員・経営者	6	0	5 (83.3%)	1 (16.7%)
専業主婦(夫)	38	1 (2.6%)	30 (78.9%)	7 (18.4%)
学生	0	0	0	0
無職	57	5 (8.8%)	45 (78.9%)	7 (12.3%)
結婚している	212	17 (8.0%)	165 (77.8%)	30 (14.2%)
離別	41	11 (26.8%)	26 (63.4%)	4 (9.8%)
死別	20	3 (15.0%)	17 (85.0%)	0
結婚していない	0	0	0	0
子供有無別	259	27 (10.4%)	199 (76.8%)	33 (12.7%)
いる	14	4 (28.6%)	9 (64.3%)	1 (7.1%)
いない	14	4 (28.6%)	9 (64.3%)	1 (7.1%)

②問 27 (1) のような暴力を、現在 (この1年間を含む) も受けていますか。(○は1つ)

この1年間の継続的な配偶者等からのドメスティック・バイオレンスについて、「現在 (この1年間を含む) も受けている」の割合は、今回調査 (5.9%) が前回調査 (9.6%) より下回っている。

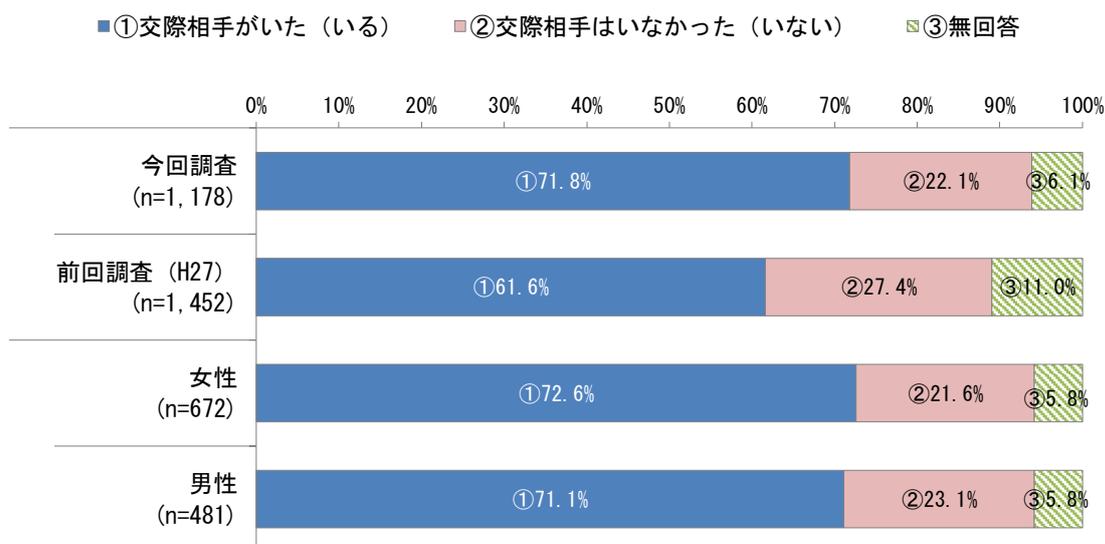


調査	サンプル数	現在 (この1年間を含む) も受けている		
		含む (この1年間を含む)	受けていない	無回答
今回調査	273	16 (5.9%)	216 (79.1%)	41 (15.0%)
前回調査 (H27)	250	24 (9.6%)	200 (80.0%)	26 (10.4%)
女性	190	13 (6.8%)	147 (77.4%)	30 (15.8%)
10代	0	0	0	0
20代	6	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0
30代	21	1 (4.8%)	18 (85.7%)	2 (9.5%)
40代	31	4 (12.9%)	24 (77.4%)	3 (9.7%)
50代	38	2 (5.3%)	31 (81.6%)	5 (13.2%)
60代	58	4 (6.9%)	38 (65.5%)	16 (27.6%)
70歳以上	35	0 (0.0%)	31 (88.6%)	4 (11.4%)
男性	78	3 (3.8%)	64 (82.1%)	11 (14.1%)
10代	0	0	0	0
20代	1	1 (100.0%)	0	0
30代	9	0	9 (100.0%)	0
40代	10	0	9 (90.0%)	1
50代	12	1 (8.3%)	10 (83.3%)	1 (8.3%)
60代	19	0	16 (84.2%)	3 (15.8%)
70歳以上	27	1 (3.7%)	20 (74.1%)	6 (22.2%)

調査	サンプル数	現在 (この1年間を含む) も受けている		
		含む (この1年間を含む)	受けていない	無回答
正社員・正職員	72	6 (8.3%)	60 (83.3%)	6 (8.3%)
派遣・契約社員	13	0	7 (53.8%)	6 (46.2%)
パート・アルバイト	68	8 (11.8%)	52 (76.5%)	8 (11.8%)
自営業・自由業	18	0	18 (100.0%)	0
会社役員・経営者	6	0	5 (83.3%)	1 (16.7%)
専業主婦(夫)	38	0	31 (81.6%)	7 (18.4%)
学生	0	0	0	0
無職	57	2 (3.5%)	42 (73.7%)	13 (22.8%)
結婚している	212	16 (7.5%)	164 (77.4%)	32 (15.1%)
離別	41	0	33 (80.5%)	8 (19.5%)
死別	20	0	19 (95.0%)	1 (5.0%)
結婚していない	0	0	0	0
子供有無別	259	16 (6.2%)	204 (78.8%)	39 (15.1%)
いる	14	0	12 (85.7%)	2 (14.3%)
いない	14	0	12 (85.7%)	2 (14.3%)

問 28 あなたが10代から20代の時、交際相手がいきましたか。結婚している（いた）方は結婚前についてお答えください。（○は1つ）

「交際相手がいいた（いる）」の割合は、前回調査と比較すると、10.2ポイント増加している。



	サンプル数	交際相手がいいた（いる）		無回答	
		人数	割合		
今回調査	1,178	846	71.8%	260	6.1%
前回調査 (H27)	1,452	895	61.6%	398	11.0%
女性	672	488	72.6%	145	5.8%
10代	9	2	22.2%	6	11.1%
20代	62	42	67.7%	17	4.8%
30代	84	77	91.7%	5	2.4%
40代	132	112	84.8%	13	5.3%
50代	128	105	82.0%	13	7.8%
60代	150	105	70.0%	40	3.3%
70歳以上	106	44	41.5%	51	10.4%
男性	481	342	71.1%	111	5.8%
10代	9	4	44.4%	4	11.1%
20代	37	29	78.4%	7	2.7%
30代	54	43	79.6%	10	1.9%
40代	61	54	88.5%	4	4.9%
50代	90	64	71.1%	22	4.4%
60代	127	91	71.7%	31	3.9%
70歳以上	101	55	54.5%	33	12.9%

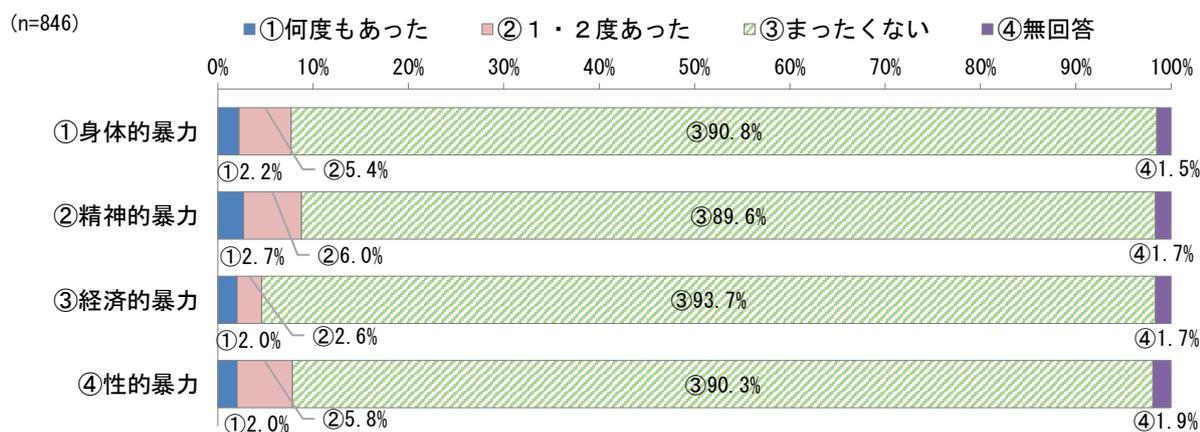
	サンプル数	交際相手がいいた（いる）		無回答	
		人数	割合		
正社員・正職員	406	318	78.3%	70	4.4%
派遣・契約社員	66	54	81.8%	10	3.0%
パート・アルバイト	212	161	75.9%	37	6.6%
自営業・自由業	55	42	76.4%	11	3.6%
会社役員・経営者	32	19	59.4%	11	6.3%
専業主婦(夫)	142	112	78.9%	27	2.1%
学生	36	14	38.9%	19	8.3%
無職	213	114	53.5%	75	11.3%
結婚している	823	606	73.6%	170	5.7%
離別	71	64	90.1%	6	1.4%
死別	47	29	61.7%	15	3.3%
結婚していない	225	137	60.9%	69	8.4%
子供有無別	858	633	73.8%	177	5.6%
いる	285	196	68.8%	73	5.6%
いない	285	196	68.8%	73	5.6%

問 29 問 28 で「1」と答えた方におたずねします。

(1) あなたはその当時、恋人や元恋人などの交際相手から、次の①～④のようなことをされたことがありますか。

- ①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた（身体的暴力）
- ②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた（精神的暴力）
- ③生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど経済的な圧迫を受けた（経済的暴力）
- ④避妊に協力しなかったり、いやがっているのに性的な行為を強要された（性的暴力）

10代から20代における交際相手からのドメスティック・バイオレンスの被害経験について、『あった』（「何度もあった」＋「1・2度あった」）の割合は、②精神的暴力（8.7%）が最も高く、次いで④性的暴力（7.8%）、①身体的暴力（7.6%）となっている。



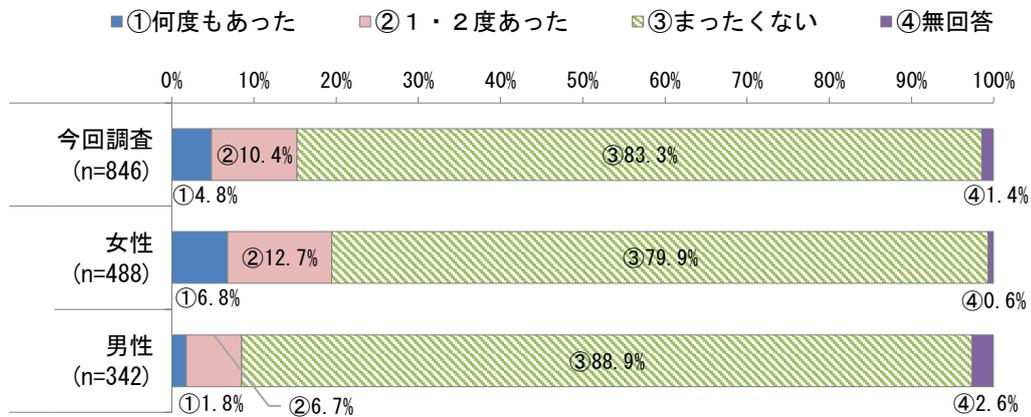
	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
①身体的暴力	846	19	46	768	13
②精神的暴力	846	23	51	758	14
③経済的暴力	846	17	22	793	14
④性的暴力	846	17	49	764	16

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある

上段：回答者数  
下段：構成比

■ 上位1項目

10代から20代の頃、交際相手から①～④のいずれかの暴力を受けた経験については、「何度もあった」が4.8%、「1・2度あった」が10.4%、「まったくない」が83.3%となっている。



		サンプル数	何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
<small>小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある</small> <small>上段: 回答者数</small> <small>下段: 構成比</small> <small>■ 上位1項目</small>						
今回調査		846	41	88	705	12
		100.0%	4.8%	10.4%	83.3%	1.4%
性別	女性	488	33	62	390	3
		100.0%	6.8%	12.7%	79.9%	0.6%
	男性	342	6	23	304	9
	100.0%	1.8%	6.7%	88.9%	2.6%	
	無回答	16	2	3	11	0
		100.0%	12.5%	18.8%	68.8%	0.0%

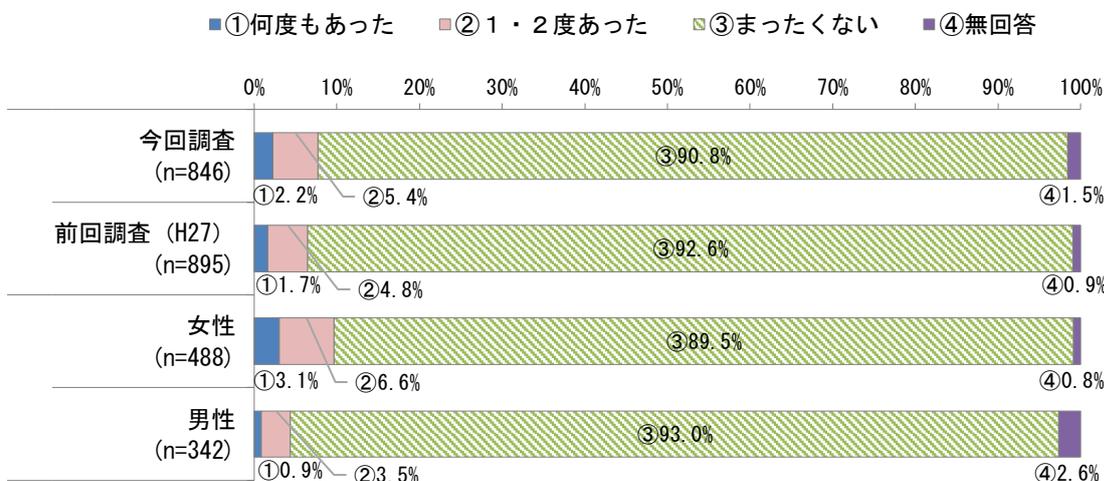
10代から20代における交際相手からのDVの被害経験がある人(273人)について、それぞれの行為の被害をみると重複した被害を受けている人は50.9%(女性:52.6%、男性:44.9%)となっている。

	①身体的暴力	②精神的暴力	③経済的暴力	④性的暴力	全体	女性	男性	性別無回答
					(273人)	(190人)	(78人)	(5人)
重複あり					139	100	35	4
					50.9%	52.6%	44.9%	80.0%
●	●				40	22	17	1
					14.7%	11.6%	21.8%	20.0%
●		●			4	3	1	0
					1.5%	1.6%	1.3%	0.0%
●			●		13	11	2	0
					4.8%	5.8%	2.6%	0.0%
	●	●			7	5	2	0
					2.6%	2.6%	2.6%	0.0%
	●			●	9	8	1	0
					3.3%	4.2%	1.3%	0.0%
		●	●		7	7	0	0
					2.6%	3.7%	0.0%	0.0%
●	●	●			14	10	3	1
					5.1%	5.3%	3.8%	20.0%
●	●		●		15	10	5	0
					5.5%	5.3%	6.4%	0.0%
●		●	●		1	1	0	0
					0.4%	0.5%	0.0%	0.0%
	●	●	●		6	6	0	0
					2.2%	3.2%	0.0%	0.0%
●	●	●	●		23	17	4	2
					8.4%	8.9%	5.1%	40.0%
重複なし					134	90	43	1
					49.1%	47.4%	55.1%	20.0%
●					57	37	19	1
					20.9%	19.5%	24.4%	20.0%
	●				34	18	16	0
					12.5%	9.5%	20.5%	0.0%
		●			17	14	3	0
					6.2%	7.4%	3.8%	0.0%
			●		26	21	5	0
					9.5%	11.1%	6.4%	0.0%

①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた

『あった』の割合は、今回調査（7.6%）と前回調査（6.5%）では大きな差はない。

性別でみると、『あった』（女性：9.7%、男性：4.4%）の割合は、女性が男性を5.3ポイント上回っている。



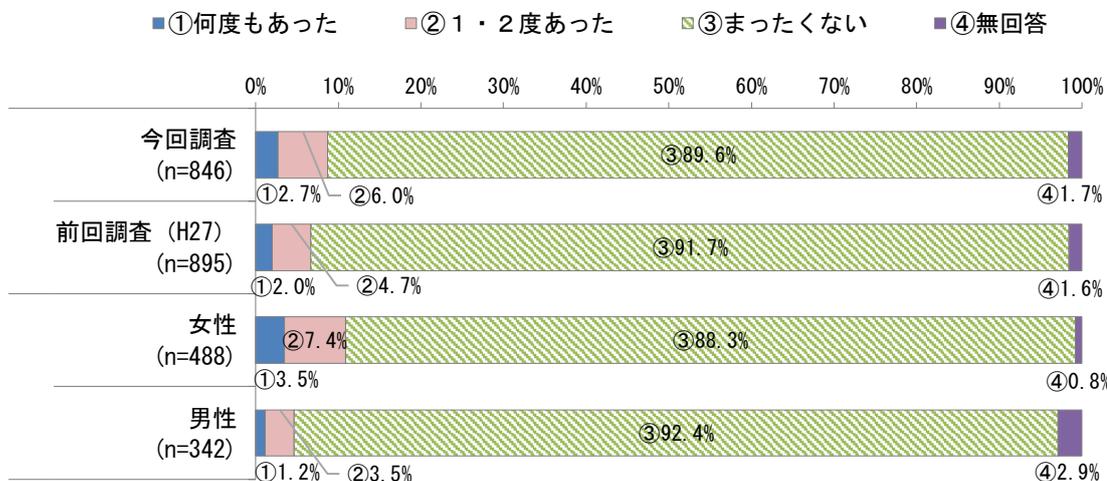
調査対象	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくくない	無回答
今回調査	846	19 (2.2%)	46 (5.4%)	768 (90.8%)	13 (1.5%)
前回調査 (H27)	895	15 (1.7%)	43 (4.8%)	829 (92.6%)	8 (0.9%)
女性	488	15 (3.1%)	32 (6.6%)	437 (89.5%)	4 (0.8%)
10代	2	0	0	2 (100.0%)	0
20代	42	3 (7.1%)	2 (4.8%)	37 (88.1%)	0
30代	77	2 (2.6%)	7 (9.1%)	68 (88.3%)	0
40代	112	4 (3.6%)	7 (6.3%)	100 (89.3%)	1 (0.9%)
50代	105	3 (2.9%)	10 (9.5%)	91 (86.7%)	1 (1.0%)
60代	105	1 (1.0%)	6 (5.7%)	98 (93.3%)	0
70歳以上	44	2 (4.5%)	0	40 (90.9%)	2 (4.5%)
男性	342	3 (0.9%)	12 (3.5%)	318 (93.0%)	9 (2.6%)
10代	4	0	0	4 (100.0%)	0
20代	29	1 (3.4%)	2 (6.9%)	26 (89.7%)	0
30代	43	0	5 (11.6%)	38 (88.4%)	0
40代	54	2 (3.7%)	1 (1.9%)	51 (94.4%)	0
50代	64	0	2 (3.1%)	62 (96.9%)	0
60代	91	0	1 (1.1%)	85 (93.4%)	5 (5.5%)
70歳以上	55	0	1 (1.8%)	50 (90.9%)	4 (7.3%)

調査対象	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくくない	無回答
正社員・正職員	318	4 (1.3%)	22 (6.9%)	290 (91.2%)	2 (0.6%)
派遣・契約社員	54	2 (3.7%)	0	50 (92.6%)	2 (3.7%)
パート・アルバイト	161	3 (1.9%)	13 (8.1%)	144 (89.4%)	1 (0.6%)
自営業・自由業	42	2 (4.8%)	1 (2.4%)	38 (90.5%)	1 (2.4%)
会社役員・経営者	19	0	0	18 (94.7%)	1 (5.3%)
専業主婦(夫)	112	4 (3.6%)	6 (5.4%)	102 (91.1%)	0
学生	14	0	0	14 (100.0%)	0
無職	114	4 (3.5%)	2 (1.8%)	102 (89.5%)	6 (5.3%)
配偶関係別					
結婚している	606	9 (1.5%)	29 (4.8%)	557 (91.9%)	11 (1.8%)
離別	64	5 (7.8%)	5 (7.8%)	53 (82.8%)	1 (1.6%)
死別	29	1 (3.4%)	2 (6.9%)	26 (89.7%)	0
結婚していない	137	4 (2.9%)	8 (5.8%)	124 (90.5%)	1 (0.7%)
子供有無別					
いる	633	14 (2.2%)	32 (5.1%)	576 (91.0%)	11 (1.7%)
いない	196	5 (2.6%)	11 (5.6%)	178 (90.8%)	2 (1.0%)

②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

『あった』の割合は、今回調査（8.7%）と前回調査（6.7%）では大きな差はない。

性別でみると、『あった』（女性：10.9%、男性：4.7%）の割合は、女性が男性を6.2ポイント上回っている。



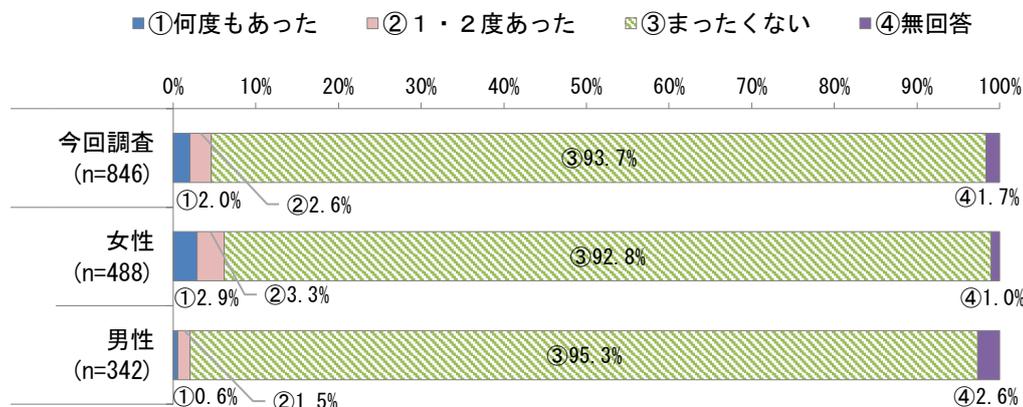
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
今回調査	846	23 2.7%	51 6.0%	758 89.6%	14 1.7%
前回調査(H27)	895	18 2.0%	42 4.7%	821 91.7%	14 1.6%
女性	488	17 3.5%	36 7.4%	431 88.3%	4 0.8%
10代	2	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
20代	42	4 9.5%	6 14.3%	32 76.2%	0 0.0%
30代	77	4 5.2%	9 11.7%	64 83.1%	0 0.0%
40代	112	4 3.6%	6 5.4%	101 90.2%	1 0.9%
50代	105	3 2.9%	10 9.5%	91 86.7%	1 1.0%
60代	105	0 0.0%	5 4.8%	100 95.2%	0 0.0%
70歳以上	44	2 4.5%	0 0.0%	40 90.9%	2 4.5%
男性	342	4 1.2%	12 3.5%	316 92.4%	10 2.9%
10代	4	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%
20代	29	1 3.4%	2 6.9%	26 89.7%	0 0.0%
30代	43	1 2.3%	5 11.6%	37 86.0%	0 0.0%
40代	54	2 3.7%	1 1.9%	51 94.4%	0 0.0%
50代	64	0 0.0%	2 3.1%	62 96.9%	0 0.0%
60代	91	0 0.0%	1 1.1%	84 92.3%	6 6.6%
70歳以上	55	0 0.0%	1 1.8%	50 90.9%	4 7.3%

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
正社員・正職員	318	8 2.5%	23 7.2%	284 89.3%	3 0.9%
派遣・契約社員	54	2 3.7%	2 3.7%	48 88.9%	2 3.7%
パート・アルバイト	161	5 3.1%	9 5.6%	146 90.7%	1 0.6%
自営業・自由業	42	2 4.8%	0 0.0%	39 92.9%	1 2.4%
会社役員・経営者	19	0 0.0%	1 5.3%	17 89.5%	1 5.3%
専業主婦(夫)	112	4 3.6%	8 7.1%	100 89.3%	0 0.0%
学生	14	0 0.0%	1 7.1%	13 92.9%	0 0.0%
無職	114	1 0.9%	4 3.5%	103 90.4%	6 5.3%
配偶関係別					
結婚している	606	9 1.5%	34 5.6%	551 90.9%	12 2.0%
離別	64	8 12.5%	4 6.3%	51 79.7%	1 1.6%
死別	29	0 0.0%	2 6.9%	27 93.1%	0 0.0%
結婚していない	137	5 3.6%	8 5.8%	123 89.8%	1 0.7%
子供有無別					
いる	633	16 2.5%	34 5.4%	571 90.2%	12 1.9%
いない	196	6 3.1%	12 6.1%	176 89.8%	2 1.0%

### ③生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど経済的な圧迫を受けた

『あった』の割合は、今回調査では4.6%となっている。

性別で見ると、『あった』（女性：6.2%、男性：2.1%）の割合は、女性が男性を4.1ポイント上回っている。



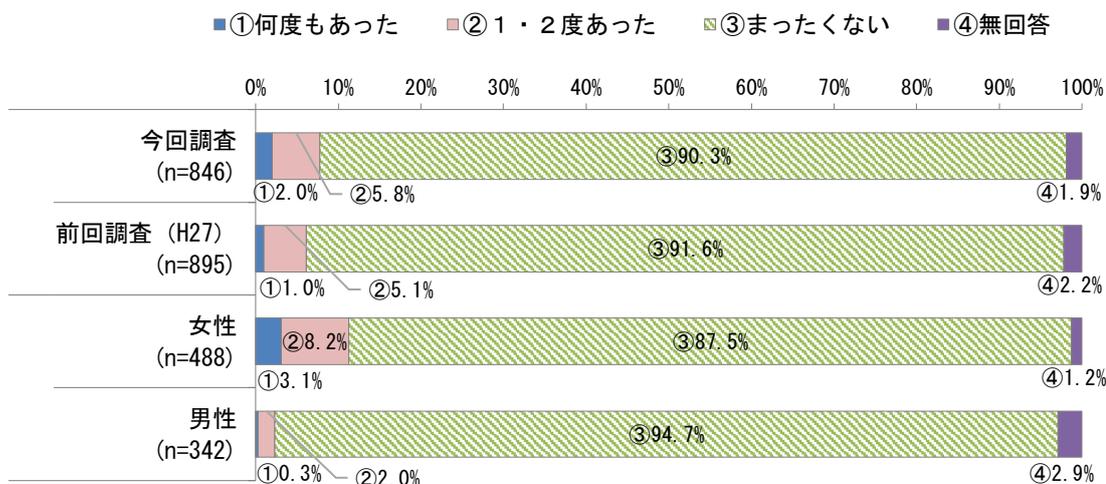
	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくくない	無回答
今回調査	846	17	22	793	14
女性	488	14	16	453	5
10代	2	0	0	2	0
20代	42	1	2	39	0
30代	77	3	3	71	0
40代	112	3	1	107	1
50代	105	5	4	95	1
60代	105	2	4	99	0
70歳以上	44	0	2	39	3
男性	342	2	5	326	9
10代	4	0	0	4	0
20代	29	0	4	25	0
30代	43	0	0	43	0
40代	54	1	0	53	0
50代	64	1	0	63	0
60代	91	0	0	86	5
70歳以上	55	0	1	50	4

	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくくない	無回答
正社員・正職員	318	3	7	306	2
派遣・契約社員	54	1	1	50	2
パート・アルバイト	161	6	4	150	1
自営業・自由業	42	2	1	38	1
会社役員・経営者	19	0	0	17	2
専業主婦(夫)	112	1	2	109	0
学生	14	0	0	14	0
無職	114	4	5	99	6
結婚している	606	7	7	580	12
離別	64	8	5	50	1
死別	29	1	3	25	0
結婚していない	137	1	6	129	1
子供有無別	633	14	14	593	12
いる	633	14	14	593	12
いない	196	3	5	186	2

#### ④避妊に協力しなかったり、いやがっているのに性的な行為を強要された

『あった』の割合は、今回調査（7.8%）と前回調査（6.1%）では大きな差はない。

性別でみると、『あった』（女性：11.3%、男性：2.3%）の割合は、女性が男性を9.0ポイント上回っている。



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
今回調査	846	17	49	764	16
	100.0%	2.0%	5.8%	90.3%	1.9%
前回調査(H27)	895	9	46	820	20
	100.0%	1.0%	5.1%	91.6%	2.2%
女性	488	15	40	427	6
	100.0%	3.1%	8.2%	87.5%	1.2%
10代	2	0	0	2	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
20代	42	2	8	32	0
	100.0%	4.8%	19.0%	76.2%	0.0%
30代	77	4	9	63	1
	100.0%	5.2%	11.7%	81.8%	1.3%
40代	112	4	6	101	1
	100.0%	3.6%	5.4%	90.2%	0.9%
50代	105	2	6	96	1
	100.0%	1.9%	5.7%	91.4%	1.0%
60代	105	2	8	93	2
	100.0%	1.9%	7.6%	88.6%	1.9%
70歳以上	44	1	3	39	1
	100.0%	2.3%	6.8%	88.6%	2.3%
男性	342	1	7	324	10
	100.0%	0.3%	2.0%	94.7%	2.9%
10代	4	0	0	4	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
20代	29	0	1	28	0
	100.0%	0.0%	3.4%	96.6%	0.0%
30代	43	0	0	43	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
40代	54	1	1	52	0
	100.0%	1.9%	1.9%	96.3%	0.0%
50代	64	0	2	62	0
	100.0%	0.0%	3.1%	96.9%	0.0%
60代	91	0	1	84	6
	100.0%	0.0%	1.1%	92.3%	6.6%
70歳以上	55	0	2	49	4
	100.0%	0.0%	3.6%	89.1%	7.3%

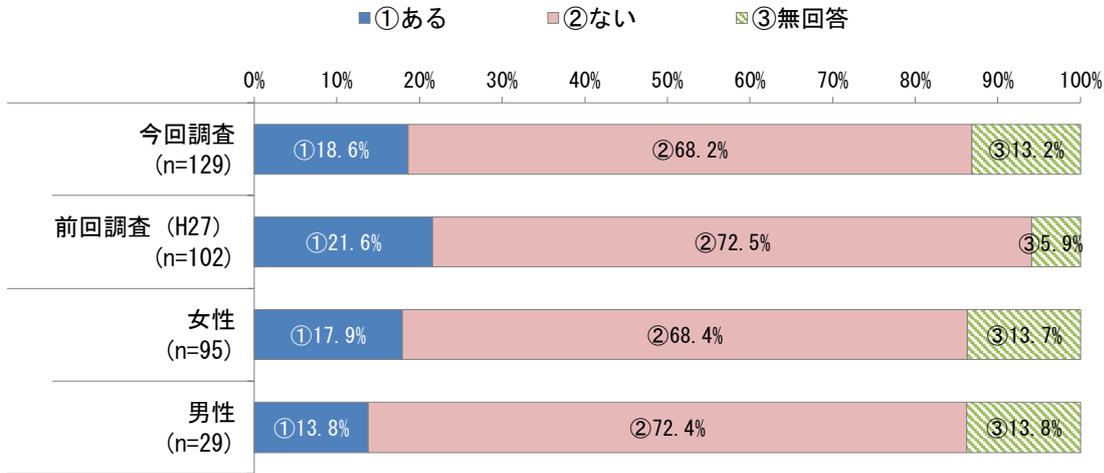
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	あった			
		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
正社員・正職員	318	4	16	295	3
	100.0%	1.3%	5.0%	92.8%	0.9%
派遣・契約社員	54	1	5	47	1
	100.0%	1.9%	9.3%	87.0%	1.9%
パート・アルバイト	161	5	10	145	1
	100.0%	3.1%	6.2%	90.1%	0.6%
自営業・自由業	42	1	4	36	1
	100.0%	2.4%	9.5%	85.7%	2.4%
会社役員・経営者	19	0	0	18	1
	100.0%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%
専業主婦(夫)	112	5	5	101	1
	100.0%	4.5%	4.5%	90.2%	0.9%
学生	14	0	0	14	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
無職	114	1	7	98	8
	100.0%	0.9%	6.1%	86.0%	7.0%
配偶関係別					
結婚している	606	11	27	557	11
	100.0%	1.8%	4.5%	91.9%	1.8%
離別	64	3	9	49	3
	100.0%	4.7%	14.1%	76.6%	4.7%
死別	29	0	2	27	0
	100.0%	0.0%	6.9%	93.1%	0.0%
結婚していない	137	3	9	123	2
	100.0%	2.2%	6.6%	89.8%	1.5%
子供有無別					
いる	633	13	35	572	13
	100.0%	2.1%	5.5%	90.4%	2.1%
いない	196	4	11	178	3
	100.0%	2.0%	5.6%	90.8%	1.5%

(2) 問 29 (1) で「2」「3」と答えた方におたずねします。

その相手から受けた暴力によって、命の危険を感じたことがありますか。(○は1つ)

交際相手からのドメスティック・バイオレンスによって命の危険を感じたことの有無について、今回調査では、「ある」が18.6%、「ない」が68.2%となっている。

性別でみると、「ある」(女性：17.9%、男性：13.8%)の割合は、女性が男性を4.1ポイント上回っている。



	サンプル数	回答		
		ある	ない	無回答
今回調査	129	24 (18.6%)	88 (68.2%)	17 (13.2%)
前回調査 (H27)	102	22 (21.6%)	74 (72.5%)	6 (5.9%)
女性	95	17 (17.9%)	65 (68.4%)	13 (13.7%)
10代	0	0	0	0
20代	14	4 (28.6%)	10 (71.4%)	0
30代	21	3 (14.3%)	17 (81.0%)	1 (4.8%)
40代	19	4 (21.1%)	13 (68.4%)	2 (10.5%)
50代	20	3 (15.0%)	13 (65.0%)	4 (20.0%)
60代	15	2 (13.3%)	8 (53.3%)	5 (33.3%)
70歳以上	6	1 (16.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)
男性	29	4 (13.8%)	21 (72.4%)	4 (13.8%)
10代	0	0	0	0
20代	5	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0
30代	7	1 (14.3%)	6 (85.7%)	0
40代	5	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0
50代	6	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)
60代	3	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)
70歳以上	3	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)

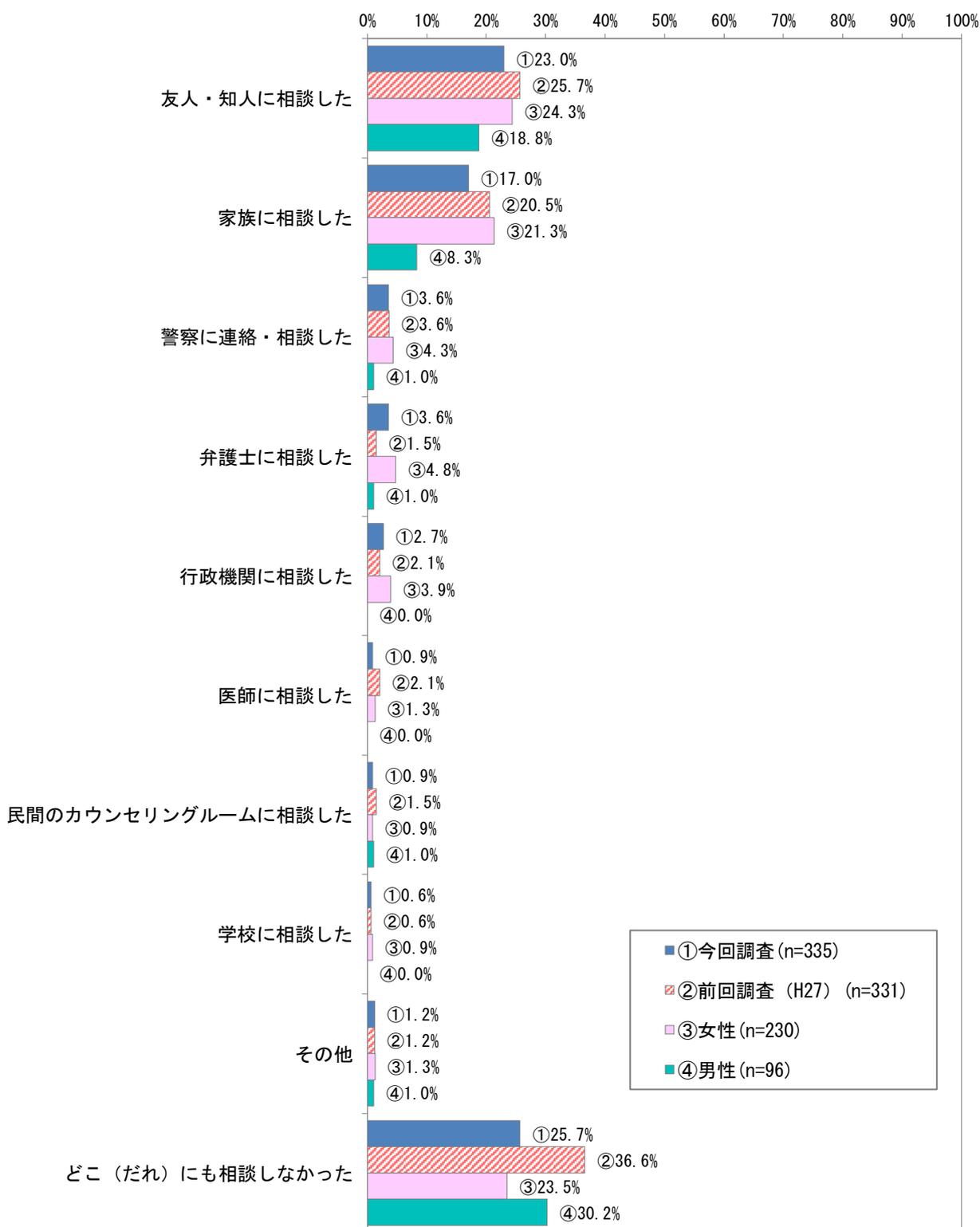
	サンプル数	回答		
		ある	ない	無回答
正社員・正職員	48	5 (10.4%)	38 (79.2%)	5 (10.4%)
派遣・契約社員	8	2 (25.0%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)
パート・アルバイト	24	5 (20.8%)	16 (66.7%)	3 (12.5%)
自営業・自由業	7	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)
会社役員・経営者	1	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0
専業主婦(夫)	20	5 (25.0%)	12 (60.0%)	3 (15.0%)
学生	1	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0
無職	15	3 (20.0%)	9 (60.0%)	3 (20.0%)
結婚している	75	11 (14.7%)	52 (69.3%)	12 (16.0%)
離別	20	5 (25.0%)	13 (65.0%)	2 (10.0%)
死別	6	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)
結婚していない	24	5 (20.8%)	18 (75.0%)	1 (4.2%)
子供有無別	92	15 (16.3%)	63 (68.5%)	14 (15.2%)
いる	30	5 (16.7%)	23 (76.7%)	2 (6.7%)
いない	30	5 (16.7%)	23 (76.7%)	2 (6.7%)

問 30 問 27（1）または問 29（1）で「2」「3」と答えた方におたずねします。

あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けた  
り、相談したりしましたか。（〇はいくつでも）

今回調査では、「どこ（だれ）にも相談しなかった」（25.7%）が最も高く、次いで「友人・知人に相談した」（23.0%）、「家族に相談した」（17.0%）となっている。「どこ（だれ）にも相談しなかった」においては、前回調査（36.6%）より 10.9 ポイント下回っている。

性別で見ると、「家族に相談した」（女性：21.3%、男性：8.3%）では女性が男性を 13.0 ポイント上回り、「どこ（だれ）にも相談しなかった」（女性：23.5%、男性：30.2%）では女性が男性を 6.7 ポイント下回っている。



複数回答のため 合計は100%に ならない  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	家族に 相談した	友人・ 知人に 相談し	行政機 関に 相談し	警察に 連絡・ 相談し	学校に 相談し	弁護士 に 相談し	医師に 相談し	民間の カウンセ リング に 相談し	その他	どこ(だれ)にも 相談しな かった
											86
今回調査	335	57	77	9	12	2	12	3	3	4	25.7%
	-	17.0%	23.0%	2.7%	3.6%	0.6%	3.6%	0.9%	0.9%	1.2%	
前回調査(H27)	331	68	85	7	12	2	5	7	5	4	36.6%
	-	20.5%	25.7%	2.1%	3.6%	0.6%	1.5%	2.1%	1.5%	1.2%	
女性	230	49	56	9	10	2	11	3	2	3	54
	-	21.3%	24.3%	3.9%	4.3%	0.9%	4.8%	1.3%	0.9%	1.3%	23.5%
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	16	4	9	0	0	2	1	1	1	0	3
	-	25.0%	56.3%	0.0%	0.0%	12.5%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%	18.8%
30代	32	8	13	2	4	0	3	0	0	2	8
	-	25.0%	40.6%	6.3%	12.5%	0.0%	9.4%	0.0%	0.0%	6.3%	25.0%
40代	37	12	11	2	1	0	4	1	0	1	6
	-	32.4%	29.7%	5.4%	2.7%	0.0%	10.8%	2.7%	0.0%	2.7%	16.2%
50代	45	9	9	1	4	0	0	0	0	0	10
	-	20.0%	20.0%	2.2%	8.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
60代	60	10	11	2	1	0	3	1	1	0	17
	-	16.7%	18.3%	3.3%	1.7%	0.0%	5.0%	1.7%	1.7%	0.0%	28.3%
70歳以上	39	6	3	2	0	0	0	0	0	0	9
	-	15.4%	7.7%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%
男性	96	8	18	0	1	0	1	0	1	1	29
	-	8.3%	18.8%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	1.0%	30.2%
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1
	-	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
30代	13	0	5	0	0	0	0	0	1	0	5
	-	0.0%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	38.5%
40代	14	2	3	0	0	0	0	0	0	0	6
	-	14.3%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%
50代	14	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	-	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%
60代	20	3	4	0	1	0	1	0	0	0	4
	-	15.0%	20.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
70歳以上	30	0	2	0	0	0	0	0	0	1	5
	-	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	16.7%
雇用形態別	96	12	30	3	4	1	5	1	1	0	25
	-	12.5%	31.3%	3.1%	4.2%	1.0%	5.2%	1.0%	1.0%	0.0%	26.0%
正社員・正職員	19	4	2	0	1	1	1	1	1	0	5
	-	21.1%	10.5%	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	26.3%
派遣・契約社員	71	21	20	4	4	0	5	1	0	1	12
	-	29.6%	28.2%	5.6%	5.6%	0.0%	7.0%	1.4%	0.0%	1.4%	16.9%
パート・アルバイト	21	5	3	0	1	0	1	0	0	1	9
	-	23.8%	14.3%	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	42.9%
自営業・自由業	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	-	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
会社役員・経営者	49	7	9	1	1	0	0	0	1	1	15
	-	14.3%	18.4%	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	30.6%
専業主婦(夫)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学生	67	8	8	1	0	0	0	0	0	1	17
	-	11.9%	11.9%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	25.4%
無職	243	38	49	5	7	0	4	2	2	4	63
	-	15.6%	20.2%	2.1%	2.9%	0.0%	1.6%	0.8%	0.8%	1.6%	25.9%
結婚している	42	13	14	4	4	0	6	0	0	0	8
	-	31.0%	33.3%	9.5%	9.5%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	19.0%
離別	22	2	4	0	0	0	1	0	0	0	3
	-	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%
死別	24	4	7	0	0	2	1	1	1	0	11
	-	16.7%	29.2%	0.0%	0.0%	8.3%	4.2%	4.2%	4.2%	0.0%	45.8%
結婚していない	290	51	64	9	10	0	11	2	2	3	67
	-	17.6%	22.1%	3.1%	3.4%	0.0%	3.8%	0.7%	0.7%	1.0%	23.1%
いる	38	5	9	0	1	2	0	1	1	1	17
	-	13.2%	23.7%	0.0%	2.6%	5.3%	0.0%	2.6%	2.6%	2.6%	44.7%
いない											

問31 問30で「10」と答えた方におたずねします。

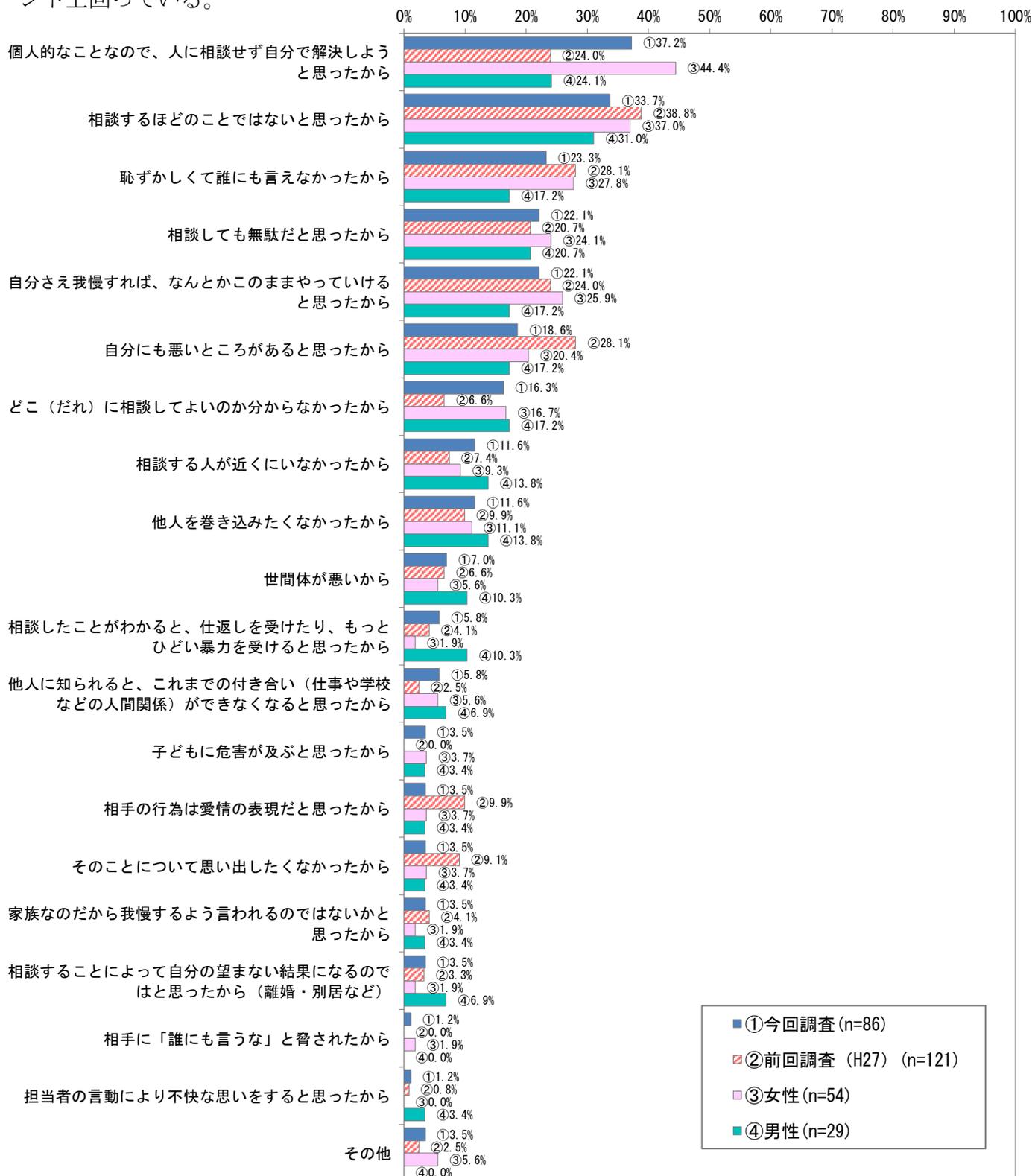
どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。（〇はいくつでも）

今回調査では、「個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから」（37.2%）が最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思ったから」（33.7%）、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」（23.3%）となっている。

前回調査と比較すると、「個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから」「どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから」はそれぞれ13.2ポイント、9.7ポイント増加し、「自分にも悪いところがあると思ったから」は9.5ポイント減少している。

性別でみると、「個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから」（女性：44.4%、男性：24.1%）、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」（女性：27.8%、男性：17.2%）、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっ

ていけると思ったから」（女性：25.9%、男性：17.2%）において、女性が男性を約10～20ポイント上回っている。



複数回答のため 合計は100%に ならない	サンプル数	どの(だれ)に相談してよいのか分らなかったから									
		相談する人が近くにいなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けると思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けると思ったから	相手に「誰にも言うな」と脅されたから	子どもに危害が及ぶと思ったから	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	自分にも悪いところがあると思ったから	個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから
上段: 回答者数 下段: 構成比		上段: 回答者数 下段: 構成比									
今回調査	86	14 16.3%	10 11.6%	20 23.3%	19 22.1%	5 5.8%	1 1.2%	3 3.5%	19 22.1%	16 18.6%	32 37.2%
前回調査(H27)	121	8 6.6%	9 7.4%	34 28.1%	25 20.7%	5 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	29 24.0%	34 28.1%	29 24.0%
女性	54	9 16.7%	5 9.3%	15 27.8%	13 24.1%	1 1.9%	1 1.9%	2 3.7%	14 25.9%	11 20.4%	24 44.4%
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	3	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	2 66.7%
30代	8	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 37.5%	1 12.5%	5 62.5%
40代	6	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	3 50.0%
50代	10	1 10.0%	0 0.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	4 40.0%
60代	17	2 11.8%	2 11.8%	2 11.8%	4 23.5%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	4 23.5%	3 17.6%	5 29.4%
70歳以上	9	2 22.2%	2 22.2%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	4 44.4%
男性	29	5 17.2%	4 13.8%	5 17.2%	6 20.7%	3 10.3%	0 0.0%	1 3.4%	5 17.2%	5 17.2%	7 24.1%
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
30代	5	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%
40代	6	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%
50代	8	2 25.0%	1 12.5%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%
60代	4	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%
70歳以上	5	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
雇用形態別	25	5 20.0%	1 4.0%	5 20.0%	7 28.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%	6 24.0%	7 28.0%	11 44.0%
派遣・契約社員	5	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%
パート・アルバイト	12	1 8.3%	1 8.3%	4 33.3%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	2 16.7%	5 41.7%
自営業・自由業	9	2 22.2%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%
会社役員・経営者	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
専業主婦(夫)	15	3 20.0%	0 0.0%	5 33.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	4 26.7%	7 46.7%
学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無職	17	1 5.9%	4 23.5%	1 5.9%	6 35.3%	2 11.8%	0 0.0%	1 5.9%	5 29.4%	2 11.8%	3 17.6%
配偶関係別	63	9 14.3%	5 7.9%	14 22.2%	12 19.0%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.6%	15 23.8%	12 19.0%	22 34.9%
離別	8	2 25.0%	3 37.5%	2 25.0%	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	3 37.5%
死別	3	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
結婚していない	11	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%	4 36.4%	5 45.5%
子供有無別	67	11 16.4%	7 10.4%	18 26.9%	14 20.9%	3 4.5%	1 1.5%	3 4.5%	17 25.4%	9 13.4%	23 34.3%
いない	17	3 17.6%	3 17.6%	2 11.8%	5 29.4%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	6 35.3%	8 47.1%
性別役割分担別	19	3 15.8%	2 10.5%	4 21.1%	4 21.1%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 21.1%	3 15.8%	4 21.1%
反対	55	9 16.4%	4 7.3%	14 25.5%	10 18.2%	1 1.8%	1 1.8%	2 3.6%	11 20.0%	12 21.8%	22 40.0%
わからない	11	2 18.2%	3 27.3%	2 18.2%	5 45.5%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	4 36.4%	1 9.1%	5 45.5%

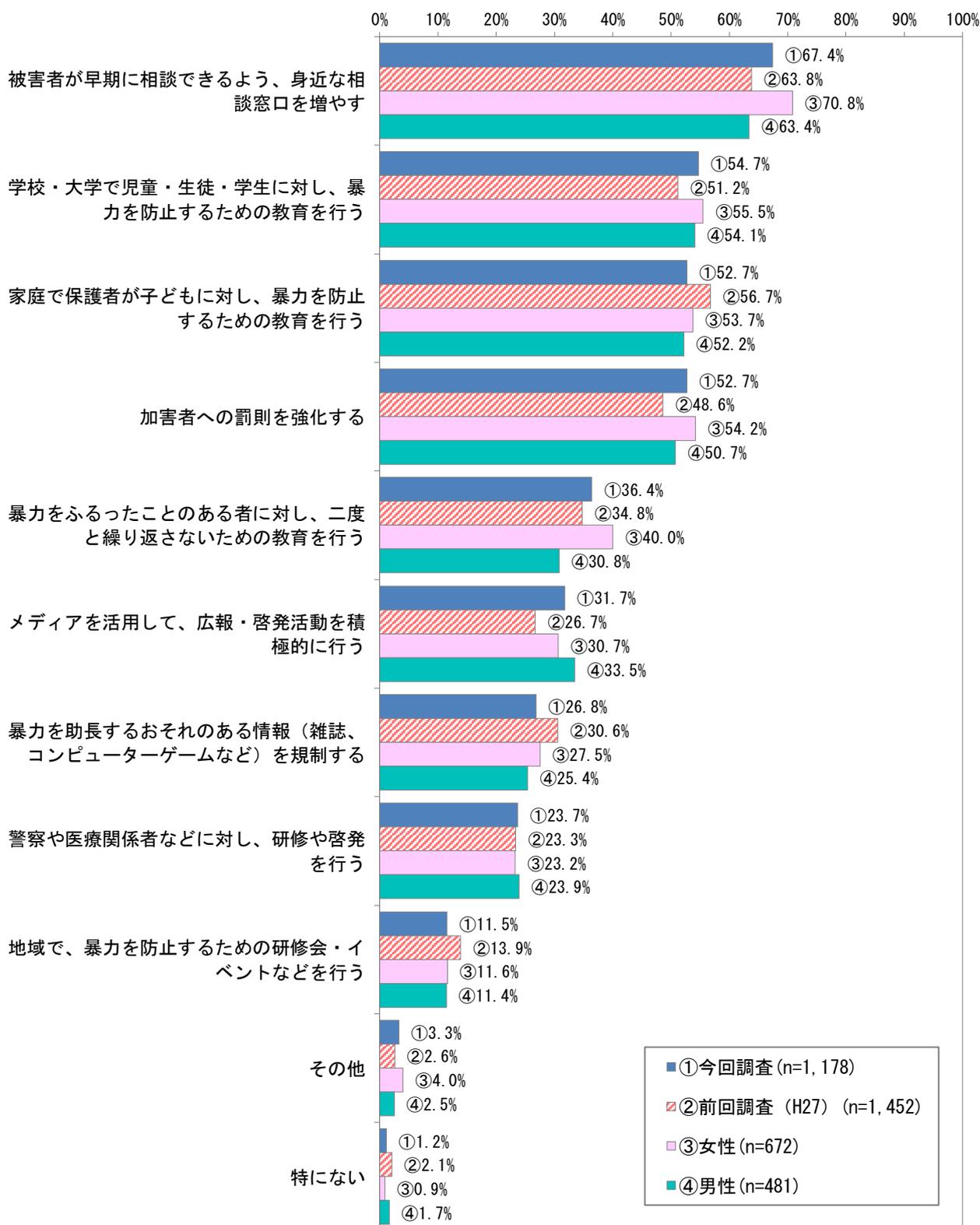
複数回答のため 合計は100%に ならない	サンプル数	担当者の言動により不快な思 いをすると感じたから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかった から	他人に知られると、これまでの付 き合い(仕事や学校などの人間関 係)ができなくなると感じたから	相手の行為は愛情の表現だと 思ったから	そのことについて思い出した くなかったから	相談するほどのことではない と思ったから	家族なのだから我慢するよう 言われるのではないかとと思う たから	相談することによって自分の望ま ない結果になるのではと思ったか (離婚・別居など)	その他	上段: 回答者数	下段: 構成比
												■ 上位1項目	
今回調査	86	1	6	10	5	3	3	29	3	3	3	-	1.2%
前回調査(H27)	121	1	8	12	3	12	11	47	5	4	3	-	0.8%
女性	54	0	3	6	3	2	2	20	1	1	3	-	0.0%
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
20代	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	-	0.0%
30代	8	0	1	1	1	2	0	3	0	0	1	-	0.0%
40代	6	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	-	0.0%
50代	10	0	1	2	1	0	0	4	1	1	0	-	0.0%
60代	17	0	0	1	1	0	1	7	0	0	2	-	0.0%
70歳以上	9	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	-	0.0%
男性	29	1	3	4	2	1	1	9	1	2	0	-	3.4%
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
20代	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0%
30代	5	0	2	1	0	0	0	3	0	0	0	-	0.0%
40代	6	0	0	2	1	1	0	0	0	1	0	-	0.0%
50代	8	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	-	0.0%
60代	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	-	0.0%
70歳以上	5	1	1	0	1	0	1	2	1	0	0	-	20.0%
雇用形態別	25	0	2	6	2	2	0	10	0	2	0	-	0.0%
正社員・正職員	5	0	0	0	1	0	1	3	0	0	0	-	0.0%
派遣・契約社員	12	0	1	1	1	1	1	6	0	0	1	-	0.0%
パート・アルバイト	9	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	-	0.0%
自営業・自由業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0%
会社役員・経営者	15	0	2	1	0	0	0	3	1	0	2	-	0.0%
専業主婦(夫)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0%
学生	17	1	1	2	1	0	1	5	1	1	0	-	5.9%
無職	63	0	5	7	1	1	1	23	1	3	2	-	0.0%
結婚している	8	0	1	1	2	0	1	0	1	0	0	-	0.0%
離別	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	0.0%
死別	11	1	0	2	2	2	1	6	1	0	0	-	9.1%
結婚していない	67	1	5	7	4	1	3	20	2	3	3	-	1.5%
いる	17	0	1	3	1	2	0	8	1	0	0	-	0.0%
いない	19	0	1	0	0	1	0	5	1	0	0	-	0.0%
賛成	55	0	4	8	3	2	2	19	1	3	2	-	0.0%
反対	11	1	1	2	2	0	1	4	1	0	1	-	9.1%
わからない													

問 32 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

今回調査では、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」(67.4%)が最も高く、次いで「学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」(54.7%)、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」「加害者への罰則を強化する」(ともに52.7%)となっている。

性別でみると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」(女性：70.8%、男性：63.4%)では7.4ポイント、「暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う」(女性40.0%、男性：30.8%)では9.2ポイント、女性が男性を上回っている。





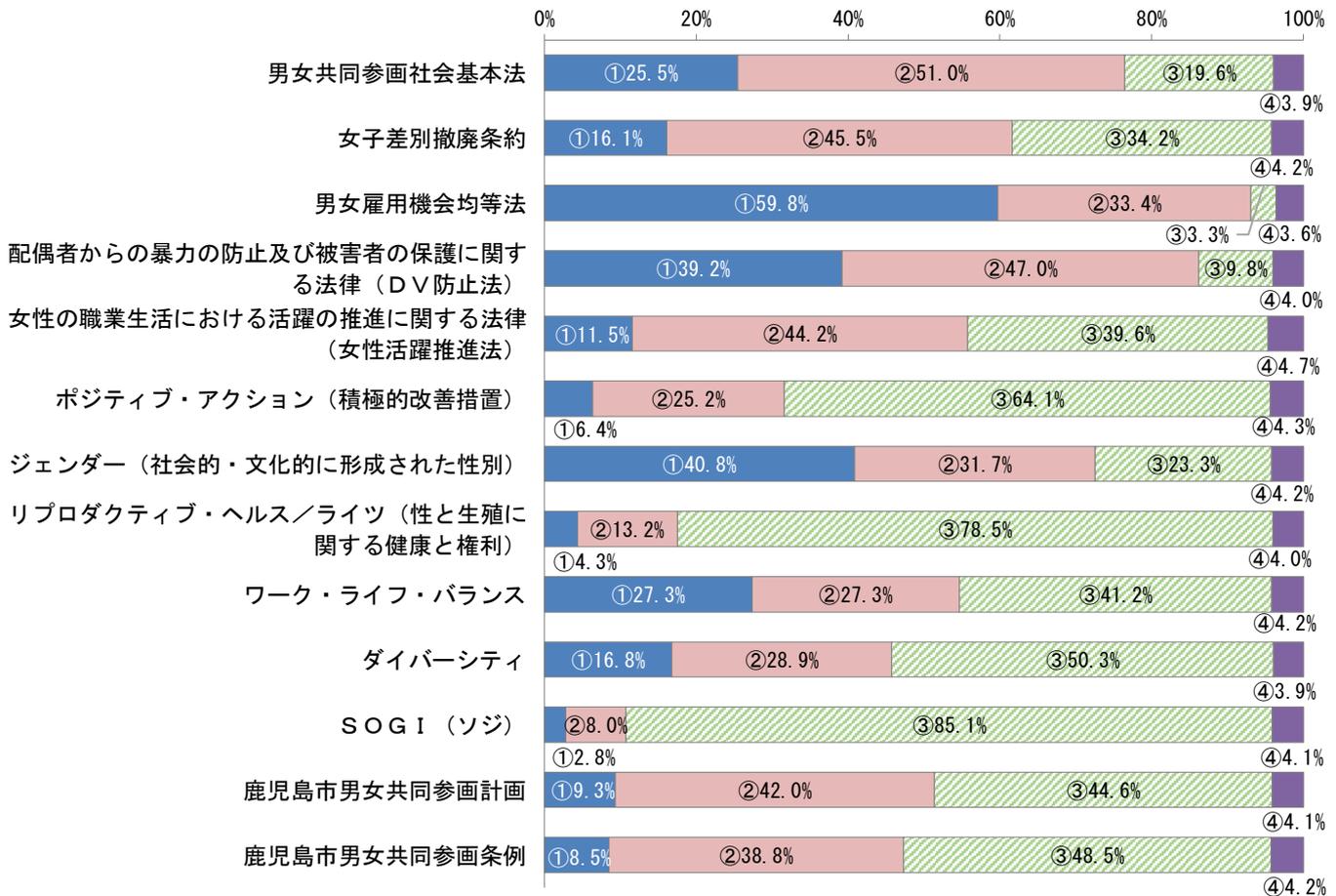
## Ⅷ 男女共同参画に関する用語について

問 33 あなたは次の言葉を知っていますか。

男女共同参画に関する用語について、「言葉も内容も知っている」の割合は、「男女雇用機会均等法」「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」「ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）」が他に比べて高くなっている。

(n=1,178)

■①言葉も内容も知っている ■②言葉だけは知っている ■③言葉も内容も知らない ■④無回答

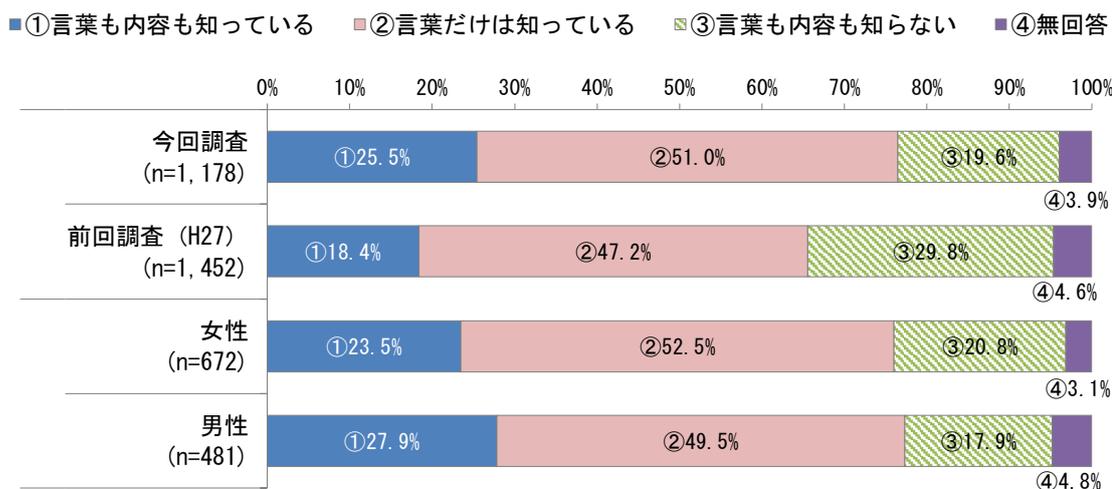


	サンプル数	言葉も内容も知っている		言葉だけは知っている		言葉も内容も知らない		無回答	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男女共同参画社会基本法	1,178	300	25.5%	601	51.0%	231	19.6%	46	3.9%
女子差別撤廃条約	1,178	190	16.1%	536	45.5%	403	34.2%	49	4.2%
男女雇用機会均等法	1,178	704	59.8%	393	33.4%	39	3.3%	42	3.6%
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）	1,178	462	39.2%	554	47.0%	115	9.8%	47	4.0%
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	1,178	136	11.5%	521	44.2%	466	39.6%	55	4.7%
ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	1,178	75	6.4%	297	25.2%	755	64.1%	51	4.3%
ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	1,178	481	40.8%	374	31.7%	274	23.3%	49	4.2%

	サンプル数	言葉も内容も知っている		言葉だけは知っている		言葉も内容も知らない		無回答	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）	1,178	51	4.3%	155	13.2%	925	78.5%	47	4.0%
ワーク・ライフ・バランス	1,178	322	27.3%	322	27.3%	485	41.2%	49	4.2%
ダイバーシティ	1,178	198	16.8%	341	28.9%	593	50.3%	46	3.9%
SOGI（ソジ）	1,178	33	2.8%	94	8.0%	1,003	85.1%	48	4.1%
鹿児島市男女共同参画計画	1,178	110	9.3%	495	42.0%	525	44.6%	48	4.1%
鹿児島市男女共同参画条例	1,178	100	8.5%	457	38.8%	571	48.5%	50	4.2%

# ①男女共同参画社会基本法

『知っている』（「言葉も内容も知っている」＋「言葉だけは知っている」）の割合は、今回調査（76.5%）が前回調査（65.6%）を10.9ポイント上回っている。



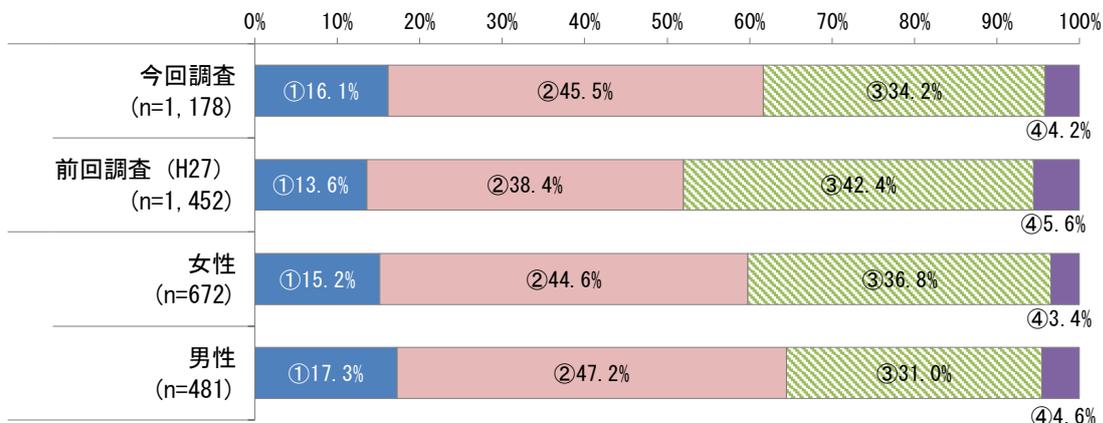
調査対象	サンプル数	知っている				無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない		
今回調査	1,178	300 (25.5%)	601 (51.0%)	231 (19.6%)	46 (3.9%)	
前回調査 (H27)	1,452	267 (18.4%)	685 (47.2%)	433 (29.8%)	67 (4.6%)	
女性	672	158 (23.5%)	353 (52.5%)	140 (20.8%)	21 (3.1%)	
10代	9	5 (55.6%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	
20代	62	33 (53.2%)	25 (40.3%)	4 (6.5%)	0 (0.0%)	
30代	84	24 (28.6%)	37 (44.0%)	21 (25.0%)	2 (2.4%)	
40代	132	26 (19.7%)	64 (48.5%)	39 (29.5%)	3 (2.3%)	
50代	128	22 (17.2%)	80 (62.5%)	24 (18.8%)	2 (1.6%)	
60代	150	30 (20.0%)	86 (57.3%)	30 (20.0%)	4 (2.7%)	
70歳以上	106	18 (17.0%)	57 (53.8%)	21 (19.8%)	10 (9.4%)	
男性	481	134 (27.9%)	238 (49.5%)	86 (17.9%)	23 (4.8%)	
10代	9	6 (66.7%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
20代	37	14 (37.8%)	21 (56.8%)	1 (2.7%)	1 (2.7%)	
30代	54	18 (33.3%)	22 (40.7%)	14 (25.9%)	0 (0.0%)	
40代	61	16 (26.2%)	23 (37.7%)	22 (36.1%)	0 (0.0%)	
50代	90	24 (26.7%)	47 (52.2%)	15 (16.7%)	4 (4.4%)	
60代	127	30 (23.6%)	73 (57.5%)	19 (15.0%)	5 (3.9%)	
70歳以上	101	26 (25.7%)	48 (47.5%)	14 (13.9%)	13 (12.9%)	

調査対象	サンプル数	知っている				無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない		
正社員・正職員	406	128 (31.5%)	201 (49.5%)	65 (16.0%)	12 (3.0%)	
派遣・契約社員	66	14 (21.2%)	33 (50.0%)	18 (27.3%)	1 (1.5%)	
パート・アルバイト	212	43 (20.3%)	114 (53.8%)	54 (25.5%)	1 (0.5%)	
自営業・自由業	55	14 (25.5%)	25 (45.5%)	14 (25.5%)	2 (3.6%)	
会社役員・経営者	32	6 (18.8%)	17 (53.1%)	4 (12.5%)	5 (15.6%)	
専業主婦(夫)	142	28 (19.7%)	82 (57.7%)	29 (20.4%)	3 (2.1%)	
学生	36	22 (61.1%)	13 (36.1%)	1 (2.8%)	0 (0.0%)	
無職	213	41 (19.2%)	108 (50.7%)	42 (19.7%)	22 (10.3%)	
結婚している	823	199 (24.2%)	435 (52.9%)	158 (19.2%)	31 (3.8%)	
離別	71	15 (21.1%)	29 (40.8%)	23 (32.4%)	4 (5.6%)	
死別	47	6 (12.8%)	25 (53.2%)	10 (21.3%)	6 (12.8%)	
結婚していない	225	76 (33.8%)	106 (47.1%)	39 (17.3%)	4 (1.8%)	
子供有無別	858	202 (23.5%)	445 (51.9%)	176 (20.5%)	35 (4.1%)	
いる	285	87 (30.5%)	139 (48.8%)	49 (17.2%)	10 (3.5%)	
いない	573	115 (20.1%)	306 (53.4%)	127 (22.1%)	25 (4.4%)	

## ②女子差別撤廃条約

『知っている』の割合は、今回調査（61.6%）が前回調査（52.0%）を9.6ポイント上回っている。

■①言葉も内容も知っている ■②言葉だけは知っている ■③言葉も内容も知らない ■④無回答

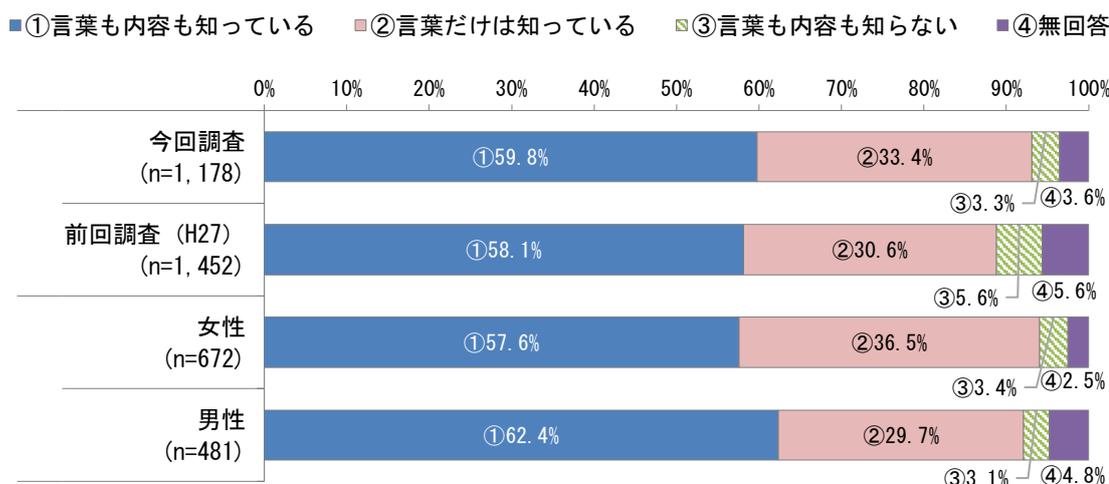


小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	知っている				
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答	
今回調査	1,178	190 100.0%	536 16.1%	403 45.5%	49 34.2%	4.2%
前回調査(H27)	1,452	197 100.0%	558 13.6%	616 38.4%	81 42.4%	5.6%
女性	672	102 100.0%	300 15.2%	247 44.6%	23 36.8%	3.4%
10代	9	3 100.0%	5 33.3%	0 55.6%	1 0.0%	11.1%
20代	62	15 100.0%	26 24.2%	21 41.9%	0 33.9%	0.0%
30代	84	16 100.0%	32 19.0%	35 38.1%	1 41.7%	1.2%
40代	132	17 100.0%	50 12.9%	62 37.9%	3 47.0%	2.3%
50代	128	18 100.0%	61 14.1%	47 47.7%	2 36.7%	1.6%
60代	150	21 100.0%	72 14.0%	52 48.0%	5 34.7%	3.3%
70歳以上	106	12 100.0%	53 11.3%	30 50.0%	11 28.3%	10.4%
男性	481	83 100.0%	227 17.3%	149 47.2%	22 31.0%	4.6%
10代	9	3 100.0%	5 33.3%	1 55.6%	0 11.1%	0.0%
20代	37	9 100.0%	17 24.3%	9 45.9%	2 24.3%	5.4%
30代	54	16 100.0%	25 29.6%	13 46.3%	0 24.1%	0.0%
40代	61	10 100.0%	31 16.4%	20 50.8%	0 32.8%	0.0%
50代	90	13 100.0%	35 14.4%	39 38.9%	3 43.3%	3.3%
60代	127	16 100.0%	71 12.6%	35 55.9%	5 27.6%	3.9%
70歳以上	101	16 100.0%	42 15.8%	31 41.6%	12 30.7%	11.9%

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	知っている				
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答	
正社員・正職員	406	72 100.0%	180 17.7%	143 44.3%	11 35.2%	2.7%
派遣・契約社員	66	8 100.0%	34 12.1%	23 51.5%	1 34.8%	1.5%
パート・アルバイト	212	30 100.0%	100 14.2%	81 47.2%	1 38.2%	0.5%
自営業・自由業	55	10 100.0%	25 18.2%	18 45.5%	2 32.7%	3.6%
会社役員・経営者	32	2 100.0%	15 6.3%	10 46.9%	5 31.3%	15.6%
専業主婦(夫)	142	25 100.0%	67 17.6%	45 47.2%	5 31.7%	3.5%
学生	36	11 100.0%	17 30.6%	7 47.2%	1 19.4%	2.8%
無職	213	30 100.0%	92 14.1%	70 43.2%	21 32.9%	9.9%
結婚している	823	122 100.0%	384 14.8%	284 46.7%	33 34.5%	4.0%
離別	71	13 100.0%	30 18.3%	26 42.3%	2 36.6%	2.8%
死別	47	3 100.0%	24 6.4%	15 51.1%	5 31.9%	10.6%
結婚していない	225	50 100.0%	93 22.2%	75 41.3%	7 33.3%	3.1%
子供有	858	127 100.0%	401 14.8%	294 46.7%	36 34.3%	4.2%
子供無	285	56 100.0%	120 19.6%	99 42.1%	10 34.7%	3.5%

### ③男女雇用機会均等法

『知っている』が今回調査（93.2%）、前回調査（88.7%）、女性（94.1%）、男性（92.1%）とも高くなっている。

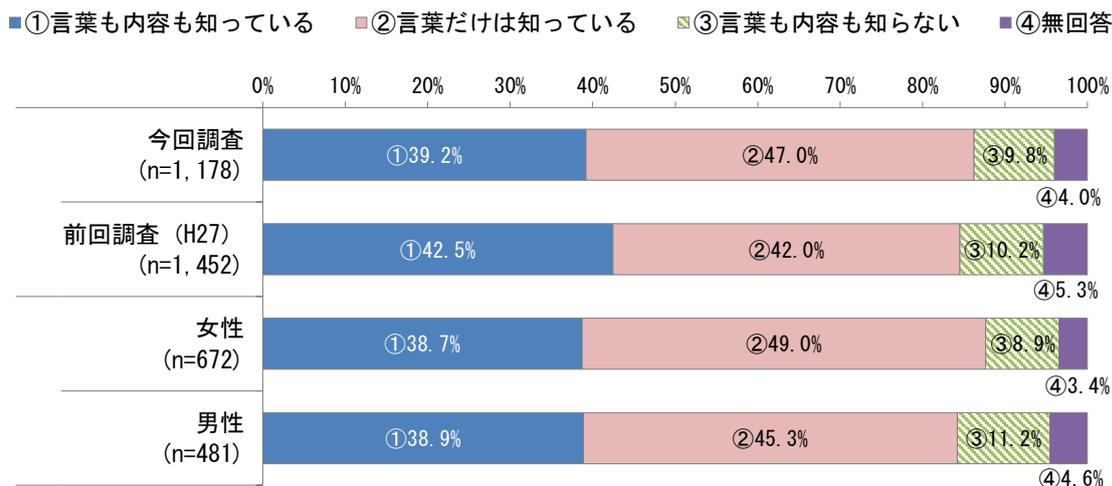


調査対象	サンプル数	知っている				無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答	
今回調査	1,178	704 (59.8%)	393 (33.4%)	39 (3.3%)	42 (3.6%)	
前回調査 (H27)	1,452	844 (58.1%)	445 (30.6%)	81 (5.6%)	82 (5.6%)	
女性	672	387 (57.6%)	245 (36.5%)	23 (3.4%)	17 (2.5%)	
10代	9	6 (66.7%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	
20代	62	38 (61.3%)	23 (37.1%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	
30代	84	48 (57.1%)	30 (35.7%)	5 (6.0%)	1 (1.2%)	
40代	132	92 (69.7%)	38 (28.8%)	0 (0.0%)	2 (1.5%)	
50代	128	82 (64.1%)	44 (34.4%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	
60代	150	84 (56.0%)	55 (36.7%)	8 (5.3%)	3 (2.0%)	
70歳以上	106	37 (34.9%)	52 (49.1%)	7 (6.6%)	10 (9.4%)	
男性	481	300 (62.4%)	143 (29.7%)	15 (3.1%)	23 (4.8%)	
10代	9	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
20代	37	24 (64.9%)	12 (32.4%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	
30代	54	41 (75.9%)	12 (22.2%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	
40代	61	38 (62.3%)	18 (29.5%)	5 (8.2%)	0 (0.0%)	
50代	90	58 (64.4%)	24 (26.7%)	5 (5.6%)	3 (3.3%)	
60代	127	76 (59.8%)	42 (33.1%)	3 (2.4%)	6 (4.7%)	
70歳以上	101	54 (53.5%)	33 (32.7%)	1 (1.0%)	13 (12.9%)	

調査対象	サンプル数	知っている				無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答	
正社員・正職員	406	282 (69.5%)	108 (26.6%)	7 (1.7%)	9 (2.2%)	
派遣・契約社員	66	39 (59.1%)	20 (30.3%)	6 (9.1%)	1 (1.5%)	
パート・アルバイト	212	129 (60.8%)	72 (34.0%)	9 (4.2%)	2 (0.9%)	
自営業・自由業	55	31 (56.4%)	20 (36.4%)	2 (3.6%)	2 (3.6%)	
会社役員・経営者	32	15 (46.9%)	11 (34.4%)	1 (3.1%)	5 (15.6%)	
専業主婦(夫)	142	79 (55.6%)	59 (41.5%)	2 (1.4%)	2 (1.4%)	
学生	36	29 (80.6%)	7 (19.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
無職	213	90 (42.3%)	91 (42.7%)	11 (5.2%)	21 (9.9%)	
結婚している	823	494 (60.0%)	276 (33.5%)	22 (2.7%)	31 (3.8%)	
離別	71	38 (53.5%)	25 (35.2%)	6 (8.5%)	2 (2.8%)	
死別	47	17 (36.2%)	22 (46.8%)	4 (8.5%)	4 (8.5%)	
結婚していない	225	147 (65.3%)	67 (29.8%)	7 (3.1%)	4 (1.8%)	
子供有無別	858	500 (58.3%)	297 (34.6%)	28 (3.3%)	33 (3.8%)	
いる	285	181 (63.5%)	86 (30.2%)	10 (3.5%)	8 (2.8%)	
いない	573	319 (55.7%)	211 (36.8%)	18 (3.1%)	25 (4.4%)	

#### ④配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）

『知っている』でみると前回調査と大きな差はない。



調査対象	サンプル数	知っている			
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
今回調査	1,178	462 (39.2%)	554 (47.0%)	115 (9.8%)	47 (4.0%)
前回調査 (H27)	1,452	617 (42.5%)	610 (42.0%)	148 (10.2%)	77 (5.3%)
女性	672	260 (38.7%)	329 (49.0%)	60 (8.9%)	23 (3.4%)
10代	9	4 (44.4%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)
20代	62	22 (35.5%)	28 (45.2%)	12 (19.4%)	0 (0.0%)
30代	84	32 (38.1%)	40 (47.6%)	10 (11.9%)	2 (2.4%)
40代	132	51 (38.6%)	69 (52.3%)	10 (7.6%)	2 (1.5%)
50代	128	52 (40.6%)	64 (50.0%)	10 (7.8%)	2 (1.6%)
60代	150	59 (39.3%)	77 (51.3%)	9 (6.0%)	5 (3.3%)
70歳以上	106	40 (37.7%)	48 (45.3%)	6 (5.7%)	12 (11.3%)
男性	481	187 (38.9%)	218 (45.3%)	54 (11.2%)	22 (4.6%)
10代	9	1 (11.1%)	4 (44.4%)	4 (44.4%)	0 (0.0%)
20代	37	12 (32.4%)	17 (45.9%)	7 (18.9%)	1 (2.7%)
30代	54	23 (42.6%)	25 (46.3%)	5 (9.3%)	1 (1.9%)
40代	61	25 (41.0%)	27 (44.3%)	9 (14.8%)	0 (0.0%)
50代	90	39 (43.3%)	34 (37.8%)	14 (15.6%)	3 (3.3%)
60代	127	48 (37.8%)	65 (51.2%)	9 (7.1%)	5 (3.9%)
70歳以上	101	39 (38.6%)	44 (43.6%)	6 (5.9%)	12 (11.9%)

調査対象	サンプル数	知っている			
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
正社員・正職員	406	164 (40.4%)	185 (45.6%)	45 (11.1%)	12 (3.0%)
派遣・契約社員	66	23 (34.8%)	36 (54.5%)	6 (9.1%)	1 (1.5%)
パート・アルバイト	212	90 (42.5%)	103 (48.6%)	17 (8.0%)	2 (0.9%)
自営業・自由業	55	22 (40.0%)	25 (45.5%)	6 (10.9%)	2 (3.6%)
会社役員・経営者	32	5 (15.6%)	20 (62.5%)	2 (6.3%)	5 (15.6%)
専業主婦(夫)	142	60 (42.3%)	67 (47.2%)	11 (7.7%)	4 (2.8%)
学生	36	14 (38.9%)	11 (30.6%)	11 (30.6%)	0 (0.0%)
無職	213	76 (35.7%)	101 (47.4%)	16 (7.5%)	20 (9.4%)
配偶関係別					
結婚している	823	331 (40.2%)	387 (47.0%)	68 (8.3%)	37 (4.5%)
離別	71	29 (40.8%)	35 (49.3%)	5 (7.0%)	2 (2.8%)
死別	47	18 (38.3%)	22 (46.8%)	3 (6.4%)	4 (8.5%)
結婚していない	225	78 (34.7%)	105 (46.7%)	39 (17.3%)	3 (1.3%)
子供有無別					
いる	858	349 (40.7%)	405 (47.2%)	66 (7.7%)	38 (4.4%)
いない	285	95 (33.3%)	139 (48.8%)	43 (15.1%)	8 (2.8%)

### ⑤女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）

『知っている』の割合は、女性（53.9%）が男性（59.0%）を5.1ポイント下回っている。

■①言葉も内容も知っている ■②言葉だけは知っている ■③言葉も内容も知らない ■④無回答



	サンプル数	知っている			無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	
今回調査	1,178	136 (11.5%)	521 (44.2%)	466 (39.6%)	55 (4.7%)
女性	672	67 (10.0%)	295 (43.9%)	285 (42.4%)	25 (3.7%)
10代	9	2 (22.2%)	2 (22.2%)	5 (55.6%)	0 (0.0%)
20代	62	11 (17.7%)	27 (43.5%)	24 (38.7%)	0 (0.0%)
30代	84	9 (10.7%)	34 (40.5%)	40 (47.6%)	1 (1.2%)
40代	132	11 (8.3%)	64 (48.5%)	52 (39.4%)	5 (3.8%)
50代	128	12 (9.4%)	59 (46.1%)	55 (43.0%)	2 (1.6%)
60代	150	12 (8.0%)	64 (42.7%)	71 (47.3%)	3 (2.0%)
70歳以上	106	10 (9.4%)	44 (41.5%)	38 (35.8%)	14 (13.2%)
男性	481	66 (13.7%)	218 (45.3%)	172 (35.8%)	25 (5.2%)
10代	9	1 (11.1%)	4 (44.4%)	4 (44.4%)	0 (0.0%)
20代	37	3 (8.1%)	16 (43.2%)	17 (45.9%)	1 (2.7%)
30代	54	9 (16.7%)	25 (46.3%)	19 (35.2%)	1 (1.9%)
40代	61	10 (16.4%)	30 (49.2%)	20 (32.8%)	1 (1.6%)
50代	90	13 (14.4%)	39 (43.3%)	35 (38.9%)	3 (3.3%)
60代	127	16 (12.6%)	64 (50.4%)	42 (33.1%)	5 (3.9%)
70歳以上	101	14 (13.9%)	38 (37.6%)	35 (34.7%)	14 (13.9%)

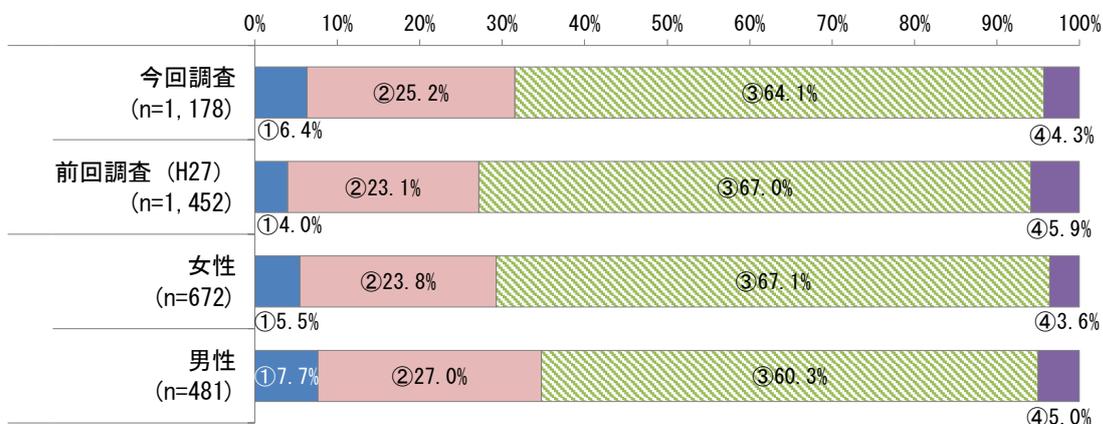
	サンプル数	知っている			無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	
今回調査	1,178	136 (11.5%)	521 (44.2%)	466 (39.6%)	55 (4.7%)
女性	672	67 (10.0%)	295 (43.9%)	285 (42.4%)	25 (3.7%)
正社員・正職員	406	52 (12.8%)	194 (47.8%)	145 (35.7%)	15 (3.7%)
派遣・契約社員	66	4 (6.1%)	38 (57.6%)	23 (34.8%)	1 (1.5%)
パート・アルバイト	212	20 (9.4%)	97 (45.8%)	94 (44.3%)	1 (0.5%)
自営業・自由業	55	14 (25.5%)	15 (27.3%)	23 (41.8%)	3 (5.5%)
会社役員・経営者	32	3 (9.4%)	19 (59.4%)	5 (15.6%)	5 (15.6%)
専業主婦(夫)	142	15 (10.6%)	59 (41.5%)	63 (44.4%)	5 (3.5%)
学生	36	9 (25.0%)	11 (30.6%)	16 (44.4%)	0 (0.0%)
無職	213	19 (8.9%)	83 (39.0%)	87 (40.8%)	24 (11.3%)
男性	481	66 (13.7%)	218 (45.3%)	172 (35.8%)	25 (5.2%)
結婚している	823	96 (11.7%)	388 (47.1%)	299 (36.3%)	40 (4.9%)
離別	71	9 (12.7%)	26 (36.6%)	33 (46.5%)	3 (4.2%)
死別	47	3 (6.4%)	16 (34.0%)	23 (48.9%)	5 (10.6%)
結婚していない	225	27 (12.0%)	86 (38.2%)	106 (47.1%)	6 (2.7%)
子供有無別	858	100 (11.7%)	390 (45.5%)	325 (37.9%)	43 (5.0%)
いない	285	32 (11.2%)	119 (41.8%)	124 (43.5%)	10 (3.5%)

## ⑥ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

「言葉も内容も知らない」でみると、今回調査（64.1%）、前回調査（67.0%）ともに6割を超えている。

性別でみると、「言葉も内容も知らない」（女性：67.1%、男性：60.3%）の割合は、女性が男性を6.8ポイント上回っている。

■①言葉も内容も知っている ■②言葉だけは知っている ■③言葉も内容も知らない ■④無回答



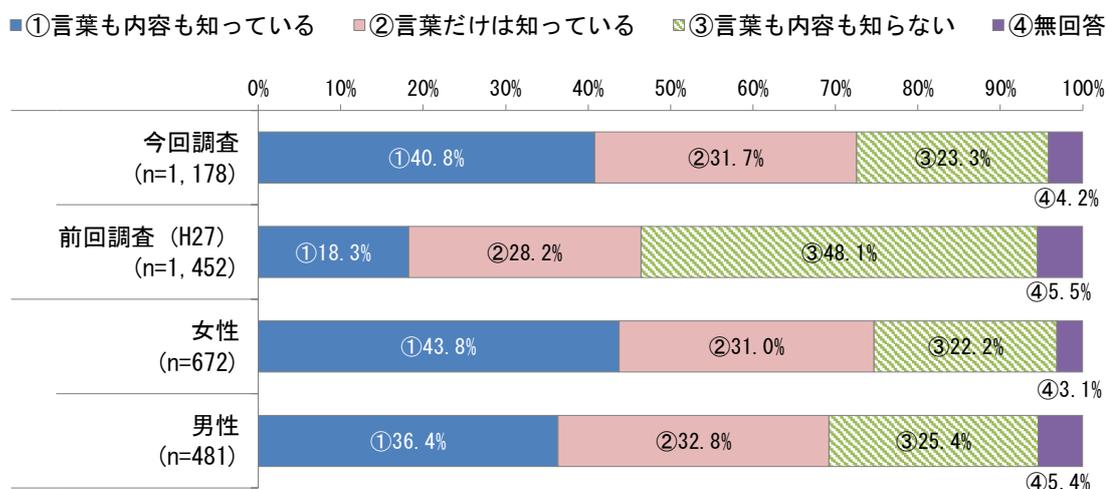
	サンプル数	知っている			
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
今回調査	1,178	75 (6.4%)	297 (25.2%)	755 (64.1%)	51 (4.3%)
前回調査 (H27)	1,452	58 (4.0%)	336 (23.1%)	973 (67.0%)	85 (5.9%)
女性	672	37 (5.5%)	160 (23.8%)	451 (67.1%)	24 (3.6%)
10代	9	0 (0.0%)	4 (44.4%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)
20代	62	5 (8.1%)	15 (24.2%)	41 (66.1%)	1 (1.6%)
30代	84	3 (3.6%)	12 (14.3%)	68 (81.0%)	1 (1.2%)
40代	132	4 (3.0%)	19 (14.4%)	106 (80.3%)	3 (2.3%)
50代	128	10 (7.8%)	35 (27.3%)	81 (63.3%)	2 (1.6%)
60代	150	9 (6.0%)	42 (28.0%)	96 (64.0%)	3 (2.0%)
70歳以上	106	6 (5.7%)	32 (30.2%)	55 (51.9%)	13 (12.3%)
男性	481	37 (7.7%)	130 (27.0%)	290 (60.3%)	24 (5.0%)
10代	9	4 (44.4%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)
20代	37	2 (5.4%)	10 (27.0%)	24 (64.9%)	1 (2.7%)
30代	54	5 (9.3%)	10 (18.5%)	39 (72.2%)	0 (0.0%)
40代	61	4 (6.6%)	26 (42.6%)	31 (50.8%)	0 (0.0%)
50代	90	12 (13.3%)	20 (22.2%)	55 (61.1%)	3 (3.3%)
60代	127	7 (5.5%)	39 (30.7%)	75 (59.1%)	6 (4.7%)
70歳以上	101	3 (3.0%)	23 (22.8%)	61 (60.4%)	14 (13.9%)

	サンプル数	知っている			
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
正社員・正職員	406	29 (7.1%)	106 (26.1%)	260 (64.0%)	11 (2.7%)
派遣・契約社員	66	2 (3.0%)	24 (36.4%)	39 (59.1%)	1 (1.5%)
パート・アルバイト	212	10 (4.7%)	46 (21.7%)	155 (73.1%)	1 (0.5%)
自営業・自由業	55	6 (10.9%)	14 (25.5%)	32 (58.2%)	3 (5.5%)
会社役員・経営者	32	1 (3.1%)	9 (28.1%)	17 (53.1%)	5 (15.6%)
専業主婦(夫)	142	12 (8.5%)	32 (22.5%)	94 (66.2%)	4 (2.8%)
学生	36	6 (16.7%)	9 (25.0%)	19 (52.8%)	2 (5.6%)
無職	213	9 (4.2%)	53 (24.9%)	128 (60.1%)	23 (10.8%)
配偶関係別					
結婚している	823	43 (5.2%)	212 (25.8%)	533 (64.8%)	35 (4.3%)
離別	71	10 (14.1%)	19 (26.8%)	40 (56.3%)	2 (2.8%)
死別	47	2 (4.3%)	17 (36.2%)	23 (48.9%)	5 (10.6%)
結婚していない	225	19 (8.4%)	47 (20.9%)	152 (67.6%)	7 (3.1%)
子供有無別					
いる	858	52 (6.1%)	229 (26.7%)	539 (62.8%)	38 (4.4%)
いない	285	20 (7.0%)	58 (20.4%)	195 (68.4%)	12 (4.2%)

## ⑦ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）

『知っている』の割合は、今回調査（72.5%）が前回調査（46.5%）を26.0ポイント上回っている。

性別でみると、「言葉も内容も知っている」（女性：43.8%、男性：36.4%）の割合は、女性が男性を7.4ポイント上回っている。



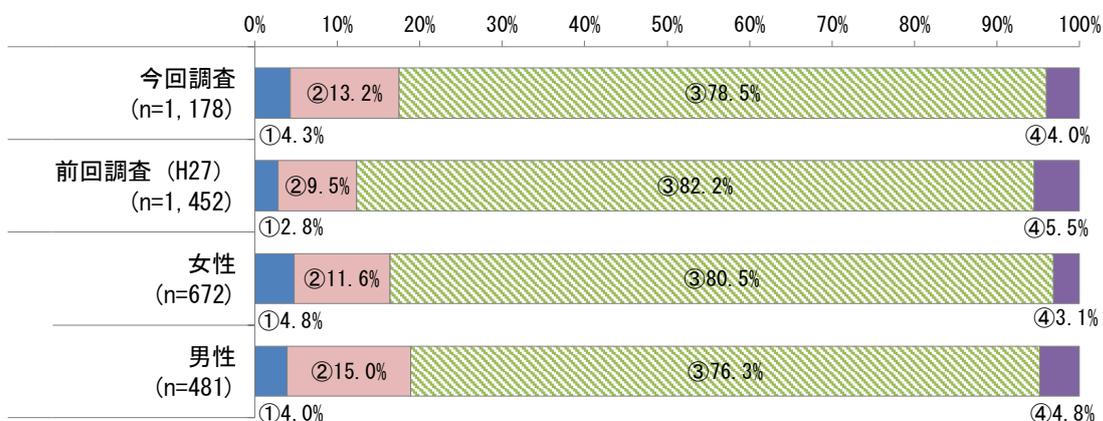
	サンプル数	知っている				無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答	
今回調査	1,178	481 (40.8%)	374 (31.7%)	274 (23.3%)	49 (4.2%)	
前回調査 (H27)	1,452	265 (18.3%)	409 (28.2%)	698 (48.1%)	80 (5.5%)	
女性	672	294 (43.8%)	208 (31.0%)	149 (22.2%)	21 (3.1%)	
10代	9	6 (66.7%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	
20代	62	37 (59.7%)	17 (27.4%)	8 (12.9%)	0 (0.0%)	
30代	84	51 (60.7%)	28 (33.3%)	4 (4.8%)	1 (1.2%)	
40代	132	70 (53.0%)	39 (29.5%)	21 (15.9%)	2 (1.5%)	
50代	128	70 (54.7%)	40 (31.3%)	16 (12.5%)	2 (1.6%)	
60代	150	46 (30.7%)	50 (33.3%)	52 (34.7%)	2 (1.3%)	
70歳以上	106	14 (13.2%)	31 (29.2%)	47 (44.3%)	14 (13.2%)	
男性	481	175 (36.4%)	158 (32.8%)	122 (25.4%)	26 (5.4%)	
10代	9	7 (77.8%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
20代	37	22 (59.5%)	9 (24.3%)	5 (13.5%)	1 (2.7%)	
30代	54	29 (53.7%)	16 (29.6%)	9 (16.7%)	0 (0.0%)	
40代	61	23 (37.7%)	20 (32.8%)	18 (29.5%)	0 (0.0%)	
50代	90	35 (38.9%)	29 (32.2%)	21 (23.3%)	5 (5.6%)	
60代	127	36 (28.3%)	49 (38.6%)	35 (27.6%)	7 (5.5%)	
70歳以上	101	23 (22.8%)	32 (31.7%)	33 (32.7%)	13 (12.9%)	

	サンプル数	知っている				無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答	
正社員・正職員	406	201 (49.5%)	131 (32.3%)	62 (15.3%)	12 (3.0%)	
派遣・契約社員	66	31 (47.0%)	19 (28.8%)	15 (22.7%)	1 (1.5%)	
パート・アルバイト	212	83 (39.2%)	71 (33.5%)	57 (26.9%)	1 (0.5%)	
自営業・自由業	55	21 (38.2%)	17 (30.9%)	15 (27.3%)	2 (3.6%)	
会社役員・経営者	32	7 (21.9%)	13 (40.6%)	7 (21.9%)	5 (15.6%)	
専業主婦(夫)	142	58 (40.8%)	46 (32.4%)	35 (24.6%)	3 (2.1%)	
学生	36	27 (75.0%)	9 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
無職	213	46 (21.6%)	67 (31.5%)	76 (35.7%)	24 (11.3%)	
結婚している	823	314 (38.2%)	278 (33.8%)	197 (23.9%)	34 (4.1%)	
離別	71	31 (43.7%)	19 (26.8%)	19 (26.8%)	2 (2.8%)	
死別	47	4 (8.5%)	15 (31.9%)	20 (42.6%)	8 (17.0%)	
結婚していない	225	125 (55.6%)	60 (26.7%)	36 (16.0%)	4 (1.8%)	
子供有無別	858	306 (35.7%)	288 (33.6%)	224 (26.1%)	40 (4.7%)	
いる	285	157 (55.1%)	78 (27.4%)	42 (14.7%)	8 (2.8%)	
いない	285	157 (55.1%)	78 (27.4%)	42 (14.7%)	8 (2.8%)	

## ⑧リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

「言葉も内容も知らない」でみると、今回調査（78.5%）、前回調査（82.2%）ともに約8割を占めている。

■①言葉も内容も知っている ■②言葉だけは知っている ■③言葉も内容も知らない ■④無回答

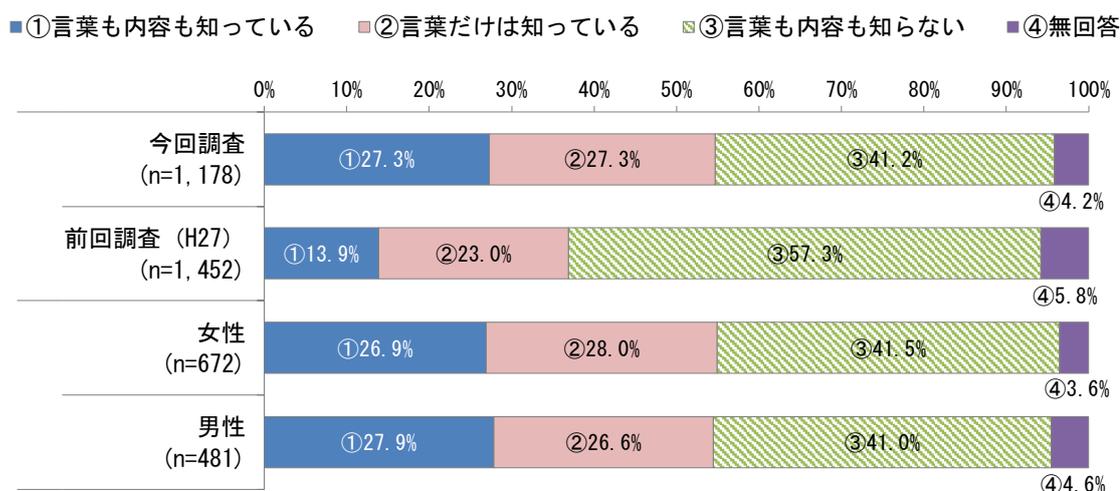


	サンプル数	知っている			
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
今回調査	1,178	51 (4.3%)	155 (13.2%)	925 (78.5%)	47 (4.0%)
前回調査 (H27)	1,452	41 (2.8%)	138 (9.5%)	1,193 (82.2%)	80 (5.5%)
女性	672	32 (4.8%)	78 (11.6%)	541 (80.5%)	21 (3.1%)
10代	9	0 (0.0%)	2 (22.2%)	7 (77.8%)	0 (0.0%)
20代	62	7 (11.3%)	9 (14.5%)	45 (72.6%)	1 (1.6%)
30代	84	6 (7.1%)	13 (15.5%)	64 (76.2%)	1 (1.2%)
40代	132	4 (3.0%)	9 (6.8%)	116 (87.9%)	3 (2.3%)
50代	128	6 (4.7%)	13 (10.2%)	107 (83.6%)	2 (1.6%)
60代	150	6 (4.0%)	17 (11.3%)	125 (83.3%)	2 (1.3%)
70歳以上	106	3 (2.8%)	14 (13.2%)	77 (72.6%)	12 (11.3%)
男性	481	19 (4.0%)	72 (15.0%)	367 (76.3%)	23 (4.8%)
10代	9	1 (11.1%)	1 (11.1%)	7 (77.8%)	0 (0.0%)
20代	37	4 (10.8%)	6 (16.2%)	26 (70.3%)	1 (2.7%)
30代	54	2 (3.7%)	13 (24.1%)	38 (70.4%)	1 (1.9%)
40代	61	3 (4.9%)	13 (21.3%)	45 (73.8%)	0 (0.0%)
50代	90	3 (3.3%)	15 (16.7%)	69 (76.7%)	3 (3.3%)
60代	127	6 (4.7%)	15 (11.8%)	101 (79.5%)	5 (3.9%)
70歳以上	101	0 (0.0%)	9 (8.9%)	79 (78.2%)	13 (12.9%)

	サンプル数	知っている			
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
正社員・正職員	406	25 (6.2%)	59 (14.5%)	311 (76.6%)	11 (2.7%)
派遣・契約社員	66	0 (0.0%)	9 (13.6%)	55 (83.3%)	2 (3.0%)
パート・アルバイト	212	11 (5.2%)	22 (10.4%)	177 (83.5%)	2 (0.9%)
自営業・自由業	55	2 (3.6%)	7 (12.7%)	44 (80.0%)	2 (3.6%)
会社役員・経営者	32	1 (3.1%)	4 (12.5%)	22 (68.8%)	5 (15.6%)
専業主婦(夫)	142	3 (2.1%)	24 (16.9%)	113 (79.6%)	2 (1.4%)
学生	36	5 (13.9%)	8 (22.2%)	23 (63.9%)	0 (0.0%)
無職	213	4 (1.9%)	22 (10.3%)	165 (77.5%)	22 (10.3%)
結婚している	823	30 (3.6%)	109 (13.2%)	651 (79.1%)	33 (4.0%)
離別	71	4 (5.6%)	12 (16.9%)	53 (74.6%)	2 (2.8%)
死別	47	2 (4.3%)	4 (8.5%)	36 (76.6%)	5 (10.6%)
結婚していない	225	14 (6.2%)	30 (13.3%)	175 (77.8%)	6 (2.7%)
子供有	858	32 (3.7%)	113 (13.2%)	677 (78.9%)	36 (4.2%)
子供無	285	17 (6.0%)	36 (12.6%)	222 (77.9%)	10 (3.5%)

## ⑨ワーク・ライフ・バランス

『知っている』の割合は、今回調査（54.6%）が前回調査（36.9%）を17.7ポイント上回っている。



調査対象	サンプル数	知っている				無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない		
今回調査	1,178	322 (27.3%)	322 (27.3%)	485 (41.2%)	49 (4.2%)	
前回調査 (H27)	1,452	202 (13.9%)	334 (23.0%)	832 (57.3%)	84 (5.8%)	
女性	672	181 (26.9%)	188 (28.0%)	279 (41.5%)	24 (3.6%)	
10代	9	5 (55.6%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	
20代	62	31 (50.0%)	17 (27.4%)	13 (21.0%)	1 (1.6%)	
30代	84	38 (45.2%)	19 (22.6%)	26 (31.0%)	1 (1.2%)	
40代	132	43 (32.6%)	39 (29.5%)	49 (37.1%)	1 (0.8%)	
50代	128	35 (27.3%)	33 (25.8%)	57 (44.5%)	3 (2.3%)	
60代	150	19 (12.7%)	44 (29.3%)	82 (54.7%)	5 (3.3%)	
70歳以上	106	10 (9.4%)	32 (30.2%)	51 (48.1%)	13 (12.3%)	
男性	481	134 (27.9%)	128 (26.6%)	197 (41.0%)	22 (4.6%)	
10代	9	8 (88.9%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	
20代	37	15 (40.5%)	9 (24.3%)	12 (32.4%)	1 (2.7%)	
30代	54	27 (50.0%)	18 (33.3%)	9 (16.7%)	0 (0.0%)	
40代	61	19 (31.1%)	19 (31.1%)	23 (37.7%)	0 (0.0%)	
50代	90	34 (37.8%)	20 (22.2%)	33 (36.7%)	3 (3.3%)	
60代	127	26 (20.5%)	37 (29.1%)	58 (45.7%)	6 (4.7%)	
70歳以上	101	5 (5.0%)	24 (23.8%)	60 (59.4%)	12 (11.9%)	

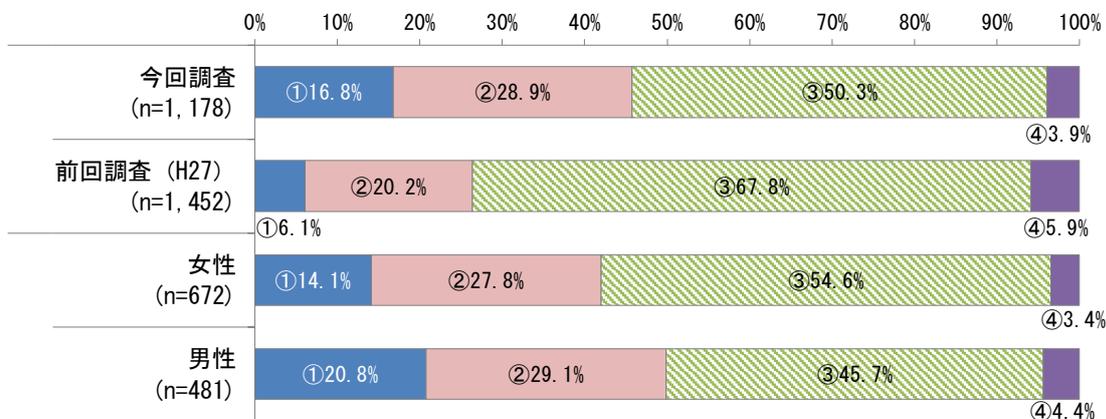
調査対象	サンプル数	知っている				無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない		
正社員・正職員	406	178 (43.8%)	98 (24.1%)	120 (29.6%)	10 (2.5%)	
派遣・契約社員	66	12 (18.2%)	22 (33.3%)	31 (47.0%)	1 (1.5%)	
パート・アルバイト	212	39 (18.4%)	66 (31.1%)	103 (48.6%)	4 (1.9%)	
自営業・自由業	55	15 (27.3%)	14 (25.5%)	24 (43.6%)	2 (3.6%)	
会社役員・経営者	32	4 (12.5%)	9 (28.1%)	14 (43.8%)	5 (15.6%)	
専業主婦(夫)	142	25 (17.6%)	39 (27.5%)	76 (53.5%)	2 (1.4%)	
学生	36	26 (72.2%)	7 (19.4%)	3 (8.3%)	0 (0.0%)	
無職	213	20 (9.4%)	61 (28.6%)	108 (50.7%)	24 (11.3%)	
結婚している	823	196 (23.8%)	237 (28.8%)	355 (43.1%)	35 (4.3%)	
離別	71	22 (31.0%)	13 (18.3%)	34 (47.9%)	2 (2.8%)	
死別	47	3 (6.4%)	14 (29.8%)	25 (53.2%)	5 (10.6%)	
結婚していない	225	98 (43.6%)	54 (24.0%)	67 (29.8%)	6 (2.7%)	
子供有無別	858	192 (22.4%)	240 (28.0%)	389 (45.3%)	37 (4.3%)	
いない	285	115 (40.4%)	72 (25.3%)	87 (30.5%)	11 (3.9%)	

## ⑩ダイバーシティ

「言葉も内容も知らない」の割合は、今回調査（50.3%）が前回調査（67.8%）を17.5ポイント下回っている。

性別で見ると、「言葉も内容も知らない」（女性：54.6%、男性：45.7%）の割合は、女性が男性を8.9ポイント上回っている。

■①言葉も内容も知っている ■②言葉だけは知っている ■③言葉も内容も知らない ■④無回答



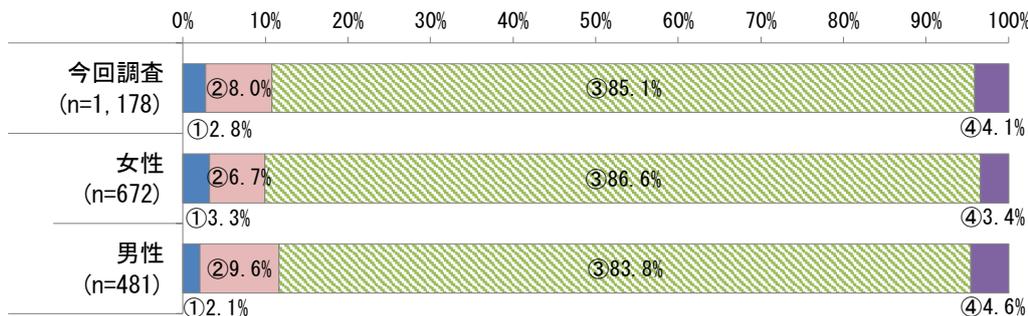
	サンプル数	知っている				無回答
		い言葉も内容も知って	る言葉だけは知って	い言葉も内容も知らない		
今回調査	1,178	198 (16.8%)	341 (28.9%)	593 (50.3%)	46 (3.9%)	
前回調査(H27)	1,452	89 (6.1%)	294 (20.2%)	984 (67.8%)	85 (5.9%)	
女性	672	95 (14.1%)	187 (27.8%)	367 (54.6%)	23 (3.4%)	
10代	9	2 (22.2%)	2 (22.2%)	5 (55.6%)	0 (0.0%)	
20代	62	19 (30.6%)	19 (30.6%)	23 (37.1%)	1 (1.6%)	
30代	84	12 (14.3%)	30 (35.7%)	41 (48.8%)	1 (1.2%)	
40代	132	27 (20.5%)	48 (36.4%)	54 (40.9%)	3 (2.3%)	
50代	128	23 (18.0%)	41 (32.0%)	62 (48.4%)	2 (1.6%)	
60代	150	5 (3.3%)	33 (22.0%)	109 (72.7%)	3 (2.0%)	
70歳以上	106	7 (6.6%)	13 (12.3%)	73 (68.9%)	13 (12.3%)	
男性	481	100 (20.8%)	140 (29.1%)	220 (45.7%)	21 (4.4%)	
10代	9	5 (55.6%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	
20代	37	10 (27.0%)	12 (32.4%)	14 (37.8%)	1 (2.7%)	
30代	54	17 (31.5%)	20 (37.0%)	17 (31.5%)	0 (0.0%)	
40代	61	13 (21.3%)	20 (32.8%)	28 (45.9%)	0 (0.0%)	
50代	90	27 (30.0%)	27 (30.0%)	33 (36.7%)	3 (3.3%)	
60代	127	21 (16.5%)	43 (33.9%)	58 (45.7%)	5 (3.9%)	
70歳以上	101	7 (6.9%)	16 (15.8%)	66 (65.3%)	12 (11.9%)	

	サンプル数	知っている				無回答
		い言葉も内容も知って	る言葉だけは知って	い言葉も内容も知らない		
正社員・正職員	406	98 (24.1%)	130 (32.0%)	169 (41.6%)	9 (2.2%)	
派遣・契約社員	66	15 (22.7%)	22 (33.3%)	28 (42.4%)	1 (1.5%)	
パート・アルバイト	212	28 (13.2%)	59 (27.8%)	123 (58.0%)	2 (0.9%)	
自営業・自由業	55	9 (16.4%)	20 (36.4%)	24 (43.6%)	2 (3.6%)	
会社役員・経営者	32	4 (12.5%)	7 (21.9%)	16 (50.0%)	5 (15.6%)	
専業主婦(夫)	142	13 (9.2%)	45 (31.7%)	82 (57.7%)	2 (1.4%)	
学生	36	19 (52.8%)	10 (27.8%)	7 (19.4%)	0 (0.0%)	
無職	213	12 (5.6%)	41 (19.2%)	136 (63.8%)	24 (11.3%)	
結婚している	823	127 (15.4%)	237 (28.8%)	425 (51.6%)	34 (4.1%)	
離別	71	8 (11.3%)	21 (29.6%)	40 (56.3%)	2 (2.8%)	
死別	47	3 (6.4%)	4 (8.5%)	35 (74.5%)	5 (10.6%)	
結婚していない	225	59 (26.2%)	72 (32.0%)	90 (40.0%)	4 (1.8%)	
子供有無別	858	121 (14.1%)	238 (27.7%)	462 (53.8%)	37 (4.3%)	
いない	285	70 (24.6%)	87 (30.5%)	120 (42.1%)	8 (2.8%)	

# ⑪ SOGI (ソジ)

今回調査、女性、男性ともに「言葉も内容も知らない」が8割を超えている。

■①言葉も内容も知っている ■②言葉だけは知っている ■③言葉も内容も知らない ■④無回答



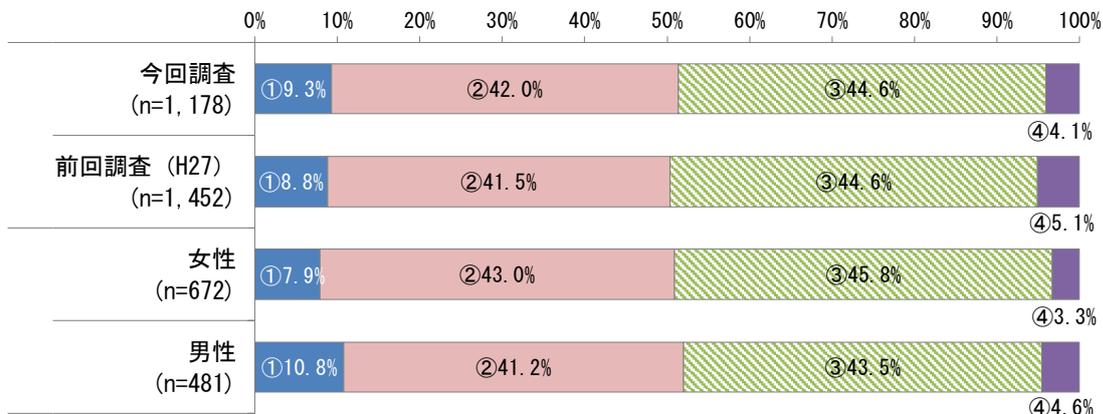
	サンプル数	知っている				無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答	
今回調査	1,178	33 (2.8%)	94 (8.0%)	1,003 (85.1%)	48 (4.1%)	
女性	672	22 (3.3%)	45 (6.7%)	582 (86.6%)	23 (3.4%)	
10代	9	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)	0 (0.0%)	
20代	62	3 (4.8%)	5 (8.1%)	54 (87.1%)	0 (0.0%)	
30代	84	1 (1.2%)	6 (7.1%)	76 (90.5%)	1 (1.2%)	
40代	132	3 (2.3%)	6 (4.5%)	119 (90.2%)	4 (3.0%)	
50代	128	5 (3.9%)	9 (7.0%)	112 (87.5%)	2 (1.6%)	
60代	150	4 (2.7%)	10 (6.7%)	133 (88.7%)	3 (2.0%)	
70歳以上	106	6 (5.7%)	9 (8.5%)	78 (73.6%)	13 (12.3%)	
男性	481	10 (2.1%)	46 (9.6%)	403 (83.8%)	22 (4.6%)	
10代	9	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)	0 (0.0%)	
20代	37	0 (0.0%)	6 (16.2%)	30 (81.1%)	1 (2.7%)	
30代	54	1 (1.9%)	6 (11.1%)	47 (87.0%)	0 (0.0%)	
40代	61	2 (3.3%)	8 (13.1%)	51 (83.6%)	0 (0.0%)	
50代	90	2 (2.2%)	11 (12.2%)	74 (82.2%)	3 (3.3%)	
60代	127	4 (3.1%)	10 (7.9%)	108 (85.0%)	5 (3.9%)	
70歳以上	101	1 (1.0%)	5 (5.0%)	82 (81.2%)	13 (12.9%)	

	サンプル数	知っている				無回答
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答	
正社員・正職員	406	13 (3.2%)	36 (8.9%)	346 (85.2%)	11 (2.7%)	
派遣・契約社員	66	1 (1.5%)	6 (9.1%)	58 (87.9%)	1 (1.5%)	
パート・アルバイト	212	7 (3.3%)	13 (6.1%)	190 (89.6%)	2 (0.9%)	
自営業・自由業	55	2 (3.6%)	4 (7.3%)	47 (85.5%)	2 (3.6%)	
会社役員・経営者	32	1 (3.1%)	4 (12.5%)	22 (68.8%)	5 (15.6%)	
専業主婦(夫)	142	6 (4.2%)	16 (11.3%)	118 (83.1%)	2 (1.4%)	
学生	36	1 (2.8%)	2 (5.6%)	33 (91.7%)	0 (0.0%)	
無職	213	2 (0.9%)	13 (6.1%)	174 (81.7%)	24 (11.3%)	
結婚している	823	19 (2.3%)	69 (8.4%)	701 (85.2%)	34 (4.1%)	
離別	71	5 (7.0%)	7 (9.9%)	57 (80.3%)	2 (2.8%)	
死別	47	1 (2.1%)	3 (6.4%)	37 (78.7%)	6 (12.8%)	
結婚していない	225	7 (3.1%)	15 (6.7%)	198 (88.0%)	5 (2.2%)	
子供有無別	858	23 (2.7%)	73 (8.5%)	725 (84.5%)	37 (4.3%)	
いない	285	9 (3.2%)	19 (6.7%)	247 (86.7%)	10 (3.5%)	

## ⑫鹿児島市男女共同参画計画

今回調査、前回調査、女性、男性ともに「言葉だけは知っている」、「言葉も内容も知らない」がそれぞれ約4割を占め、「言葉も内容も知っている」は1割にとどまっている。

■①言葉も内容も知っている ■②言葉だけは知っている ■③言葉も内容も知らない ■④無回答

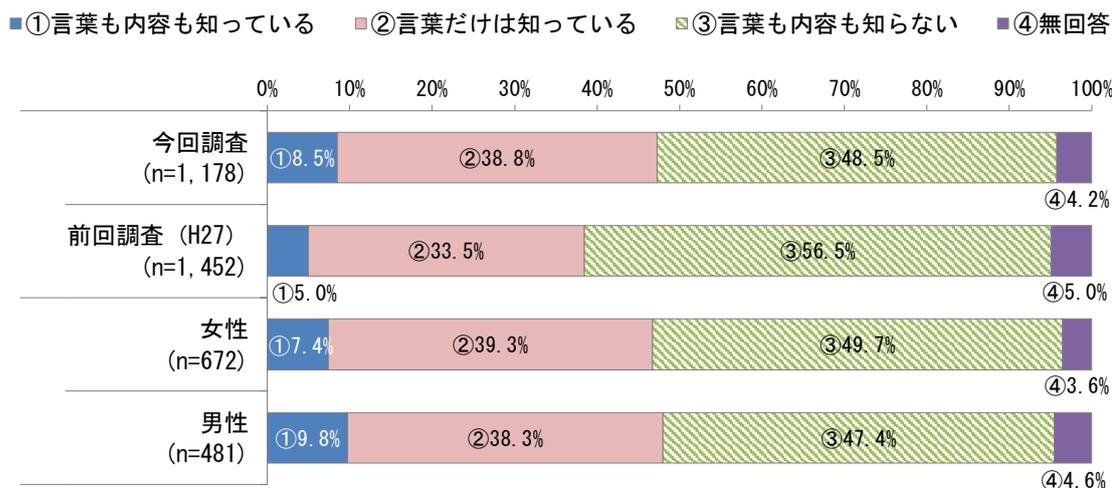


	サンプル数	知っている			
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
今回調査	1,178	110 (9.3%)	495 (42.0%)	525 (44.6%)	48 (4.1%)
前回調査 (H27)	1,452	128 (8.8%)	603 (41.5%)	647 (44.6%)	74 (5.1%)
女性	672	53 (7.9%)	289 (43.0%)	308 (45.8%)	22 (3.3%)
10代	9	1 (11.1%)	2 (22.2%)	6 (66.7%)	0 (0.0%)
20代	62	3 (4.8%)	22 (35.5%)	37 (59.7%)	0 (0.0%)
30代	84	8 (9.5%)	21 (25.0%)	54 (64.3%)	1 (1.2%)
40代	132	7 (5.3%)	60 (45.5%)	63 (47.7%)	2 (1.5%)
50代	128	10 (7.8%)	66 (51.6%)	50 (39.1%)	2 (1.6%)
60代	150	13 (8.7%)	70 (46.7%)	63 (42.0%)	4 (2.7%)
70歳以上	106	11 (10.4%)	47 (44.3%)	35 (33.0%)	13 (12.3%)
男性	481	52 (10.8%)	198 (41.2%)	209 (43.5%)	22 (4.6%)
10代	9	0 (0.0%)	1 (11.1%)	8 (88.9%)	0 (0.0%)
20代	37	5 (13.5%)	16 (43.2%)	15 (40.5%)	1 (2.7%)
30代	54	5 (9.3%)	13 (24.1%)	36 (66.7%)	0 (0.0%)
40代	61	7 (11.5%)	23 (37.7%)	31 (50.8%)	0 (0.0%)
50代	90	16 (17.8%)	37 (41.1%)	33 (36.7%)	4 (4.4%)
60代	127	8 (6.3%)	60 (47.2%)	54 (42.5%)	5 (3.9%)
70歳以上	101	11 (10.9%)	47 (46.5%)	31 (30.7%)	12 (11.9%)

	サンプル数	知っている			
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
正社員・正職員	406	42 (10.3%)	168 (41.4%)	187 (46.1%)	9 (2.2%)
派遣・契約社員	66	4 (6.1%)	31 (47.0%)	30 (45.5%)	1 (1.5%)
パート・アルバイト	212	19 (9.0%)	90 (42.5%)	101 (47.6%)	2 (0.9%)
自営業・自由業	55	8 (14.5%)	20 (36.4%)	24 (43.6%)	3 (5.5%)
会社役員・経営者	32	2 (6.3%)	15 (46.9%)	9 (28.1%)	6 (18.8%)
専業主婦(夫)	142	12 (8.5%)	67 (47.2%)	62 (43.7%)	1 (0.7%)
学生	36	4 (11.1%)	8 (22.2%)	24 (66.7%)	0 (0.0%)
無職	213	17 (8.0%)	90 (42.3%)	81 (38.0%)	25 (11.7%)
結婚している	823	78 (9.5%)	368 (44.7%)	344 (41.8%)	33 (4.0%)
離別	71	12 (16.9%)	25 (35.2%)	31 (43.7%)	3 (4.2%)
死別	47	2 (4.3%)	22 (46.8%)	18 (38.3%)	5 (10.6%)
結婚していない	225	16 (7.1%)	73 (32.4%)	130 (57.8%)	6 (2.7%)
子供有無別	858	88 (10.3%)	384 (44.8%)	350 (40.8%)	36 (4.2%)
いない	285	18 (6.3%)	99 (34.7%)	157 (55.1%)	11 (3.9%)

### ⑬鹿児島市男女共同参画条例

前回調査と比較すると、「言葉も内容も知らない」が8.0ポイント低くなっている。



	サンプル数	知っている			
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
今回調査	1,178	100	457	571	50
前回調査 (H27)	1,452	72	487	821	72
女性	672	50	264	334	24
10代	9	1	2	6	0
20代	62	2	21	39	0
30代	84	7	23	53	1
40代	132	6	55	69	2
50代	128	10	59	56	3
60代	150	12	66	68	4
70歳以上	106	12	37	43	14
男性	481	47	184	228	22
10代	9	0	2	7	0
20代	37	3	18	15	1
30代	54	4	13	37	0
40代	61	8	22	31	0
50代	90	14	38	34	4
60代	127	7	56	60	4
70歳以上	101	11	34	43	13

	サンプル数	知っている			
		言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
正社員・正職員	406	38	161	197	10
派遣・契約社員	66	4	27	34	1
パート・アルバイト	212	18	78	114	2
自営業・自由業	55	8	16	28	3
会社役員・経営者	32	2	16	9	5
専業主婦(夫)	142	11	61	68	2
学生	36	3	10	23	0
無職	213	16	81	90	26
結婚している	823	73	334	383	33
離別	71	11	23	33	4
死別	47	3	19	19	6
結婚していない	225	13	73	133	6
子供有無別	858	83	344	393	38
いる	285	15	100	159	11
いない	285	15	100	159	11

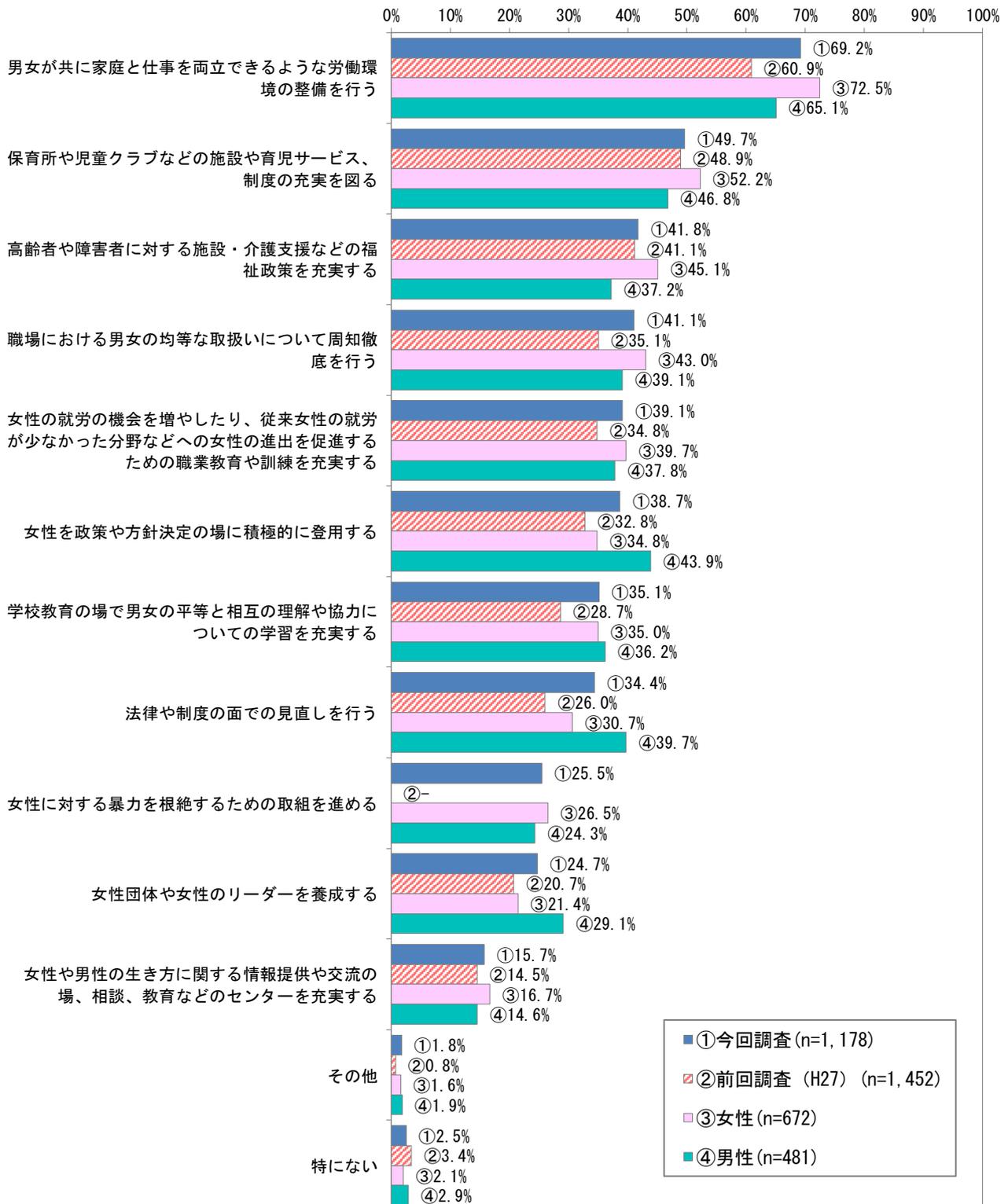
## X 行政について

問 34 「男女共同参画社会」を形成していくため、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

今回調査では、「男女が共に家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行う」(69.2%)が最も高く、次いで「保育所や児童クラブなどの施設や育児サービス、制度の充実を図る」(49.7%)、「高齢者や障害者に対する施設・介護支援などの福祉政策を充実する」(41.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「男女が共に家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行う」では8.3ポイント、「法律や制度の面での見直しを行う」では8.4ポイント増加している。

性別でみると、「女性を政策や方針決定の場に積極的に登用する」(女性:34.8%、男性:43.9%)、「法律や制度の面での見直しを行う」(女性:30.7%、男性:39.7%)では、女性が男性をそれぞれ約10ポイント下回っている。





## 自由意見

問 35 男女共同参画に対するご意見やお考えを自由にお書き下さい。

カテゴリー一覧（「関連」欄の数字は以下の一覧と対応しています。）

(1) 男女の意識について	42 件
(2) 家庭環境について	13 件
(3) 雇用・労働環境について	28 件
(4) 社会環境について	49 件
(5) この調査への意見・要望等について	9 件
(6) 行政への意見・要望等について	12 件
(7) その他	30 件
合 計	183 件

年代	女性	男性	性別無回答	合 計
10 代	4	3	0	7
20 代	11	8	1	20
30 代	15	5	0	20
40 代	17	16	0	33
50 代	19	15	0	34
60 代	23	13	0	36
70 歳以上	13	15	2	30
年齢無回答	0	0	3	3
合 計	102	75	6	183

### (1) 男女の意識について

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
1	改めて男女の差が、今問題となっていることを感じた。直接差別を受けたと感じたことはないが、よりよい社会を作るためには、男女平等になることが当たり前になる必要があると思う。そして、もっと法律や制度を知ろうと思った。		20 代	女性
2	体力、性格、環境の違う男女がすべて平等になるのは無理な話だと思う。お互い尊敬し合い、それぞれの特性が活かされる社会になって欲しい。		40 代	男性
3	男女共同参画社会を形成するには、公的な制度や整備も必要だとは思いますが、一番必要なのは男女共に個々の意識を真の意味で平等にすること。お互いに心身について理解し合い、差別なく思いやりを持つことが大切だと思う。		40 代	女性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
4	男女差別的なことが自分には無かったので、他人事だという意識で通り過ぎていた。これからは、もっと勉強していろんな人に思いやりをもって接していきたいと思った。		50代	女性
5	今の若者には、そんなに男性だから、女性だから、という考えは無い気がする。男女平等な社会は小さいころからの教育で決まると思う。		10代	女性
6	日本は、男尊女卑の考え方が根強いので、完全に平等にするためには相当な時間と労力が必要だと思う。		10代	女性
7	10年前に比べれば男女共同参画も浸透してきていると思う。あらゆる機会を通じて、男女の平等と相互理解についてみんなで考える事が必要だと思う。		30代	女性
8	鹿児島の男尊女卑の考え方(意識)は根強くある。海外や他県に学んでいく機会を持ったら良いと思う。		40代	女性
9	東京都知事のように女性でも能力のある方の登用が、鹿児島は少ないのは何故だろうか。積極的に活用しなければ、男性に女性の価値を知らしめることはできないと思う。男女の違いがあつてこそ、お互いを認め合い尊重すべきだ。		50代	女性
10	男女間には肉体的な差（筋力など）があるのは疑う余地がない。それは、差別とは別の次元の話であることを認識してから議論されるべきである。		50代	男性
11	男女は平等なのだという意識改革の徹底が必要だと思う。		50代	女性
12	法制度の整備だけでなく、意識改革が最も必要。「女性だから」「男性だから」という考え方を男女ともに持っていることが弊害になっている。		50代	男性
13	鹿児島の中高年男性の女性への意識の低さには辟易する。それをうまく手のひらで転がし操っている中高年女性にはスカッとするし、頭が下がる。この年代の意識は変わらないし、変えたいとも思わない。次の世代、子ども達の意識から変えていく教育をして息の長い活動をするべきである。		40代	女性
14	日本にとって一番大事なことは、子どもを増やす事である。そのためには、女性は社会で働けというのではなく、家庭で家事、育児に専念し、男性は仕事に専念する。子どもが手を離れた頃、働けば良い。どうも専業主婦が悪い風潮になっている気がする。男性に働きやすい職場を作るべきである。年金の問題もあるし、何より日本の人口がこれ以上減ったらどう他国と対抗していくのだろうか。	3	60代	男性
15	鹿児島市の男女共同参画はとても進展していると思っている。女性の職場も増えて、この頃では女性の方が強くなった気がする。増々の力をお願いしたい。	3	70歳以上	女性
16	男性と女性の平等概念は理解しているつもりだが、体力的、機能的に男女が平等とは思わない。時々、女性の平等間のねじれから、男性に役割や仕事を任せるような女性も見られた。		70歳以上	男性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
17	『男性』『女性』と考える必要があるのか？女性優遇や男性優遇は現代社会にはない。それぞれの分野に挑戦すれば良い。		60代	男性
18	男女の意識改革が必要だと思う。子どもの頃からの教育やしつけからすべきだと思う。		60代	女性
19	鹿児島では昔からの風習もあり、40歳代以上の男性は男尊女卑感が抜けていない。また、両親世代からすると、理解されない事が多く、抜け出せない女性も多いのではないかと感じる。		40代	女性
20	男性が弱くなり過ぎて、ある意味女性が強くなり過ぎていてる。		70歳以上	無回答
21	男女共同参画があるとは知らなかったし、今まで以上に真剣に取り組まなければいけないと実感した。自分を見つめる時間ができた。		50代	男性
22	私の勤務している会社は長年働く女性社員より先に男性社員（ノウハウを知らない畑違いの会社から来た新入社員）が部長や課長となる。社長に「何故か？」と問うが、はっきりとした理由が分からない。女性だからといって、男尊女卑が2020年になっても存在する事に驚く。		30代	女性
23	法律は理解しても、実行・参画となるとなかなか難しい面もあると思う。お互いが認識して理解をし、活動に参加する機会が必要ではないだろうか。		70歳以上	男性
24	鹿児島はいまだに考えが古い。年齢によって男女差別の考えにすごく差がある。何もしない男性がとても大切にされ、女性は小間使いの様である。高齢者の考えも変えていく事が必要である。仕事場でも、高齢者の方程悪気なく差別している。	3	40代	女性
25	鹿児島は特に、男性が男だからという理由だけで、能力もない、生きていく上での生活（家事）も出来ないのに威張る。もっと、そこを教育すべきである。特に高齢者に多く、その人たちが子育てをしているので、次の世代も続くと思う。		60代	女性
26	男性に適している事、女性に適している事がそれぞれあると思う。その特性を生かしてお互いを尊重してできる事は協力して行うことが大事だと思う。		60代	女性
27	鹿児島には『男だから偉い』という訳の分からない概念を持っている高齢者男性が多く存在している。その人たちの考えを変えたり、排除しないと難しい問題だと思う。		50代	女性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
28	平等の考え方に問題があると思う。女性と男性は同じではないと考えている。女性にしか出来ない仕事もたくさんあり、素晴らしい感性や感受性も持っている。今の世の中は、女性が多くリードしている。男性と同じことをするのが平等ではない。女性の特質を認め生き、活かす。女性は、社会で平等と思っていない人も多いかもしれない。自分をもっと活かせると思うと、そうなるかもしれない。自分に枠をはめている事があるのかもしれない。「出来ない」とか、「社会が、世の中が悪い」とか。男性にも言える事と思う。女性にも男性にも、もっと自分のことを前向きに考え、自分次第との考え方を推し進める事が大事と考えている。世の中が平等でないとか社会がどうかという時代ではないと思う。（人種差別の事は、考えが及ばない）行政も手助けして頂けるのは有難いが、個人の考えを前向きにする必要を感じる。	6	70歳以上	男性
29	男性、女性と区別のない社会になって欲しい。しかし女性は、自分の感情や気分などで、仕事や人に対しての接し方が変化する人が多いような気がする。女性も男性と同等になるには、そのような所を変えていかないといけないような気がする。		50代	女性
30	未だに、男性がする事、女性がする事と決めつけている人がいるのが現状だと思う。古い考えは捨て、新しい今の考え方にシフトしていかななくてはならない。相手に対して感謝の気持ちの念を持つ事。		40代	男性
31	自分が若かったころに比べれば、大分理解されてきていると思う。子育てについては特に大きく変わってきていると思う。全体的には、あともう少しという感じである。	2	50代	女性
32	男女が対等な立場での社会を実現するには、社会や個人にも男女の差の固定観念が根付いていると思う。体力などの性差はあって当たり前だが、基本的な能力には差はないと思う。		60代	女性
33	若い世代は随分、男性が家庭でも社会でも女性と協働している事が抵抗なくできるようになってきている。身近な所では感じる。年齢が高くなると、やはり昔の慣習か、女性を「女のくせに」とか蔑称、蔑視がまだまだあると思う。徐々に参画社会が形成されていく事を望む。		60代	女性
34	鹿児島は古来からの習慣等で、男尊女卑が強く残っているように感じる。こういう点を幼い頃より教え撤廃していく方向に教育していく必要がある。年齢が進んでいても、その時々『鹿児島を変えていこう』という意識を持つことを気付かせることも大切ではないだろうか。そういう意味で、鹿児島が先進県になれるよう期待する。	4	50代	女性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
35	男性にしか出来ない事、女性にしか出来ない事をもっと理解して互いに補い、協力し合えば良いのではないだろうか？不平等を受け止めるのも必要な事だと思う。全ての物事に平等、不平等がある以上、仕方がない事にも思える。		40代	女性
36	男女は生物として違うが、個性として認める。男女は何が違うか、互いに分かってないタブー的なところを明確にさせたいうえで個性として生かせる方法をみんなに考えさせる。一部の人が考えただけではそこで終わってしまう。		50代	男性
37	女性からの差別も考えるべきである。男なんでしょう、男だから…、という考えの方の女性も多い。		40代	男性
38	女性を過度に扱いすぎて、本末転倒のような扱いになっている。本来の男女平等なら、女性を過度に優遇せず、男性と同じように扱う必要がある。		30代	男性
39	あまり女性を強調すると逆に差別が出やすくなるように思う。男性の意識を変えないと、女性を登用してもお飾りや形だけとなり、本質は変わらない。		50代	女性
40	本県は特に、社会風土的に男女間の扱いの差があるように思う。ただ、なんでも平等になりうるのかについては、十分に議論をするべきで、表面的なものにならない工夫が必要だと思っている。		50代	男性
41	男性、女性それぞれに身体的、情緒的特徴があり、お互いを補完し合う社会が男女平等参画社会であり、いたずらに現在の社会の状況を否定したり女性の権利のみを追求することには違和感がある。鹿児島市の書類においても性別欄を削除する動きがあるが言語道断である。男性が男性を名乗り、女性が女性を名乗ることに何の問題があるのか分からない。LGBT問題と男女共同参画社会づくりを混同してはいけない。このアンケートは一方向的に女性が虐げられているかのような設問になっている。一部識者、マスコミの論調に沿ったような偏向性を感じる。男性であれ女性であれ、主体性を持った行動が必要な時代であり、行政が殊更に性別をベースにした議論をする必要はない。ジェンダーフリー論にみられるような間違った男女共同参画社会にならないことを、鹿児島市がミスリードしないことを切に願う。	5, 7	70歳以上	男性
42	女性は男性が優遇されて平等ではないというが、肝心な時に女だからという武器で逃げたり、経済的には女性が優遇されていると感じる（同じコース料理でも女性が安いとか、男が費用負担するのが当たり前とか）。		50代	男性

(2) 家庭環境について

	回答 (自由記述)	関連	年代	性別
43	DVを受けて育った子どもが大人になった時、自分の子どもや家族に暴力をしない様に子どもの時から習慣づけて育てるのが大事ではと思う。65歳以上の方は、子どものころから男女の差別を見て育て子どもも教育し、育てたと思う。		70歳以上	男性
44	個人家族単位の日々の生活の中で考えていくべきことだと思った。また、自分の固定概念が気づかぬあまりに周りを圧迫、支配して押し付けてしまうことが一番怖いと思う。男性ならば、女性ならば、と決めつけてしまうことのないよう性別ではなく、彼または彼女という個人そのものの個性や持ち味を理解できるような心持ちでありたいと思った。		20代	女性
45	女性側の意識を高める事も大切だと思う。そのためには、教育の機会を増やすことや、家庭の役割分担を固定しない事。子育ての家庭にはママと共にパパの支援も必要である。モデルとなる国や地域の実態を知り、常識とされているものの見方をやめる事である。		40代	女性
46	女性は子どもを宿して母性本能が生まれる。子どもが産まれて寄り添って子ども(赤ちゃん)は育てていく。見えない愛の力を両親から受けて育てていく。共稼ぎの家庭が多くなり、母の(女性にしか出来ない事)愛情、それを支える父、という昔の生活は、今の生活環境と違うのが現状である。働く女性はもちろん輝いている。しかし、保育園の待機児童が多いのだったら、もう少し仕事を始めるのをゆっくりしても良いのではと思う。		60代	女性
47	子育てをするのであれば、女性はある程度家事中心になるのは仕方ないと思う。男性、女性というより、子どもが一番大切である。各家庭が、もっと子ども中心でやっていけるような、収入が安定した生活が理想である。男女よりも、『良い大人(自立していて、他者の事を思いやり、規律と責任感がある人)』が不足していると思う。		40代	男性
48	子どもを一番に考えて欲しい。子どもに不安を与えないように。		無回答	無回答
49	子育て世代だが、まだまだ女性が家事や育児をして当たり前という考えが多いと思う。職場に関しても、鹿児島は昔からの企業が多く、大企業と比べて男性の方が優遇されていると思う。	3	30代	女性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
50	私の子育てしていた頃は、女性が子どもを育てるのが当然であった。今は共働きが普通であり、男性も子育てに参加している所をよく見かけるようになった。男性女性、負担なく家庭生活をしていく今の世の風潮は喜ばしい事だと思う。女性も社会に進出し活躍できる未来がすぐそこまで来ているように感じる。お互いの性も尊重し理解していけると思う。また、子育てもそうやっていったら、立派な考えのある子どもが成長していけると思った。	4	50代	女性
51	男女平等はよく分かる。子どもがいる方は、まず子どもを責任をもって一人前にして欲しい。今の世の中はすべて他人任せにしている面が多々あると思う。朝食を取らせてもらえない子どもがいると聞いてびっくりする。父親や母親が子どもにしてあげられる時間は長い人生の中でほんのわずかだと思う。その間、精一杯のことをしてあげて欲しい。昔の親はまず子ども優先で、そのあとに自分の事をしていったと思う。		70歳以上	女性
52	女性も働く事が当たり前のような社会になってきたが、子育てに関してはやはり女性の負担が大きい。男性の時短や、勤務終了時間を早くする対策をして、接待の休日ゴルフや飲み会等が普通でない社会になってくれたら嬉しい。男性は決められたとおりに働き、可能な所で家事や育児を手伝ってくれるが、子どもの熱や健診、予防接種等、変化に対応するのは女性ばかりである。イクメンとかではなく、子の親として共に平等に子育てをしていきたい。	3	20代	女性
53	母子家庭で育った。経済的に苦しくゆとりがなかった為、大学への進学をあきらめざるを得なかった。時が経つにつれ、学びたかったとの思いは募る。男女問題を考える際、貧困の問題も同時に考えて頂きたい（それ以前の問題を抱えている人もいるということである）。全ての男女がしっかり学べる教育制度があれば、男女や貧困の差に関係のない男女のリーダーが育つと思う。		40代	女性
54	私たちの年代の男性は、家事手伝い等はあまりあてにできなかったが、年を取った現在も尾を引いて役に立たない。現代の男性は優しくなって、よく家事等手伝っている様である（息子等）。		70歳以上	女性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
55	子どもが成人するまでは、子どもが家に帰ってきたら暖かく迎える家族がいるべきであると思う。子どもにとっての役割が、男女で違う。それぞれの特質を生かしながら子育てや家族としての役割を果たしていくような教育が必要である。〇〇年後に〇〇の数値を〇〇にするとか表面だけの数値にこだわる推進はやめて欲しい。もっと本質を見据え、根本を変えていくべきである。共働きが多くなった現在、働くことへの生き甲斐で職についているのか、経済的な面についているのか。もし後者の方が多いのであれば、共働きをしなくてもよい経済をつくる必要がある。男女共同参画イコール共働きではなく、仕事に生きがいをもって働きたい人が性別に関係なく働く社会を作って欲しい。家事や子育ても立派な仕事である。専業主婦（夫）が下げずまされるような社会にして欲しくない。	4	60代	男性

### （3）雇用・労働環境について

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
56	職種にもよるが、鹿児島はまだまだ男性優位な環境だと思う。基本的に男性の方が優れていると考えるリーダーが減ってくれることを願う。性別ではなく、一個人として尊重できる教育を充実させて欲しい。指導する側、教育する側が果たして平等な考えを持っているかは疑問だが。妬みや嫉妬という感情が根源、認める勇気が大切なのは、と思う。	7	50代	女性
57	人事を決める際に、女性が多数を占めるような組織が増えると良いと思う。		50代	男性
58	障がいのある子の親は、養護学校等への通学の際、保護者による送迎が必要だったり、自主通学できても親の出勤時間の方が早い場合、第三者からの支援が受けられないと、夫婦ともにフルタイム勤務というのは厳しいと思う。障害のある子を育てている親も、いろいろな場で活躍できるようなサービス等が充実していると良いと思う。		40代	女性
59	女性が活躍している仕事や男性の多い職場で、女性の活躍などどんな分野があり、良い所悪い所などの意見を知る場所や情報を見られる所があれば良いと思う。知ることで、選択する仕事など視野が広がる若者が増えると思う。		30代	女性
60	本当に平等になるとは当分思えない。都会ではなるかもしれないが、地方の鹿児島ではすぐすぐ実現するとは思えない。最低賃金をあげても女性の基本給は低いと思う。職場についても個人経営に関しては、上の役職(男性)に逆らえない環境であると思う。		20代	女性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
61	男女ともに、正社員、非正社員に関わらずどの程度平等な役割を担っているか直接確かめた方が良い。業界ごとにどのような不平等があるかも直接知ることは、就活する人や目指す人達にとっても有意義な情報になると思う。		30代	男性
62	本当は仕事を続けたかったのだが、辞めなければならなかった。キャリアがすべてリセットされとても悔しい。また、働くようになったときにまた1からキャリアを形成するのは、男女間でとても不平等だと思う。異性が同じ立場なら仕事を続けられる。小さい子どもがいるというだけで働けない（実家が県外という理由でも）。		30代	女性
63	女性だけの雇用枠の設定などは、逆セクハラであり、能力ベースで均等に雇用すべきである。男性、女性枠での参画を考えると自体が古い。鹿児島がまだ頭の固い年寄の偉そうな男性が牛耳っているので、国への見せつけの形上で「やってます」的な男女参画政策もお金の無駄。いつまでも過去の偉業にとらわれず新しいことにチャレンジできる土台が出来ればいいのだが。教育が大事だと思う。	4	50代	女性
64	性別で選ぶべきではなく、実力で選ぶべきである。現在女性の方が優遇されていると思う。そういうことはやめるべき。逆差別になっている。		60代	女性
65	鹿児島は、封建的な県なので、女性を下に見る風潮があると思う。そもそも昔から男性の方が賃金が高く設定されていたので、女性が意見を言っても（家庭内で）「俺と同じだけ稼げなくせに」という言葉が出てきたりする。今の若い夫婦世代には、そういう意識はないように見受けられる。		50代	女性
66	女性が働きやすい社会になってきているとは感じる。ただ保育園に通わせ、仕事をしている方が楽という若い方のとらえ方は心配である。育休期間の見直しも必要である。		無回答	無回答
67	『お茶くみは女性でなければいけない』『社員が個人的に買ってきたお土産、差し入れは女性が配らなければいけない』『差し入れが果物なら、女性が剥かなくてははいけない』等々、職場で「それは女性でなくても出来る事ですよね」という場合があり、上司にも掛け合って理解されても最後は経営者や役員が「女性でなければいけない」で進まない。会社トップの意識が変わらない限り、改善されない現状である。罰金刑でもない限り、「他社はしてない」で取り合ってくれなさそう。		30代	女性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
68	私は現在、転職して正職員となった。転職するために、二週間勉強していた時には周りの人から「結婚すればいいのに」「いつか結婚するから勉強しなくてもいい」と言われた。私の人生なのにと考えた。転職が成功すると、初対面の男性（20代）から嫉妬され、「女なのに転職成功？」と言われ、今の職場の60代男性からは、「娘は専業主婦。子どもの為に女性は家庭に入り、男一人で稼げないとね」と言われ、まだまだ鹿児島は男尊女卑の古い考え方が残っていると思う。私は今まで色々な県に住んでいたのですが、余計に感じる。自分の身は自分で守らなければならない。女性だけ犠牲になるのはおかしい。私は鹿児島は好きだが、男尊女卑の古い考えさえなくなればもっと住みやすいのと思っている。もっと広い国際的視点を市民に持っていたらいい。		20代	無回答
69	男女平等の前に、鹿児島はブラック企業ばかり。まずそこから改善すべきである。就労時間や賃金が豊かになれば、男女の家庭の役割や社会の役割、職場での役割などわざわざ役割を決めつけなくても、適材適所で個人が力を発揮して住み心地の良い街になるはずである。その為にも、役所の皆さまぜひご協力いただきたい。		40代	女性
70	職場に対して、もっと男女共同参画の内容通知等して頂きたい。		40代	女性
71	出産し、職場復帰しても子どもの体調が悪くなったり、帰ってからの育児など大変で結局退職した人を見た事がある。子どもの理由で早退したい旨や勤務を変更することを言いやすい職場作りが必要だと思う。また、そういう時はすぐ父親ではなく母親が対応する事が多いので、父親ももう少し積極的に育児に介入して欲しい。	2	30代	女性
72	子育て中の仕事選びはとて難しいと思う。子どもが急に熱を出したりして迎えに行く時などは、フルタイムで責任ある仕事に就いていたりすると、抜けられなかったりする。抜けられる仕事を選ぶと、大体給料は安い。主人は仕事を抜けられない。主人が抜けたりすると、職場での評価が下がる。そうすると、家計が下がったりして結局困るのは私になる。職場での理解が進まないと思われないと思う。外面ではなく中身が変わらないと、たくさん年休があっても使えないのでは一緒である。		50代	女性
73	知人に県内の消防団を希望している女性がいた。しかし『女性』ということで落ちてしまったそうである。最初聞いたときは大変驚いた。今でも多くの職分野が『性別』による隔たりがあるように感じる。		20代	女性
74	本県は男性優位の社会が現存しており、これらを払拭する環境を構築する必要がある。そのため、公的機関等に男女の区別なく能力資質の高い人を積極的に登用する事が望まれる。		70歳以上	男性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
75	女性が安心して仕事のできる環境をお願いしたい。妹がパートで働いている。本人は常勤で働きたいと思っても、子どもが熱を出すと会社を休む。また、姑等何があるか分からないので、やはりパートで働くと言っている。		60代	女性
76	どんなに良い制度があっても、自分達よりも世代が上である上司や親の考え方を変わってもらわないと、女性が活躍するには厳しい社会であると思う。女性と男性というよりは、性格的なものである。特異な面をしっかりと考慮して仕事や昇進を期待できる世の中になって欲しい。子育てをしていくにあたって、PTAなど平日にあるが、仕事をしていると中々休みを取りにくい。週末であったり、何かもっと考慮できないものか。PTA活動などもっと違う形に変化させて、今の時代に合ったものにして欲しい。仕事にも集中できると思う。結局PTAも女性が多く参加している。		30代	女性
77	私は妊娠前、パートの臨時職員として働いていたのだが、妊娠が分かり、仕事を辞めざるを得なかった。産休や育休をもっと取りやすくして欲しい。産休や育休を取れず仕事を辞めて収入がないので、年金や税金の支払いの優遇がもっとあれば良いと思う。	6	20代	女性
78	学生だが、働いている方はやっぱり男性が多いし、役職のある人は男性が多いと思う。一方で女性には社会の中で生活しやすいようなサービスは増えてきているとは思いますが、実際に男女平等な世の中になっているとは思わない。	4	20代	男性
79	女の方が働きやすい世の中になることを願っている。		10代	女性
80	鹿児島は給与水準が低く、労働時間が長い、いわゆる労基法等を逸脱するブラック企業が非常に多いのが現実である。そんな中で、女性に対しては長時間労働が体力的に対応できない等の理由から、初期段階で女性が組織に対して大きな役割を担いづらい構造になっている企業が多い。理想的な男女共同参画は鹿児島の企業の労働水準向上と、女性が勤務可能な環境を保持できる資本力向上が必要と感じる。いわゆる景気回復がまずないと、企業は対応が難しいということである。		50代	男性
81	正社員で働いているが、子育てか仕事かという選択をいつも強いられている。でも子どもは大切である。自分のキャリアの為に子どもに悲しい思いをさせたくない。子どもを大切にしながら仕事にも役に立てられるような社会の理解があるサポートがあればいいのに、といつも思う。子育てをしている人は働きにくい社会が変われば、男女共同参画もDVもいい方向へ進むように思う。		40代	女性
82	昔面接を受けに行った時に、すぐに結婚や妊娠とかないよねと言われた。そういった事を言われるのも平等ではないと思った。		30代	女性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
83	出産後に働いた職場の上司（男性より女性）で、結婚して子どもがいない方で理解が無い方がいた。急な熱で子どもの迎えに行かないといけない方に、溜息をしながら「働けないな」と言っていた。もっと働きやすい環境づくりをして欲しい。		50代	女性

#### （４）社会環境について

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
84	地域や職業によって変わりにくい意識があると思うが、自分の子どもが社会の担い手として成長していく上で、平等な機会がより増えていくことを願う。その為に、子どものうちから教育の一つとして知識を増やしていける機会を持つことが必要だと思う。		30代	女性
85	高齢の方に、女性を少々差別しているのでは?という言動をみかけることがある。その方たちの考え方を今から変えることは難しいと思うので、これからの未来のために出来ることがあれば良いと思う。		50代	女性
86	男性はこうあるべき、女性はこうあるべき、という考えを持つ人が多いように感じる(特に高齢の方)。一度そう思っている人の意識を変えることは難しいかもしれないので、若い世代から、男女関係なく同じように仕事や家庭等の生活を送ることが当たり前なのだ、という意識を持てるような社会になっていけば良いと思う。		30代	女性
87	男女の差別なく住みやすい社会であって欲しい。立場をわきまえて生活し行動する。男女協力して働きやすい職場、社会生活を目指し努力していきたい。		70歳以上	女性
88	古い考えを持った権力者の改善を願う。身体的な理由で性別を考えずに選択もできないこともある。そこの部分を改善していくことはとても大切なことだと思う。		40代	男性
89	もっと鹿児島県全体で、県民、市民がより良い生活を送れるように取り組んで欲しい。		20代	男性
90	コロナ禍の今思うことは、ドイツ、ノルウェー、ニュージーランド、台湾など女性が首相の国が感染者をあまり多く出さなかったということだ。男女の違いに何か対応の仕方もあるのか知りたい。		70歳以上	女性
91	性別ではなく、人間としての目線で全てを決める必要がある。鹿児島は、郷中教育という人間性の文化がある。これは、一部女性に対して男性が女性を下に見る部分がある。時代が違うという言葉で終わらせるのではなく、現代版の地域における郷中教育(男女は平等)、人間としての目線を若い人々が発信する。		40代	男性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
92	小さい子どもはすぐ病気になったり熱を出したりして、園にお迎えに行くことがよくあるが、そのような時に男女平等にお休みをもらい協力しながら子育て、仕事に取り組めたら良いのだが、日本の国の体質的に未だに母親がお休みをもらうのが当然といった風潮がある。働く女性は、肩身の狭い思いをされている方も多いと思う。それは、シングルファザーの方など子育てに積極的に取り組んでいる男性も同じだと思う。男女共に協力しながら過ごせる社会になれば良いと思う。		30代	女性
93	女性の場合、妊娠出産が不平等の要因として社会の中では、どうしても思われがちなのでもっと讃えるべきこと、尊重したうえで「男女共同参画」になることを願います。		60代	女性
94	全ての基本は「人の育成」である。自分や地域に誇りを持つような教育がとても重要。はるか先のことになるかもしれないが、問33の関係法律が不要になる世の中の実現を願っている。		60代	男性
95	自分が努力し、地位が上がることで共同参画が改善されるのではないか。		70歳以上	女性
96	男性女性に関係なく社会を形成する上で誰でも参加できることを強く地域社会、教育、メディア色々なところから発信して頂きたい。		50代	男性
97	男性にしかできないこと、女性が男性より優れている能力のこと、互いに違いや良い点を見直してそれぞれが自由に活力のある社会を形成してほしい。		60代	男性
98	女性はこうあるべきという考え方も根本から見直し、子ども達の教育にも取り入れ、変えていかないと何も変わらない気がします。		40代	女性
99	性別役割分担意識については、近年絶対悪のような感覚を多くの方が抱いているようである。私自身もそれに捉われる必要はないと思う一方で、分担意識も文化的、社会的な合理性や背景から生まれてきたものでもあるので、それらを殊更排除するような施策を取ることがないようにバランスのとれた男女共同参画をお願いする。		20代	男性
100	身体能力に差があり、出産というイベントもあるのでそもそも無理だと思う。逆に専業主婦でも生活していけるように経済回復して欲しい。女性でも仕事で結果を残したいという人には、機会を与えるべきではあると思う。		30代	女性
101	私は、横浜から50年前に嫁いできた。鹿児島の男性の横暴さにびっくりした。そんなに男が偉いのかと、そこで私はあえて仕事をして、女性だって家の為にお金を稼ぎ、子どもをしっかり育て夫に迷惑をかけずやってきた。少し鹿児島の女性は優しくすぎると思う。今は、男が偉い女はひっこんでいるという時代ではない。これからは、男女が一緒になってこの国を支える時代が来る。		70歳以上	女性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
102	私の個人的な意見だが、鹿児島は「女性は家事、育児、男性は仕事」といった考えがまだ根強く残っていると思う。そのような考えが見直されれば、より多くの女性が社会で活躍できるようになると思う。		10代	女性
103	男女共同参画を考えるのではなくて、それが当たり前という時代を作っていかなければならないと思う。		40代	男性
104	鹿児島は特に、男性は仕事、女性は家庭という考えが高齢者を筆頭に浸透している感じを受ける。男女の役割差別意識がなくなり、協力して働いたり育児が出来る社会を望む。		30代	女性
105	高齢者、疾病でない生活保障世帯構成員等が保育、放課後の子どものケアを行う施設をつくり、労働世帯の男女が積極的に働き、社会生産活動を行うべきである。出産への公的助成を充実させ、出産後の負担は社会で支える。最終的に人口減への対応となる。		40代	男性
106	男女共同参画に参加したいので、現実化して欲しい。		60代	女性
107	現在70歳を超えており、我々が育った（受けた教育を含め）時代とは全く世界観が変わってしまったが、基本的にはみな平等で自由に生きる権利があり、それを担保にしていく責任が求められていると思う。		70歳以上	男性
108	もっともっと女性の社会進出を望む。昔からの鹿児島の男尊女卑の風習は今も残っていると思う。今のままでは鹿児島の発展は望めないと思う。		50代	男性
109	私は78歳でまだパートで働いていて男女差を感じたことはないが、色々なニュースを見ていると、もう少し全てが変わっていかねばならないと思っている。		70歳以上	女性
110	男女共同参画が可能になったら、面白い話が増えると思う。		10代	男性
111	難しい問題だが、少しずつ変わっていけるように望む。		40代	男性
112	男女が平等に社会で暮らしていくには、根本的な制度を変える必要があると思う。特に教育と育休制度の充実は欠かすことが出来ない。女性たちが女性であることを理由に黙って夢を捨ててしまったり、立場の弱さをこれ以上感じる事のないような社会、鹿児島市になって欲しい。		20代	女性
113	これから先、女性の活躍の場が広がることを願っている。		60代	女性
114	次代と共に進歩させるためにも、学校や社会での啓蒙を推進する必要があると思う。		60代	男性
115	女性が出産し、ゆとりを持って子育てと仕事が両立できるような社会になって欲しいと願う。		40代	女性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
116	近年、社会のあらゆる分野で女性の進出や登用が目立ってきて、男女共同参画社会の形成は推進されてきていると感じる。ただ、色々な分野や組織においてリーダー的地位や重要なポストに就いた際、やや足を引っ張るような風潮が感じられるのは残念で、多少のミスに対しても、もう少し寛容であっても良いと思う。		70歳以上	男性
117	男女ともにお互いの理解が足りず、考え方や価値のずれによる問題が多いので、お互いに理解を深め、新しい考え方や価値観を取り入れて、男性も女性も平等な社会を創る必要性を感じている。少しずつ一步一步前に進んで、男女ともに安心して働ける社会が出来る事を祈っている。		20代	男性
118	男女共同参画社会の実現に地域のコミュニティは必須だと思う。地域で共助があれば、精神的支柱になったり、負担を軽減したり、小さな変化にも気付けると思う。また、女性議員を増やすよりは、女性リーダーを増やす方が良いと思う。その方が、女性の意見を反映しやすくなるし、女性が政治に参加するハードルが下がると思うからである。ゲームやスマホの制限は、地域コミュニティ再構築の為にはある程度必要ではないか。	7	10代	男性
119	保育所に子どもを預けて働いている時、子どもがインフルエンザ等病気になると預かってもらえないと聞く。子育て中の女性が社会に出て安心して働ける環境の充実を願う。職場でもこのような時、女性が気を遣わず休める制度を整えて欲しいと思う。	3	60代	女性
120	女性の社会参画について、能力や良識のある女性の出現によって、自然に男女の参画の平等が成されると思う。そのために法の改善や社会全体の意識が変わる。日本独自の長い習慣があり、母親に子どもの育児がいくらか偏るのは仕方のない面もいくらかある。	2	70歳以上	男性
121	男性は女性にもっと歩み寄って欲しいし、女性はもっと男性のように社会で活躍して欲しいと思う。		20代	女性
122	体罰教育を当然のように受けた世代が管理職となっていて、その人たちに育てられた世代がまた親や指導者(職場・学校・スポーツ)になっているので、連鎖を断ち切って平和な世の中になって欲しい。暴言や物を投げたりをDVであると理解していない人も多いため、新聞やテレビの一面広告で出して欲しい。		60代	女性
123	鹿児島県では特にないが県外での経験で、電車で女性専用がよくあるが、女性専用があることに反対ではないが、列車の数が多すぎる気がする。男性がどんどん出世していくイメージが強い。女性もどんどん社会進出していくべきである。少しでも性別の関係ない社会を作ってほしい。		20代	男性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
124	やる気のある女性が活躍できる社会、やる気のある女性を増やす活動を期待している。設問には、やや恣意的なものを感じた。改善すべきだと思う。	5	50代	男性
125	今回の市民意識調査で改めて考える機会となった。幼児期から性に捉われず、個性を尊重する世の中になればと思う。鹿児島市内の小学校は、まだ男女別の名簿である。まずは市民意識の改革からではないかと思う。		40代	女性
126	保育所に預けることが難しく、仕事に復帰できない環境を無くして欲しい。		20代	女性
127	女性が過ごしやすい社会は、社会全体にとってもメリットがあると思う。例えば、職場のトップの意識が、女性の社会活動、地域活動への進出や、仕事とプライベートの両立に寛容になれるようになるには、その組織にお金と人員の余裕がないと難しいと思う。そのための法律や制度などを整備することは、必要なことかと思う。		40代	男性
128	女性は赤ちゃんを産まなくてはいけないので、そういうことに対する理解と協力、仕事復帰しやすい環境を整えていただきたいと思う。		60代	女性
129	私が子どもの頃、女性は家にいて家事・育児・介護をすることが仕事で、男性は外で稼いでくことと、性別で役割分担することで家庭が成り立っていた。それが悪いことではなかった。それは女性に対する教育が疎かだったことが大きな要因だったと思う。戦後、女性も高等教育を受ける人が増え、世界的に男女平等の考えが浸透し、社会的政治的にも女性の地位向上を目指すようになって、今はその過渡期だと思う。だからもっと女性に対する教育を充実させなければ本当の男女平等には届かない。今、国会議員になっている女性などは家系的に裕福な家庭に育った人が多く、一般的な国民生活に理解があるとは思えない。これはひとえに教育的な欠陥があるためだと思う。		70歳以上	男性
130	保育園の拡充とともに、待機児童を出来るだけ出さないような制度と施設が必要である。そして、親権は離婚しても共同であるべきと考える。そのために養育費は必ず支払う等の責任を与えて欲しい。子どもを戸籍に入れた方だけ子育て支援金や、税制優遇されるのは全然納得がいかない。	7	30代	男性
131	男尊女卑の考えが残っている鹿児島で、市民の意識を変える男女共同参画を進めるのは難しいことが多いと思うが、行政の施策や世界の流れの中で、社会全体の理解も10年前と比べると進んできたと感じている。		30代	女性
132	みんなが笑顔の溢れる社会になれば良いと思う。		40代	男性

(5) この調査への意見・要望等について

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
133	一応回答したが、離別の傷跡に触れなくなかったし、子どもも障がい者で学校にも進学できなかった。私ではなく、結婚中の人とかもっと他の方がいたのではないだろうか。もう少し調べてから書類を送って欲しい。離別者にとって、アンケートとはいえどれもみんなつらい問いになった。		60代	女性
134	LGBTや男、女とか、人間としてはこの回答を求めること自体できない。日本の戦前戦後教育、昭和、平成、この回答をただ〇を付けるだけでは納得いかない。もっと、根深いし国の問題、政治の問題だと思う。		40代	男性
135	質問の回答（選択欄）が意図的であり、問題ありき、原因ありきでの設問で、共同参画問題がよくなるとは思えない。また、行政の考え方にも疑問を抱かざるを得ない。行政の知識不足や決め付けで対応策などを考えて欲しくない。しっかりと個別案件に目を向けて欲しい。	6	40代	男性
136	高齢者の為理解できず、問いに回答できなかった。		70歳以上	女性
137	用語が短縮されていたり、英単語等分かりづらい。		60代	女性
138	今回の意識調査を記入して、行政や政治等々、もう少し興味と関心を持って生活していこうと思った。まだまだ勉強不足だと痛感した。		70歳以上	女性
139	もっとPRした方がいい。		60代	女性
140	男女共同参画の意味が、用語解説を読んで少しは内容が分かった。		70歳以上	女性
141	用語解説が同封されていたので、主婦でももっと社会に目を向けるよう、勉強しなければと思った。		60代	女性

(6) 行政への意見・要望等について

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
142	ワーク・ライフ・バランスを徹底していくことを行政が主体となって推進していくことが、男女共同参画につながると思う。		20代	男性
143	鹿児島はあらゆる面で後進県である。古い考えの人、頑固な人が多い。男尊女卑な考えもまだまだ残っている。そんな鹿児島に男女共同参画が実現できるのだろうか。余程本気で取り組まないと不可能だと思う。毎日、何事もなく一日が終われば給料ももらえるし、といったお役所勤めの方に果たしてどこまで出来るのか。		50代	女性
144	いろんな相談や質問の窓口を増やして手続きを簡単にして欲しい。		60代	女性
145	手前でなく、真の意味での社会のあらゆる分野での男女の共同参画ができるように、政治的政策の推進を強く図ることが大切であると思う。		70歳以上	男性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
146	女性に暴力など、もつてのほかである。日本の司法や法律を見直して、厳しい罰を与えるなど、とにかく弱者を守るなど考えていくべきである。		50代	男性
147	男女共同参画については過去にも多く議論がなされてきたと思うが、様々な法整備がなされてきた中で、具体的に何に取り組み何が改善されたのか非常に分かりづらい部分が多いと思う。メリット、デメリットを含めて積極的に市民に周知し、気運を高められると良いと思う。		20代	男性
148	『ダイバーシティの実現』言葉自体は素晴らしいが、それを現実に落とし込む行政はとても困難かと思う。皆が住み良い社会インフラの構築に向けて頑張っ欲しい。		40代	女性
149	市がモデルとなって広めていくのも一つの方法だと思う。		60代	男性
150	制度改革の検討と実施を強く求める。		70歳以上	男性
151	保育施設など、子育て支援体制の充実を強化して欲しい。		40代	男性
152	一方的な暴力・暴言は、直ぐに公的機関に相談できる体制作りや、法的罰則・保護等積極的に進めるべきである。		50代	男性
153	日本では、自由、平等、民主主義等の概念が上部だけで認知されていると思う。まだまだ、世間体や会社本位の世界である。これを変えるために一番効果的なものは、法律を男女差別なき公平な内容に変えて罰則添付することである。今の政治は古い頭の爺さん議員や困った事のない二世議員が占めて、個人より会社組織利益優先で事を運んでいる。まだまだ女性がもっと政治に参画、増やすべきだと思う。法律で半々にするべきである。		60代	男性

#### (7) その他

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
154	基本的には、他人に対する思いやりの気持ちをお互いに持てるかどうかと思う。鹿児島には、負けるな、嘘をつくな、弱い者をいじめるな、という郷中教育があるが、子どもの頃からこのようなことを教育していくことが大切なのではないだろうか。		60代	男性
155	夫が資金の無いところから会社を立ち上げたので、裏方で家事、子育て、仕事をこなして来て、現在も事務業務に従事している。身体と精神面に現在無理が来ているように思う。現在直面している方が、無理なく家庭と仕事に従事できるように望む。		70歳以上	女性
156	今の生活に慣れて、女性自身が責任ある立場から逃れていると思う。また、そのような人以外の社会進出する女性の方が男女差別を訴えているようにも思う。土壇場から逃れる女性が多いのに、一部の人が声高らかにしても男性に面倒がられているので、積極性を育てなければ今の世間は変わらない。		30代	男性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
157	緊急避妊薬や妊娠、出産、中絶に関する決定権が女性医師や女性の有識者ではなく、男性ばかりの会で決定されていることに疑問がある。女性の身体を何故男性が管理しているのか。女性をひ弱で護らなければならない存在と思わず、一人の人間として見て欲しい。		20代	女性
158	怖いということを誰にも相談できなくて、家族もなんとなく離れて出来事を考えているのか、我慢しなくてはならないと背負いこんでしまうのが悩みだ。		20代	女性
159	アンケートによって、男女共同参画に関する用語を知った。記入しながら、自分自身、世の中のこの問題に関する現状がよくわかっていないことがわかった。		60代	女性
160	すべて世の中本音と建前がある通り、建前が先行して本音が後から、男女共同参画に参加することが正しいのだが、と思う。		70歳以上	男性
161	総合的で、幅の広い取り組みであると思うので、関係機関や団体とのきめの細かい定期的で維持性のある連携協力のあり方が検討されていくべきだと考えます。		70歳以上	男性
162	私は、口で話してもなるようにしかできないと思っている。話しても世の中には、何もできないものだなと思う。		70歳以上	無回答
163	マンションに住んでいるが、近所付き合いがない。集合住宅でのコミュニケーションづくりが盛んになっていくことが、男女共同参画社会を形成していくのに必要だと思う。		60代	男性
164	男性への研修は学生のみでなく社会人にも行うことで関心が高まり、結果、男女共同参画の推進になると思う。また、女性側も『守られるもの』という意識を下げ、自衛の能力を高める事で介入しづらい家庭内暴力への抵抗力を高める事と、その間の公的機関との連携につながると思う。男女ともに学生・社会人に対し、教育・研修をすべきである。		20代	男性
165	仕事のできる人が家庭に入り、出来ない人の方が働き続けている。パートで働く時、不思議だと思う。子どもができると、病気の時は母親を必要とすることを理解すべきである。平等ではないと。淋しい思いをしている子は、かわいそうである。他の子に意地悪をしたりする。専業主婦にしか見えない事の理解をして欲しい。		50代	女性
166	テレビやラジオなどを使って、広報活動をより多くしていく事。		60代	男性
167	男女問題もだが、LGBTの理解については古い考えが浸透しており、それについて悩んだりしている人が多い気がする。特に鹿児島は保守的な考えの人が多いため、そのような悩みがある人は生活しにくいと思う。		40代	男性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
168	とても良い取り組みだと感じる。現実、女性には時間がなさすぎる。育児や介護サービスを充実させないと、女性が外へ出るのは難しい。男性が出来る事にも限りがあるので、福祉サービスを充実させて欲しい、私はパートだが、子どもは保育所に入所できず、幼稚園へ通わせた。幼稚園も申し込みの際、3～4日並んで申請書をもらわないと入れない園もある。子育て世帯はかなり厳しい状況にある。		30代	女性
169	知識を身に付けるため、学習面に意欲のある子どもには、積極的にその環境を与えられるように無償化する努力をして欲しいと思う。選択肢を増やす、いずれ充実した生活が送れるような。		40代	女性
170	保育園に入れない子どもを減らす事が必要だと思う。		30代	男性
171	共同参画に関する場が少ないように感じる。		60代	男性
172	全ての人に、男女共同参画と共に人権の尊厳を学ぶ場をあらゆる機関を用いて働きかけていく事。		60代	女性
173	男女同権・共同参画は、すぐに実現できるものではなく、私たち一人一人が努力してその実現に向かうことが、未来の子どもたちに役立つ事だと考えている		70歳以上	女性
174	現代は男女という枠組みだけでなく、様々な性に対応する事が求められる。外見だけから判断することは出来ず、難しい事があるので、性を区別するのは必要最低限にして、後は区別しないように進めるのが良いと考える。		10代	男性
175	私は妻からのDVにより離婚したが、離婚にあたり、調停での不平等を感じた。まず、DVは男性から女性にという考えが根底にあり、まともに相談できない環境に驚いた。経済的には全てに於いて女性有利（離婚したいなら金を出せ）である。全ての女性を信用できない現状である（子どもは別）。		60代	男性
176	長く生きてきたが、男女の性差と共同参画に矛盾を感じる年代もあった。これからの世代は、小さい子どものうちから、家庭や学校等でしっかりと形成していく事が望まれる。		60代	女性
177	高齢の為、現在あまり深く考えたことはなかったが、是非、こういう運動を勧めて欲しいと思う。		無回答	無回答
178	男女共同参画はとても素晴らしい案だと思うが、昨今の日本は元より、難しい問題が多く蓄積しており、なかなか進展するようには感じられない。「男女共同参画社会」の言葉も周知されていないと思う。		50代	女性

	回答（自由記述）	関連	年代	性別
179	鹿児島市は昨年LGBTの議員の問題発言で、全国的に恥ずかしい思いをした。議会は極めて良識的な判断をしたと思う。しかし、高校入試で受験番号を男女で分けるなど、他県の間から見たら制度の根底から差別が残っている県だと断定せざるをえない。小学校や高校では全てではないにしても名簿を性別で分けていない学校があるように感じるが、中学校ではまず見かけない。行政の足元から変えていく必要があるのではないだろうか？それを怠って、このようなアンケートを民間に求めるなど本末転倒ではないだろうか？まず自らえりを正すことをお勧めする。	6	50代	男性
180	女性の地位向上のためには、ただ単に法律や制度を整えるだけではなく、女性自身のスキルUPも大切で、精神面も強いメンタルを必要とする。例えば東京都の小池知事並みの、メディアに叩かれても微動だにしない精神力とカリスマ性。		70歳以上	男性
181	結婚しても別姓でいられれば、結婚した後も働きやすい。		40代	男性
182	日常生活の中では、あまり考えること無く日々を送っている。社会への関心や興味をもつことは大事だと思うのだが、自分にとって身近な問題以外は、無関心なのだと考えてしまった。		60代	女性
183	政治の世界と同時に、マスコミの報道姿勢が、この問題を解決する鍵である。全ての政策は国民の声により後押しされると思う。マスコミが日々どんな番組やCMを流すかによって、社会的な思考の方向が左右される。国民の意識を高め、問題意識を喚起する毎日であって欲しい。		50代	男性

## 4 調査票

# 男女共同参画に関する市民意識調査

### 調査へのご協力をお願い

日頃から、鹿児島市政に対しましてご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

本市では、男女が対等なパートナーとして、お互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざして、鹿児島市男女共同参画計画を策定し、様々な取組を進めています。

今回、市民の皆様のお考えや生活の実情などを調査させていただき、今後の男女共同参画の施策に活かしてまいりたいと考えております。

この調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた3,000人の方をお願いしております。調査の結果はすべて統計的に処理いたしますので、ご回答くださったことでご迷惑をおかけすることは一切ございません。

ご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年8月

鹿児島市長 森 博幸

### 回答方法

※回答期限 令和2年8月28日（金）

<回答サイトのQRコード>

#### ①インターネットで回答を行う場合

- 以下のWebサイトにアクセスし、説明に従ってご回答ください。

<https://questant.jp/q/kagoshimashi-danjyo>

※インターネットでご回答いただいた方は、本調査票での回答は不要です。



#### ②本調査票で回答を行う場合

- 次のページの案内に従ってご回答をお願いします。
- 記入後は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。（切手を貼る必要はありません。）

- 調査票や封筒に、住所・氏名を記入する必要はありません。
- 封筒のあて名の方ご本人がお答えください。
- 答えられない、あるいは答えたくない設問については無回答で構いません。

#### <調査内容・郵送回答に関するお問い合わせ>

鹿児島市 市民局市民文化部 男女共同参画推進課  
電話：099-813-0852 FAX：099-813-0937  
mail：danjokyodo@city.kagoshima.lg.jp

#### <インターネット回答に関するお問い合わせ>

調査委託先：株式会社ライフパシフィックデザイン  
電話：099-295-7131

## I あなた自身のことについて

F 1 あなたの戸籍上の性別はどちらですか。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢（満年齢）を教えてください。

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| 1. 18～19歳  | 2. 20～24歳  | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳  | 5. 35～39歳  | 6. 40～44歳 |
| 7. 45～49歳  | 8. 50～54歳  | 9. 55～59歳 |
| 10. 60～64歳 | 11. 65～69歳 | 12. 70歳以上 |

F 3 あなたのお仕事はどれにあたりますか。（○は1つ）

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 正社員・正職員   | 2. 派遣・契約社員 |
| 3. パート・アルバイト | 4. 自営業・自由業 |
| 5. 会社役員・経営者  | 6. 専業主婦（夫） |
| 7. 学生        | 8. 無職      |

F 4 あなたは結婚していらっしゃいますか。（○は1つ）

- |                                      |       |       |            |
|--------------------------------------|-------|-------|------------|
| 1. 結婚している（結婚していないがパートナーと暮らしている場合も含む） | 2. 離婚 | 3. 死別 | 4. 結婚していない |
|--------------------------------------|-------|-------|------------|

F 5 F 4で「1」と答えた方へおたずねします。

ご夫婦の職業についてどれにあたりますか。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. どちらにも職業がある  | 2. 自分にのみ職業がある |
| 3. 配偶者にのみ職業がある | 4. どちらも職業がない  |

F 6 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|



問4 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、どのようなことが重要であると思いますか。(〇は3つまで)

1. 法律や制度面の見直し
2. 女性／男性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念やしきたり、慣習の見直し
3. 女性の経済力の向上
4. 女性自身の自覚と知識・能力の向上
5. 女性の政治・職場・社会活動への積極的な参画
6. 企業や政府などの重要な役職への女性の登用
7. 家庭・学校での男女平等教育の充実
8. 職場内での男女平等処遇の徹底
9. 男性の理解や協力
10. 女性の就業、社会参画を支援する施設やサービスの充実
11. その他 ( )
12. わからない
13. 特にない

問5 現在の法律では、夫婦は同じ姓を名乗るようになっていますが、「同姓」か「別姓」かを選択できるようにすることについてどう思いますか。(〇は1つ)

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. そうすべきだと思う | 2. そうすべきでない |
| 3. どちらともいえない | 4. わからない    |

### Ⅲ 家庭生活について

問6 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 賛成         | 2. どちらかといえば賛成 |
| 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対         |
| 5. わからない      |               |

問7 問6で「1」「2」と答えた方におたずねします。

その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから
2. 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから
3. 子どもの頃からそうした教育をされているから
4. 女性は仕事を持っても不利な条件に置かれるから
5. 男女の役割をはっきりと分ける方が仕事も家庭もうまくいくから
6. 社会全体にそうした風潮があるから
7. その他 ( )

**問8 男性が家事、育児などをする事についてどう思いますか。(〇は1つ)**

1. 男性も積極的にする方がよい
2. 男性もできるだけする方がよい
3. 男性はあまりしない方がよい
4. 男性はやるべきでない
5. その他 ( )

**問9 現在、家庭での高齢者介護は、多くの場合女性が担っていますが、これについてどう思いますか。(〇は1つ)**

1. 当然だと思う
2. 現状ではやむをえない
3. 夫や息子など男性も分担すべきである
4. その他 ( )
5. わからない

**問10 生活の中で「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度についておたずねします。**

**(1) あなたの希望に最も近いものはどれですか。(〇は1つ)**

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

**(2) それでは、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。(〇は1つ)**

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない

**問11 今後、男女がともに家事や子育て、介護、地域活動に積極的に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)**

- |  |  |
|--|--|
| 1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと          |  |
| 2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと            |  |
| 3. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること            |  |
| 4. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についての評価を高めること    |  |
| 5. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を充実すること           |  |
| 6. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること                       |  |
| 7. 夫婦や家族でのコミュニケーションをはかること                    |  |
| 8. 子どもに対して、性別に関わらず家事などを積極的に行うようなしつけや育て方をすること |  |
| 9. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行なうこと   |  |
| 10. 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること  |  |
| 11. 特に必要ない                                   |  |
| 12. その他 ( )                                  |  |
| 13. わからない                                    |  |

## IV 社会活動、地域活動への参加・参画について

**問12 あなたは現在、次のような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)**

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 町内会・自治会の活動           | 2. 女性団体や老人クラブなどの団体活動 |
| 3. P T Aや子ども会などの青少年育成活動 | 4. 趣味やスポーツなどのサークル活動  |
| 5. 市民講座、教養講座などの講座受講     | 6. ボランティア活動          |
| 7. 子育てや環境保全などの市民活動      | 8. 政治活動、労働運動         |
| 9. 職場や学校のグループ活動         | 10. その他 ( )          |
| 11. 特にない                |                      |

**問13 特に、女性が社会活動・地域活動に参画していく上ではどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)**

※参画とは、単なる参加ではなく、より積極的に意思決定過程に加わるという意味です。

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 女性も積極的に役職に登用する      | 2. 女性が発言しやすい雰囲気づくりをする |
| 3. 男女が共に参画し協力し合える内容にする | 4. 活動するための施設等を整備する    |
| 5. 家族や周囲の理解を促進する       | 6. 接待や後片付け等を女性の役割としない |
| 7. 女性リーダーを育成する         | 8. 活動する上で必要な情報を提供する   |
| 9. 資金的な援助を行う           | 10. その他 ( )           |
| 11. 特に必要ない             | 12. わからない             |

## V 就労について

問14 女性の仕事について、あなたの理想と現実に一番近いものはどれですか。男性の場合はあなたのパートナーについて（いない場合はいると仮定して）お答えください。

※項目ごと縦に見てお答えください (○はそれぞれ1つずつ)	① 自分の理想	② 現実
結婚や出産後も、ずっと仕事は続ける	1	1
子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事を続ける	2	2
子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事を続ける	3	3
子どもができれば仕事はやめる	4	4
結婚したら仕事はやめる	5	5
仕事はもたない	6	6
わからない	7	7

問15 問14の「②現実」で、「2」～「6」を選んだ方におたずねします。

その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 家事・育児に専念したい（したかった）から
2. 保育施設等が充実していない（いなかった）から
3. 夫や家族の理解が得られない（得られなかった）から
4. 職場の慣行や雰囲気です仕事を続けることはできない（できなかった）から
5. 仕事と家事・育児の両立は大変だ（だった）から
6. その他（ )

問16 働いている方（パートタイマー、派遣、アルバイトをしている学生も含む）におたずねします。

あなたの職場で現在次のような男女格差がありますか。(○はいくつでも)

1. 同期に同年齢で入社した男女で賃金昇給の差がある
2. 社内研修や教育訓練・出張や視察などの機会に差がある
3. 定年の年齢に男女差がある（慣行を含む）
4. 女性は昇進・昇給が遅い、または望めない
5. 女性が結婚や出産を機に退職する慣行がある
6. 女性が長く就労することを歓迎しない雰囲気がある
7. 女性は補助的な仕事に従事する傾向がある
8. お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い
9. その他（ )
10. 特に男女格差はない

**問17 社会全体として女性が働きやすい状況にあると思いますか。(〇は1つ)**

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1. 働きやすい          | 2. ある程度働きやすい |
| 3. あまり働きやすいとはいえない | 4. 働きにくい     |
| 5. わからない          |              |

**問18 問17で「3」「4」と答えた方におたずねします。**

**そう思う理由は何ですか。(〇は3つまで)**

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 女性が働きやすい労働条件・環境が整っていない    |
| 2. 能力発揮の場が少ない                |
| 3. 働く場が限られている                |
| 4. 育児施設・サービスが十分でない           |
| 5. 昇進・教育訓練などで男女に差がある         |
| 6. 結婚・出産退職の慣行がある             |
| 7. 男性は仕事、女性は家庭という社会通念がある     |
| 8. 家族の理解、協力が得にくい             |
| 9. 職場や職場の周りの人々の協力が得にくい       |
| 10. セクシュアル・ハラスメントの被害にあうことがある |
| 11. その他 ( )                  |

**問19 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えることどのような影響があると思いますか。(〇はいくつでも)**

- |  |
|--|
| 1. 多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される      |
| 2. 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる        |
| 3. 女性の声が反映されやすくなる                          |
| 4. 国際社会から好印象を得ることができる                      |
| 5. 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる                   |
| 6. 男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる               |
| 7. 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む                     |
| 8. 男性の家事・育児などへの参加が増える                      |
| 9. 今より仕事以外のことが優先され、業務に支障を来すことが多くなる         |
| 10. 男性のポストが減り、男性が活躍しづらくなる                  |
| 11. 保育・介護などの公的サービスの必要性が増大し、家計負担及び公的負担が増大する |
| 12. その他 ( )                                |
| 13. 特にない                                   |
| 14. わからない                                  |

## VI 教育について

【子どもがいる、いないにかかわらずお答えください】

問20 子どもの育て方についてあなたはどうお考えですか。(〇は1つ)

1. 男の子だから、女の子だからということを重視して育てる方がよい 2. 性別にかかわらず子どもの個性を重視して育てる方がよい 3. どちらともいえない 4. その他 ( )
--

問21 子どもにはどこまで進学することを期待しますか。女の子と男の子の場合についてそれぞれお答えください。

※項目ごと縦に見てお答えください (〇はそれぞれ1つずつ)	① 女 の 子	② 男 の 子
↓		
高等学校まで	1	1
専門学校・各種学校まで	2	2
短期大学・高等専門学校まで	3	3
大学まで	4	4
大学院まで	5	5
その他 ( )	6	6

問22 男女共同参画社会を実現するために、学校教育の場でどのようなことが大切だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 心身の発育について正しく理解し、生命や性を尊重する教育を充実する 2. 互いのよさを理解し、異性を思いやる心を育てる教育を充実する 3. 性別にかかわらず生徒個人の希望や能力にもとづいて、進路指導や職業教育を行う 4. 学校生活で性別により固定化された役割分担をなくす 5. 教職員の男女共同参画意識を高める研修を充実する 6. PTAなどを通じて、男女共同参画意識を高めるための啓発活動を充実する 7. 学校のクラス名簿に男女別名簿ではなく男女混合名簿の導入を推進する 8. 女性の校長や教頭を増やす 9. 今のままでよい 10. その他 ( )
--

## Ⅶ 女性の政策参画について

問23 次の①～④の各分野でその方針や政策を決めるとき、女性の意見はどの程度反映されていると思いますか。

※項目ごと横に見てお答えください (○はそれぞれ1つつつ)	十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	全く反映されていない	どちらともいえない	わからない
①職場で	1	2	3	4	5	6
②地域社会で	1	2	3	4	5	6
③市政・県政の場で	1	2	3	4	5	6
④国政の場で	1	2	3	4	5	6

問24 現在、わが国の政策や方針決定過程への女性の参画状況は先進国の中で特に低くなっています。その理由はなんだと思いますか。(○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家庭・地域・職場における固定的な性別役割分担、性差別意識</li> <li>2. 男性中心の組織運営</li> <li>3. 女性の能力開発の機会が不十分</li> <li>4. 女性の活動を支援するネットワークの不足</li> <li>5. 女性が積極的でない</li> <li>6. 家族の理解や協力がでない</li> <li>7. その他 ( )</li> <li>8. わからない</li> </ol>
---

問25 女性の意見を政治や行政に十分反映させるためには、どのようなことが最も効果があると思いますか。(○は2つまで)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 女性議員が多くなること</li> <li>2. 官公庁での管理職や審議会等の委員など公職に就く女性が増えること</li> <li>3. 一般の女性の自主的な活動が盛んになること</li> <li>4. 女性の意見や考え方を聞く機会を増やし、行政もその意見を取り上げるよう努力すること</li> <li>5. 女性の能力開発の機会を設けること</li> <li>6. 女性自身の政治への関心を高めること</li> <li>7. その他 ( )</li> <li>8. わからない</li> </ol>
---

## Ⅷ 人権・暴力について

【次のドメスティック・バイオレンス（DV）についての説明を読んだうえで、お答えください】

ドメスティック・バイオレンスとは、一般的には、配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者からふるわれる暴力をいい、身体的（なぐる、物を投げつける等）、精神的（暴言をはく等）、経済的（生活費を渡さない等）、性的（性的行為を強要する等）行為など様々な形態があります。

問26 配偶者等からの暴力は、多くの場合、女性が被害者となっています。このような配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、あなたはどのように思いますか。

※項目ごと横に見てお答えください (○はそれぞれ1つずつ)	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①ドメスティック・バイオレンスは人権を侵害する行為である	1	2	3	4
②どんな理由があっても暴力はふるうべきではない	1	2	3	4
③暴力をふるわれる方にも問題がある	1	2	3	4
④暴力をふるう相手と別れたいのであれば、いつでも別れられると思う	1	2	3	4
⑤暴力は個人的な問題ではなく、社会的に対策が必要な問題だ	1	2	3	4
⑥夫婦間の暴力であっても、求めに応じて警察や行政の相談機関が積極的に関わるべきである	1	2	3	4

問27 現在または過去に配偶者（結婚していないが一緒に暮らしている場合も含む）がいる（いた）方におたずねします。

※該当しない方は問28へ

（1）これまでに、あなたの配偶者から次の①～④のようなことをされたことがありますか。

※項目ごと横に見てお答えください （○はそれぞれ1つずつ）	まったく ない	1・2 度あ った	何 度 も あ っ た
①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど経済的な圧迫を受けた	1	2	3
④避妊に協力しなかったり、いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

（2）問27（1）で「2」「3」と答えた方におたずねします。

①その相手から受けた暴力によって、命の危険を感じたことがありますか。（○は1つ）

1. ある	2. ない
-------	-------

②問27（1）のような暴力を、現在（この1年間を含む）も受けていますか。（○は1つ）

1. 現在（この1年間を含む）も受けている
2. 受けていない

問28 あなたが10代から20代の時、交際相手がありましたか。結婚している（いた）方は結婚前についてお答えください。（○は1つ）

1. 交際相手がいた（いる）
2. 交際相手はいなかった（いない）

**問29 問28で「1」と答えた方におたずねします。**

(1) あなたはその当時、恋人や元恋人などの交際相手から、次の①～④のようなことをされたことがありますか。

※項目ごと横に見てお答えください (○はそれぞれ1つずつ)	まったく ない	1・2 度あつた	何度 もあつた
①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど経済的な圧迫を受けた	1	2	3
④避妊に協力しなかったり、いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

(2) 問29(1)で「2」「3」と答えた方におたずねします。

その相手から受けた暴力によって、命の危険を感じたことがありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

**問30 問27(1)または問29(1)で「2」「3」と答えた方におたずねします。**

あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○はいくつでも)

1. 家族に相談した 2. 友人・知人に相談した 3. 行政機関に相談した(鹿児島市男女共同参画センター(サンエールかごしま相談室)、鹿児島県男女共同参画センター、鹿児島市女性相談室、鹿児島県女性相談センター、福祉事務所、保健所、法務局など) 4. 警察に連絡・相談した 5. 学校に相談した(教師、養護教諭、スクールカウンセラーなど) 6. 弁護士に相談した 7. 医師に相談した 8. 民間のカウンセリングルームに相談した 9. その他( ) 10. どこ(だれ)にも相談しなかった
--

**問31 問30で「10」と答えた方におたずねします。**

**どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。（〇はいくつでも）**

1. どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから
2. 相談する人が近くにいなかったから
3. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
4. 相談しても無駄だと思ったから
5. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
6. 相手に「誰にも言うな」と脅されたから
7. 子どもに危害が及ぶと思ったから
8. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
9. 自分にも悪いところがあると思ったから
10. 個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから
11. 担当者の言動により不快な思いをすと思ったから
12. 世間体が悪いから
13. 他人を巻き込みたくなかったから
14. 他人に知られると、これまでの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思っ  
たから
15. 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
16. そのことについて思い出したくなかったから
17. 相談するほどのことではないと思ったから
18. 家族なのだから我慢するよう言われるのではないかと思ったから
19. 相談することによって自分の望まない結果になるのではと思ったから（離婚・別居など）
20. その他（ )

**問32 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。**

**（〇はいくつでも）**

1. 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
2. 学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う
3. 地域で、暴力を防止するための研修会・イベントなどを行う
4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
6. 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
7. 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
8. 加害者への罰則を強化する
9. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターゲームなど）を規制する
10. その他（ )
11. 特にない

## IX 男女共同参画に関する用語について

問33 あなたは次の言葉を知っていますか。

※項目ごと横に見てお答えください (○はそれぞれ1つずつ)	言葉も内容も知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない
①男女共同参画社会基本法	1	2	3
②女子差別撤廃条約	1	2	3
③男女雇用機会均等法	1	2	3
④配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 (DV防止法)	1	2	3
⑤女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法)	1	2	3
⑥ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1	2	3
⑦ジェンダー (社会的・文化的に形成された性別)	1	2	3
⑧リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康と権利)	1	2	3
⑨ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
⑩ダイバーシティ	1	2	3
⑪SOGI (ソジ)	1	2	3
⑫鹿児島市男女共同参画計画	1	2	3
⑬鹿児島市男女共同参画条例	1	2	3

※別紙で用語解説を同封しています。

## X 行政について

問34 「男女共同参画社会」を形成していくため、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 法律や制度の面での見直しを行う
2. 女性を政策や方針決定の場に積極的に登用する
3. 女性団体や女性のリーダーを養成する
4. 職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う
5. 女性の就労の機会を増やしたり、従来女性の就労が少なかった分野などへの女性の進出を促進するための職業教育や訓練を充実する
6. 男女が共に家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行う
7. 保育所や児童クラブなどの施設や育児サービス、制度の充実を図る
8. 高齢者や障害者に対する施設・介護支援などの福祉政策を充実する
9. 学校教育の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
10. 女性や男性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などのセンターを充実する
11. 女性に対する暴力を根絶するための取組を進める
12. その他 ( )
13. 特になし

## 自由意見

問 35 男女共同参画に対するご意見やお考えを自由にお書き下さい。

※個別の回答が必要な「相談」や「質問」については、鹿児島市男女共同参画推進課(TEL813-0852)へ直接お問い合わせください。


**ご協力ありがとうございました**

記入漏れがないかお確かめのうえ、同封の返信用封筒に入れて

**8月28日(金)**までにポストに投函してください。(切手はいりません)

◆ 用語解説 ◆

用語	内容
男女共同参画社会基本法	男女共同参画社会の形成を推進する上で法的根拠となる法律。1999年6月制定。前文では、男女共同参画社会の実現を21世紀のわが国社会を決定する最重要課題と位置づけ、社会のあらゆる分野において、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の推進を図っていくことが明確にされている。
女子差別撤廃条約	1979年に国連総会で採択され、日本は、1984年の国籍法の改正、1985年の男女雇用機会均等法の制定、家庭科教育の見直しなどの条件整備を経て、1985年に批准。あらゆる分野の性差別を許さず、男女平等の実現には男女の伝統的役割の変更が不可欠であるとしている。
男女雇用機会均等法	雇用分野における男女の均等な機会と待遇の確保を図るとともに、女性労働者が性別により差別されることなく、かつ母性を尊重されつつ充実した職業生活を営むことができるようにすることを目的とする法律。1986年4月施行。
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）	配偶者からの暴力に係る通報、相談、保護、自立支援等の体制を整備し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図ることを目的とする法律。2001年10月施行。同居の恋人からの暴力もこの法律の対象となる。
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	女性の職業生活における活躍を迅速かつ重点的に推進することで、男女の人権が尊重され、かつ、急速な少子高齢化の進展、国民の需要の多様化その他の社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある社会を実現することを目的とする法律。2015年に施行された10年間（2026年3月31日まで）の時限立法。
ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を解消するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するもの。（例：審議会等委員への女性の登用のための目標設定）
ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	人間には生まれつきの生物学的性別（セックス／sex）がある一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー／gender）という。「社会的・文化的に形成された性別」は、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われている。
リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）	人間の性と生殖に関するすべての側面において、単に疾病や障害がないというだけでなく、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態にあること。また、安全で満ち足りた性生活を営むことができ、いつ何人子どもを産むか（産まないか）を決める自由と責任を持ち、そのための情報と手段を得ることができるという基本的権利。
ワーク・ライフ・バランス	仕事と生活の調和のことで、実現に向けて官民一体となった取組が進められている。仕事と生活の調和が実現することにより、男性も女性もあらゆる世代の誰もが仕事や子育て、介護、自己啓発、地域活動など様々な活動を自分の希望するバランスで展開でき、仕事の充実と仕事以外の生活の充実が好循環をもたらすとされている。
ダイバーシティ	「多様性」のことで、性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会という。
SOGI（ソジ）	Sexual Orientation and Gender Identityの頭文字のことで、性的指向/性自認のことをいう。例えば、LGBTがレズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーという「誰」を指すのに対して、SOGIは「どんな性別を好きになるのか」、「自分自身をどういう性だと認識しているのか」という「状態」を指し、誰もが持っている要素である。
鹿児島市男女共同参画計画	本市の男女共同参画社会の形成を目指す行動計画で、現在の第2次計画は、平成24年度から令和3年度までを計画期間とする。3つの基本目標の実現に向け、5つの視点に立って市民と行政が一体となった取組を進めている。
鹿児島市男女共同参画推進条例	男女共同参画の基本理念を明確にし、市民、事業者、行政が一体となった取組をより一層推進するため、平成26年4月1日に施行。市、市民、事業者、市民団体、教育に携わる者の役割や、男女共同参画を阻害する行為の禁止などが盛り込まれている。

# **男女共同参画に関する市民意識調査 報告書**

**鹿児島市市民局市民文化部 男女共同参画推進課**

**〒890-0054**

**鹿児島市荒田1丁目4番1号**

**電話 099-813-0852 F A X 099-813-0937**